

台東区
区民満足度調査

平成 20 年 12 月

台東区

「台東区 区民満足度調査」について

区民の皆さまには、日頃より区政にご協力いただきありがとうございます。

このたび「平成20年度 台東区 区民満足度調査」の結果につきまして、取りまとめをいたしましたのでご報告いたします。

この調査は、子育て・教育、文化の充実、健康と福祉、産業振興など、区のさまざまな取り組みについて、区民の皆さまのお考えをお聞きしたものです。

調査の実施にあたりましては、区内にお住まいの満20歳以上の方から無作為に1,000名を選ばせていただきました。調査にご協力いただきました皆さまに、深く感謝いたします。

調査の内容は、台東区基本構想、長期総合計画の各分野につきまして、区民の皆様が、どの分野を重要と考えるか、各分野における満足度はどうか、そして、今後、各分野について、どのような取り組みが大切と考えるか、などをお伺いいたしました。

なお、調査結果はすべて個人が特定できないよう統計的に処理しておりますので、ご回答いただいた皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

この調査結果を受けまして、今後、長期総合計画等の取り組みを、より一層充実してまいりたいと存じますので、よろしく、お願い申し上げます。

平成20年12月

台東区 企画財政部企画課

～ 目 次 ～

| | |
|---------------------------------|----|
| I 調査の概要 | 1 |
| 1. 目的 | 3 |
| 2. 対象 | 3 |
| 3. 期間 | 3 |
| 4. 内容 | 3 |
| 5. 調査方法 | 3 |
| 6. 報告書の見方 | 4 |
| 7. 調査ブロック | 5 |
| 8. 回答者の属性 | 6 |
| II 調査結果の分析 | 9 |
| 1. 産業を振興するための取り組み | 11 |
| (1) 産業の振興についての重要度 | 11 |
| (2) 産業の振興への区の取り組みについての満足度 | 15 |
| (3) 産業の振興のための取り組みとして大切なもの | 18 |
| 2. 観光を振興するための取り組み | 22 |
| (1) 観光の振興についての重要度 | 22 |
| (2) 観光の振興への区の取り組みについての満足度 | 25 |
| (3) 観光の振興のための取り組みとして大切なもの | 27 |
| 3. 文化を振興するための取り組み | 30 |
| (1) 文化の振興についての重要度 | 30 |
| (2) 文化の振興への区の取り組みについての満足度 | 33 |
| (3) 文化の振興のための取り組みとして大切なもの | 36 |
| 4. まちづくりのための取り組み | 40 |
| (1) まちづくりについての重要度 | 40 |
| (2) まちづくりへの区の取り組みについての満足度 | 43 |
| (3) まちづくりのための取り組みとして大切なもの | 46 |
| 5. 環境対策のための取り組み | 50 |
| (1) 環境対策についての重要度 | 50 |
| (2) 環境対策への区の取り組みについての満足度 | 53 |
| (3) 環境対策のための取り組みとして大切なもの | 55 |
| (4) 環境に配慮した行動への取り組み | 58 |

| | |
|---------------------------------------|-----|
| 6. 生涯学習のための取り組み..... | 61 |
| (1) 生涯学習についての重要度..... | 61 |
| (2) 生涯学習への区の取り組みについての満足度..... | 64 |
| (3) 生涯学習のための取り組みとして大切なもの..... | 66 |
| (4) 生涯学習への取り組み..... | 69 |
| (5) スポーツの頻度..... | 72 |
| 7. 健康づくりのための取り組み..... | 75 |
| (1) 健康づくりについての重要度..... | 75 |
| (2) 健康づくりのための区の取り組みについての満足度..... | 78 |
| (3) 健康づくりのための取り組みとして大切なもの..... | 80 |
| 8. 福祉のための取り組み..... | 84 |
| (1) 福祉についての重要度..... | 84 |
| (2) 福祉のための区の取り組みについての満足度..... | 87 |
| (3) 福祉のための取り組みとして大切なもの..... | 89 |
| 9. 子育てのための取り組み..... | 93 |
| (1) 子育てについての重要度..... | 93 |
| (2) 子育てのための区の取り組みについての満足度..... | 96 |
| (3) 子育てのための取り組みとして大切なもの..... | 99 |
| (4) 子育てについて..... | 103 |
| (5) 子育てへの自信..... | 106 |
| 10. 教育のための取り組み..... | 110 |
| (1) 教育の重要度..... | 110 |
| (2) 教育のための区の取り組みについての満足度..... | 113 |
| (3) 教育のための取り組みとして大切なもの..... | 116 |
| 11. パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み..... | 120 |
| (1) パートナーシップについての重要度..... | 120 |
| (2) パートナーシップのための区の取り組みについての満足度..... | 123 |
| (3) パートナーシップのための取り組みとして大切なもの..... | 126 |
| (4) 地域の活動の状況と今後の活動予定..... | 130 |
| (5) ボランティアやNPO活動と今後の活動予定..... | 134 |
| 12. 行政経営のための取り組み..... | 138 |
| (1) 行政経営についての重要度..... | 138 |
| (2) 行政経営のための区の取り組みについての満足度..... | 141 |
| (3) 行政経営のための取り組みとして大切なもの..... | 143 |

| | |
|----------------------------------|-----|
| 【重要度と満足度の項目間比較】 | 146 |
| 【重要度と満足度の相関】 | 148 |
| 【重要度と満足度の前回調査との比較】 | 158 |
| 【改善要望度】 | 160 |
| 1 3. 施策の優先順位について..... | 161 |
| (1) 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策 | 161 |
| 1 4. 区政や区役所に対する意見・要望（自由意見） | 168 |
| Ⅲ 調査票 | 179 |
| Ⅳ 集計表 | 201 |

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 目的

長期総合計画の施策に対する、区民の満足度等を調査することにより、区が実施している施策の改善を図る。加えて、調査結果を今後の区政における資料として活用する。

2. 対象

満20歳以上の区民1,000人
対象者は、住民基本台帳より無作為抽出

3. 期間

平成20年6月20日（金）～7月22日（火）

4. 内容

- (1) 産業を振興するための取り組み
- (2) 観光を振興するための取り組み
- (3) 文化を振興するための取り組み
- (4) まちづくりのための取り組み
- (5) 環境対策のための取り組み
- (6) 生涯学習のための取り組み
- (7) 健康づくりのための取り組み
- (8) 福祉のための取り組み
- (9) 子育てのための取り組み
- (10) 教育のための取り組み
- (11) パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み
- (12) 行政経営のための取り組み
- (13) 施策の優先順位について
- (14) 区政や区役所に対する意見・要望（自由意見）

5. 調査方法

郵送配布－訪問回収
（訪問回収にあたっては、区職員が300件の回収を担当）

【回収結果】

- ・ 標本数 1,000件
- ・ 有効回収数 733件
- ・ 有効回収率 73.3%

6. 報告書の見方

〔この報告書における表・グラフの見方〕

- 図表の中のnとは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- 比率はnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがある。
- 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- 本文や図表中の選択肢表記では、場合によっては語句を短縮・省略化している。
- 分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「その他」「無回答」は掲載していない。
- nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが25未満の場合は注意を要する。したがって、nが25を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。
- この調査の標本誤差は、おおよそ下表のとおりである。標本誤差は、下式によって得られ、①比率算出の基数（n）および②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数
n = 比率算出の基数
p = 回答の比率

| 回答の比率 (p) 基数(n) | 90%または 10%前後 | 80%または 20%前後 | 70%または 30%前後 | 60%または 40%前後 | 50%前後 |
|-----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------|
| 733 | ±3.1 | ±4.2 | ±4.8 | ±5.1 | ±5.2 |
| 600 | ±3.5 | ±4.6 | ±5.3 | ±5.7 | ±5.8 |
| 500 | ±3.8 | ±5.1 | ±5.8 | ±6.2 | ±6.3 |
| 400 | ±4.2 | ±5.7 | ±6.5 | ±7.0 | ±7.1 |
| 300 | ±4.9 | ±6.5 | ±7.5 | ±8.0 | ±8.2 |
| 200 | ±6.0 | ±8.0 | ±9.2 | ±9.8 | ±10.0 |

(注) 1. 表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出した。

2. 層化を行った場合の誤差は上記表の値よりやや小さくなる。

3. この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答者が733人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも4.8%である。」

7. 調査ブロック

この調査では、居住地域別の分析を行うために下記のとおり調査ブロックを設定した。なお、この報告書では理解を助けるために、便宜上、調査ブロックの後に[]で地域名を付した。

| 調査ブロック | 該当町丁名 |
|-----------------|--|
| 1ブロック [南部地域] | 柳橋1・2丁目、浅草橋1～5丁目、蔵前1～4丁目、台東1～4丁目、小島1・2丁目、鳥越1・2丁目、三筋1・2丁目、元浅草1～4丁目、寿1～4丁目、駒形1・2丁目 |
| 2ブロック [浅草地域] | 松が谷1～4丁目、西浅草1～3丁目、雷門1・2丁目、浅草1～6丁目、花川戸1・2丁目 |
| 3ブロック [北部地域] | 今戸1・2丁目、浅草7丁目、東浅草1・2丁目、清川1・2丁目、日本堤1・2丁目、橋場1・2丁目 |
| 4ブロック [西部地域] | 千束1～4丁目、竜泉1～3丁目、三ノ輪1・2丁目、入谷1・2丁目、下谷2・3丁目、根岸1～5丁目 |
| 5ブロック [谷中地域] | 上野桜木1・2丁目、谷中1～7丁目、池之端3・4丁目 |
| 6ブロック [上野地域] | 上野1～7丁目、秋葉原、東上野1～6丁目、北上野1・2丁目、下谷1丁目、池之端1・2丁目、上野公園 |

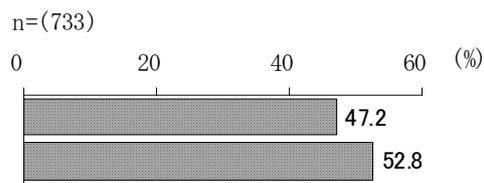
図1 地域区分図



8. 回答者の属性

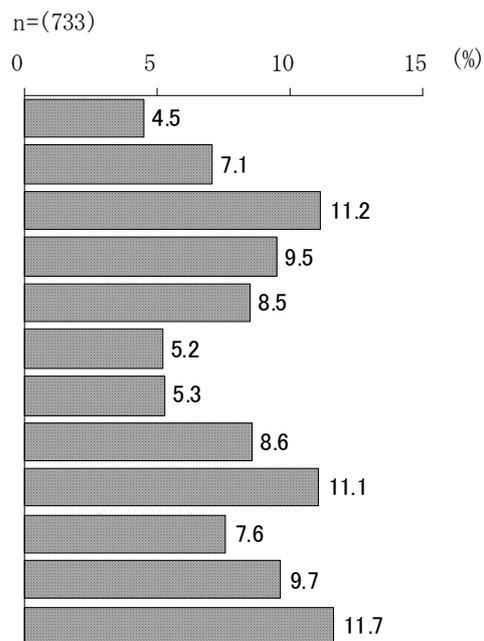
(1) F1 性別

| | 基数 | 構成比 |
|-------|-----|-------|
| 1. 男性 | 346 | 47.2% |
| 2. 女性 | 387 | 52.8 |
| 全体 | 733 | 100.0 |



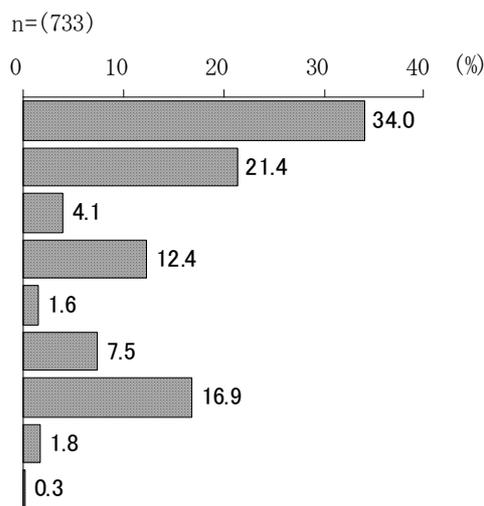
(2) F2 年齢

| | 基数 | 構成比 |
|------------|-----|-------|
| 1. 20～24歳 | 33 | 4.5% |
| 2. 25～29歳 | 52 | 7.1 |
| 3. 30～34歳 | 82 | 11.2 |
| 4. 35～39歳 | 70 | 9.5 |
| 5. 40～44歳 | 62 | 8.5 |
| 6. 45～49歳 | 38 | 5.2 |
| 7. 50～54歳 | 39 | 5.3 |
| 8. 55～59歳 | 63 | 8.6 |
| 9. 60～64歳 | 81 | 11.1 |
| 10. 65～69歳 | 56 | 7.6 |
| 11. 70～74歳 | 71 | 9.7 |
| 12. 75歳以上 | 86 | 11.7 |
| 全体 | 733 | 100.0 |



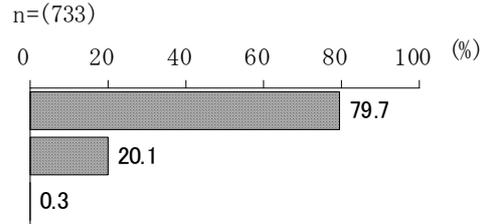
(3) F3 職業

| | 基数 | 構成比 |
|--------------|-----|-------|
| 1. 会社員・公務員 | 249 | 34.0% |
| 2. 自営業・自由業 | 157 | 21.4 |
| 3. 会社経営者 | 30 | 4.1 |
| 4. 家事専業 | 91 | 12.4 |
| 5. 学生 | 12 | 1.6 |
| 6. アルバイト・パート | 55 | 7.5 |
| 7. 無職 | 124 | 16.9 |
| 8. その他 | 13 | 1.8 |
| (無回答) | 2 | 0.3 |
| 全体 | 733 | 100.0 |



(4) F4 同居者の有無

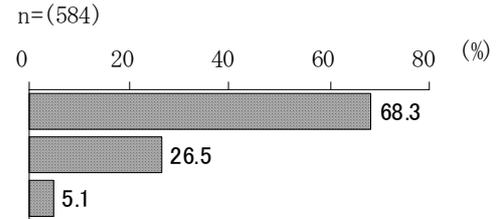
| | 基数 | 構成比 |
|--------|-----|-------|
| 1. いる | 584 | 79.7% |
| 2. いない | 147 | 20.1 |
| (無回答) | 2 | 0.3 |
| 全 体 | 733 | 100.0 |



(5) F5 同居者

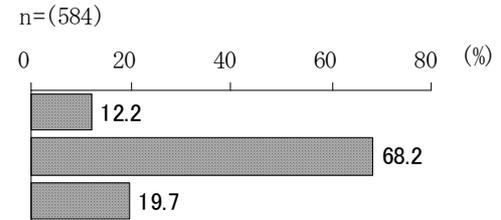
《配偶者》

| | 基数 | 構成比 |
|--------|-----|-------|
| 1. いる | 399 | 68.3% |
| 2. いない | 155 | 26.5 |
| (無回答) | 30 | 5.1 |
| 全 体 | 584 | 100.0 |



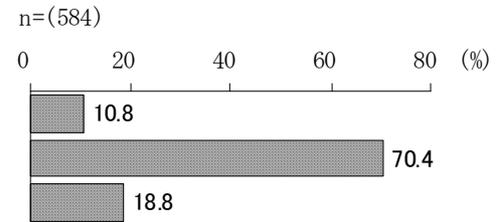
《小学校入学前のお子さん》

| | 基数 | 構成比 |
|--------|-----|-------|
| 1. いる | 71 | 12.2% |
| 2. いない | 398 | 68.2 |
| (無回答) | 115 | 19.7 |
| 全 体 | 584 | 100.0 |



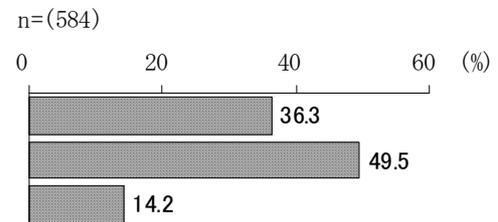
《小・中学生》

| | 基数 | 構成比 |
|--------|-----|-------|
| 1. いる | 63 | 10.8% |
| 2. いない | 411 | 70.4 |
| (無回答) | 110 | 18.8 |
| 全 体 | 584 | 100.0 |



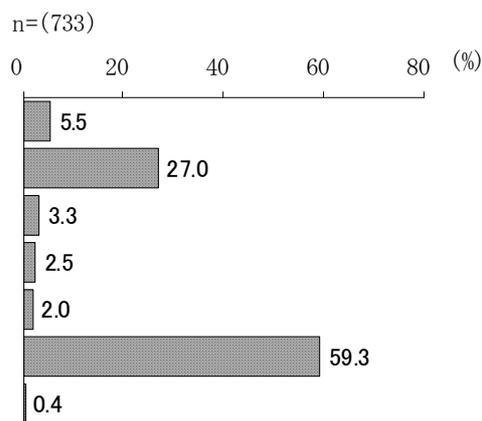
《65歳以上の方》

| | 基数 | 構成比 |
|--------|-----|-------|
| 1. いる | 212 | 36.3% |
| 2. いない | 289 | 49.5 |
| (無回答) | 83 | 14.2 |
| 全 体 | 584 | 100.0 |



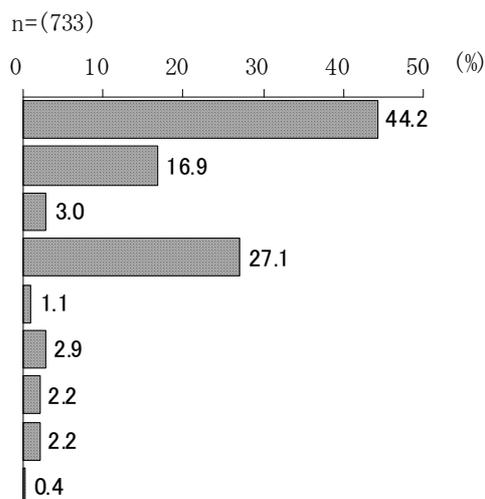
(6) F6 居住年数

| | 基数 | 構成比 |
|-----------|-----|-------|
| 1. 1年未満 | 40 | 5.5% |
| 2. 1～5年 | 198 | 27.0 |
| 3. 6～10年 | 24 | 3.3 |
| 4. 11～15年 | 18 | 2.5 |
| 5. 16～20年 | 15 | 2.0 |
| 6. 21年以上 | 435 | 59.3 |
| (無回答) | 3 | 0.4 |
| 全体 | 733 | 100.0 |



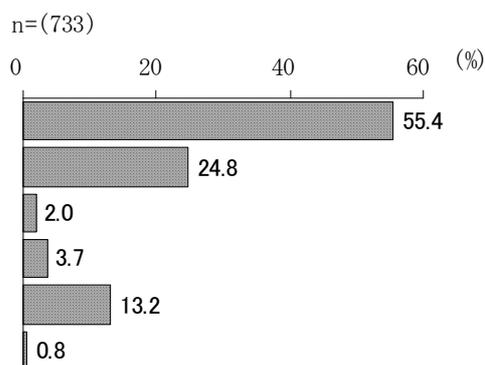
(7) F7 住居形態

| | 基数 | 構成比 |
|-----------------|-----|-------|
| 1. 一戸建て持家 | 324 | 44.2% |
| 2. 分譲マンション | 124 | 16.9 |
| 3. 一戸建て借家 | 22 | 3.0 |
| 4. 賃貸アパート・マンション | 199 | 27.1 |
| 5. 公営住宅 | 8 | 1.1 |
| 6. 社宅等 | 21 | 2.9 |
| 7. 同居、間借り | 16 | 2.2 |
| 8. その他 | 16 | 2.2 |
| (無回答) | 3 | 0.4 |
| 全体 | 733 | 100.0 |



(8) F8 定住意向

| | 基数 | 構成比 |
|----------------|-----|-------|
| 1. 住み続けるつもりである | 406 | 55.4% |
| 2. できれば住み続けたい | 182 | 24.8 |
| 3. できれば移転したい | 15 | 2.0 |
| 4. 移転するつもりである | 27 | 3.7 |
| 5. 分からない | 97 | 13.2 |
| (無回答) | 6 | 0.8 |
| 全体 | 733 | 100.0 |



Ⅱ 調査結果の分析

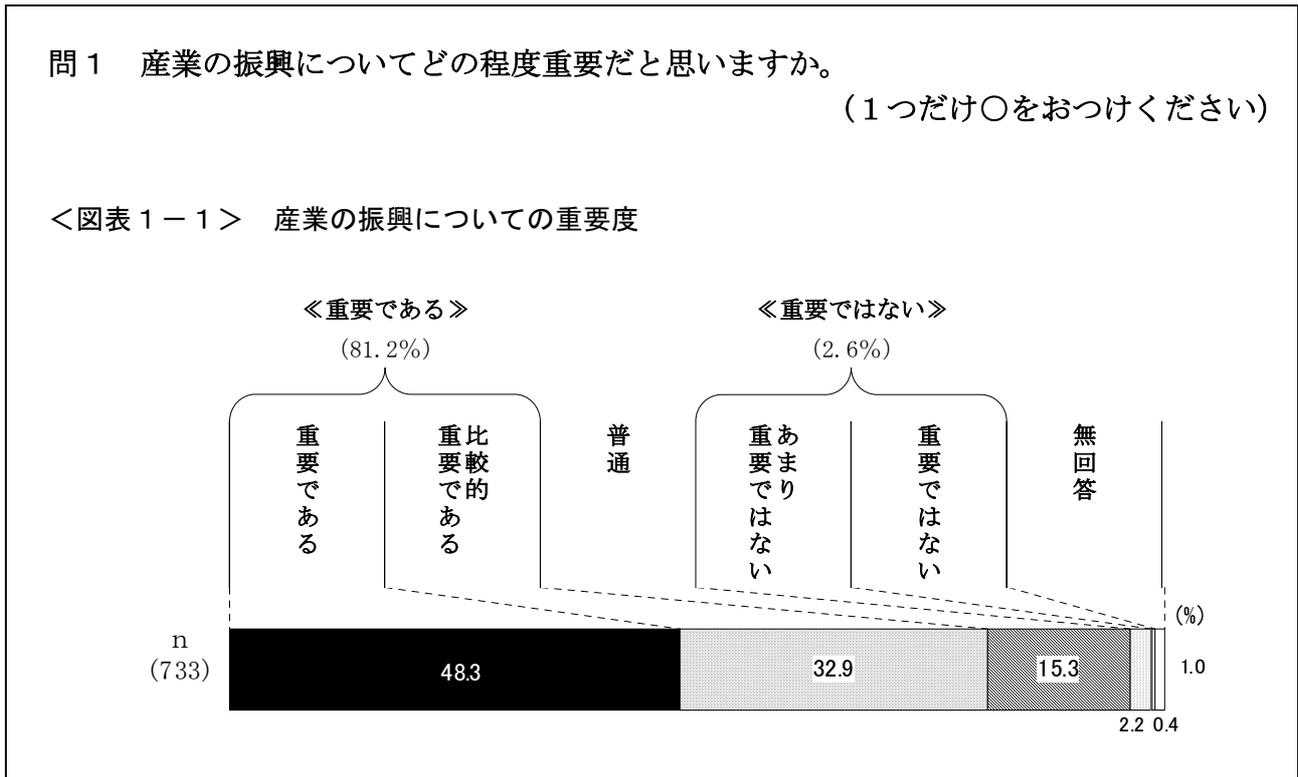
1. 産業を振興するための取り組み

◆ 台東区には、上野、浅草など、大きな商業地があり、さまざまな産業が集まっています。しかし、小さな会社や商店が多く、景気などの影響をうけやすい面があります。

区では、中小企業への融資や相談などの経営への支援、地場産業や商店街の振興など、産業全体の活性化に取り組んでいます。

(1) 産業の振興についての重要度

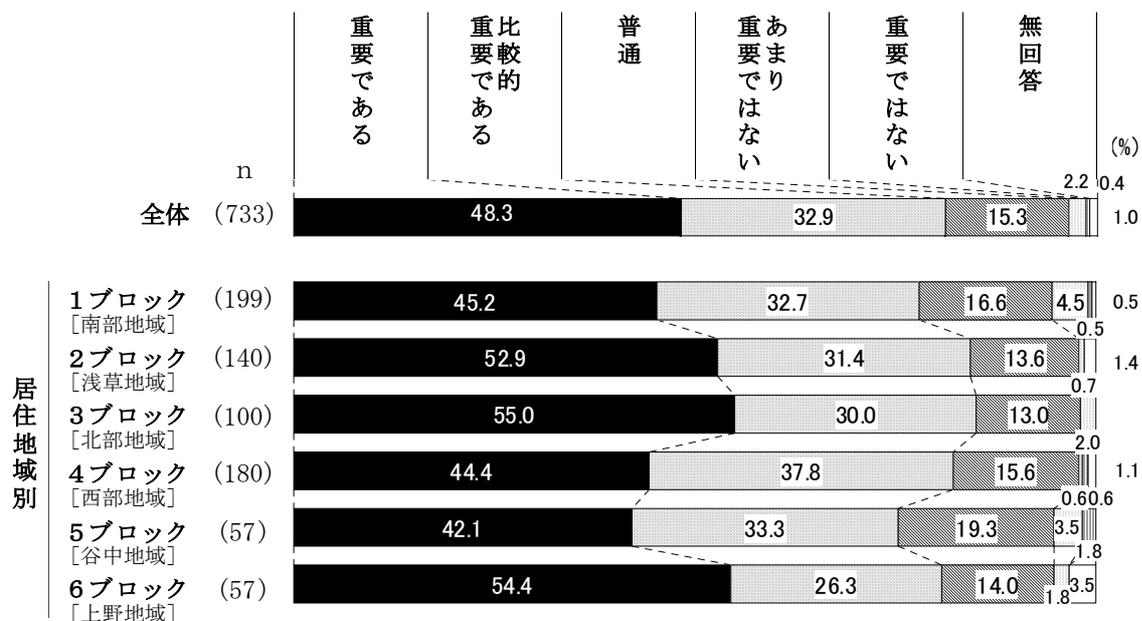
◇ 《重要である》が8割を超える



産業の振興についてどの程度重要か聞いたところ、「重要である」(48.3%)が約5割となっている。これに「比較的重要な」(32.9%)を合わせると、《重要である》は81.2%で8割を超える。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は2.6%である。(図表1-1)

居住地域別でみると、《重要である》は3ブロック[北部地域] (85.0%) と2ブロック [浅草地域] (84.3%) で8割台半ばとなっている。しかし、より強い回答である「重要である」に限れば、3ブロック[北部地域] (55.0%) とともに、6ブロック [上野地域] (54.4%) も5割台半ばと高く、次いで2ブロック [浅草地域] (52.9%) が5割を超える。(図表1-2)

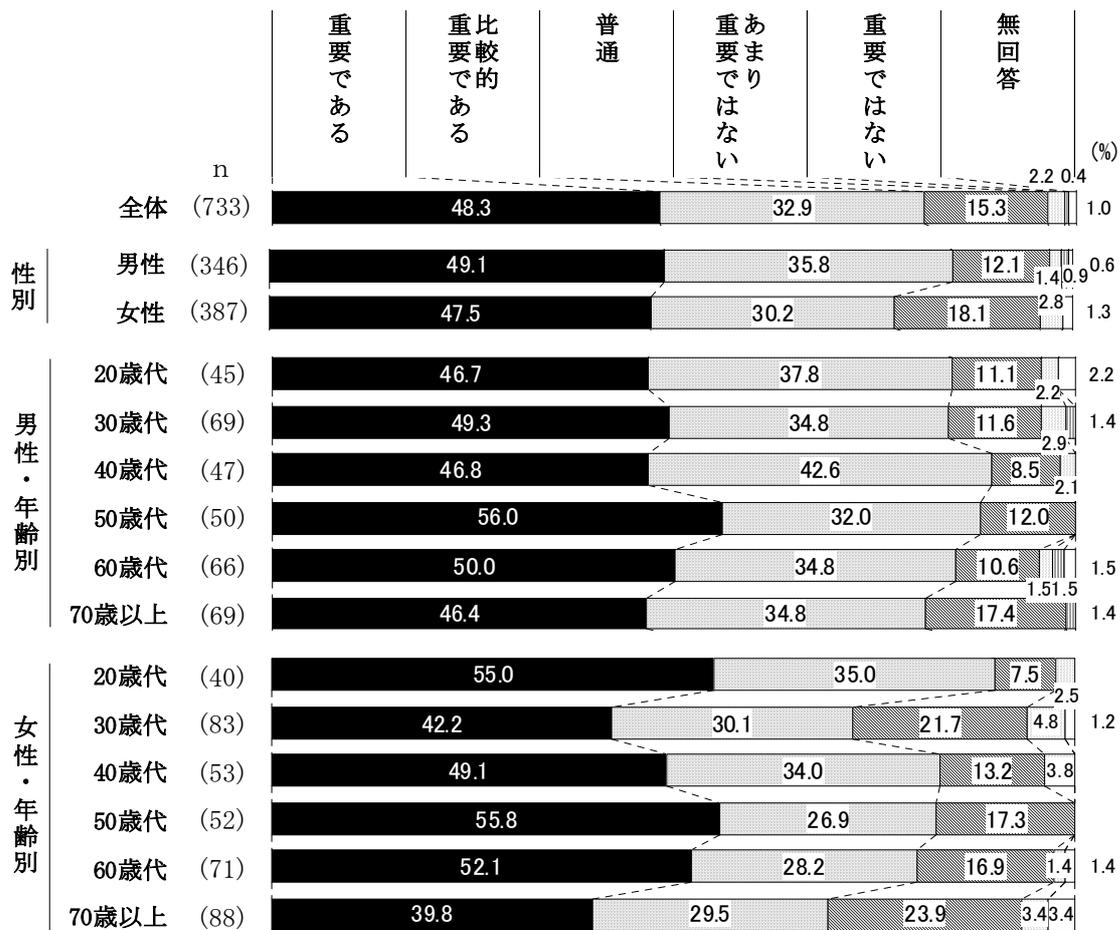
＜図表1-2＞ 産業の振興についての重要度 居住地域別



性別でみると、《重要である》は男性（84.9%）の方が女性（77.7%）よりも7ポイント高くなっている。

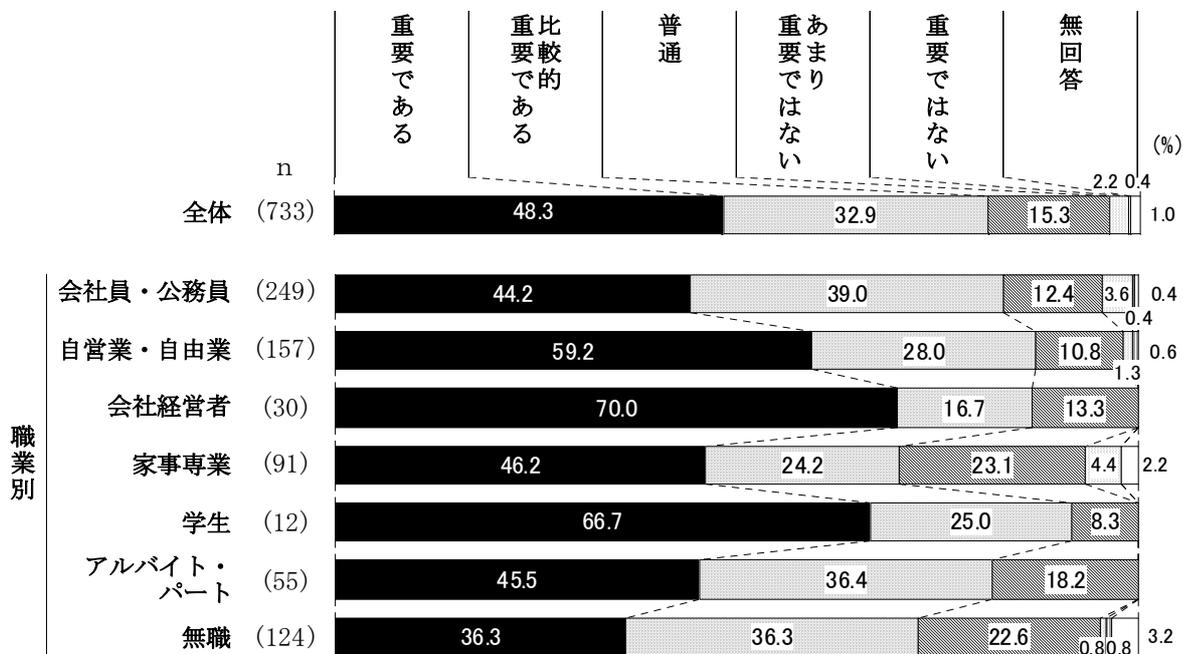
性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では40歳代（89.4%）と50歳代（88.0%）が約9割で高く、女性では20歳代（90.0%）が9割で最も高い。なお、より強い回答である「重要である」は、男性の50歳代（56.0%）と女性の20歳代（55.0%）のほか、女性の50歳代（55.8%）も5割台半ばで高くなっている。（図表1-3）

＜図表1-3＞ 産業の振興についての重要度 性別／性・年齢別



職業別でみると、《重要である》は、自営業・自由業（87.2%）が約9割で最も高く、僅差で会社経営者（86.7%）が続く、会社員・公務員（83.2%）、アルバイト・パート（81.9%）も8割を超える。（図表1-4）

＜図表1-4＞ 産業の振興についての重要度 職業別



※ “学生” については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

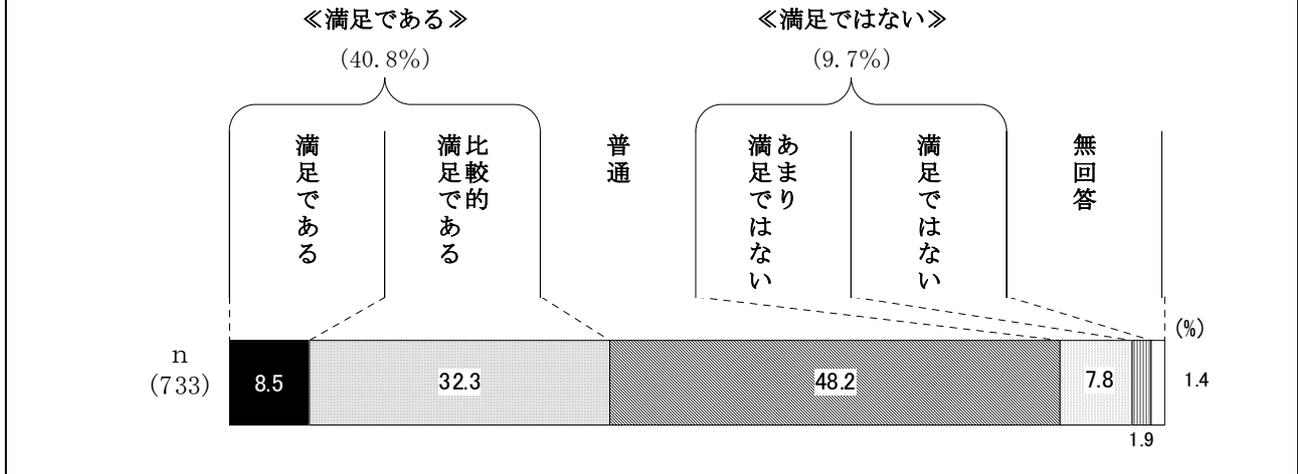
(2) 産業の振興への区の取り組みについての満足度

◇「普通」が約5割、「満足である」は4割

問2 産業の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

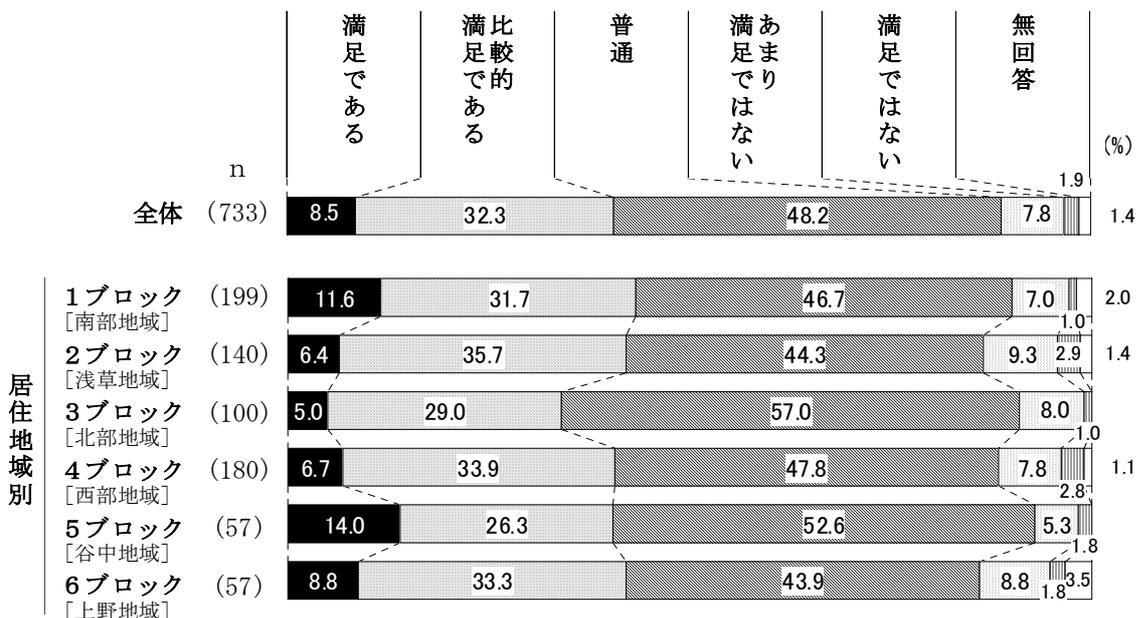
<図表1-5> 産業の振興への区の取り組みについての満足度



産業の振興への区の取り組みについて、どの程度満足しているかを聞いたところ、「普通」(48.2%)が約5割で最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は40.8%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は9.7%である。(図表1-5)

居住地域別でみると、「普通」は3ブロック[北部地域](57.0%)が約6割で最も高く、このブロックは《満足である》(34.0%)が3割台半ばにとどまる。また、《満足ではない》は2ブロック[浅草地域](12.2%)が1割を超え最も高くなっている。(図表1-6)

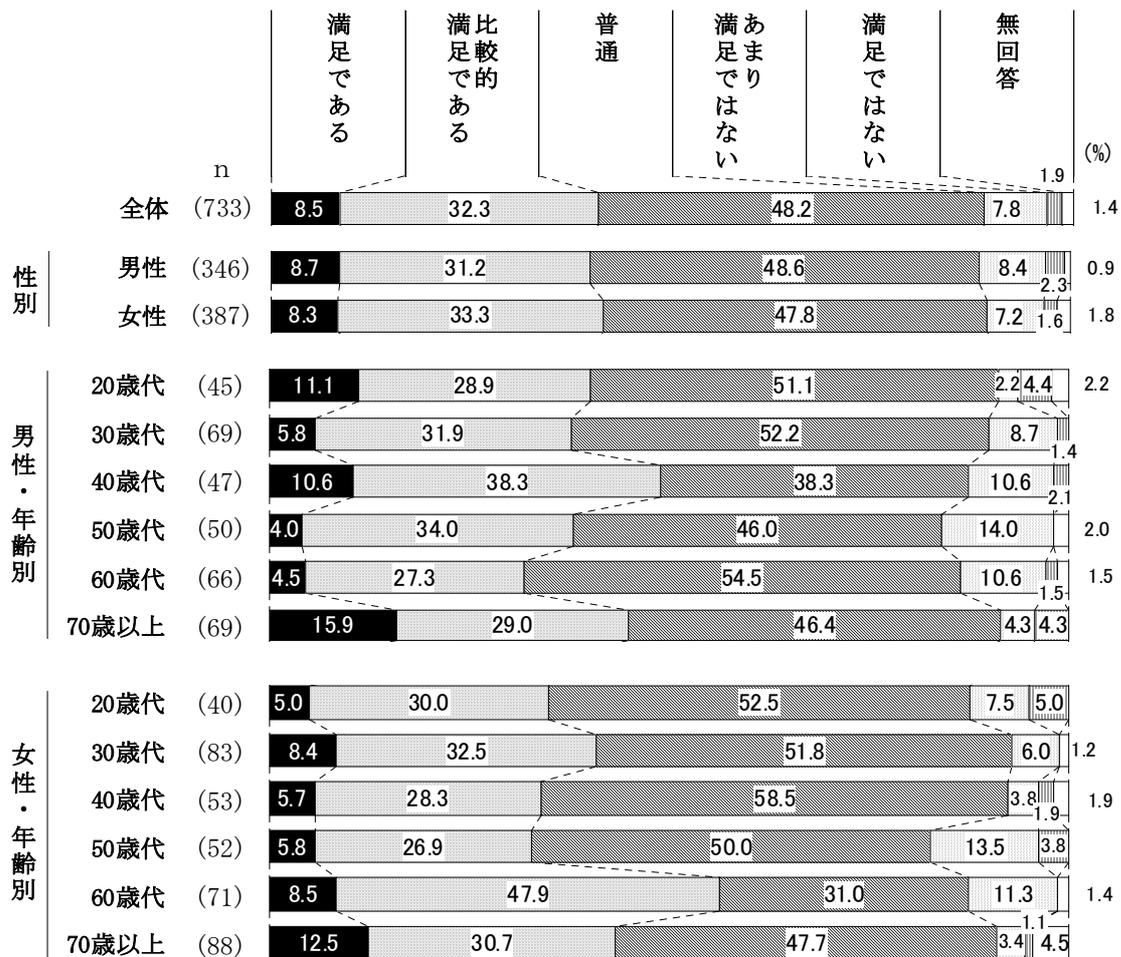
<図表1-6> 産業の振興への区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

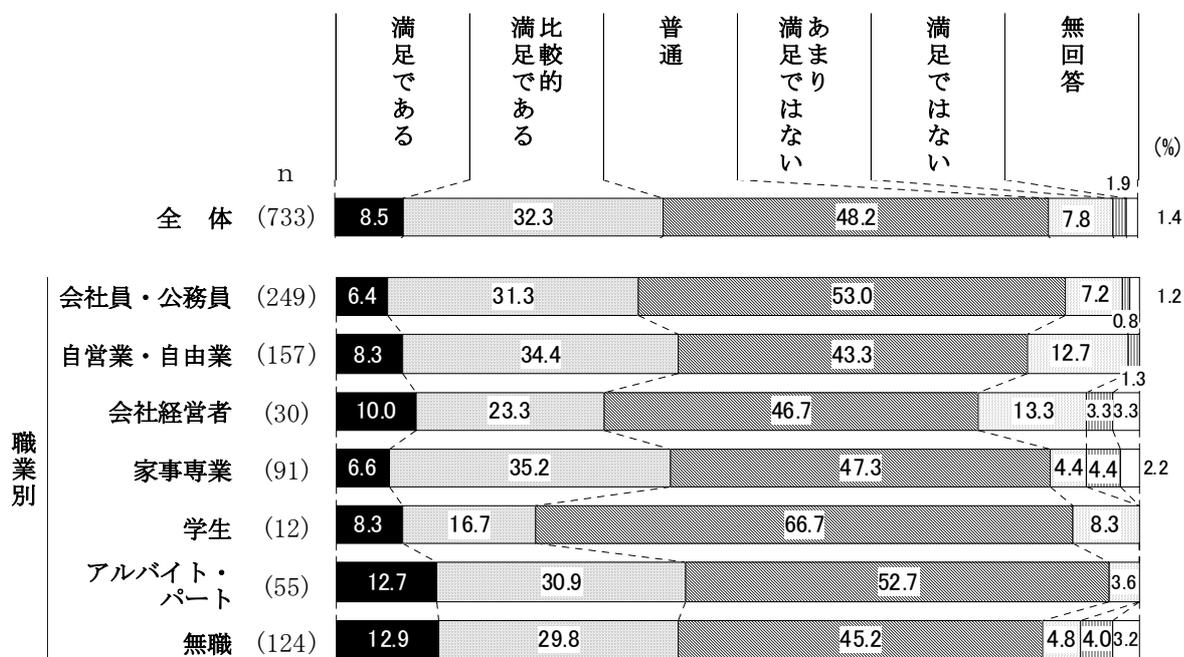
性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では40歳代（48.9%）が約5割で最も高く、次いで70歳以上（44.9%）が4割台半ばとなっている。女性では、60歳代（56.4%）が5割台半ばで最も高い。一方、《満足ではない》は、女性の50歳代（17.3%）が約2割で最も高くなっている。（図表1－7）

＜図表1－7＞ 産業の振興への区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



職業別でみると、《満足である》は、アルバイト・パート（43.6%）が4割台半ばで最も高く、次いで自営業・自由業（42.7%）と無職（42.7%）が4割を超えている。一方、《満足ではない》は、会社経営者（16.6%）と自営業・自由業（14.0%）が1割台半ばで高くなっている。（図表1-8）

＜図表1-8＞ 産業の振興への区の取り組みについての満足度 職業別



※ “学生” については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

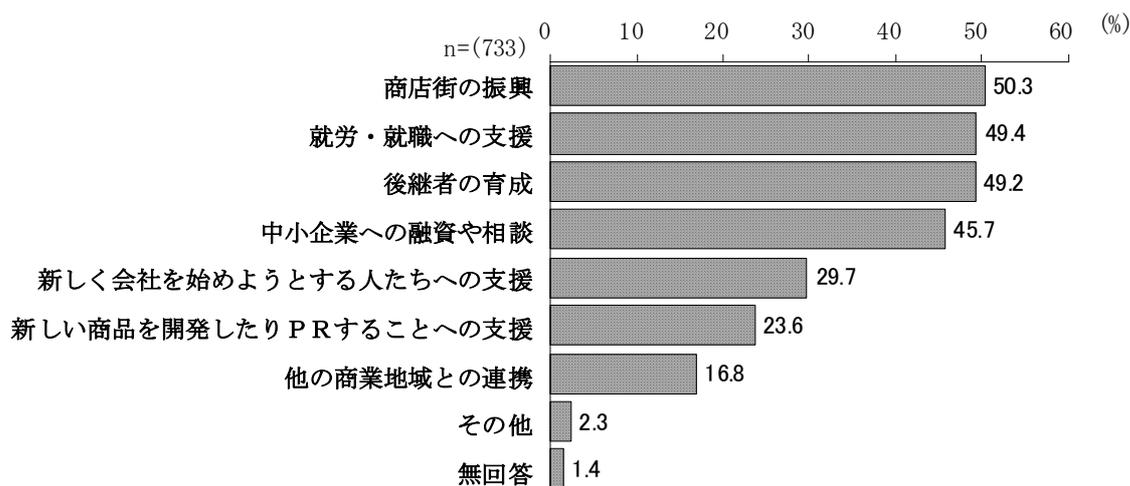
(3) 産業の振興のための取り組みとして大切なもの

◇「商店街の振興」が5割、僅差で「就労・就職への支援」、「後継者の育成」が続く

問3 産業の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

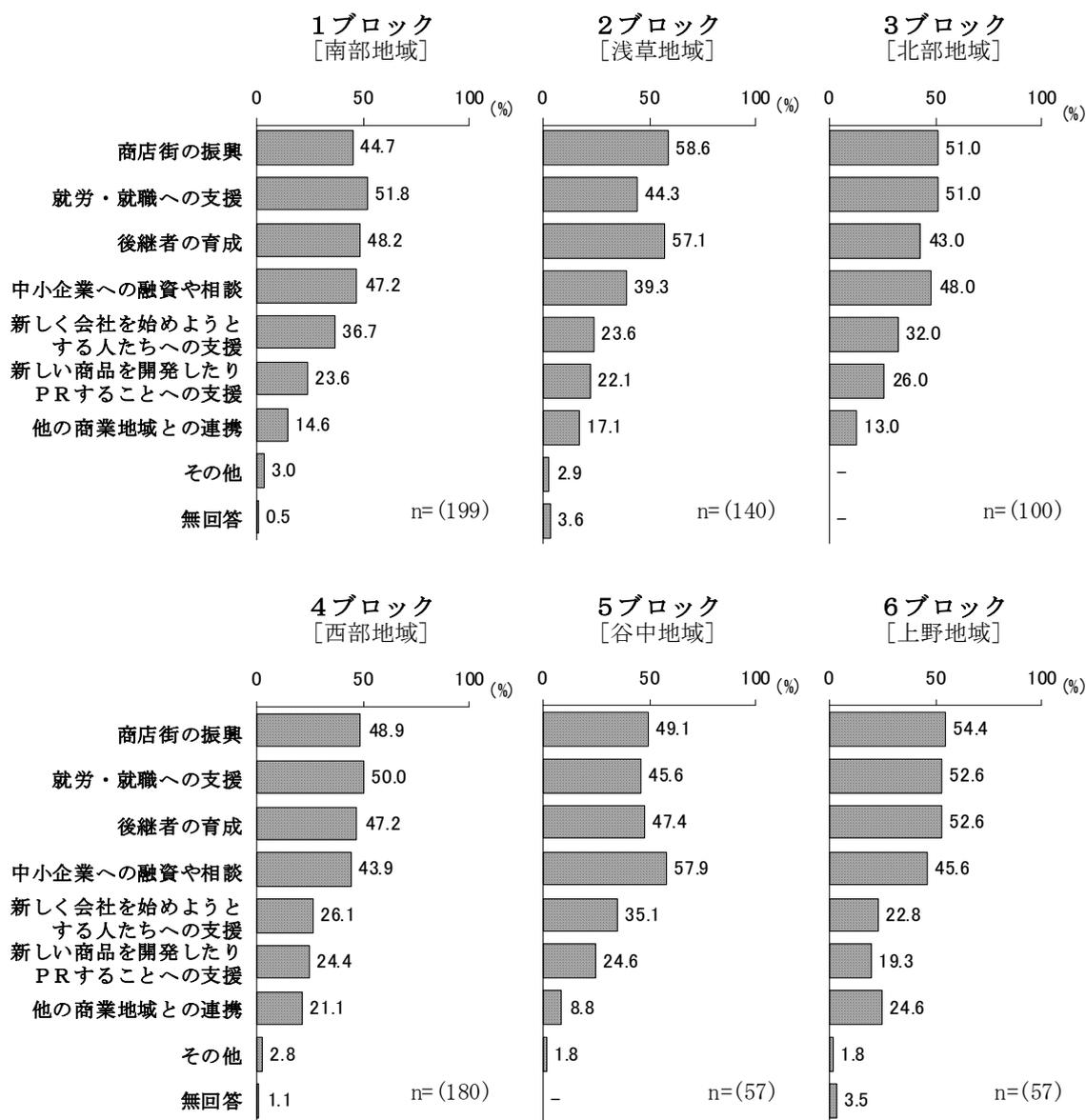
<図表1-9> 産業の振興のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



産業の振興のため、どのような取り組みが大切かを聞いたところ、「商店街の振興」(50.3%)が5割で最も高く、僅差で「就労・就職への支援」(49.4%)と「後継者の育成」(49.2%)が続いている。このほか、「中小企業への融資や相談」(45.7%)が4割台半ばとなっている。(図表1-9)

居住地域別でみると、2ブロック[浅草地域]は「商店街の振興」(58.6%)と「後継者の育成」(57.1%)が約6割、5ブロック[谷中地域]は「中小企業への融資や相談」(57.9%)が約6割で、これらは他の居住地域に比べて高くなっている。(図表1-10)

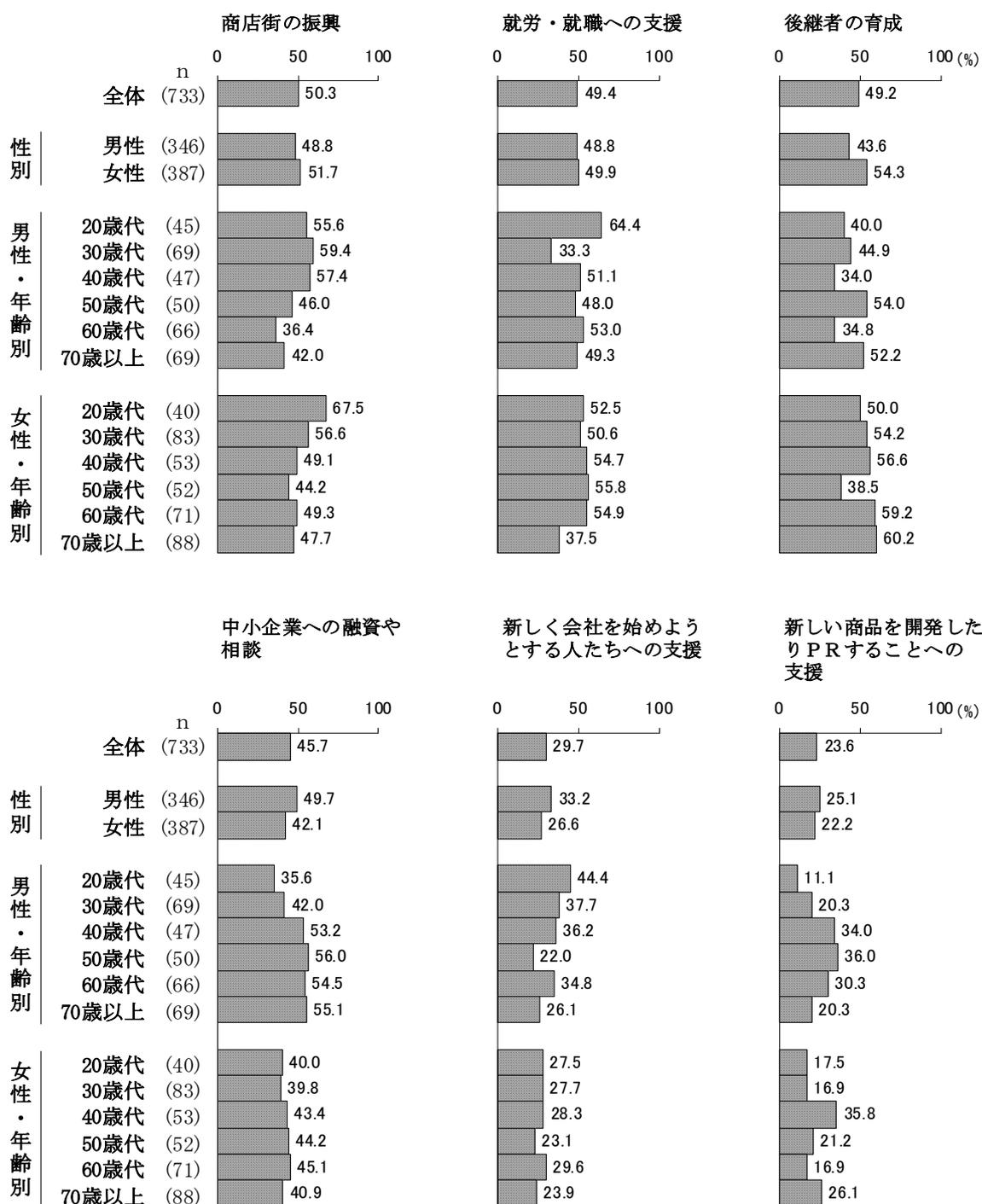
<図表1-10> 産業の振興のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別で見ると、「後継者の育成」は、女性（54.3%）の方が男性（43.6%）よりも11ポイント高くなっている。逆に、「中小企業への融資や相談」は男性（49.7%）が女性（42.1%）を8ポイント、「新しく会社を始めようとする人たちへの支援」でも男性（33.2%）は女性（26.6%）を7ポイント上回っている。

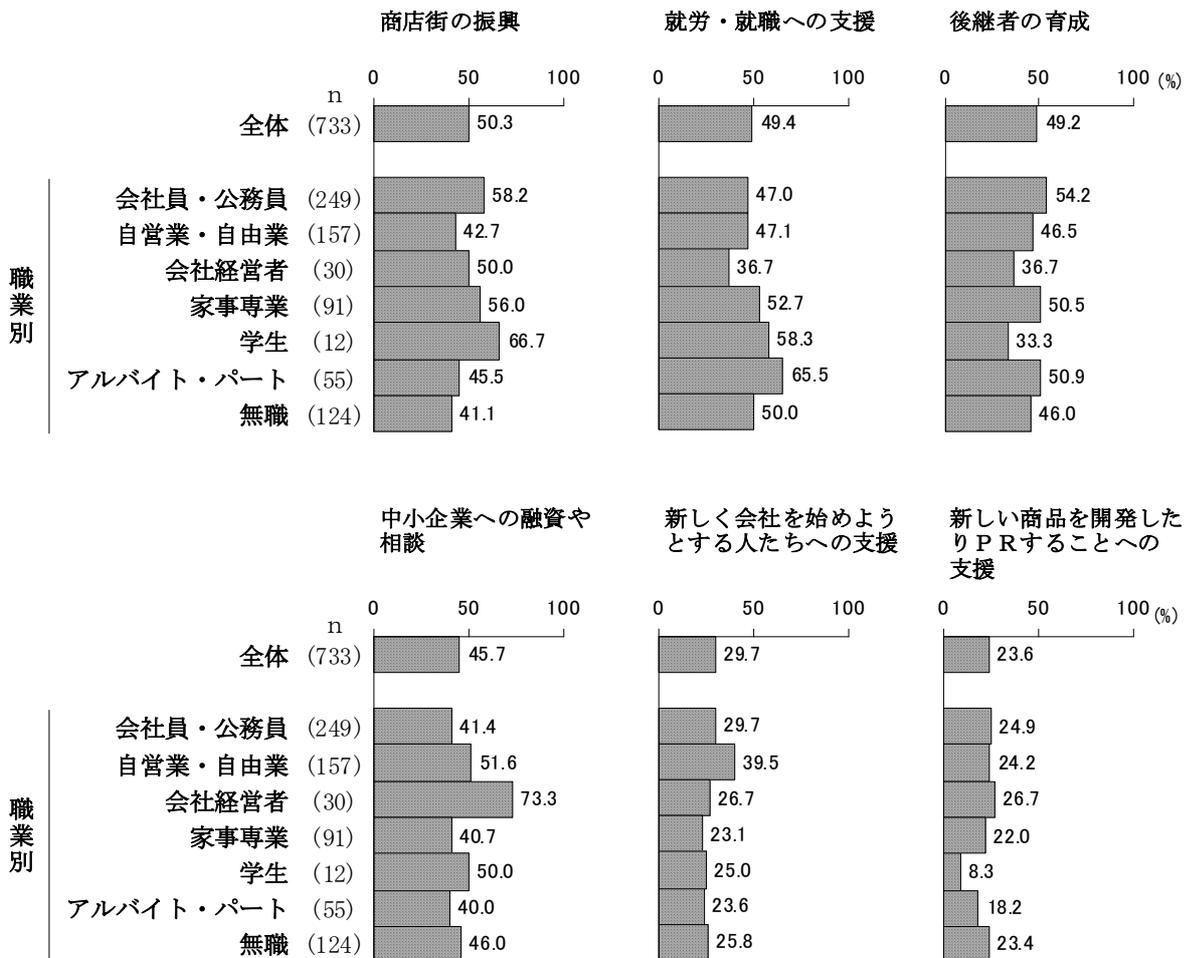
性・年齢別で見ると、「商店街の振興」は女性の20歳代（67.5%）が約7割で最も高くなっている。「就労・就職への支援」は男性の20歳代（64.4%）が6割台半ばで最も高く、この層は「新しく会社を始めようとする人たちへの支援」（44.4%）でも4割台半ばで最も高くなっている。また、「後継者の育成」は女性の60歳代（59.2%）と70歳以上（60.2%）で6割前後と高い。（図表1-11）

<図表1-11> 産業の振興のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



職業別でみると、「商店街の振興」は、会社員・公務員（58.2%）が約6割で最も高く、次いで家事専業（56.0%）が5割台半ばとなっている。「後継者の育成」は、会社・公務員（54.2%）が5割台半ばで最も高く、次いでアルバイト・パート（50.9%）と家事専業（50.5%）が5割で並ぶ。また、「中小企業への融資や相談」は、会社経営者（73.3%）が7割台半ばで最も高くなっている。（図表1-12）

＜図表1-12＞ 産業の振興のための取り組みとして大切なもの 職業別（上位6項目）



※ “学生” については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

2. 観光を振興するための取り組み

◆ 台東区には、上野、浅草という、全国的な観光地があり、さまざまな行事などで年間3,400万人を超える人たちが訪れています。

また、史跡や博物館、芸能など、豊かな観光資源があります。

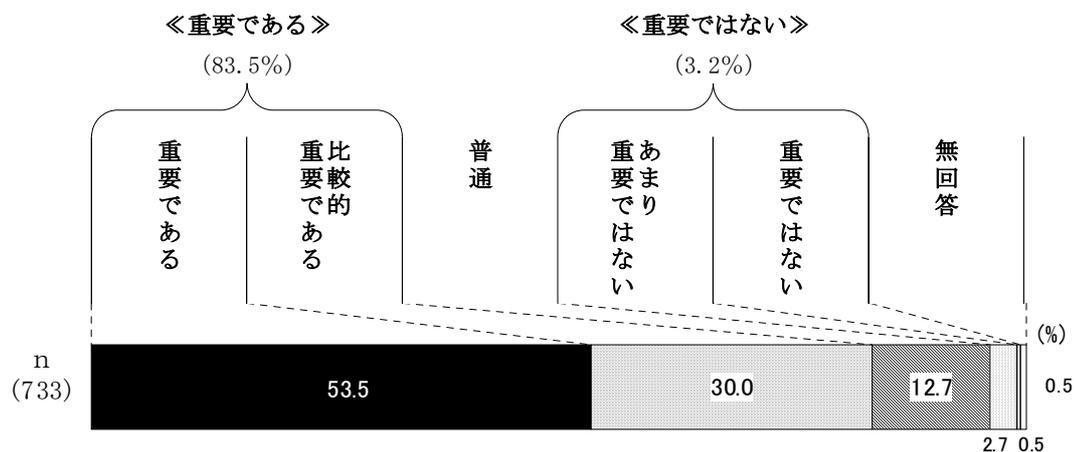
この特徴を活かして、より魅力のあるまちにするため、観光コースの整備や、観光案内の充実、おもてなし運動などに取り組んでいます。

(1) 観光の振興についての重要度

◇ 《重要である》が8割台半ば

問4 観光の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

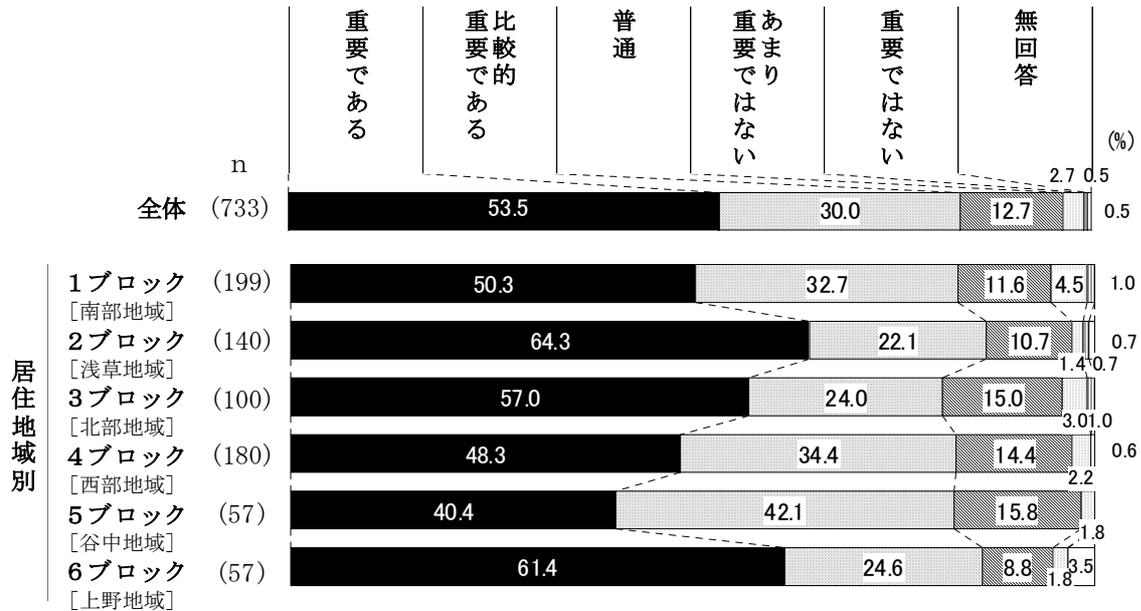
<図表2-1> 観光の振興についての重要度



観光の振興がどの程度重要かを聞いたところ、「重要である」(53.5%)が5割台半ばで最も高くなっている。これに「比較的重要な」(30.0%)を合わせると、《重要である》は83.5%で8割台半ばとなっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は3.2%である。(図表2-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、2ブロック[浅草地域] (86.4%) と6ブロック[上野地域] (86.0%) が8割台半ばで高くなっている。これらの2つのブロックは、より強い回答である「重要である」でも、2ブロック[浅草地域] (64.3%) が6割台半ば、6ブロック[上野地域] (61.4%) が6割を超え高くなっている。(図表2-2)

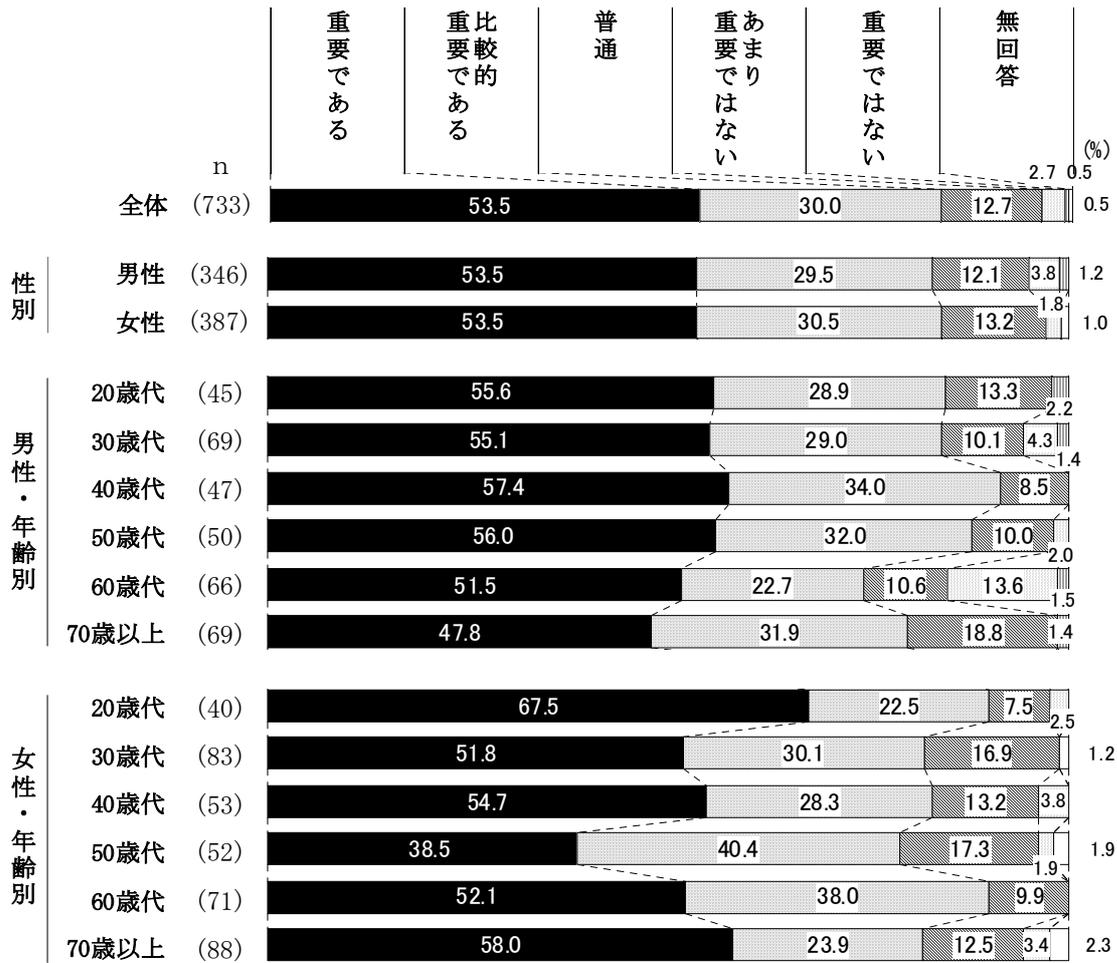
＜図表2-2＞ 観光の振興についての重要度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

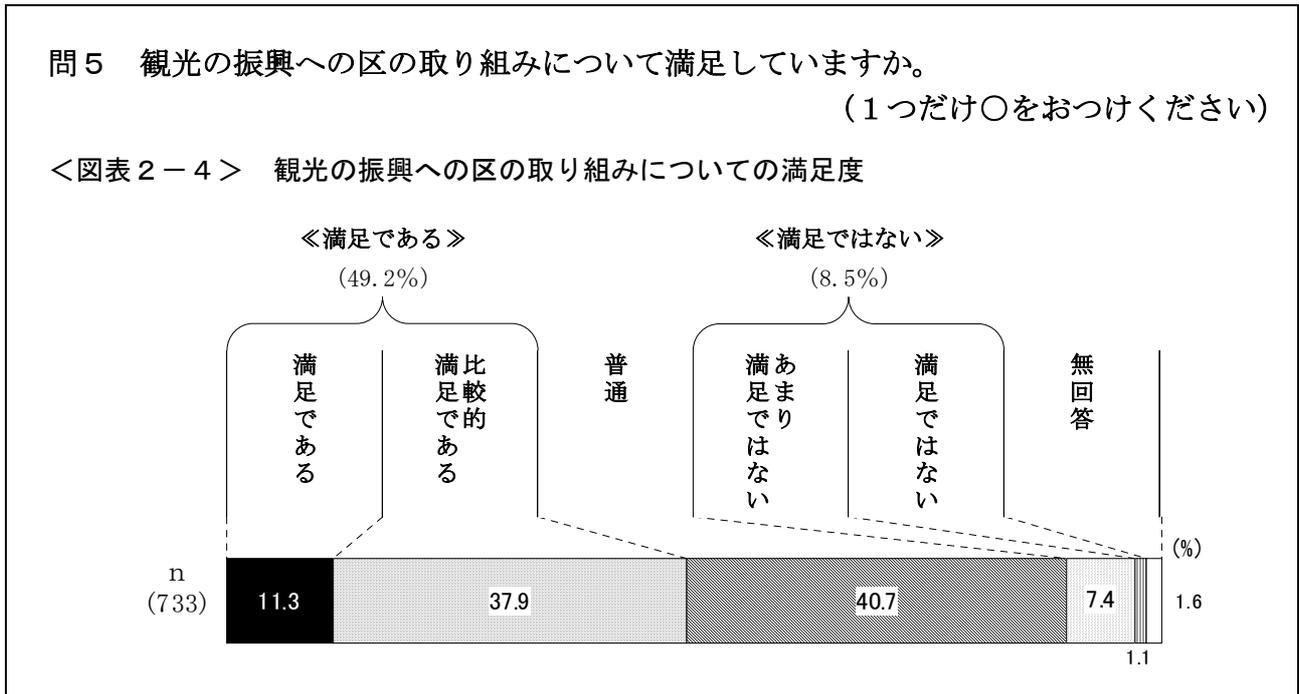
性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では40歳代（91.4%）が9割を超え、女性では60歳代（90.1%）と20歳代（90.0%）が9割で高くなっている。特に、より強い回答である「重要である」は女性の20歳代（67.5%）で約7割である。一方、《重要ではない》は、男性の60歳代（15.1%）が1割台半ばで最も高くなっている。（図表2-3）

＜図表2-3＞ 観光の振興についての重要度 性別／性・年齢別



(2) 観光の振興への区の取り組みについての満足度

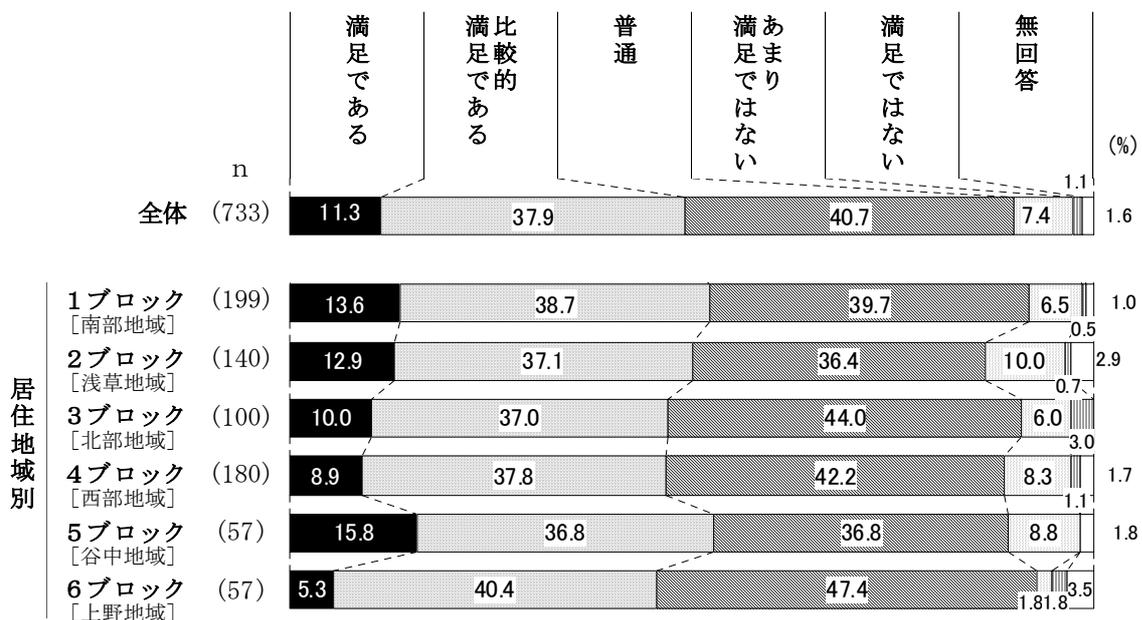
◇ 《満足である》が約5割



観光の振興への区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、《満足である》（「満足である」と「比較的満足である」の合計）は49.2%で約5割となっている。一方、《満足ではない》（「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計）は8.5%である。（図表2-4）

居住地域別でみると、《満足である》は、5ブロック[谷中地域]（52.6%）と1ブロック[南部地域]（52.3%）で5割を超え高く、次いで2ブロック[浅草地域]（50.0%）が5割となっている。（図表2-5）

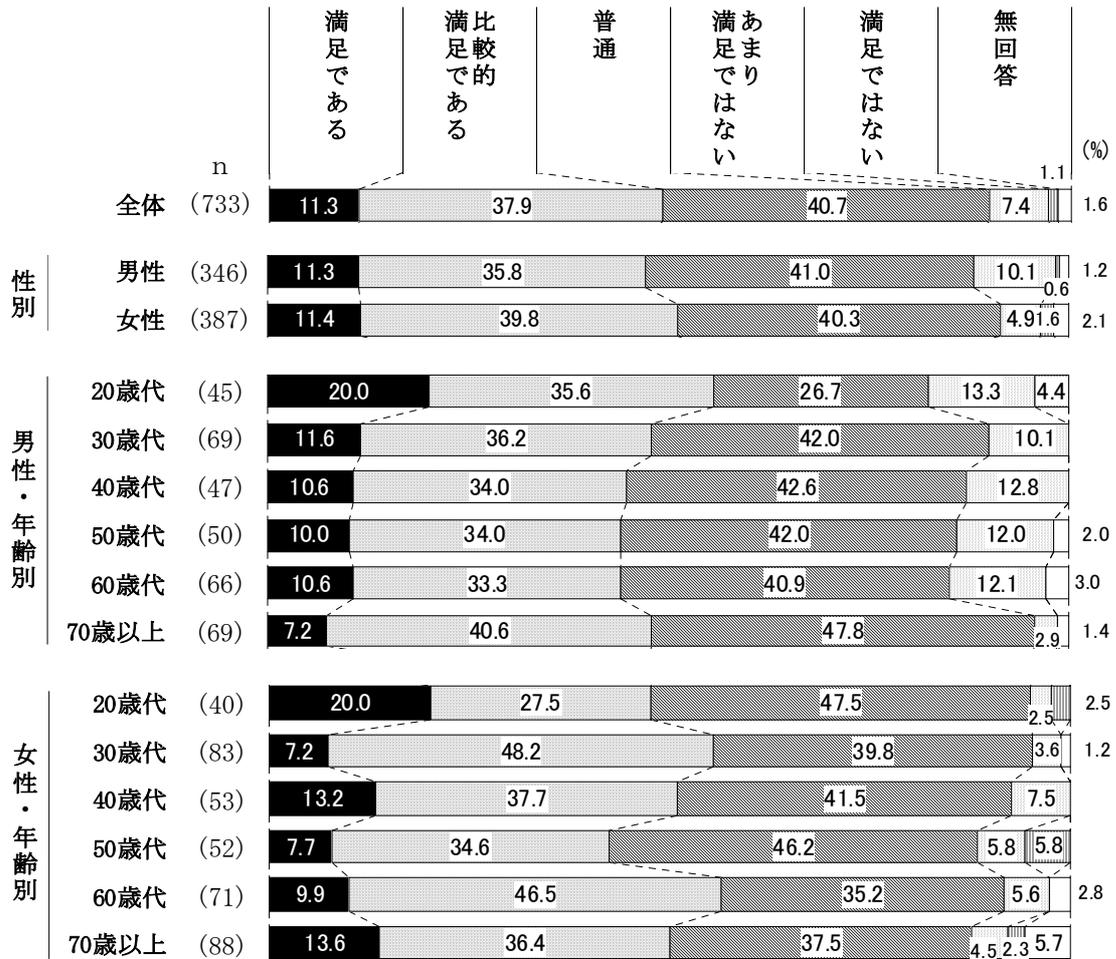
<図表2-5> 観光の振興への区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では20歳代（55.6%）が、女性では60歳代（56.4%）と30歳代（55.4%）が5割台半ばで高くなっている。一方、《満足ではない》でも、男性の20歳代（17.7%）は約2割と高い。（図表2-6）

＜図表2-6＞ 観光の振興への区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



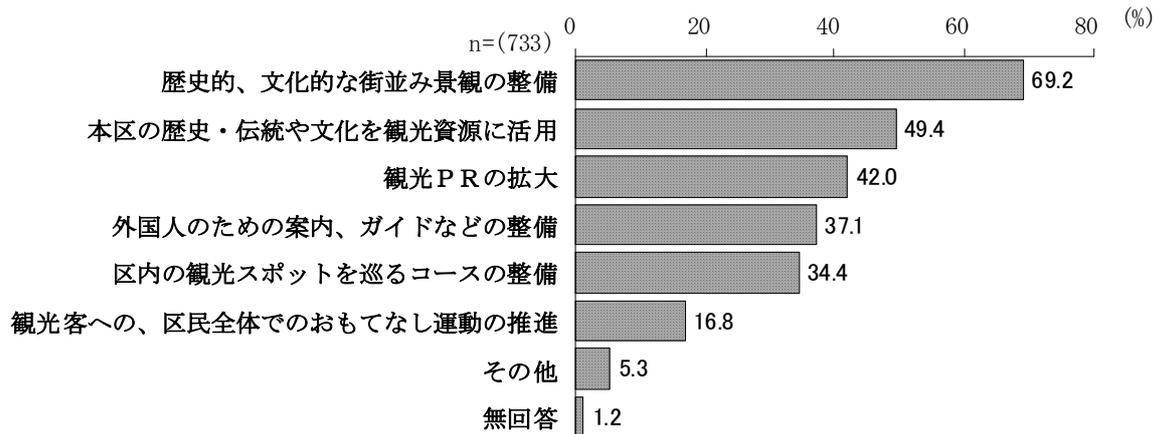
(3) 観光の振興のための取り組みとして大切なもの

◇「歴史的、文化的な街並み景観の整備」が約7割

問6 観光の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

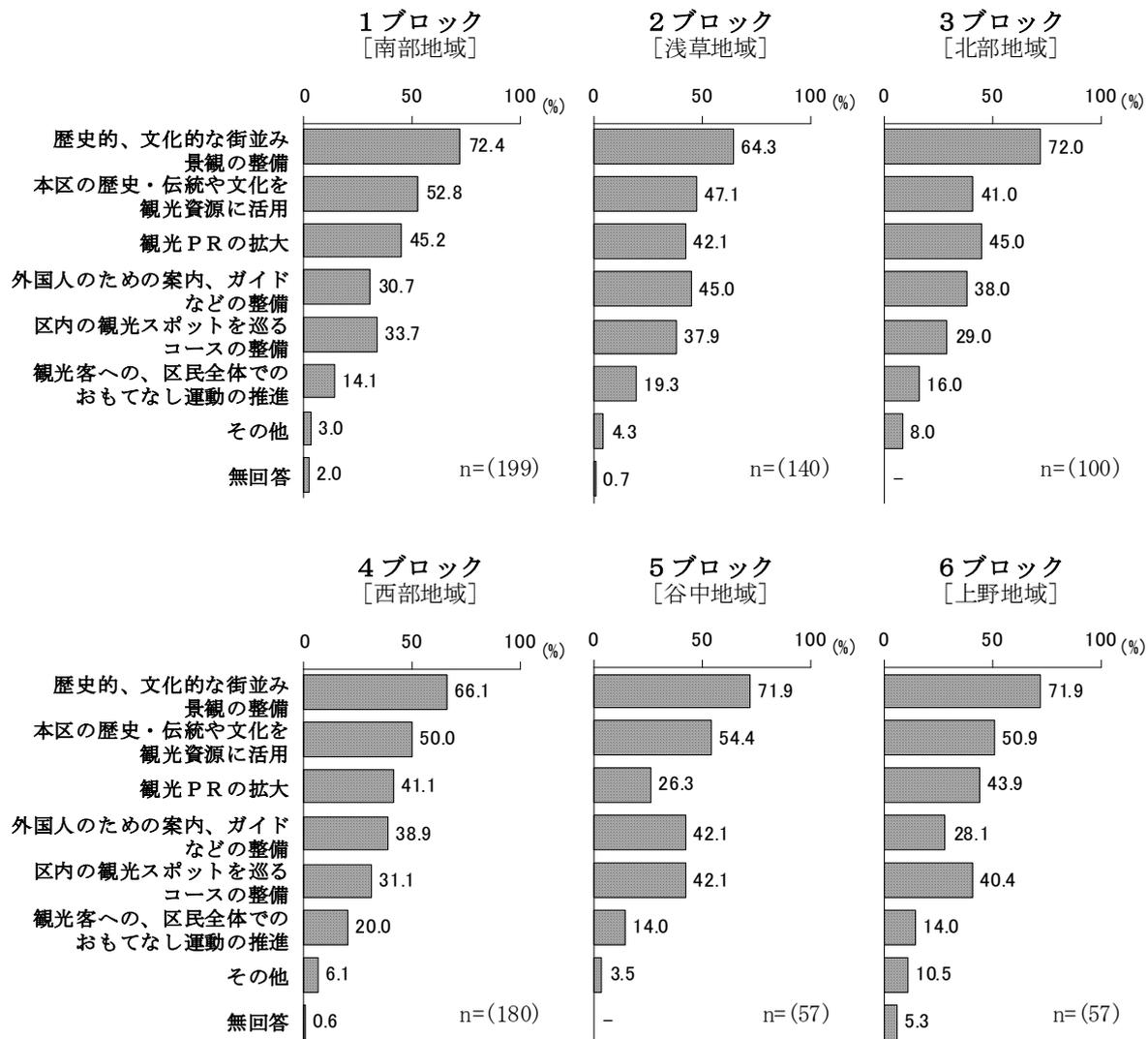
<図表2-7> 観光の振興のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



観光の振興のための取り組みとして、大切なものを聞いたところ、「歴史的、文化的な街並み景観の整備」(69.2%)が約7割で最も高くなっている。次いで、「本区の歴史・伝統や文化を観光資源に活用」(49.4%)が約5割、「観光PRの拡大」(42.0%)が4割を超える。(図表2-7)

居住地域別でみると、いずれも「歴史的、文化的な街並み景観の整備」が高くなっており、中でも、1ブロック[南部地域](72.4%)、3ブロック[北部地域](72.0%)、5ブロック[谷中地域](71.9%)、6ブロック[上野地域](71.9%)は7割を超える。また、「観光PRの拡大」は5ブロック[谷中地域](26.3%)が2割台半ば、「外国人のための案内、ガイドなどの整備」は6ブロック[上野地域](28.1%)が約3割にとどまり、他の居住地域に比べて低くなっている。(図表2-8)

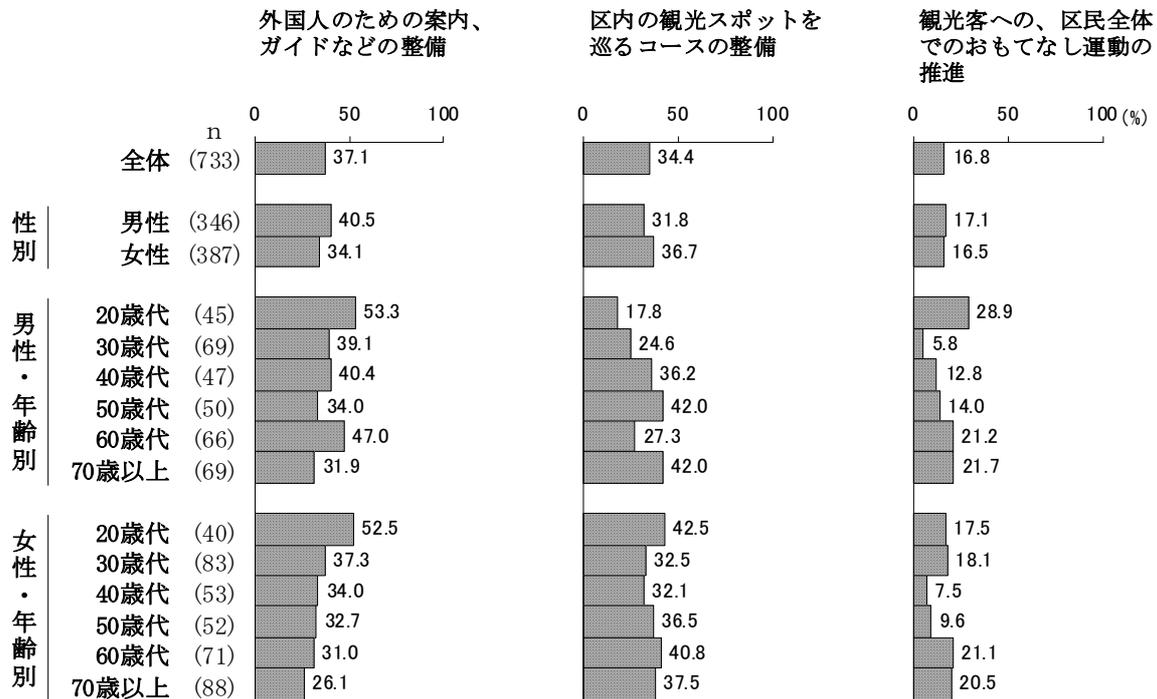
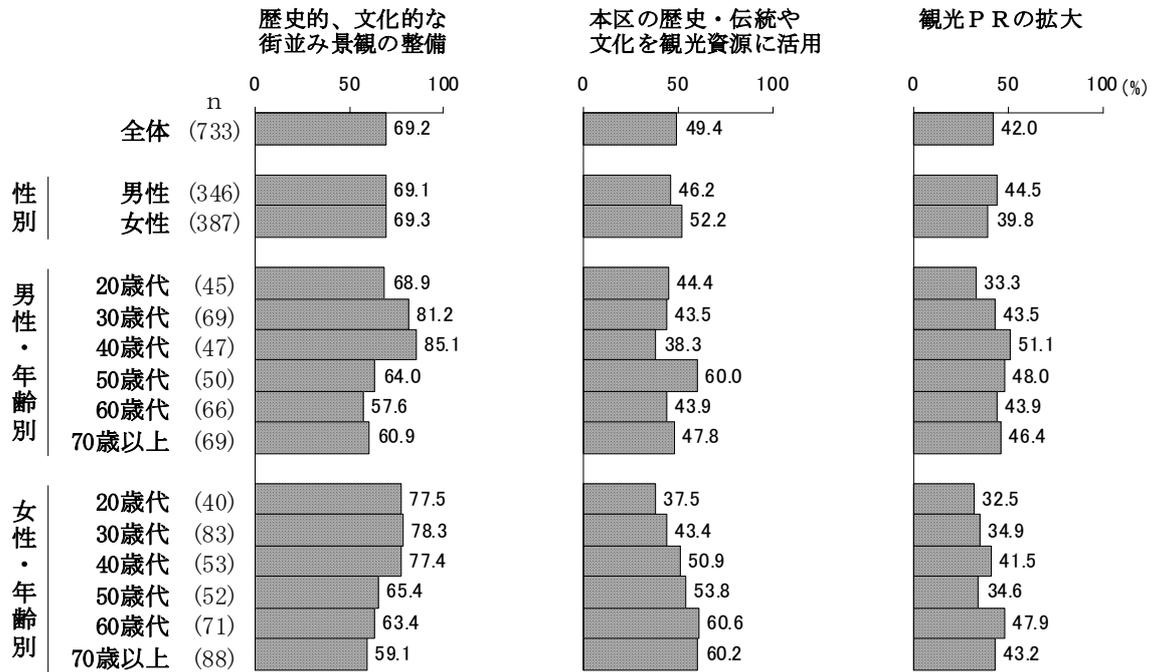
＜図表 2－8＞ 観光の振興のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「本区の歴史・伝統や文化を観光資源に活用」は、女性（52.2%）の方が男性（46.2%）よりも6ポイント高く、「区内の観光スポットを巡るコースの整備」でも、女性（36.7%）は男性（31.8%）を5ポイント上回っている。逆に、「外国人のための案内、ガイドなどの整備」は、男性（40.5%）の方が女性（34.1%）よりも6ポイント高く、「観光PRの拡大」でも、男性（44.5%）は女性（39.8%）を5ポイント上回っている。

性・年齢別でみると、「歴史的、文化的な街並み景観の整備」は、男性では40歳代（85.1%）が8割台半ばで最も高く、次いで30歳代（81.2%）が8割を超える。女性では30歳代（78.3%）、20歳代（77.5%）、40歳代（77.4%）が約8割で並ぶ。「本区の歴史・伝統や文化を観光資源に活用」は、男性の50歳代（60.0%）、女性の60歳代（60.6%）と70歳以上（60.2%）で6割と高くなっている。また、「外国人のための案内、ガイドなどの整備」は、男性の20歳代（53.3%）で5割台半ば、女性の20歳代（52.5%）が5割を超える。（図表 2－9）

<図表2-9> 観光の振興のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別



3. 文化を振興するための取り組み

◆ 台東区には、数多くの史跡や芸術、芸能など、豊かな文化資源があります。

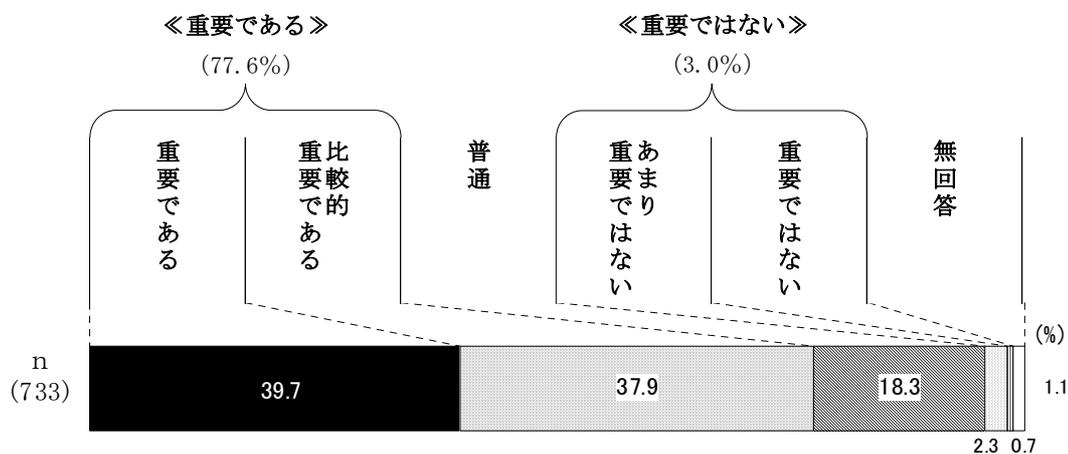
この特徴を活かして、より豊かな生活を創っていくため、伝統的な文化の保存、新しい文化の創造、芸術家と区民の創作活動の振興などに取り組んでいます。

(1) 文化の振興についての重要度

◇ 《重要である》が約8割

問7 文化の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

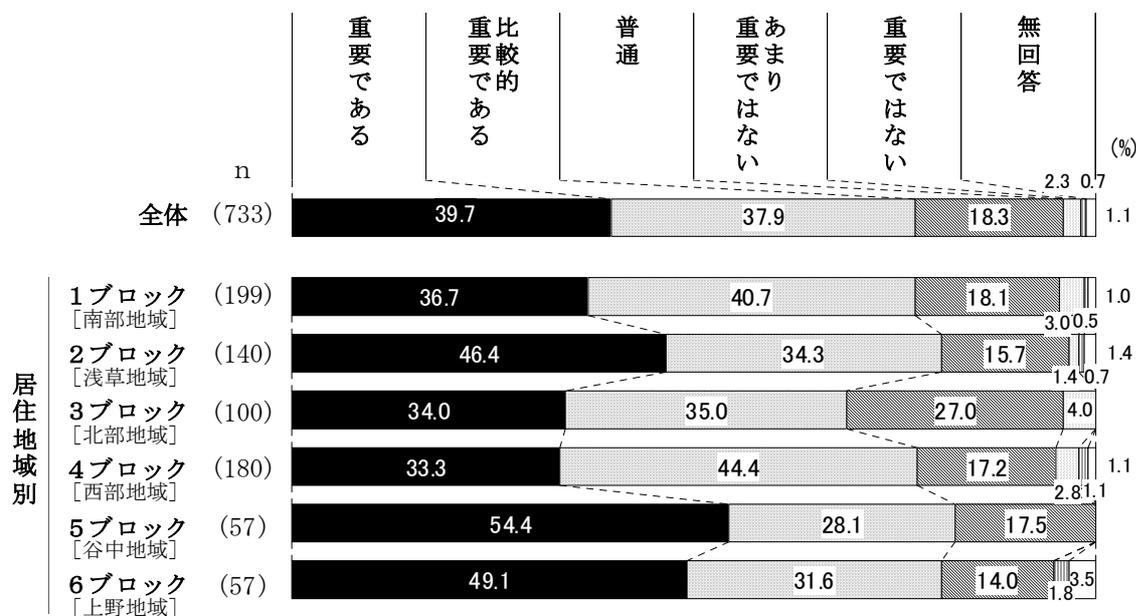
<図表3-1> 文化の振興についての重要度



文化の振興についての重要度を聞いたところ、「重要である」(39.7%)が約4割で最も高く、これに「比較的重要な」(37.9%)を合わせると、《重要である》は77.6%で約8割となっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は3.0%である。(図表3-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、5ブロック[谷中地域] (82.5%) が8割を超え最も高く、次いで2ブロック[浅草地域] (80.7%) と6ブロック[上野地域] (80.7%) が8割で並ぶ。特に、より強い回答である「重要である」は、5ブロック[谷中地域] (54.4%) が5割台半ばとなっている。(図表3-2)

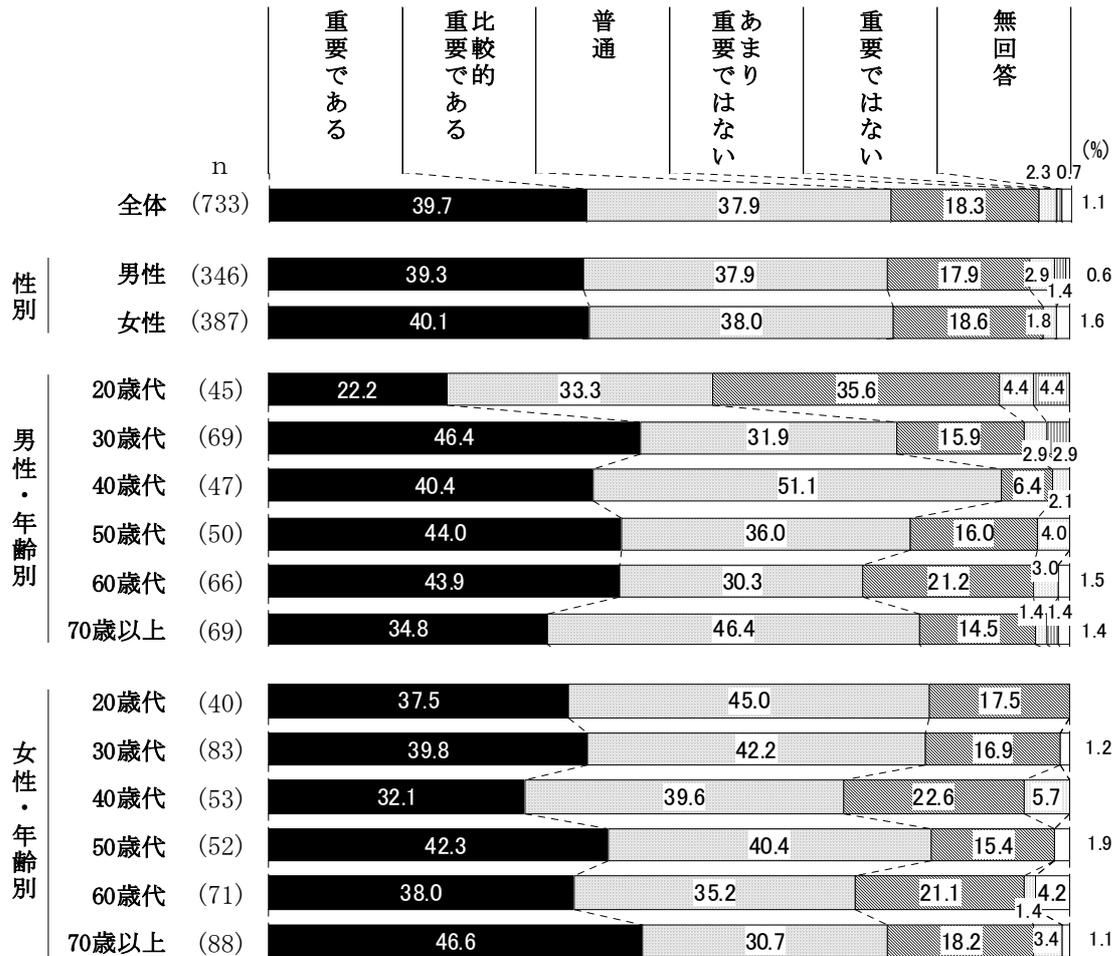
＜図表3-2＞ 文化の振興についての重要度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

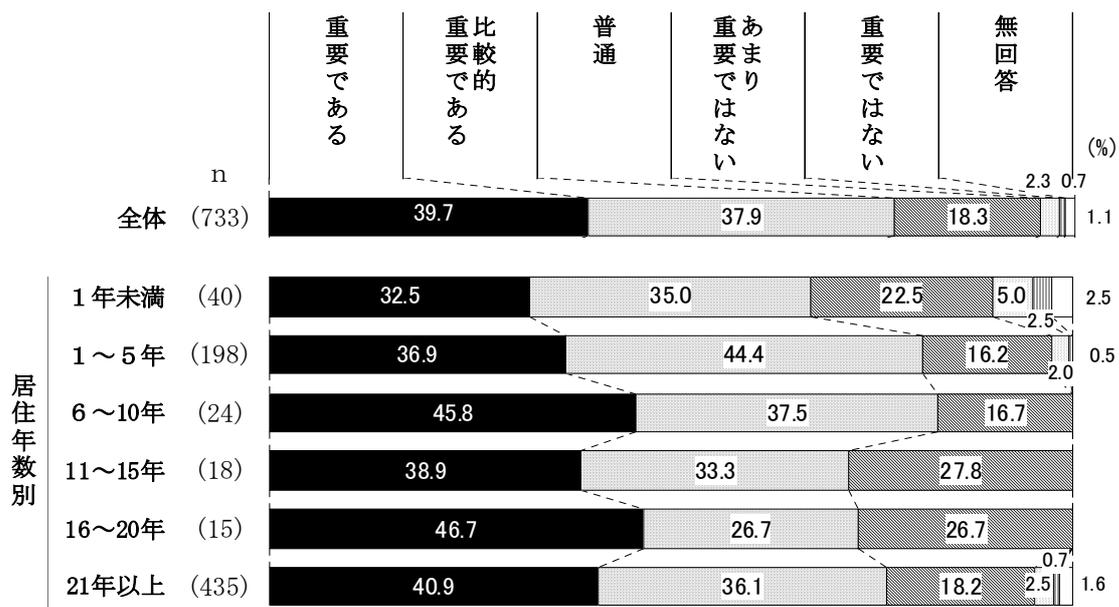
性・年齢別でみると、《重要である》は、男性の40歳代 (91.5%) が9割を超え高くなっている。最も低いのは、男性の20歳代 (55.5%) で5割台半ばにとどまり、この層は「普通」(35.6%) が3割台半ばと高い。(図表3-3)

<図表 3-3> 文化の振興についての重要度 性別／性・年齢別



居住年数別でみると、「重要である」は、1～5年（81.3%）が8割を超える。（図表 3-4）

<図表 3-4> 文化の振興についての重要度 居住年数別



※ “6～10年”、“11～15年”、“16～20年”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

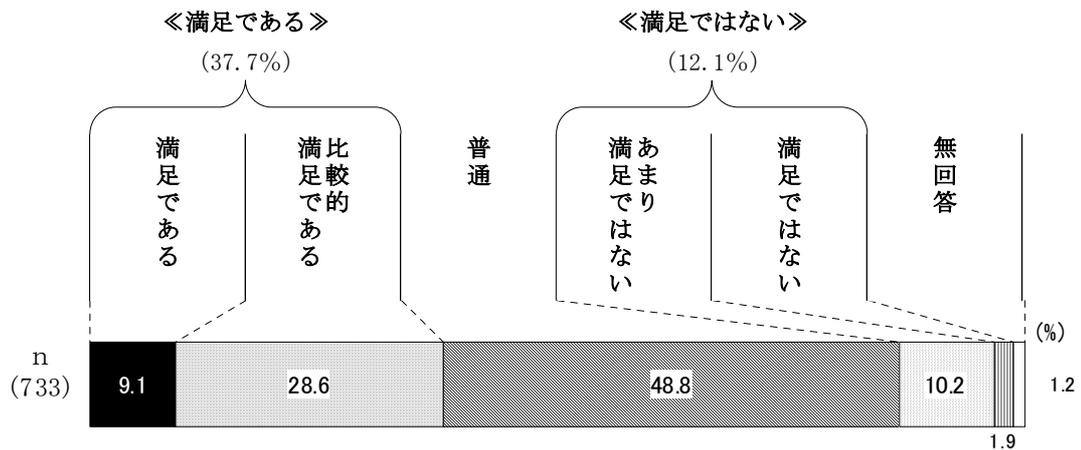
(2) 文化の振興への区の取り組みについての満足度

◇「普通」が約5割、「満足である」が約4割

問8 文化の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

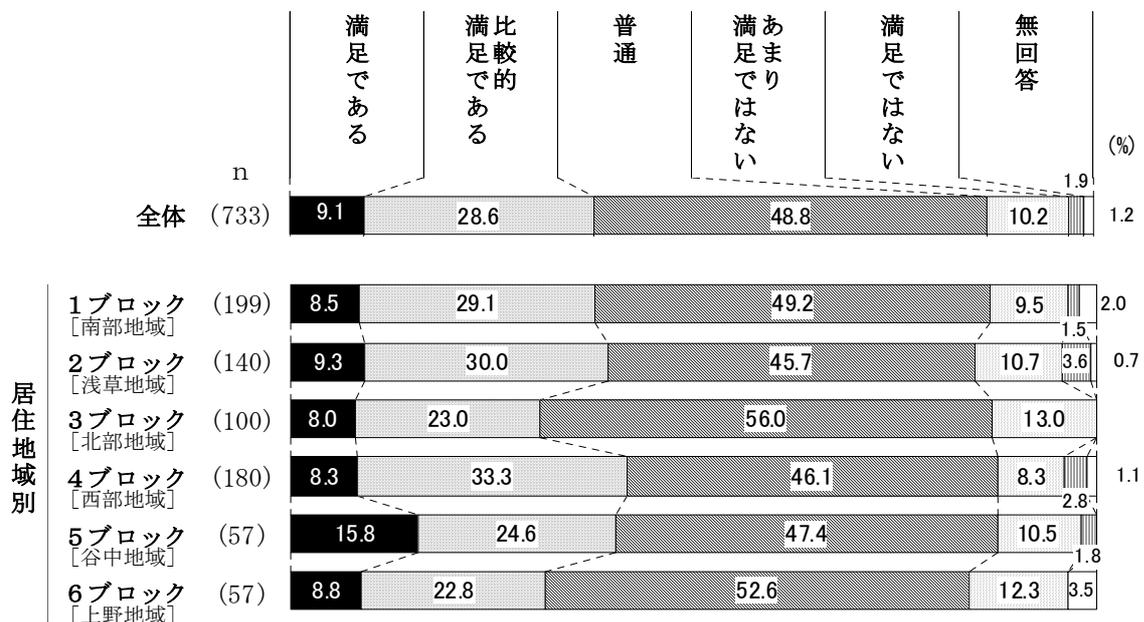
<図表3-5> 文化の振興への区の取り組みについての満足度



文化の振興への区の取り組みについて聞いたところ、「普通」(48.8%)が約5割で最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は37.7%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は12.1%である。(図表3-5)

居住地域別でみると、《満足である》は、6ブロック[上野地域](31.6%)と3ブロック[北部地域](31.0%)が低く、特に、3ブロック[北部地域]は「普通」(56.0%)が5割台半ばと高くなっている。(図表3-6)

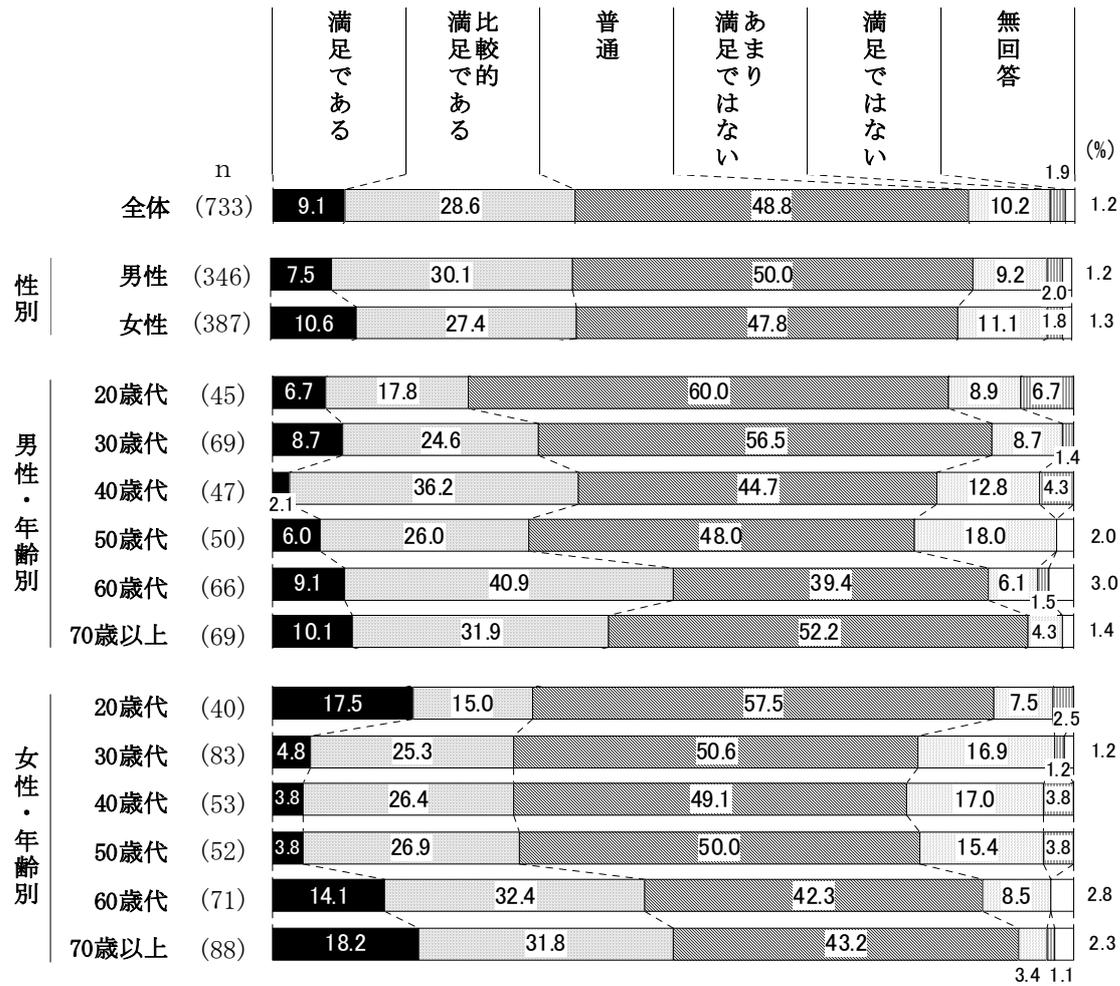
<図表3-6> 文化の振興への区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

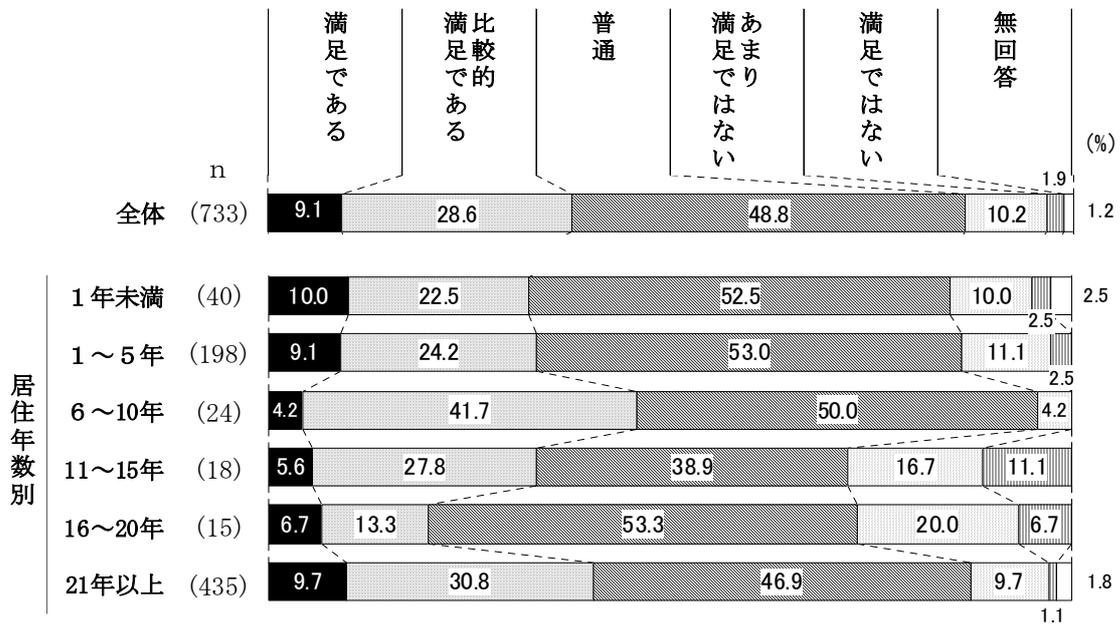
性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では60歳代（50.0%）が5割で最も高く、次いで70歳以上（42.0%）が4割を超える。女性でもこれらの層は高い傾向にあり、70歳以上（50.0%）で5割、60歳代（46.5%）で4割台半ばとなっている。一方、《満足ではない》は、男性の40歳～50歳代、女性の30歳～50歳代で高く、特に、女性の40歳代（20.8%）は2割となっている。（図表3-7）

＜図表3-7＞ 文化の振興への区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



居住年数別でみると、《満足である》は、21年以上（40.5%）が4割となっている。（図表3-8）

＜図表3-8＞ 文化の振興への区の取り組みについての満足度 居住年数別



※ “6～10年”、“11～15年”、“16～20年”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

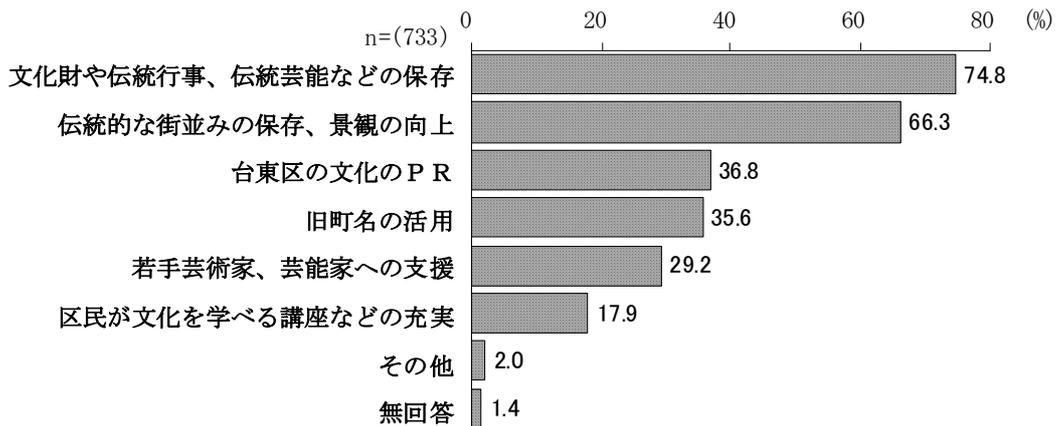
(3) 文化の振興のための取り組みとして大切なもの

◇「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」が7割台半ば

問9 文化の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

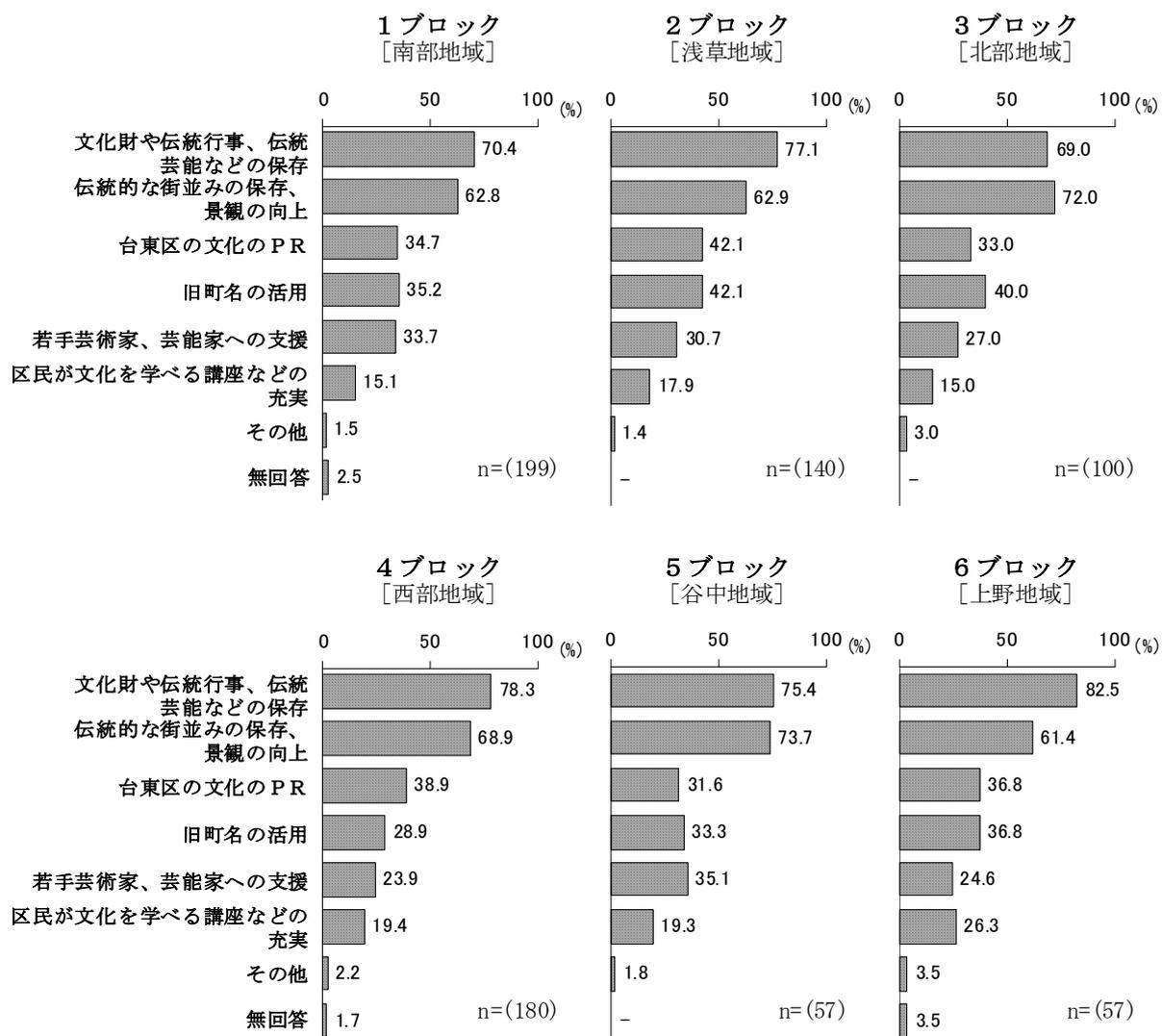
<図表3-9> 文化の振興のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



文化の振興のための取り組みとして、何が大切かを聞いたところ、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」(74.8%)が7割台半ばで最も高くなっている。次いで、「伝統的な街並みの保存、景観の向上」(66.3%)が6割台半ばで、これら上位2つが高くなっている。(図表3-9)

居住地域別でみると、いずれも「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」と「伝統的な街並みの保存、景観の向上」が高くなっている。特に、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」は、6ブロック[上野地域] (82.5%) が8割を超え最も高くなっている。また、「伝統的な街並みの保存、景観の向上」は、5ブロック[谷中地域] (73.7%) が7割台半ばで最も高く、僅差で3ブロック[北部地域] (72.0%) が続く。(図表3-10)

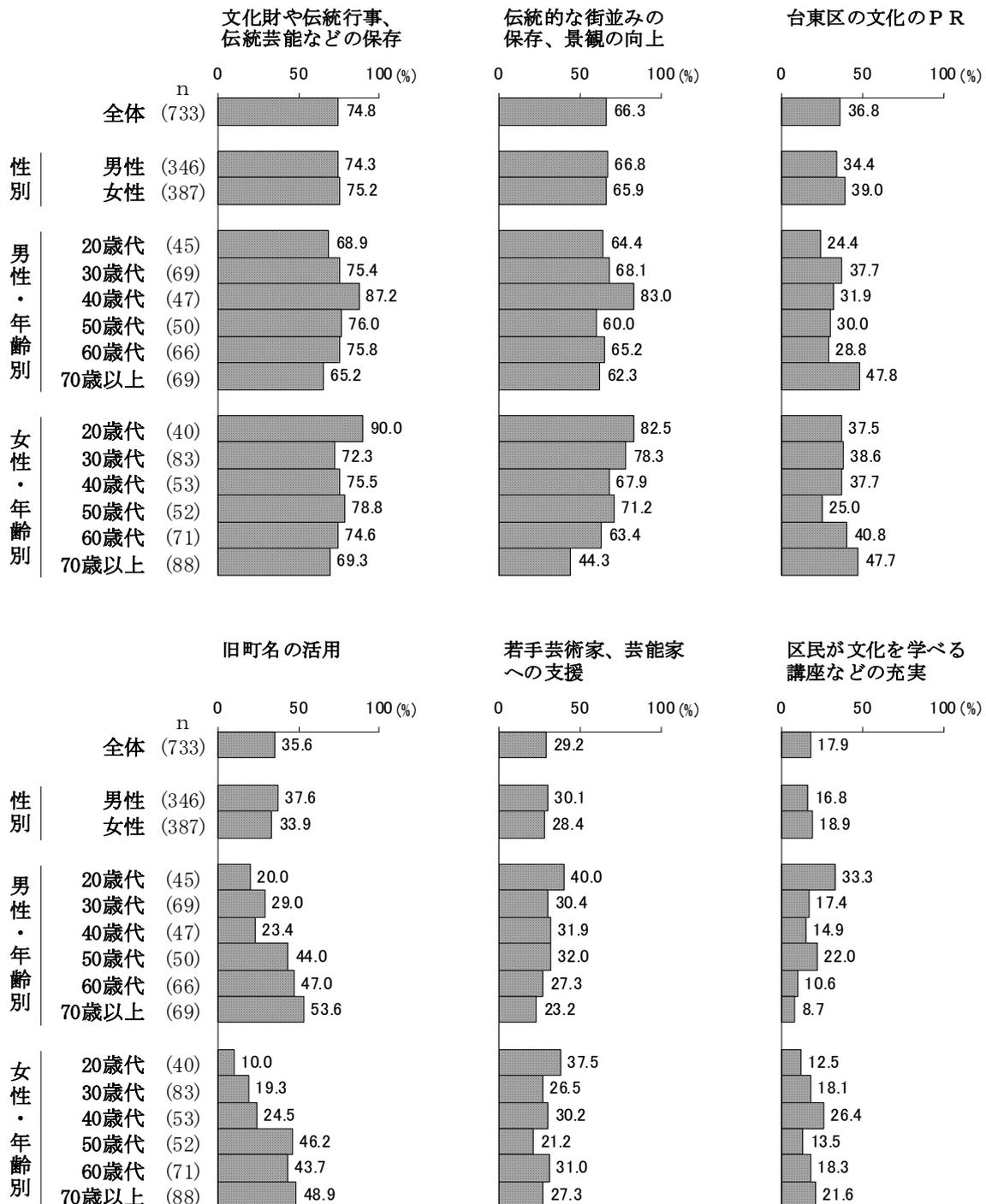
＜図表3-10＞ 文化の振興のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別で見ると、「台東区の文化のPR」は、女性（39.0%）の方が男性（34.4%）よりも5ポイント高くなっている。

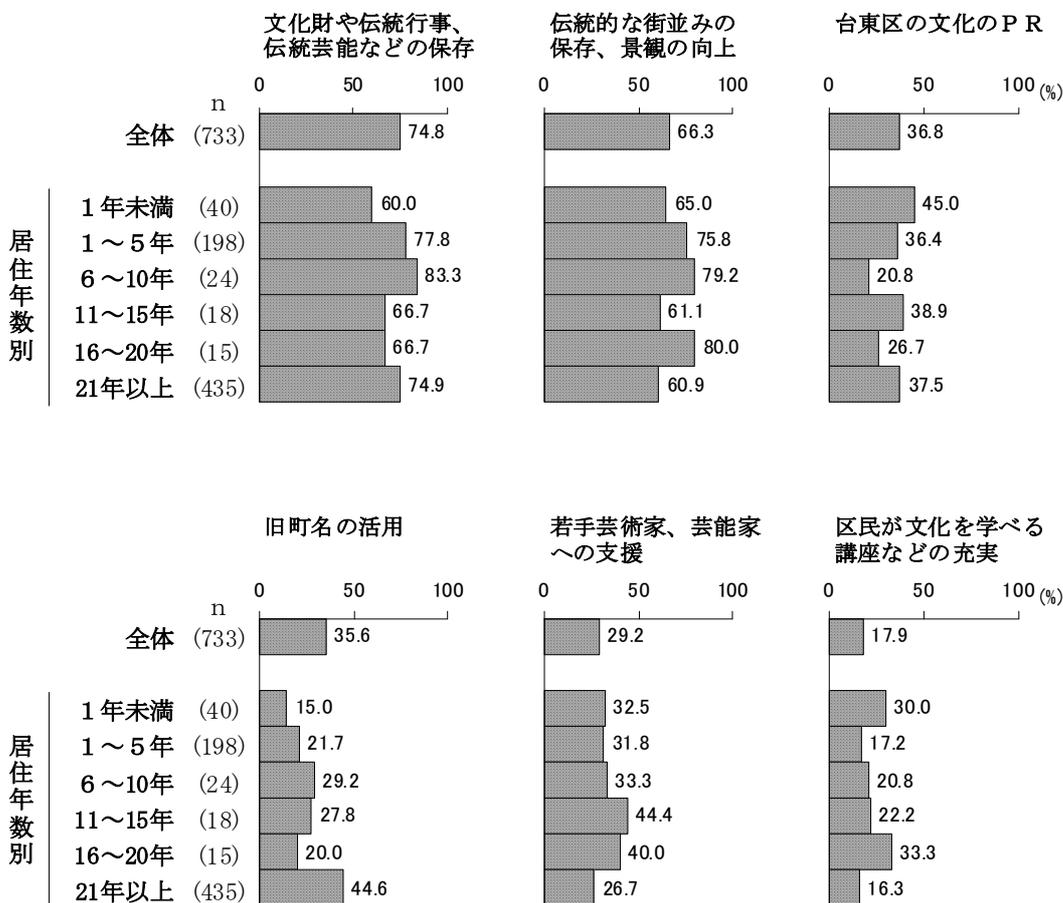
性・年齢別で見ると、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」は、男性では40歳代（87.2%）が約9割、女性では20歳代（90.0%）が9割で最も高くなっている。また、これらの層は「伝統的な街並みの保存、景観の向上」でも高く、男性の40歳代（83.0%）が8割台半ば、女性の20歳代（82.5%）が8割を超える。（図表3-11）

＜図表3-11＞ 文化の振興のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別



居住年数別でみると、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」は、1～5年（77.8%）が約8割で最も高く、この層は「伝統的な街並みの保存、景観の向上」（75.8%）でも7割台半ばとなっている。（図表3-12）

＜図表3-12＞ 文化の振興のための取り組みとして大切なもの 居住年数別



※ “6～10年”、“11～15年”、“16～20年”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

4. まちづくりのための取り組み

◆ 台東区は、地域ごとにまちの個性があります。

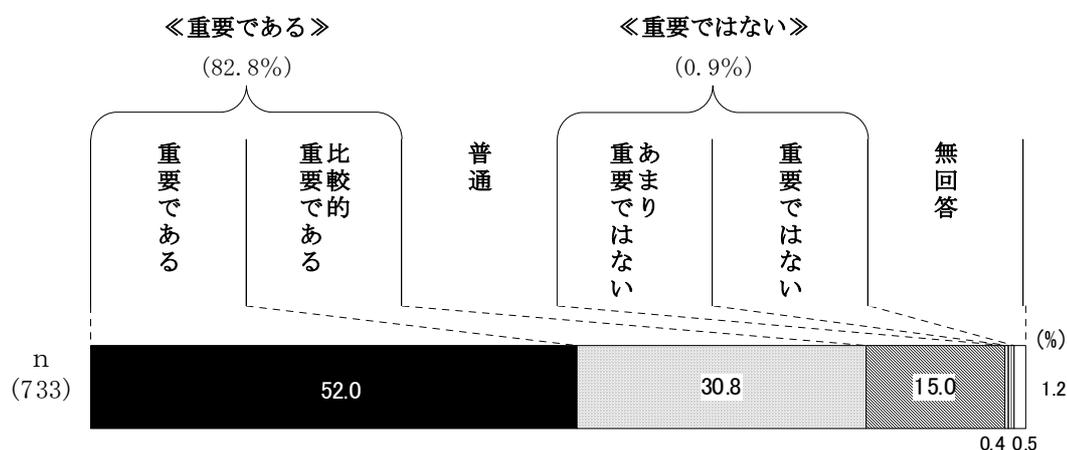
その個性を活かしたまちづくりを推進するため、台東区は、交通、土地利用などの基盤整備、街並み景観の保存、住まいの環境整備やマンション対策、防災・防犯の強化などに取り組んでいます。

(1) まちづくりについての重要度

◇ 《重要である》が8割を超える

問10 まちづくりについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

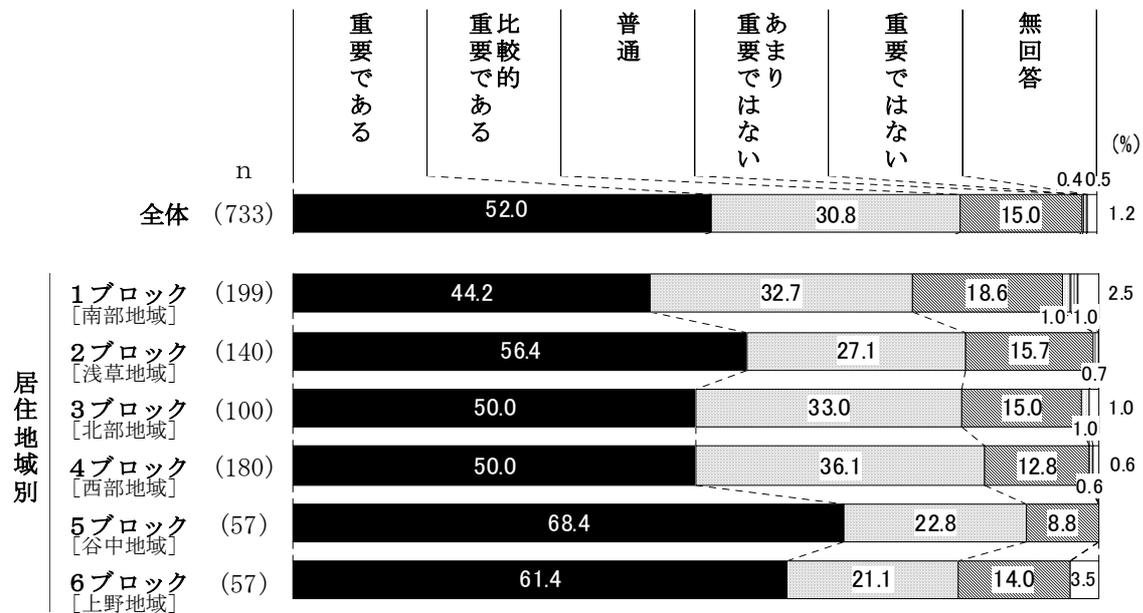
<図表4-1> まちづくりについての重要度



まちづくりについての重要度を聞いたところ、「重要である」(52.0%)が5割を超え最も高くなっている。これに「比較的重要な」(30.8%)を合わせると、《重要である》は82.8%で8割を超える。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.9%である。(図表4-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、5ブロック[谷中地域] (91.2%) が9割を超え最も高くなっている。この居住地域は、より強い回答である「重要である」(68.4%) でも約7割と高い。(図表4-2)

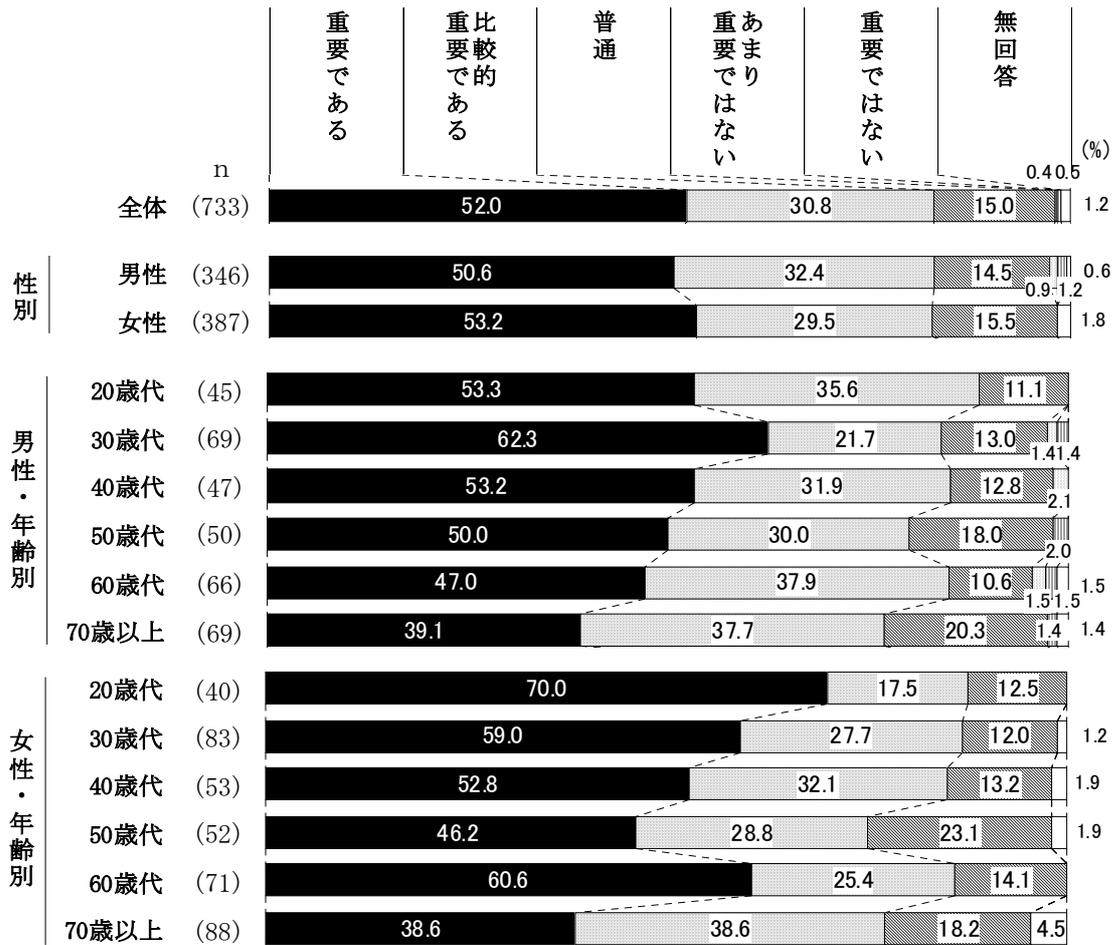
＜図表4-2＞ まちづくりについての重要度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

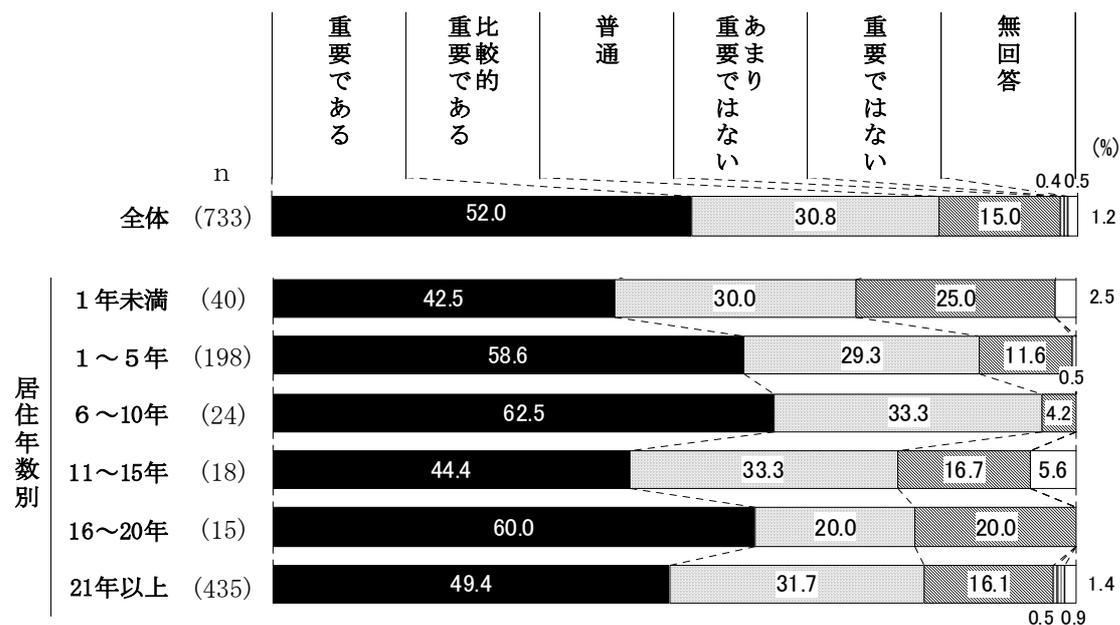
性・年齢別でみると、《重要である》は、男女ともに20歳代で高く、男性の20歳代 (88.9%)、女性の20歳代 (87.5%) とともに約9割となっている。(図表4-3)

<図表4-3> まちづくりについての重要度 性別/性・年齢別



居住年数別でみると、「重要である」は、1～5年（87.9%）が約9割となっている。（図表4-4）

<図表4-4> まちづくりについての重要度 居住年数別



※ “6～10年”、“11～15年”、“16～20年”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

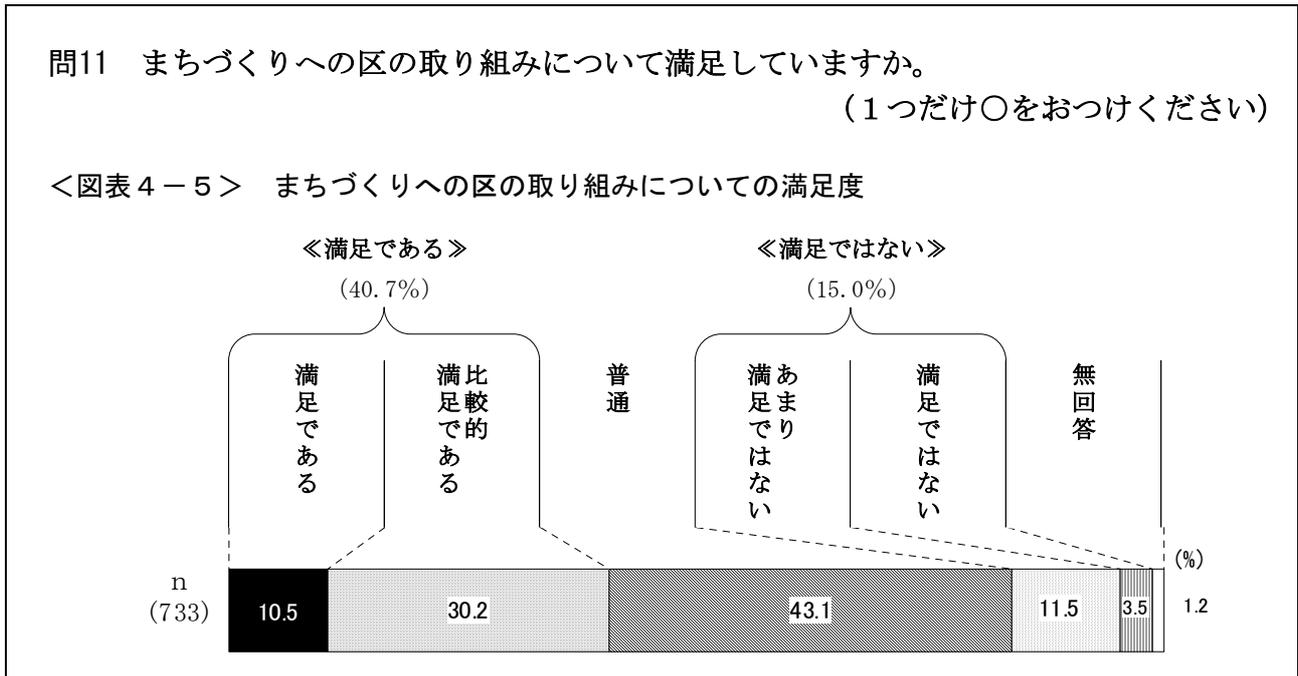
(2) まちづくりへの区の取り組みについての満足度

◇「普通」が4割台半ば、「満足である」が4割

問11 まちづくりへの区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

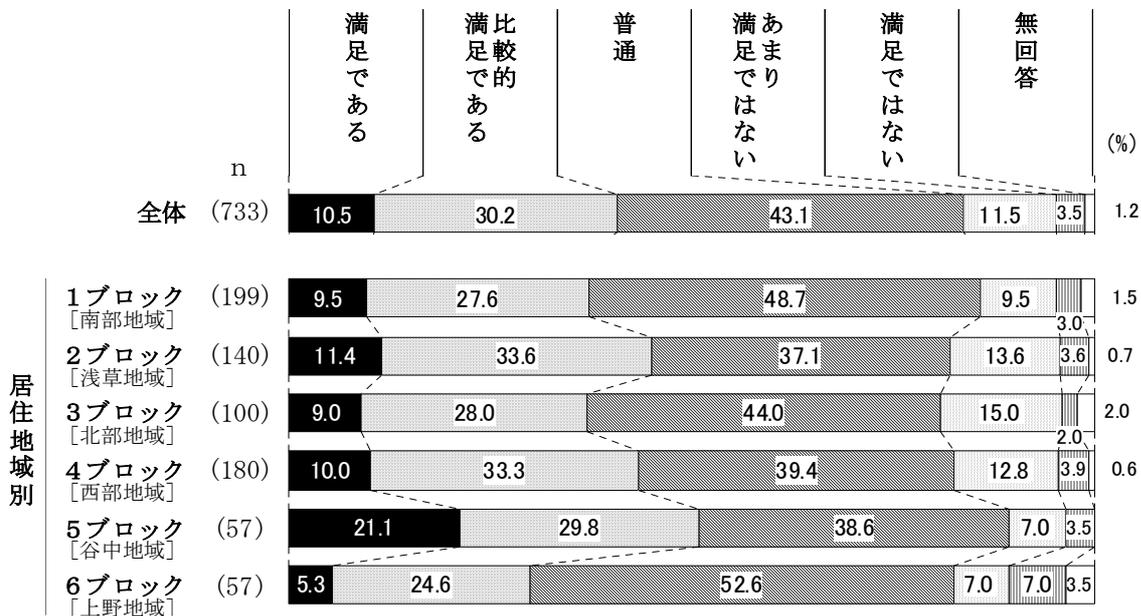
<図表4-5> まちづくりへの区の取り組みについての満足度



まちづくりへの区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(43.1%)が4割台半ばで最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は40.7%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は15.0%である。(図表4-5)

居住地域別でみると、《満足である》は、5ブロック[谷中地域](50.9%)が5割で最も高く、次いで2ブロック[浅草地域](45.0%)と4ブロック[西部地域](43.3%)が4割台半ばとなっている。(図表4-6)

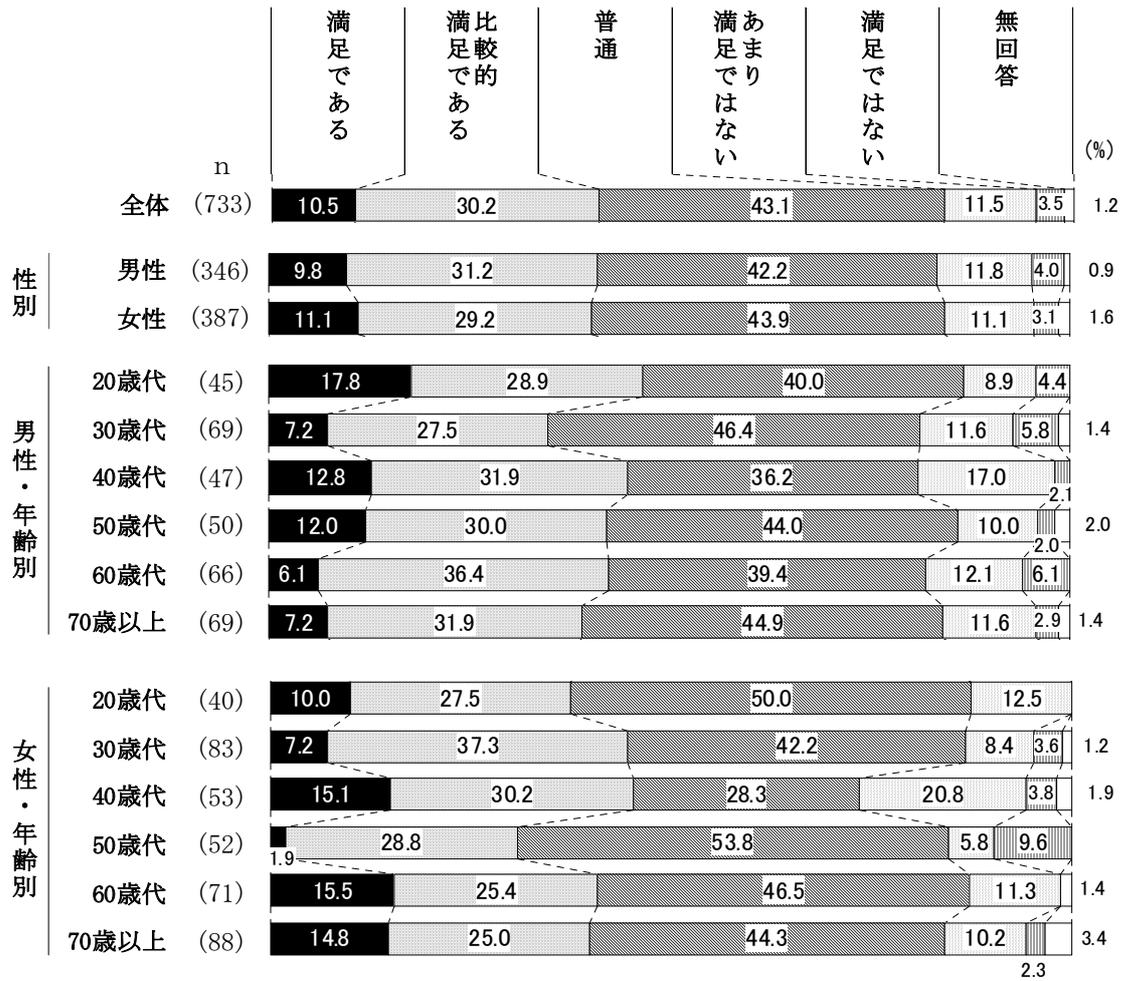
<図表4-6> まちづくりへの区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

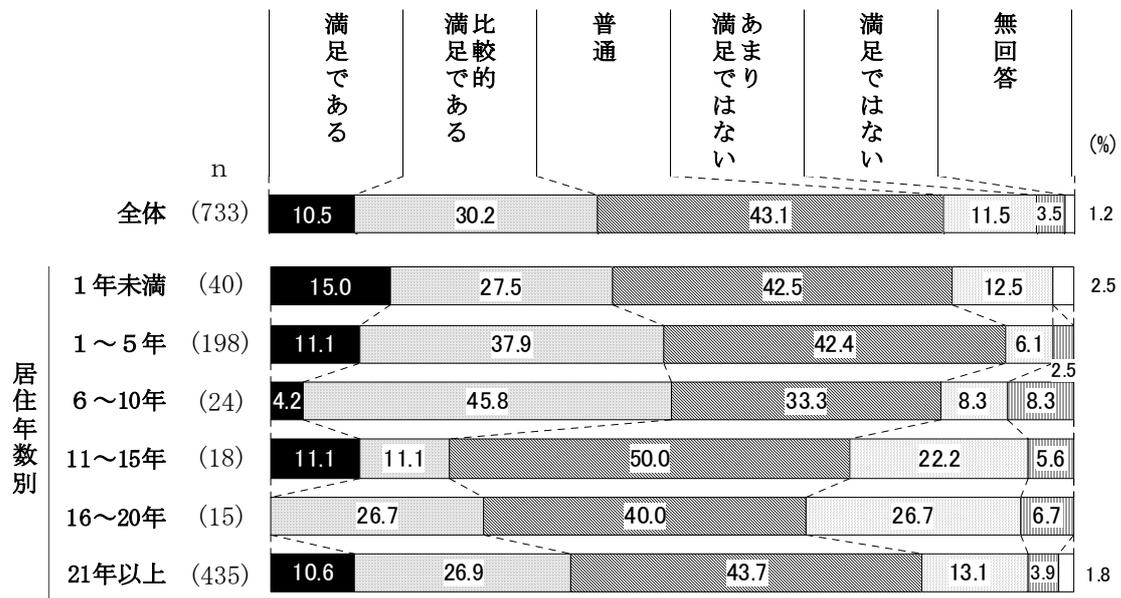
性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では30歳代（34.7%）が3割台半ば、女性では50歳代（30.7%）が3割にとどまり低くなっている。一方、《満足ではない》は、女性の40歳代（24.6%）が2割台半ばと高くなっている。（図表4-7）

＜図表4-7＞ まちづくりへの区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



居住年数別でみると、《満足である》は、1～5年（49.0%）が約5割となっている。（図表4－8）

＜図表4－8＞ まちづくりへの区の取り組みについての満足度 居住年数別



※ “6～10年”、“11～15年”、“16～20年”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

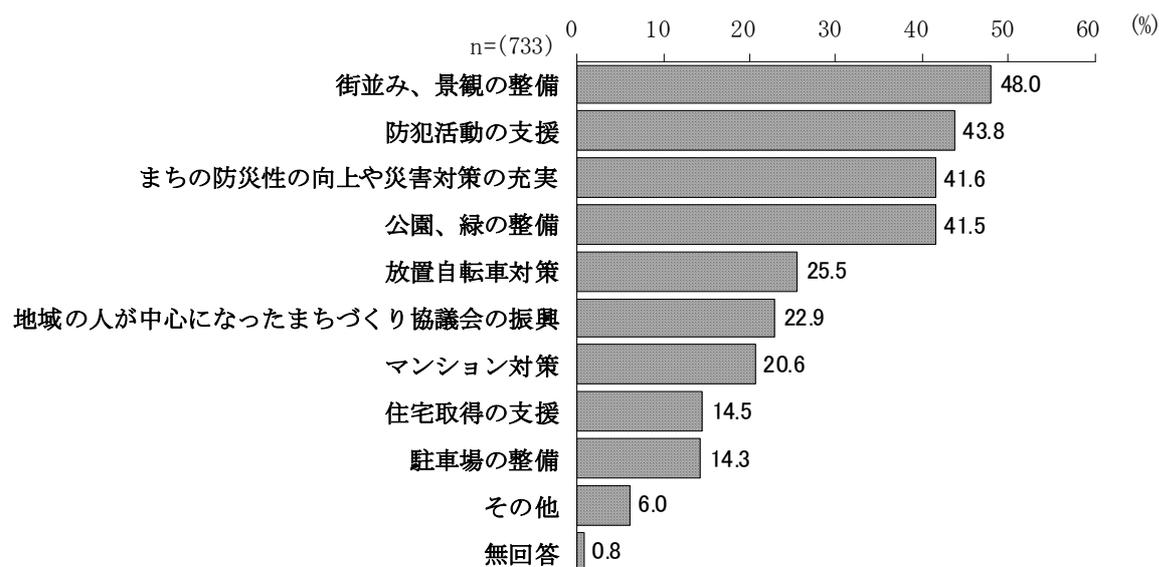
(3) まちづくりのための取り組みとして大切なもの

◇「街並み、景観の整備」が約5割

問12 まちづくりのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

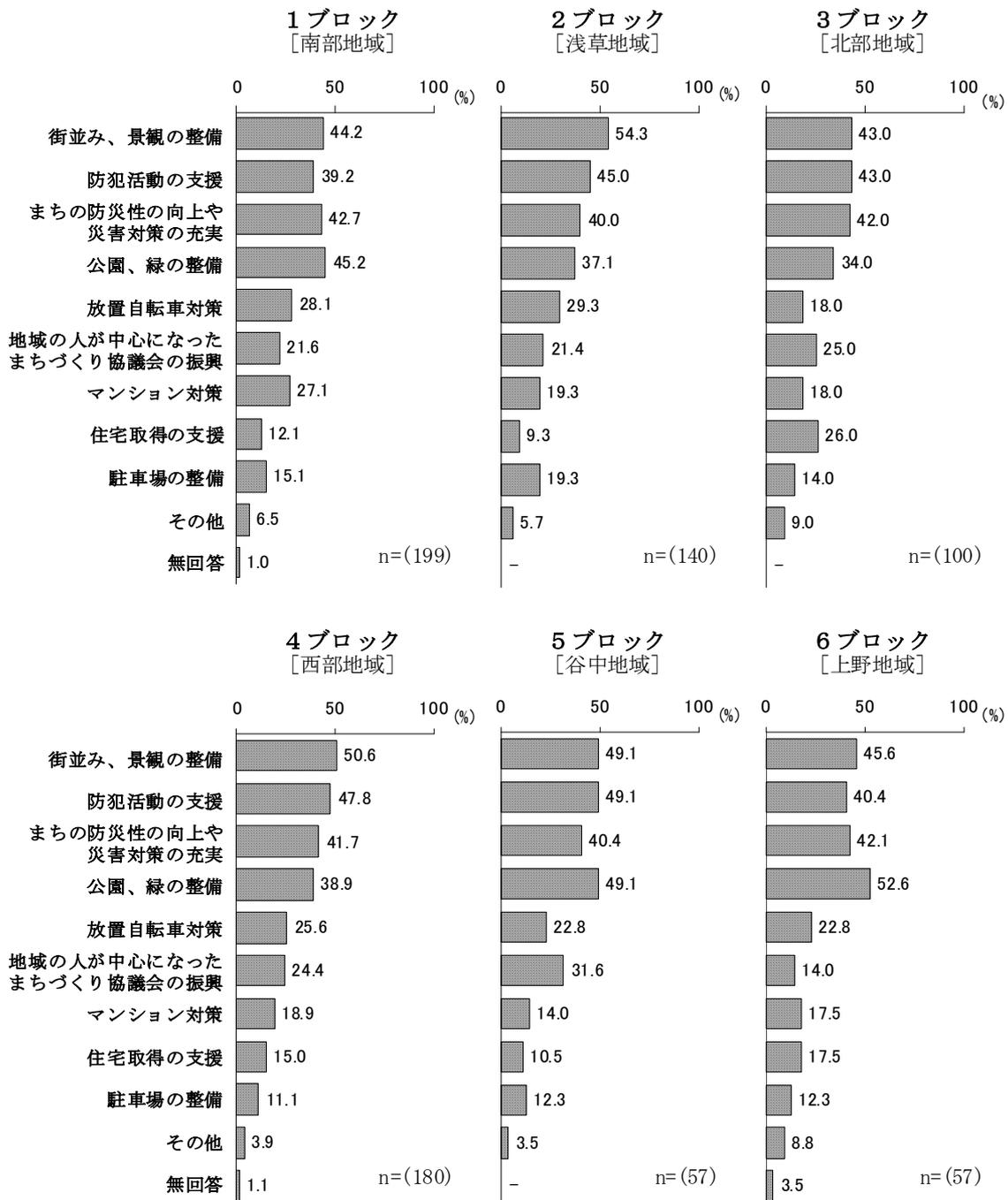
<図表4-9> まちづくりのための取り組みとして大切なもの(複数回答)



まちづくりのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「街並み、景観の整備」(48.0%)が約5割で最も高く、次いで「防犯活動の支援」(43.8%)が4割台半ばとなっている。このほか、「まちの防災性の向上や災害対策の充実」(41.6%)と「公園、緑の整備」(41.5%)が4割を超える。(図表4-9)

居住地域別でみると、いずれも「街並み、景観の整備」、「防犯活動の支援」、「まちの防災性の向上や災害対策の充実」、「公園、緑の整備」が高くなっている。その中でも、「街並み、景観の整備」は2ブロック[浅草地域] (54.3%) が5割台半ば、「公園、緑の整備」は6ブロック[上野地域] (52.6%) が5割を超え高い。(図表4-10)

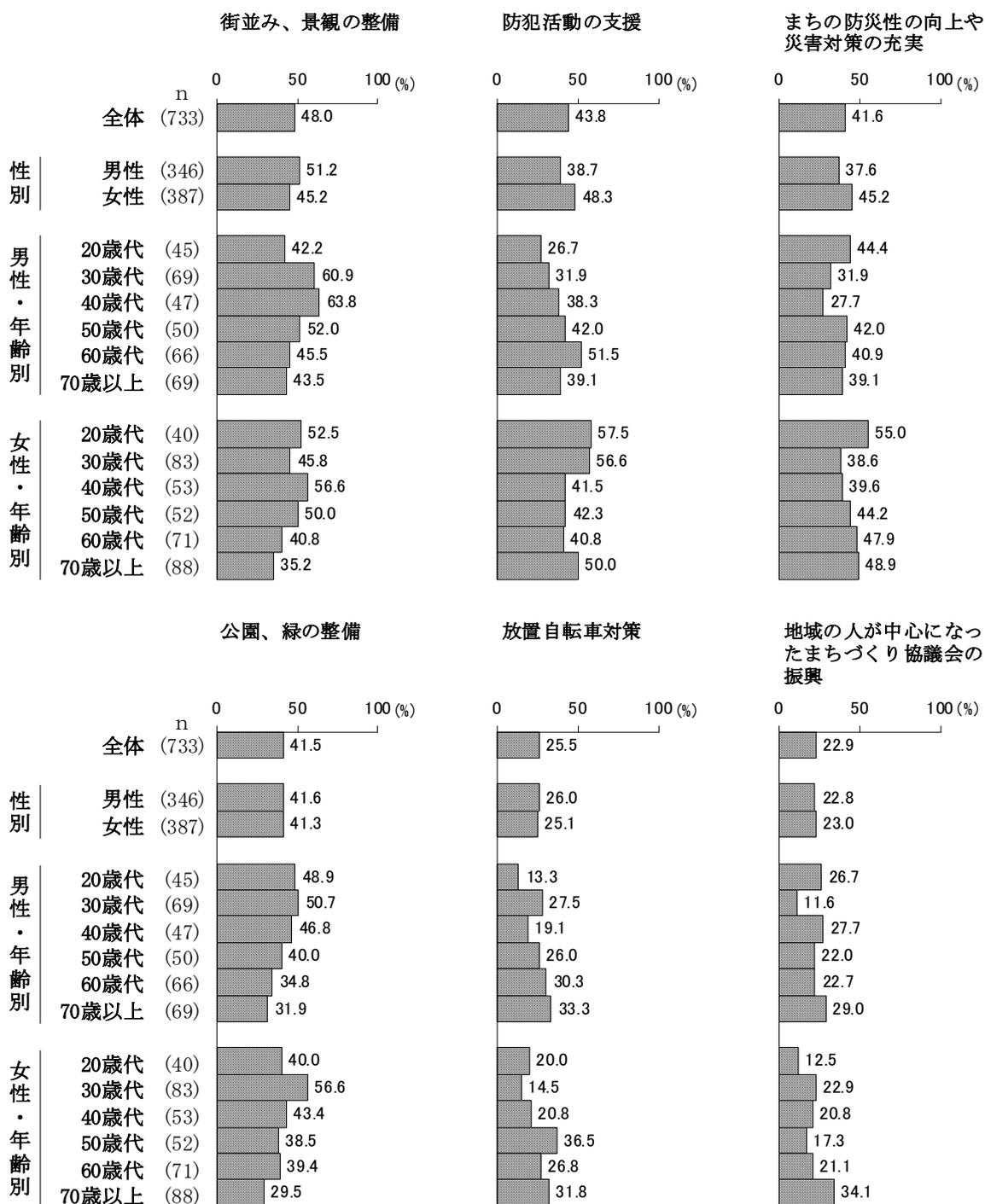
<図表4-10> まちづくりのための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「街並み、景観の整備」は、男性（51.2%）の方が女性（45.2%）よりも6ポイント高くなっている。逆に、「防犯活動の支援」は、女性（48.3%）の方が男性（38.7%）よりも10ポイント高く、「まちの防災性の向上や災害対策の充実」でも、女性（45.2%）は男性（37.6%）を8ポイント上回っている。

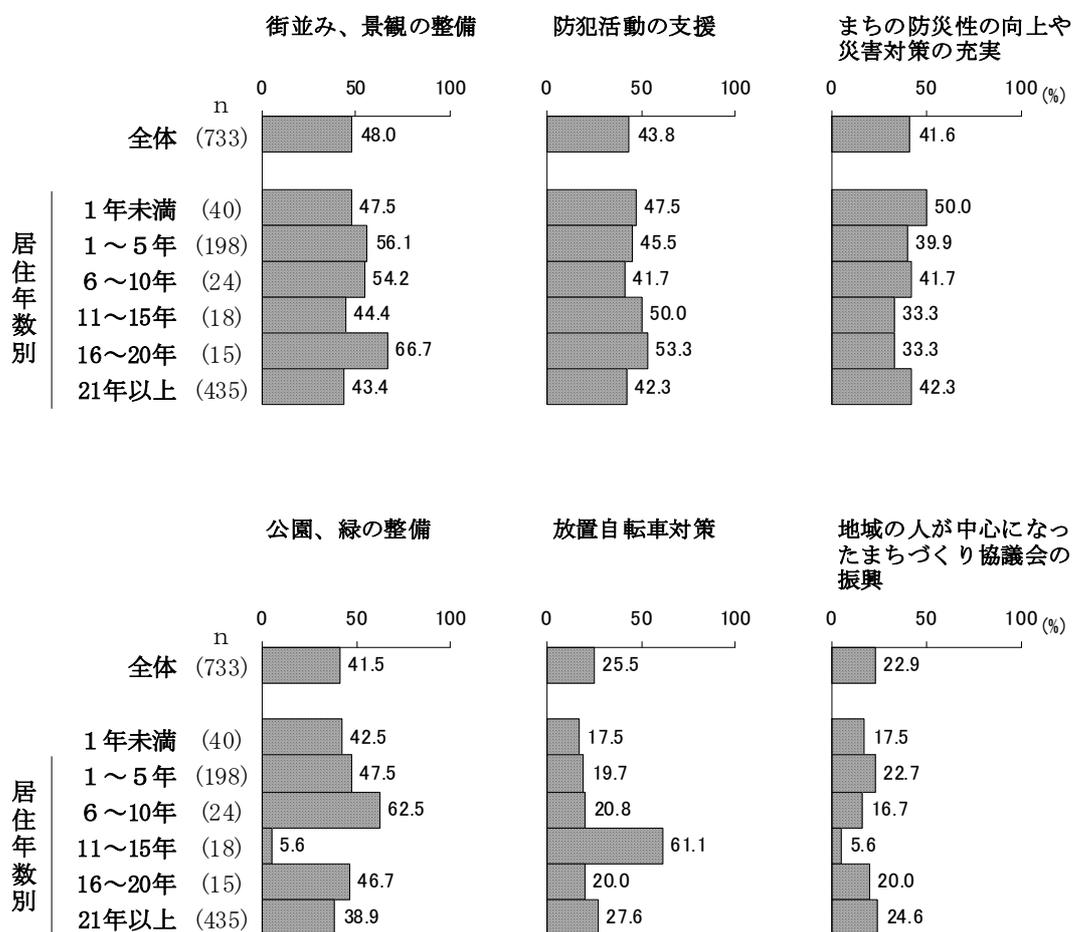
性・年齢別でみると、「街並み、景観の整備」は、男性の40歳代（63.8%）が6割台半ばで最も高く、次いで30歳代（60.9%）が6割となっている。「防犯活動の支援」は、女性の20歳代（57.5%）が約6割で最も高く、僅差で30歳代（56.6%）が5割台半ばと続く。また、女性の20歳代は「まちの防災性の向上や災害対策の充実」（55.0%）でも5割台半ばと高く、女性の30歳代は「公園、緑の整備」（56.6%）でも5割台半ばとなっている。（図表4-11）

<図表4-11> まちづくりのための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



居住年数別でみると、「街並み、景観の整備」は、1～5年（56.1%）が5割台半ばを超える。また、「まちの防災性の向上や災害対策の充実」は、1年未満（50.0%）が5割である。（図表4-12）

＜図表4-12＞ まちづくりのための取り組みとして大切なもの 居住年数別（上位6項目）



※ “6～10年”、“11～15年”、“16～20年”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

5. 環境対策のための取り組み

◆ 台東区には、上野公園、隅田川など自然的な環境があります。

一方、ごみ減量、リサイクル、地球温暖化対策など、環境問題への取り組みが強く求められています。

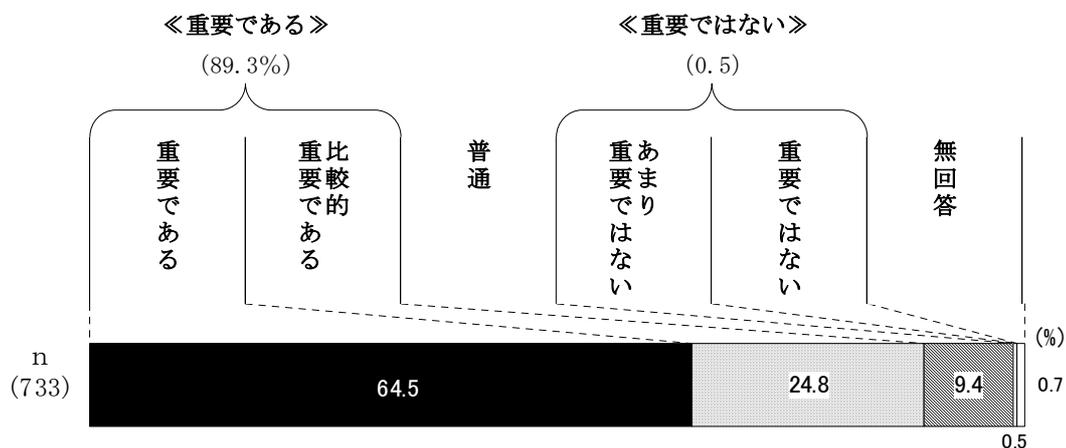
そのため、区では、水と緑の保全など、うるおいのある生活環境づくりと、生活様式の見直しなど、環境に配慮した社会づくりに取り組んでいます。

(1) 環境対策についての重要度

◇ 《重要である》が約9割

問13 環境対策についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

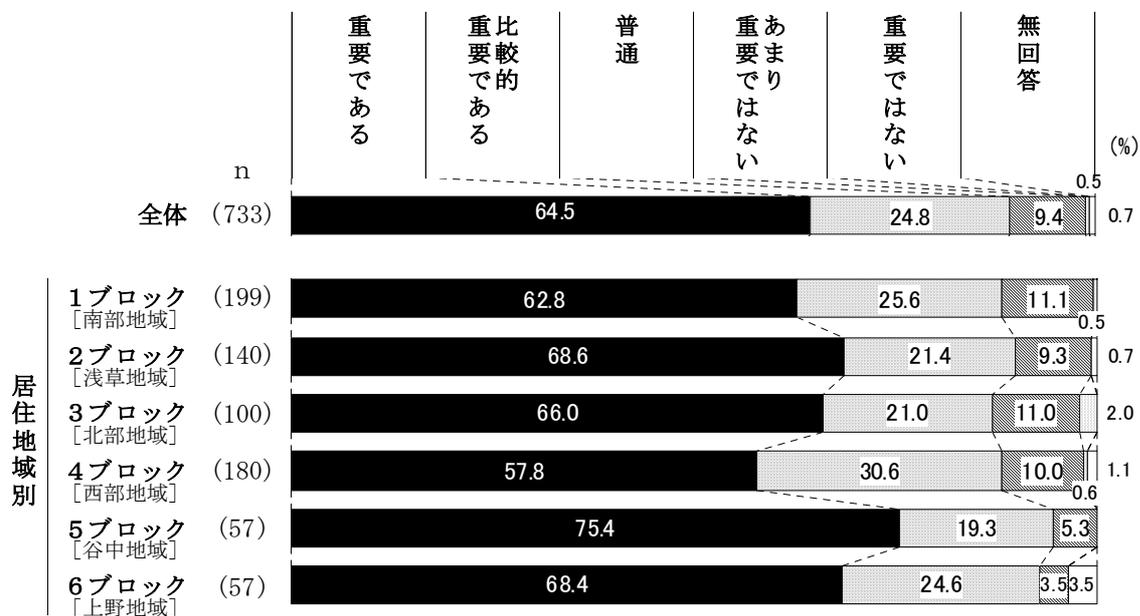
<図表5-1> 環境対策についての重要度



環境対策についての重要度について聞いたところ、「重要である」(64.5%)が6割台半ばで最も高くなっている。これに「比較的重要な」(24.8%)を合わせると、《重要である》は89.3%で約9割となっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.5%である。(図表5-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、5ブロック[谷中地域] (94.7%) が9割台半ばで最も高く、僅差で6ブロック[上野地域] (93.0%) が続く。(図表5-2)

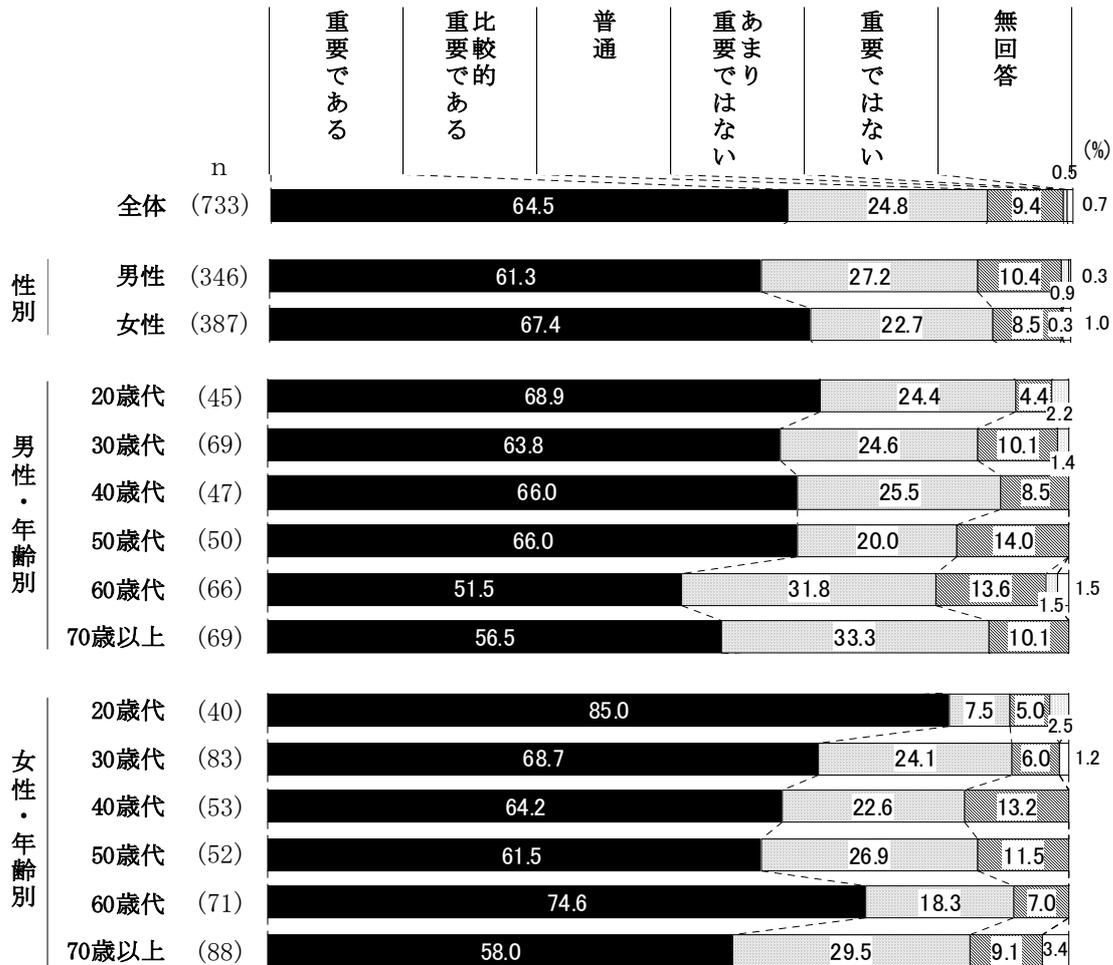
〈図表5-2〉 環境対策についての重要度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では20歳代（93.3%）が9割台半ばで最も高く、次いで40歳代（91.5%）が9割を超える。女性では60歳代（92.9%）、30歳代（92.8%）、20歳代（92.5%）が9割を超え並ぶ。（図表5-3）

＜図表5-3＞ 環境対策についての重要度 性別／性・年齢別



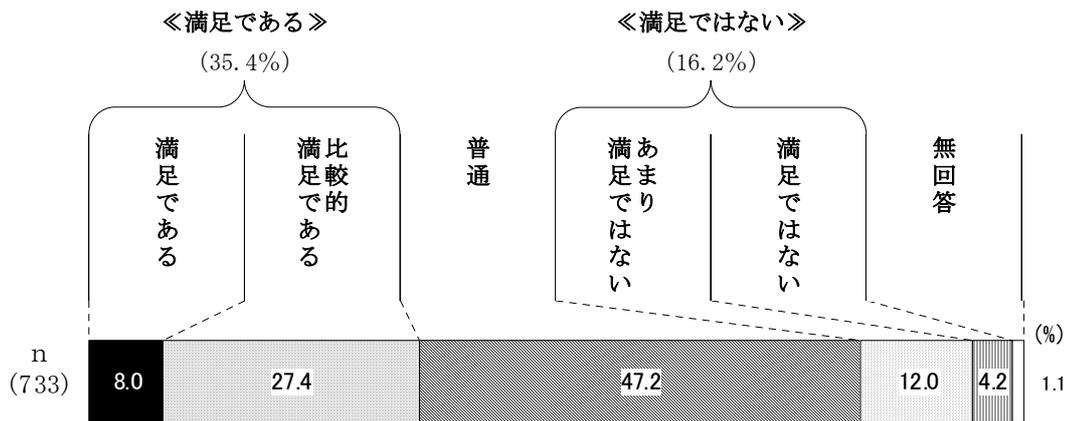
(2) 環境対策への区の取り組みについての満足度

◇「普通」が約5割、「満足である」は3割台半ば

問14 環境対策への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

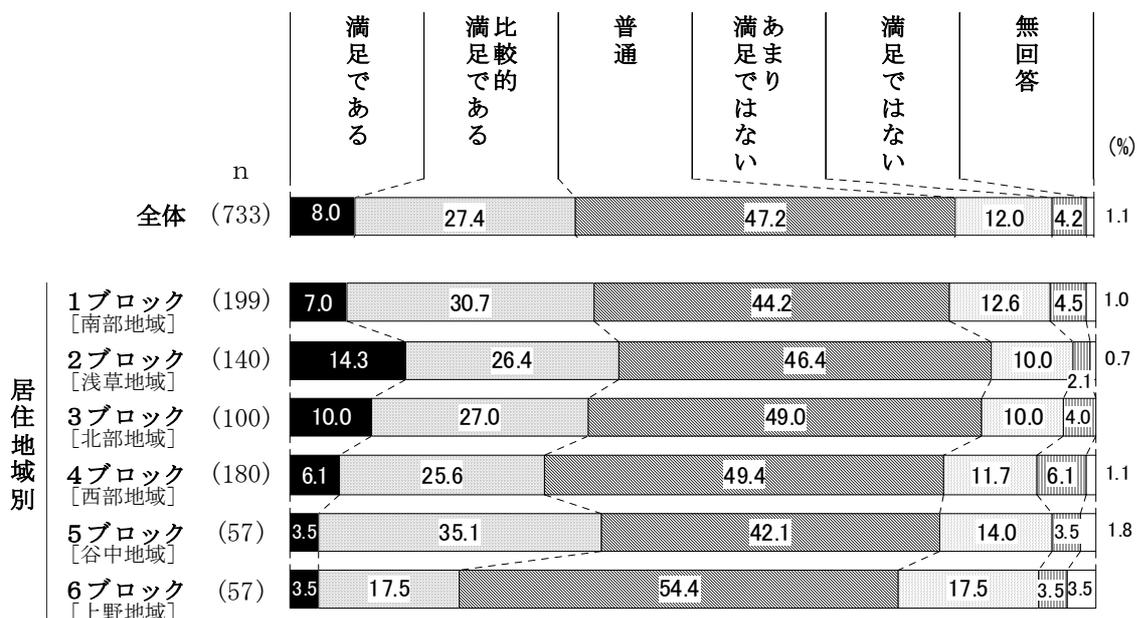
<図表5-4> 環境対策への区の取り組みについての満足度



環境対策への区の取り組みについて満足度を聞いたところ、「普通」(47.2%)が約5割で最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は35.4%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は16.2%である。(図表5-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、6ブロック[上野地域](21.0%)が2割を超えるにとどまり、「普通」(54.4%)が5割台半ばで最も高くなっている。(図表5-5)

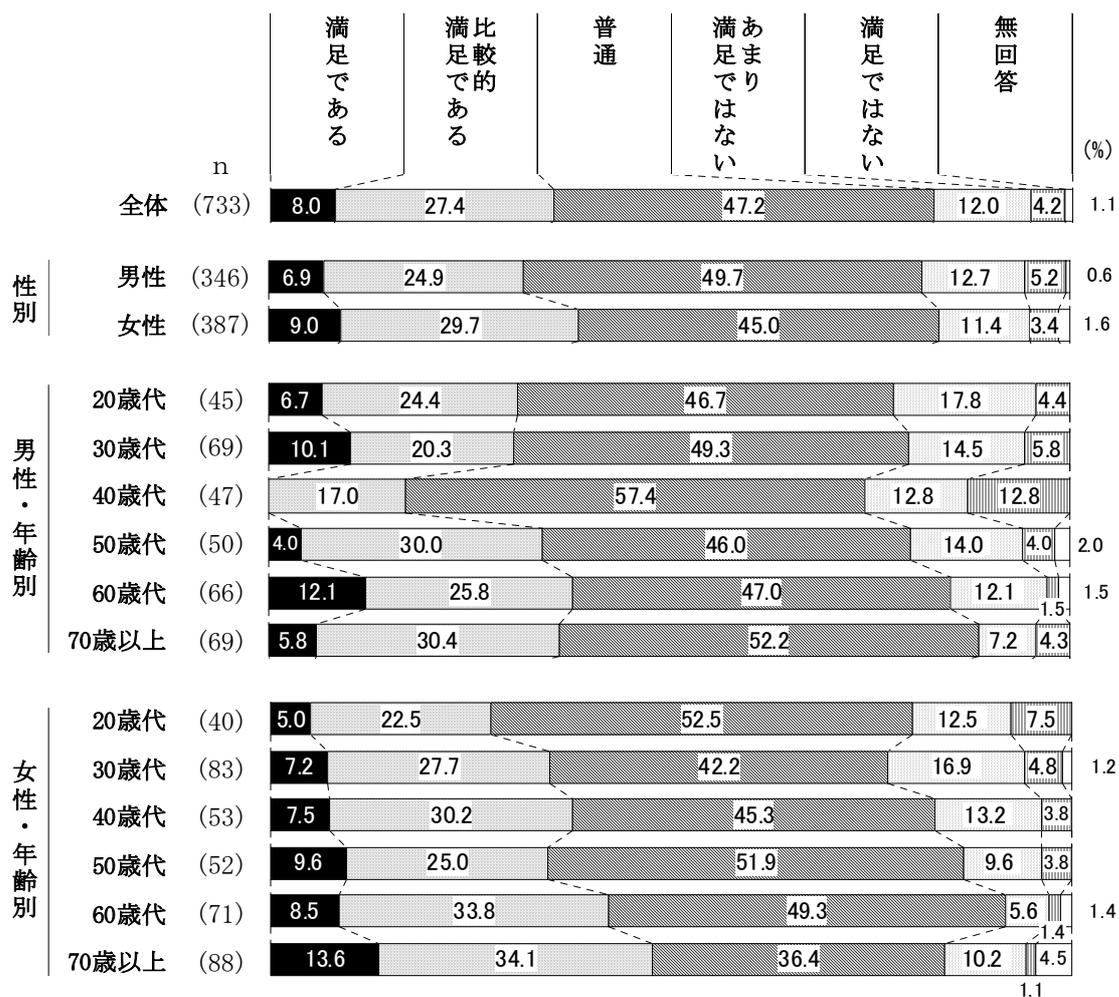
<図表5-5> 環境対策への区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別でみると、《満足である》は、女性（38.7%）の方が男性（31.8%）よりも7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では40歳代（17.0%）が約2割にとどまり低い。また、女性では年齢が上がるほど増加する傾向にあり、70歳以上（47.7%）で約5割となる。一方、《満足ではない》は、男性の40歳代（25.6%）が2割台半ばで最も高くなっている。（図表5-6）

＜図表5-6＞ 環境対策への区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



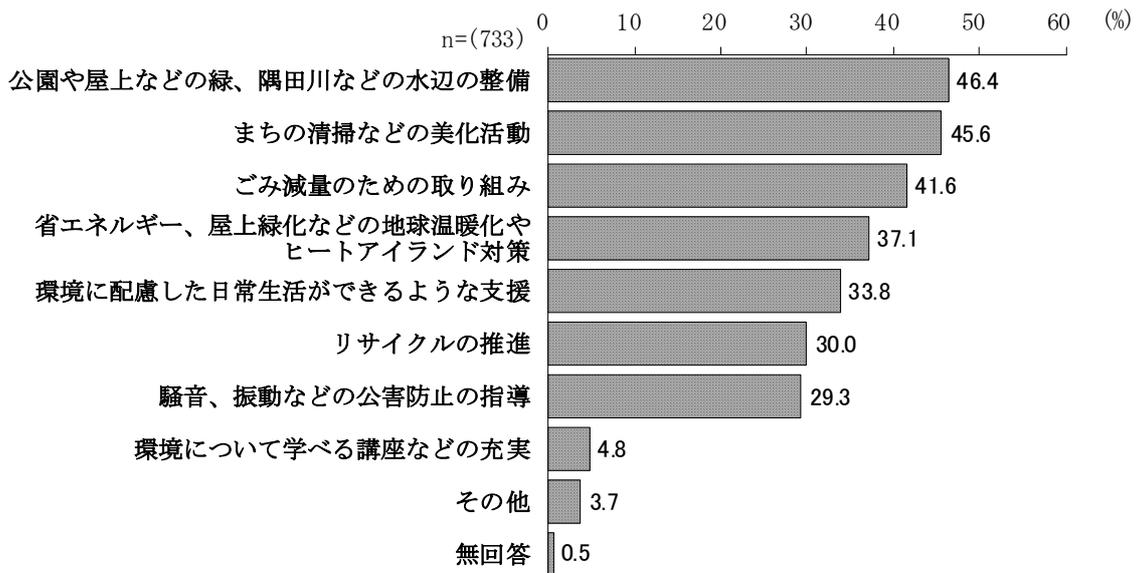
(3) 環境対策のための取り組みとして大切なもの

◇「緑、水辺の整備」と「美化活動」が4割台半ば

問15 環境対策のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

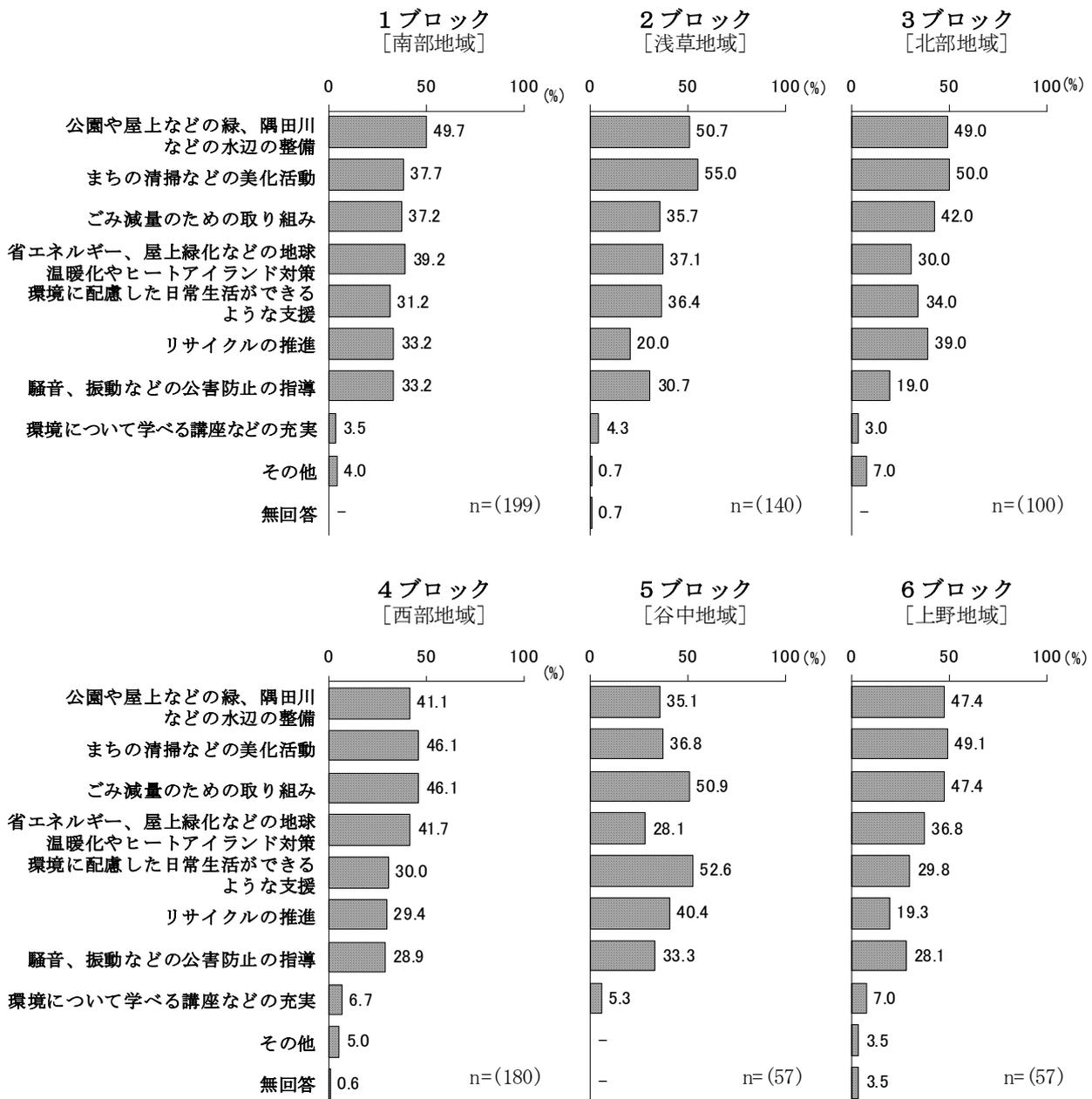
<図表5-7> 環境対策のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



環境対策のための取り組みとして、大切なものを聞いたところ、「公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備」(46.4%)と「まちの清掃などの美化活動」(45.6%)が4割台半ばで並び高くなっている。次いで「ごみ減量のための取り組み」(41.6%)が4割を超える。(図表5-7)

居住地域別でみると、2ブロック[浅草地域]と3ブロック[北部地域]は、「公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備」と「まちの清掃などの美化活動」が高くなっており、特に、「まちの清掃などの美化活動」は2ブロック[浅草地域](55.0%)で5割台半ばである。また、5ブロック[谷中地域]は、他の地域と異なり、「環境に配慮した日常生活ができるような支援」(52.6%)が最も高く5割を超えている。(図表5-8)

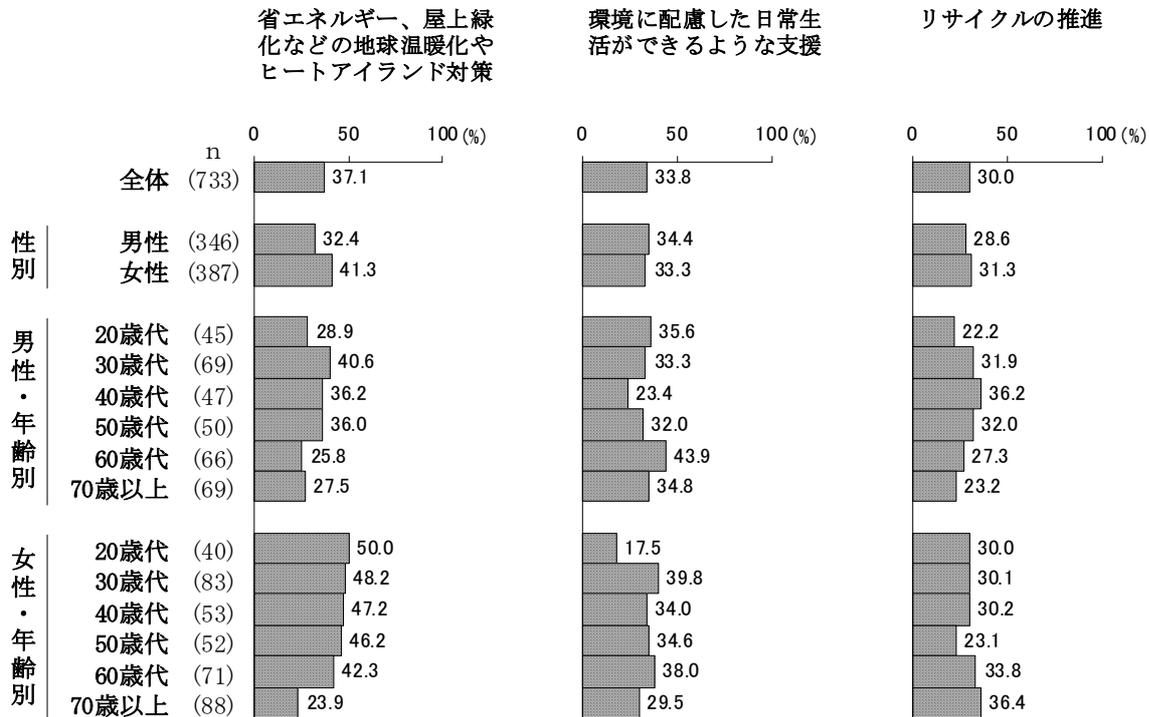
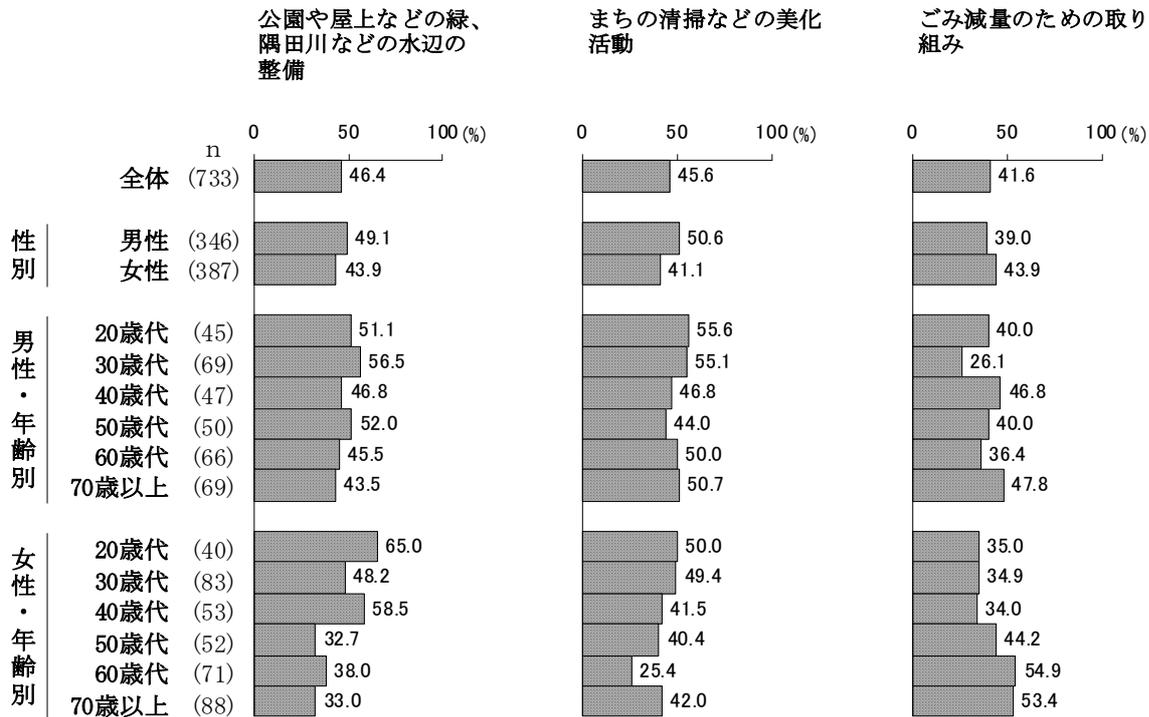
<図表5-8> 環境対策のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備」は、男性（49.1%）の方が女性（43.9%）よりも5ポイント高く、「まちの清掃などの美化活動」でも、男性（50.6%）は女性（41.1%）を10ポイント上回る。逆に、「ごみ減量のための取り組み」は、女性（43.9%）の方が男性（39.0%）よりも5ポイント高く、「省エネルギー、屋上緑化などの地球温暖化やヒートアイランド対策」でも、女性（41.3%）は男性（32.4%）を9ポイント上回っている。

性・年齢別でみると、「公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備」は女性の20歳代（65.0%）で6割台半ばと最も高く、「まちの清掃などの美化活動」は男性の20歳代（55.6%）と30歳代（55.1%）が5割台半ばで高くなっている。また、「省エネルギー、屋上緑化などの地球温暖化やヒートアイランド対策」は、女性で年齢が上がるほど減少しており、70歳以上（23.9%）は2割台半ばにとどまる。（図表5-9）

<図表5-9> 環境対策のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）

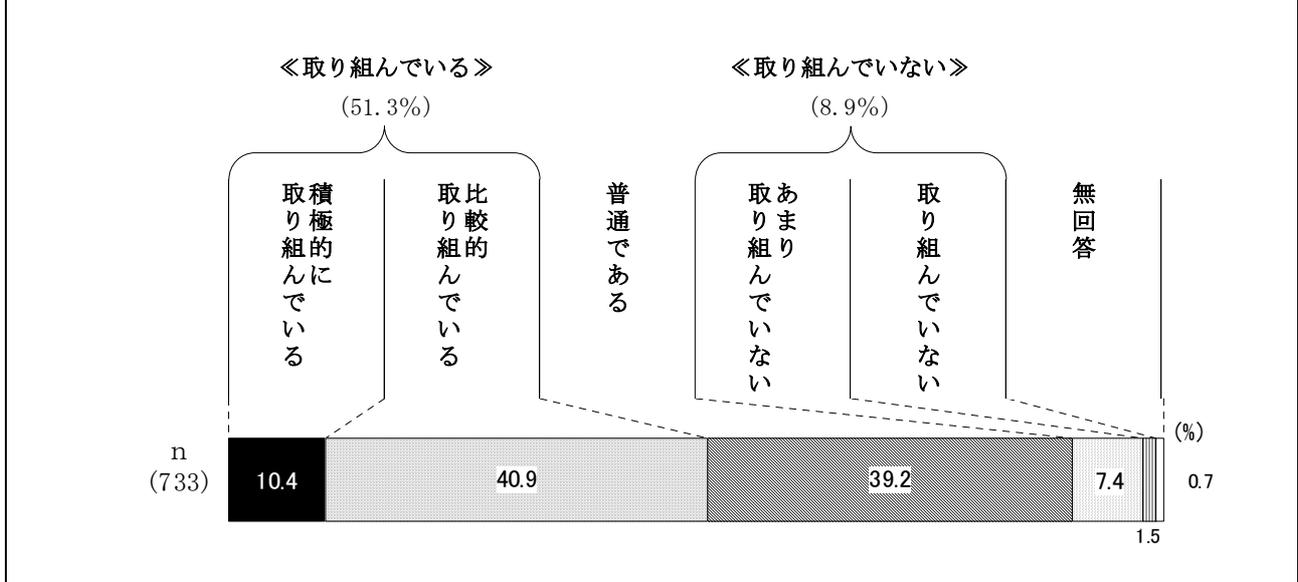


(4) 環境に配慮した行動への取り組み

◇ 《取り組んでいる》が5割を超える

問16 あなたは、電気の節約などの省エネルギーや集団回収などのリサイクル、緑の保全など、環境に配慮した行動に取り組まれていますか。(1つだけ○をおつけください)

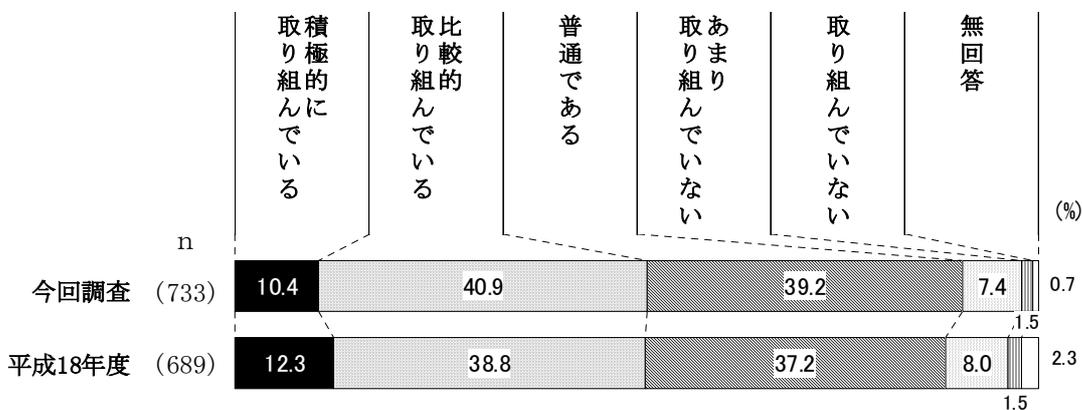
<図表5-10> 環境に配慮した行動への取り組み



環境に配慮した行動への取り組みについて聞いたところ、《取り組んでいる》（「積極的に取り組んでいる」と「比較的に取り組んでいる」の合計）が51.3%で5割を超える。「普通である」（39.2%）は約4割で、《取り組んでいない》（「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計）が8.9%である。（図表5-10）

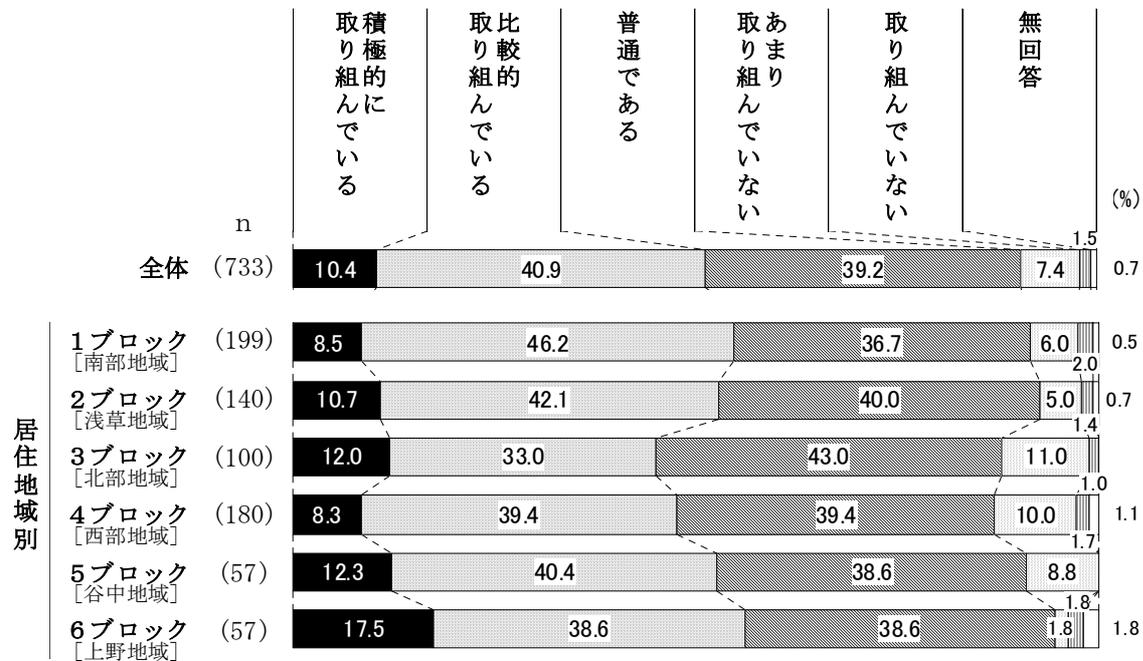
前回の調査結果と比較すると、特に大きな変化はみられない。（図表5-11）

<図表5-11> 環境に配慮した行動への取り組み 経年比較



居住地域別でみると、《取り組んでいる》は、6ブロック[上野地域] (56.1%) と1ブロック[南部地域] (54.7%) が5割台半ばで高くなっている。一方、《取り組んでいない》は、3ブロック[北部地域] (12.0%) と4ブロック[西部地域] (11.7%) が1割を超える。(図表5-12)

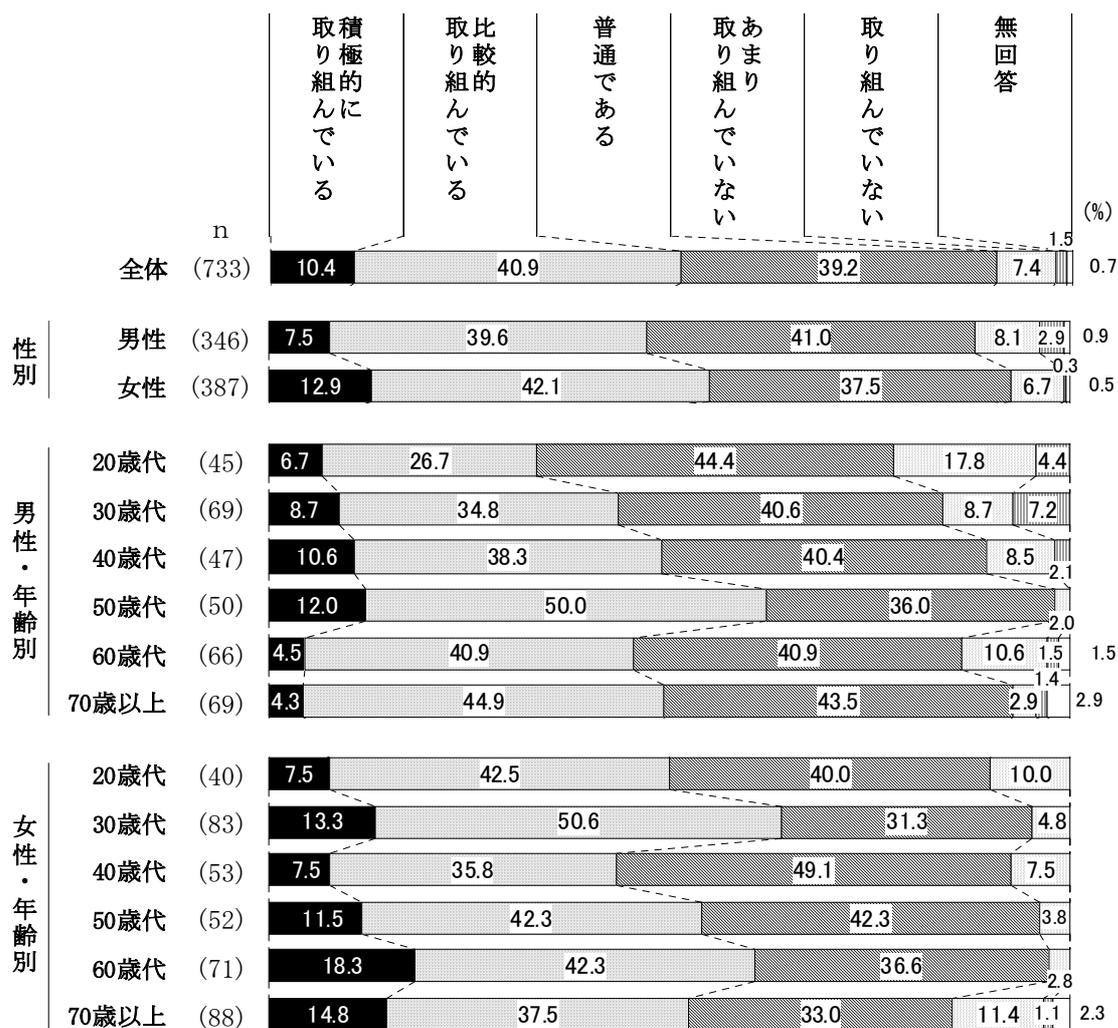
＜図表5-12＞ 環境に配慮した行動への取り組み 居住地域別



性別でみると、《取り組んでいる》は、女性（55.0%）の方が男性（47.1%）よりも8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《取り組んでいる》は、男性では50歳代（62.0%）が6割を超え、女性では30歳代（63.9%）が6割台半ば、60歳代（60.6%）が6割と高くなっている。一方、《取り組んでいない》は、男性の20歳代（22.2%）が2割を超え最も高い。（図表5－13）

＜図表5－13＞ 環境に配慮した行動への取り組み 性別／性・年齢別



6. 生涯学習のための取り組み

◆ 区民の一人ひとりが、心の豊かさや生きがいを、自分にあったかたちで実現していくことや、学習の成果を地域での交流やさまざまな課題解決に活かしていくことが大切です。

また、地域の課題の解決のため、さまざまな活動が行われています。

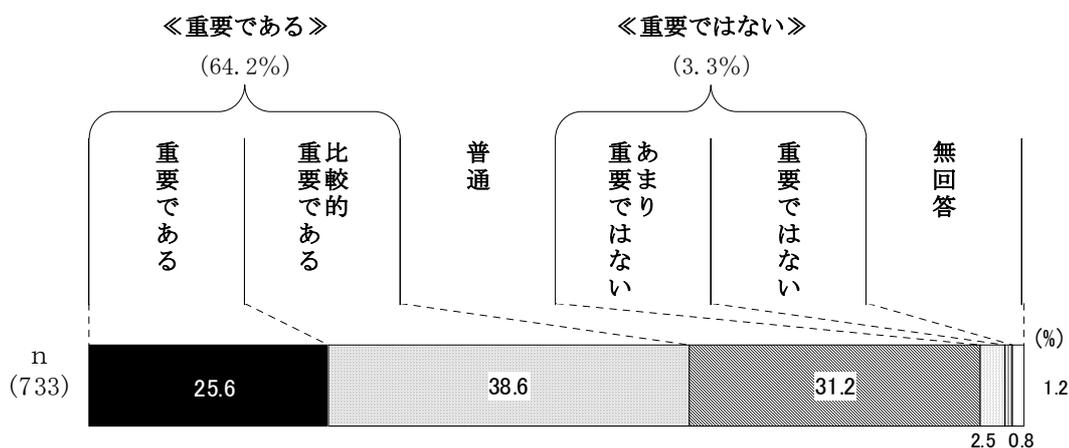
区では、区民のさまざまな学習ニーズに応えるため、生涯学習センター、図書館などの整備、多様な講座などの学ぶ機会の充実に取り組んでいます。

(1) 生涯学習についての重要度

◇ 《重要である》が6割台半ば

問17 生涯学習についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

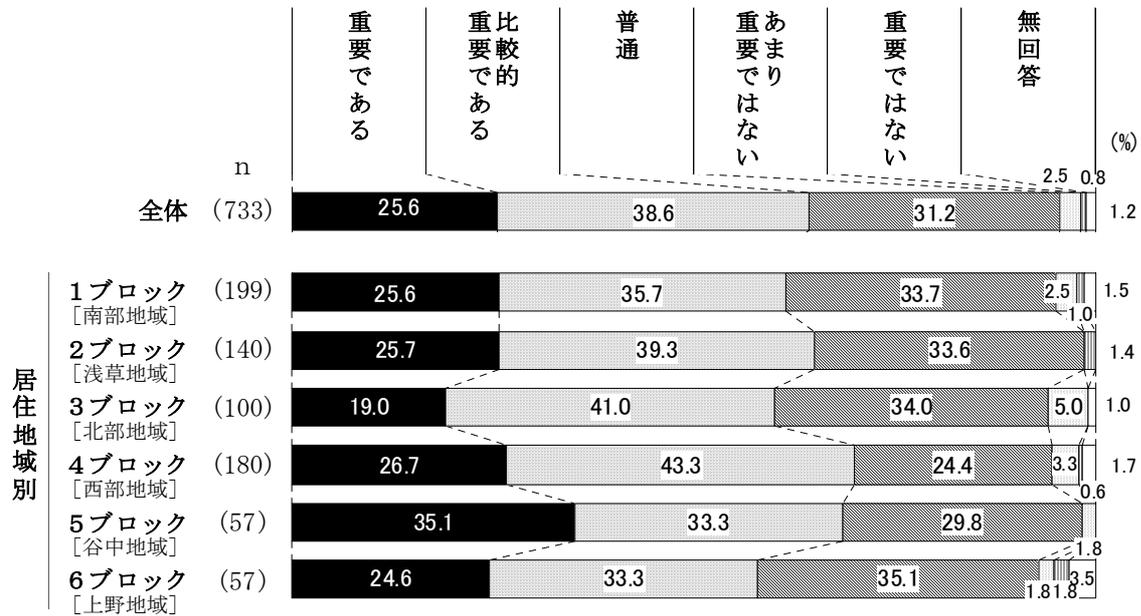
<図表6-1> 生涯学習についての重要度



生涯学習がどの程度重要かを聞いたところ、「重要である」(25.6%)に「比較的重要な」(38.6%)を合わせると、「重要である」は64.2%で6割台半ばとなっている。一方、「重要ではない」(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は3.3%である。(図表6-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、4ブロック[西部地域] (70.0%) が7割で最も高く、次いで5ブロック[谷中地域] (68.4%) が約7割となっている。(図表6-2)

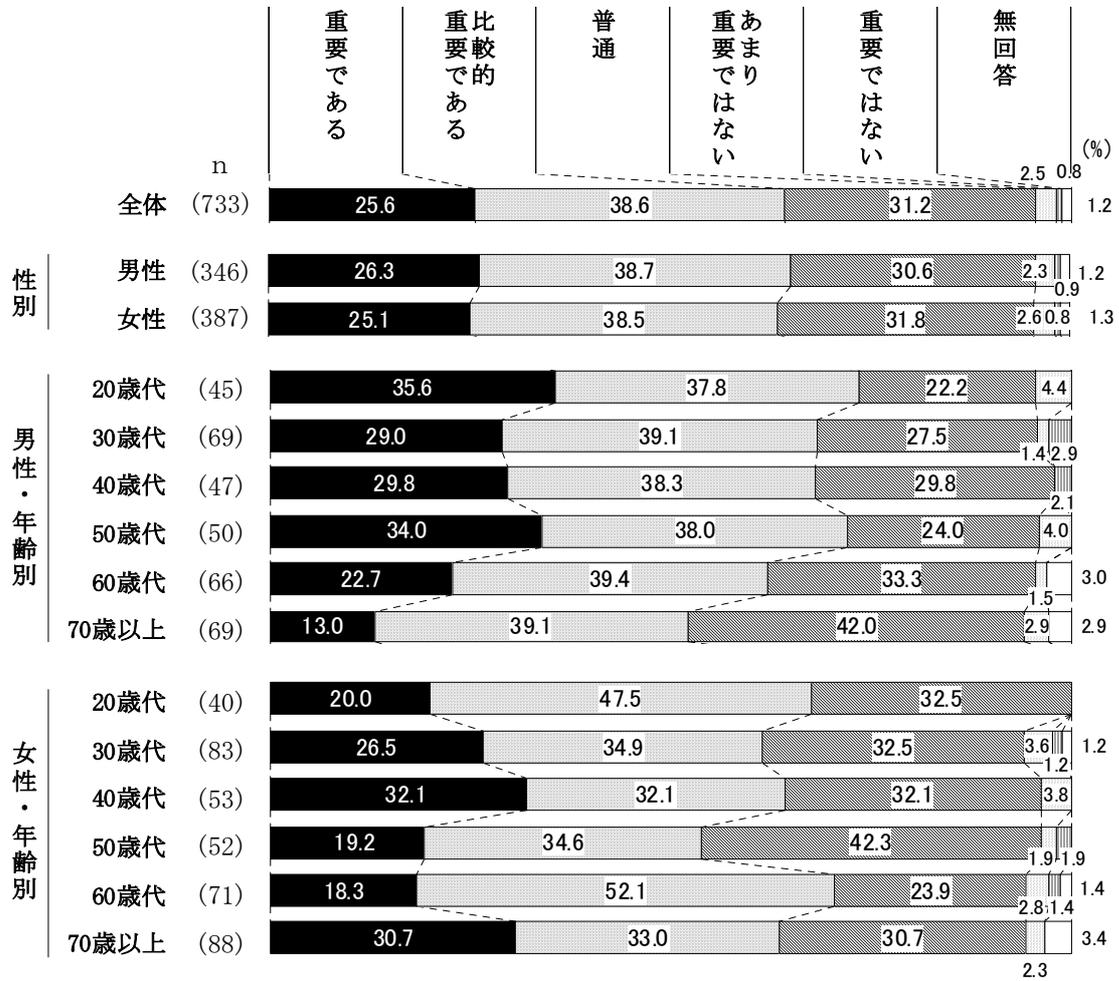
＜図表6-2＞ 生涯学習についての重要度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では20歳代（73.4%）が7割台半ばで最も高く、僅差で50歳代（72.0%）が続く。女性では60歳代（70.4%）が7割で最も高い。（図表6-3）

＜図表6-3＞ 生涯学習についての重要度 性別／性・年齢別



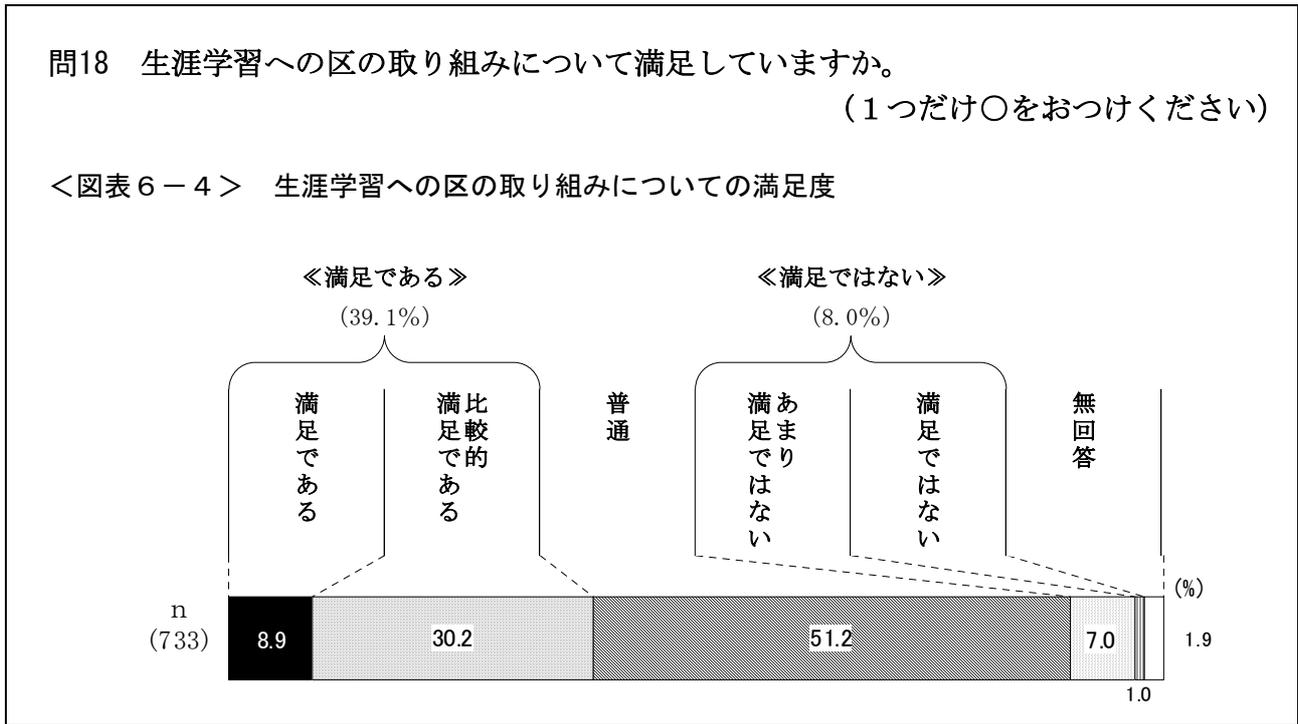
(2) 生涯学習への区の取り組みについての満足度

◇「普通」が5割を超える

問18 生涯学習への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

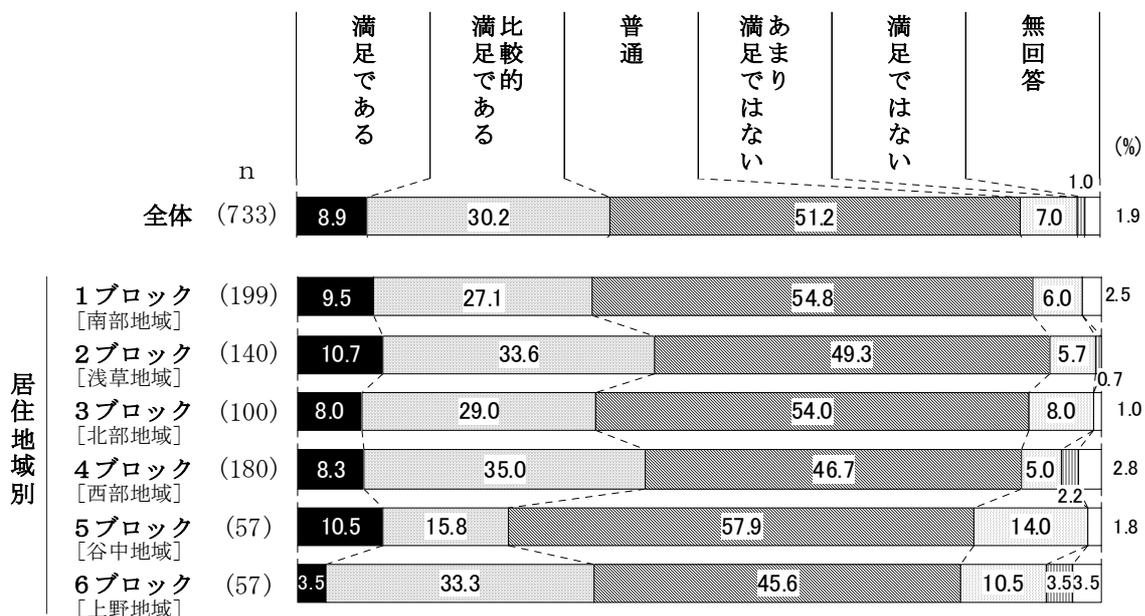
<図表6-4> 生涯学習への区の取り組みについての満足度



生涯学習への区の取り組みについての満足度について聞いたところ、「普通」(51.2%)が5割を超え最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は39.1%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は8.0%である。(図表6-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、2ブロック[浅草地域](44.3%)と4ブロック[西部地域](43.3%)が4割台半ばで高くなっている。一方、《満足ではない》は、5ブロック[谷中地域](14.0%)と6ブロック[上野地域](14.0%)が1割台半ばで並ぶ。(図表6-5)

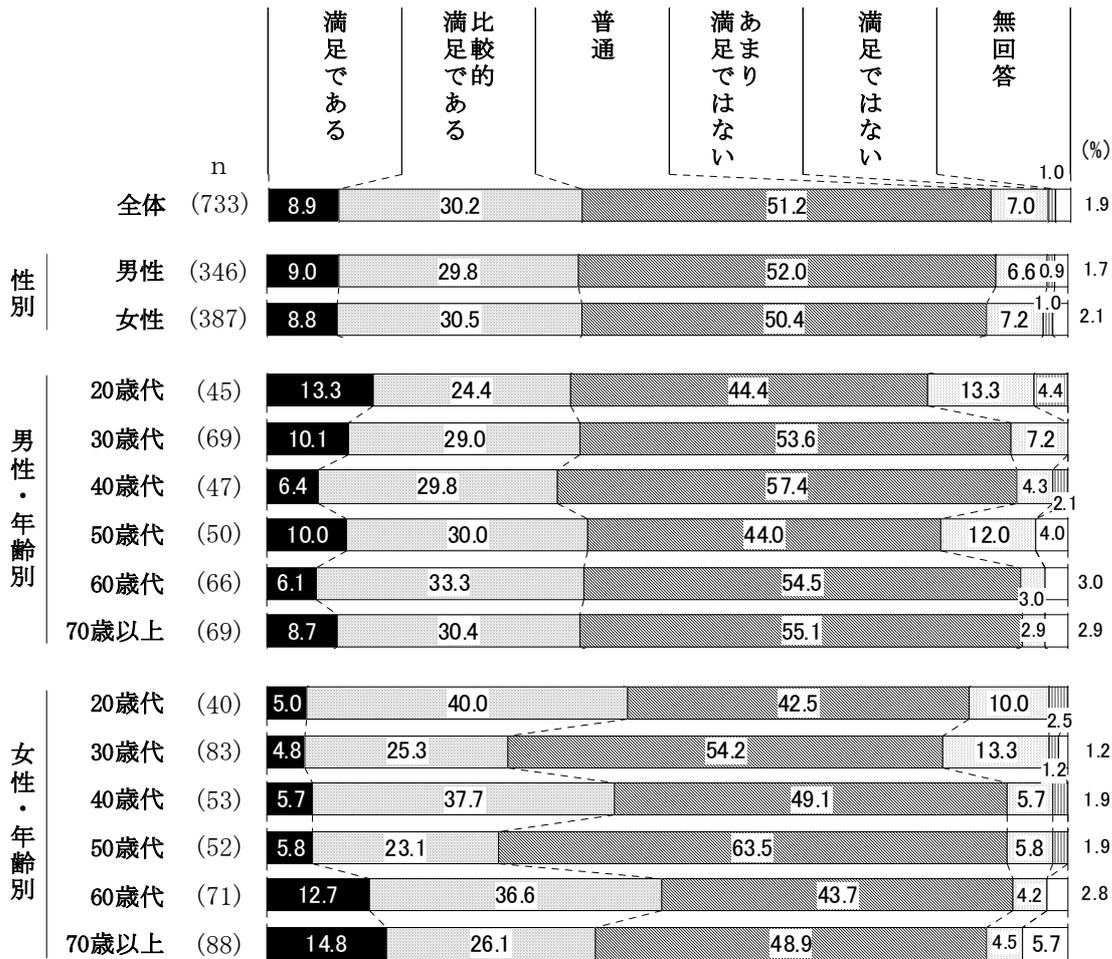
<図表6-5> 生涯学習への区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では年齢による特に大きな違いはみられないものの、女性では60歳代（49.3%）が約5割で最も高く、次いで20歳代（45.0%）、40歳代（43.4%）が4割台半ばとなっている。一方、《満足ではない》は、男性の20歳代（17.7%）が約2割で最も高い。（図表6-6）

＜図表6-6＞ 生涯学習への区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



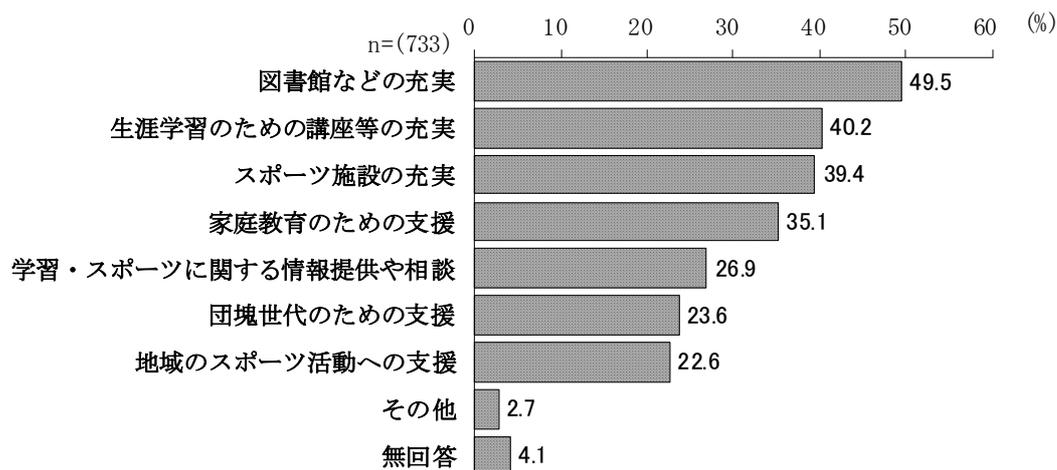
(3) 生涯学習のための取り組みとして大切なもの

◇「図書館などの充実」が約5割

問19 生涯学習のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

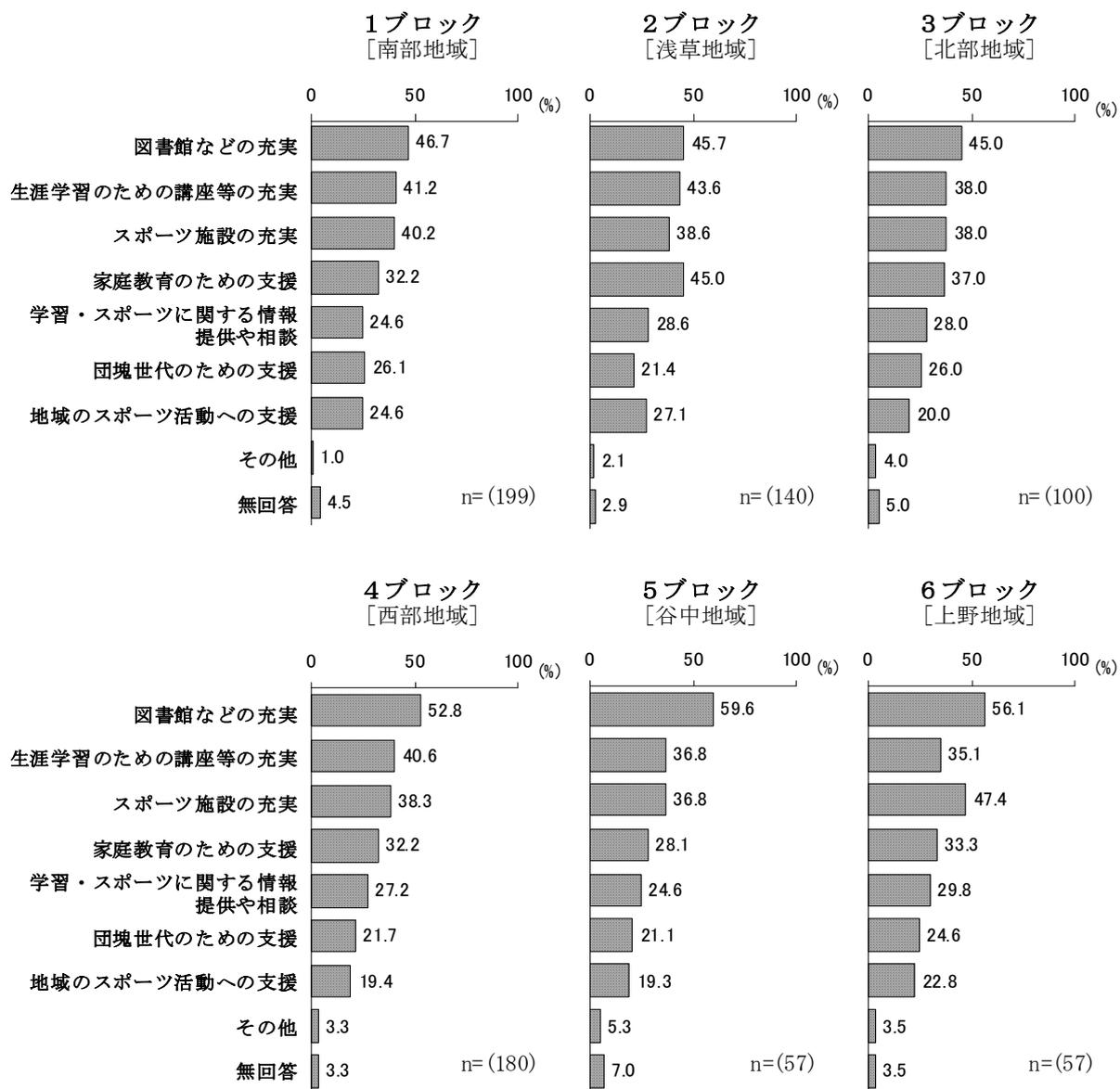
<図表6-7> 生涯学習のための取り組みとして大切なもの（複数回答）



生涯学習のための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「図書館などの充実」(49.5%)が約5割で最も高くなっている。次いで「生涯学習のための講座等の充実」(40.2%)と「スポーツ施設の充実」(39.4%)が4割前後で並ぶ。(図表6-7)

居住地域別でみると、いずれも「図書館などの充実」が高く、その中でも、5ブロック[谷中地域] (59.6%) は約6割で最も高く、次いで6ブロック[上野地域] (56.1%) が5割台半ば、4ブロック[西部地域] (52.8%) が5割を超える。(図表6-8)

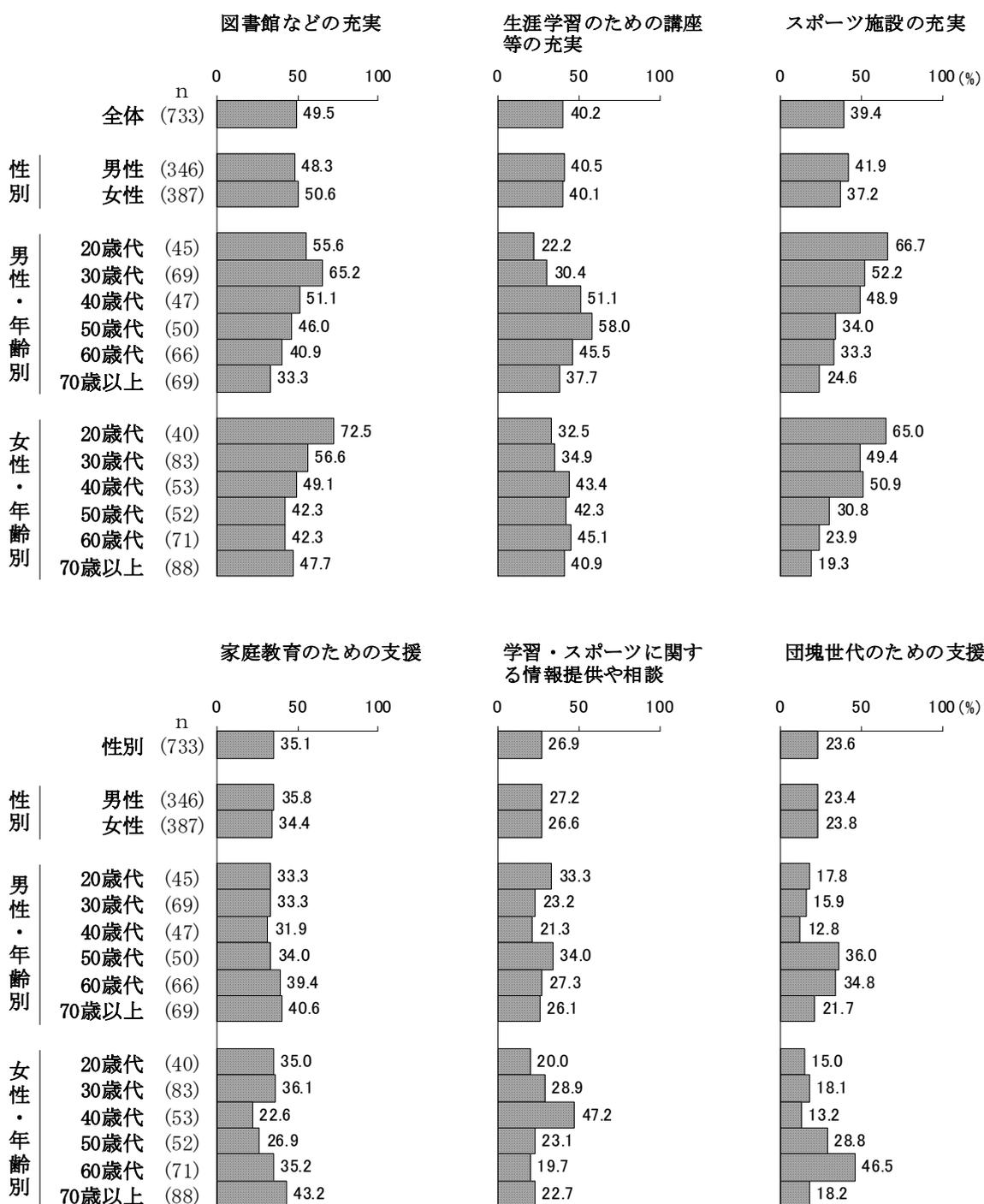
<図表6-8> 生涯学習のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「スポーツ施設の充実」は、男性（41.9%）の方が女性（37.2%）よりも5ポイント高くなっている。

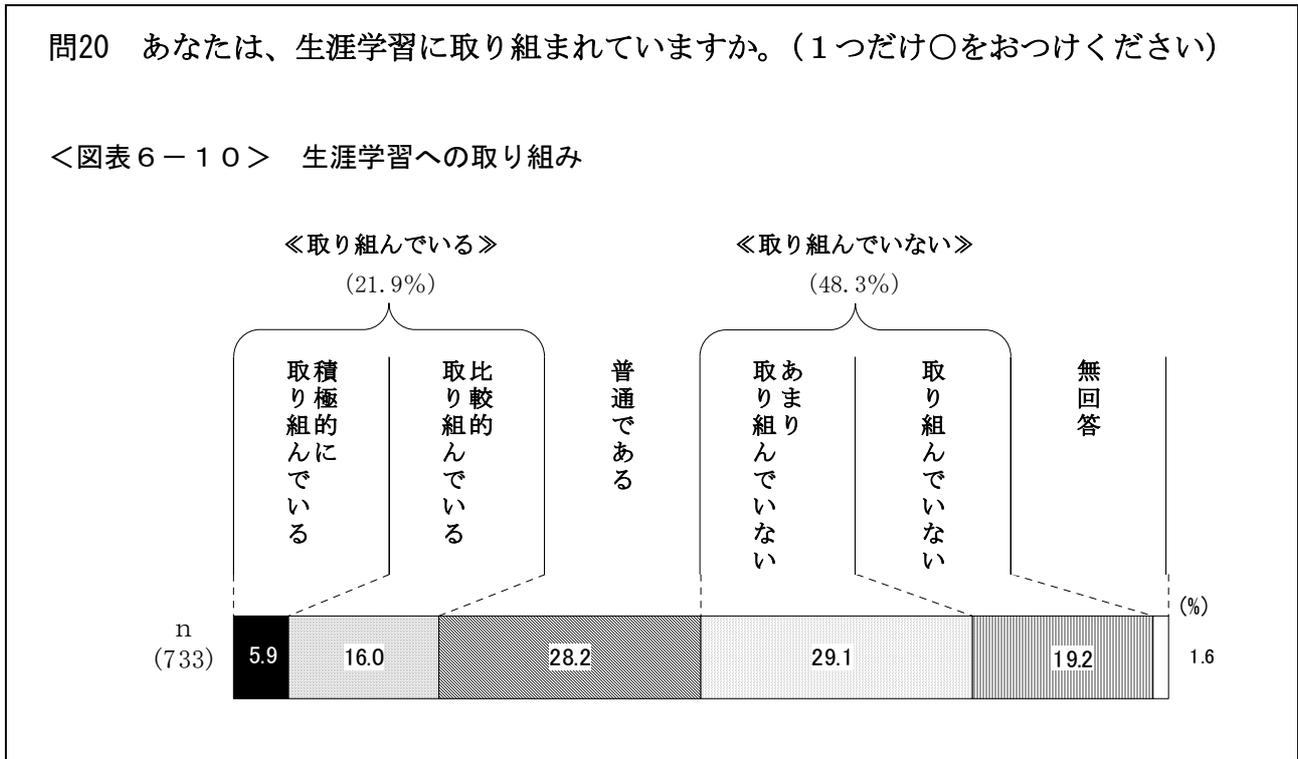
性・年齢別でみると、「図書館などの充実」は、男性では30歳代（65.2%）が6割台半ば、女性では20歳代（72.5%）が7割を超え高くなっている。「生涯学習のための講座等の充実」は、男性の50歳代（58.0%）が約6割で最も高い。また、「スポーツ施設の充実」は、男性の20歳代（66.7%）、女性の20歳代（65.0%）がともに6割台半ばで高く、それ以降年齢が上がるほど減少する傾向がみられる。このほか、「学習・スポーツに関する情報提供や相談」は女性の40歳代（47.2%）が約5割、「団塊世代のための支援」は女性の60歳代（46.5%）が4割台半ばで高くなっている。（図表6－9）

＜図表6－9＞ 生涯学習のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



(4) 生涯学習への取り組み

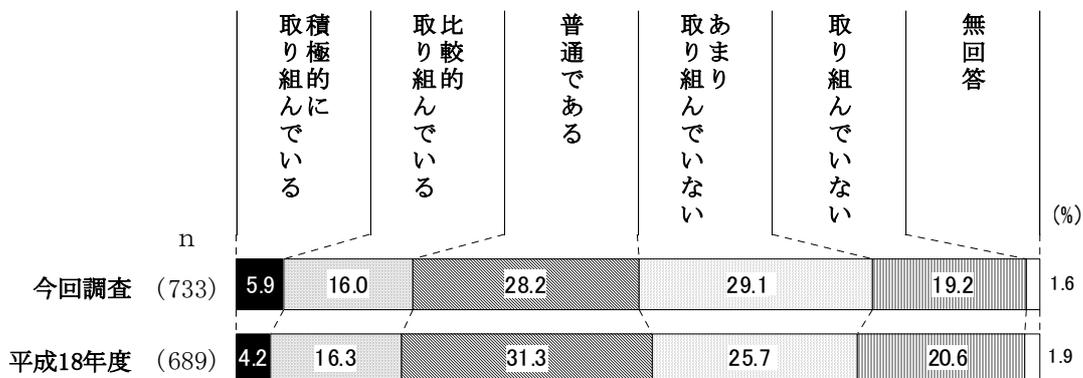
◇ 《取り組んでいない》は約5割



生涯学習への取り組みについて聞いたところ、《取り組んでいる》（「積極的に取り組んでいる」と「比較的取り組んでいる」の合計）は21.9%で、「普通である」（28.2%）が約3割となっている。一方、《取り組んでいない》（「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計）は48.3%で約5割と高い。（図表6-10）

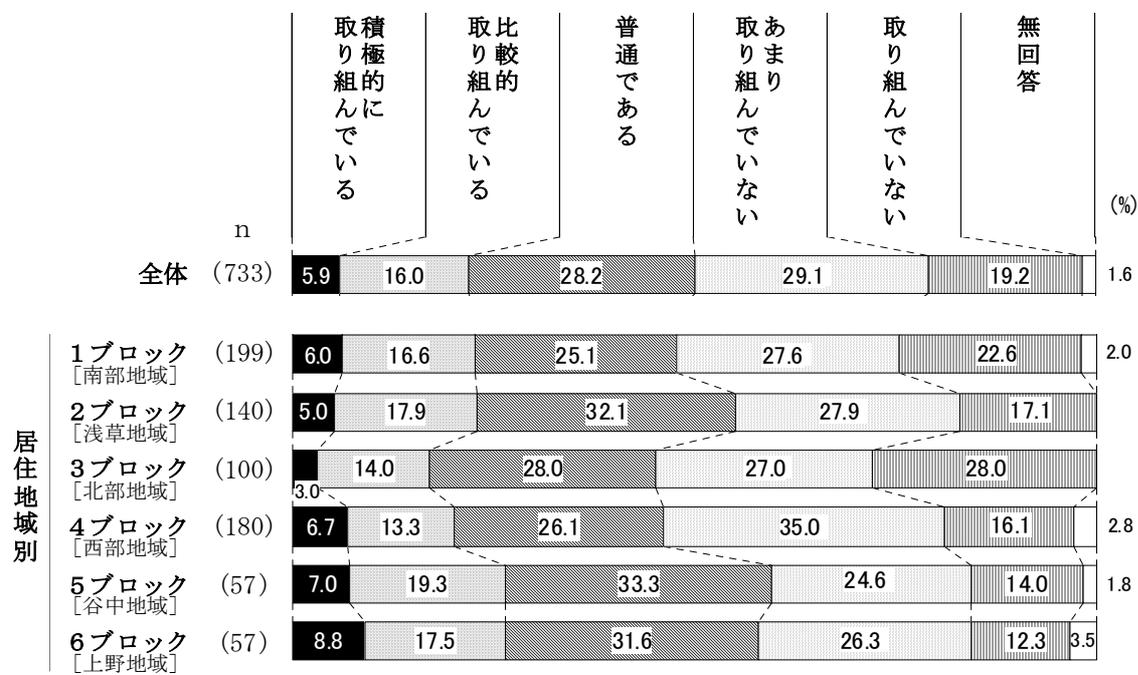
前回の調査結果と比較すると、特に大きな変化はみられない。（図表6-11）

<図表6-11> 生涯学習への取り組み 経年比較



居住地域別でみると、《取り組んでいる》は、3ブロック[北部地域]（17.0%）が約2割にとどまり低く、この居住地域は《取り組んでいない》（55.0%）が5割台半ばと最も高くなっている。（図表6-12）

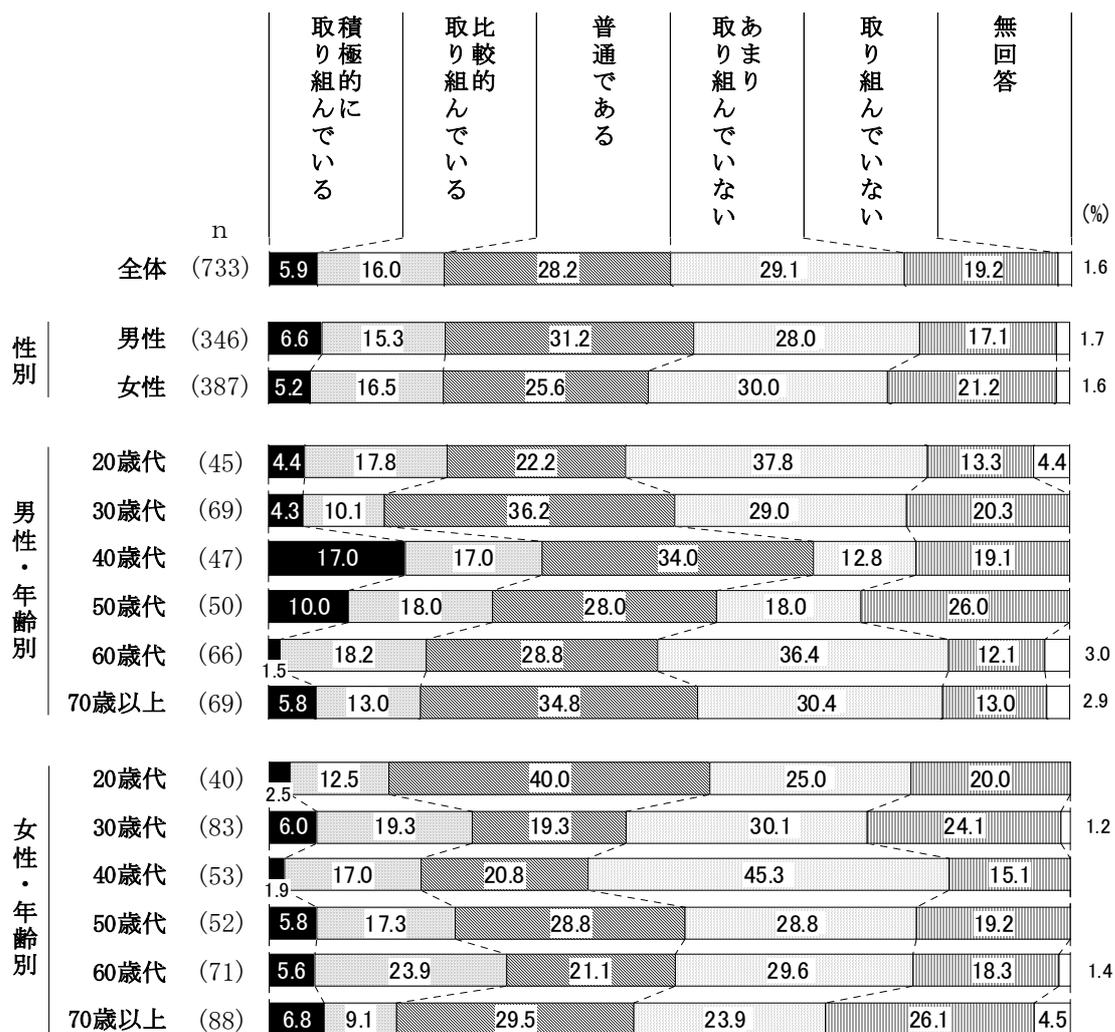
＜図表6-12＞ 生涯学習への取り組み 居住地域別



性別で見ると、《取り組んでいない》は、女性（51.2%）の方が男性（45.1%）よりも6ポイント高くなっている。

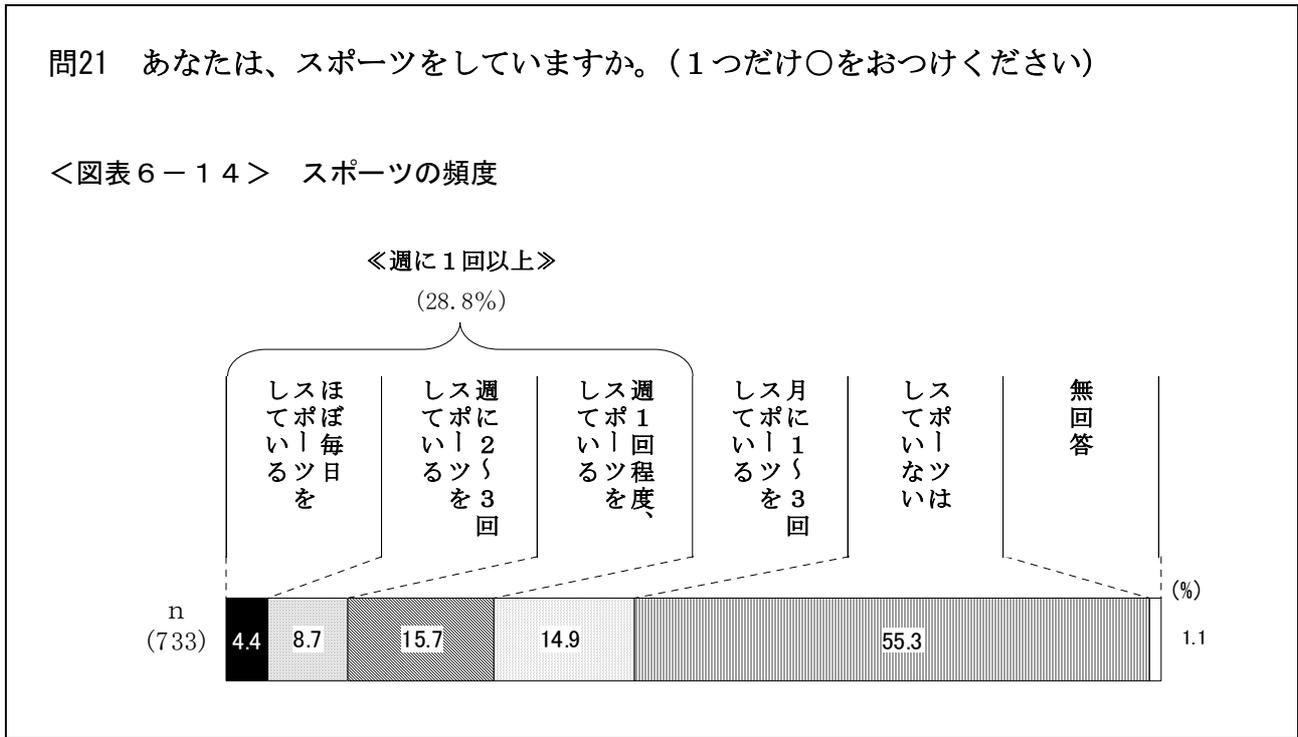
性・年齢別で見ると、《取り組んでいる》は、男性では40歳代（34.0%）が3割台半ば、女性では60歳代（29.5%）が約3割で最も高くなっている。一方、《取り組んでいない》は、女性の40歳代（60.4%）が6割で最も高い。（図表6-13）

＜図表6-13＞ 生涯学習への取り組み 性別／性・年齢別



(5) スポーツの頻度

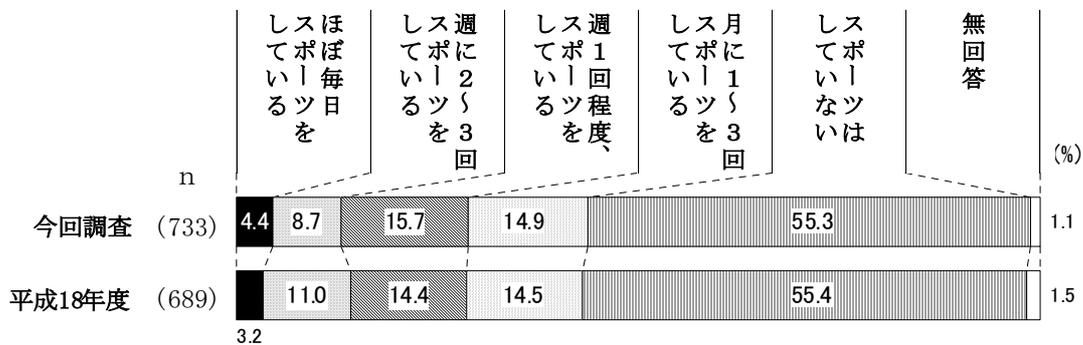
◇「スポーツはしていない」が5割台半ば、《週に1回以上》が約3割



スポーツの頻度について聞いたところ、「スポーツはしていない」(55.3%)が5割台半ばで最も高くなっている。一方、「ほぼ毎日スポーツをしている」(4.4%)から「週に2~3回スポーツをしている」(8.7%)、「週1回程度、スポーツをしている」(15.7%)までを合わせると、《週に1回以上》は28.8%で約3割となっている。(図表6-14)

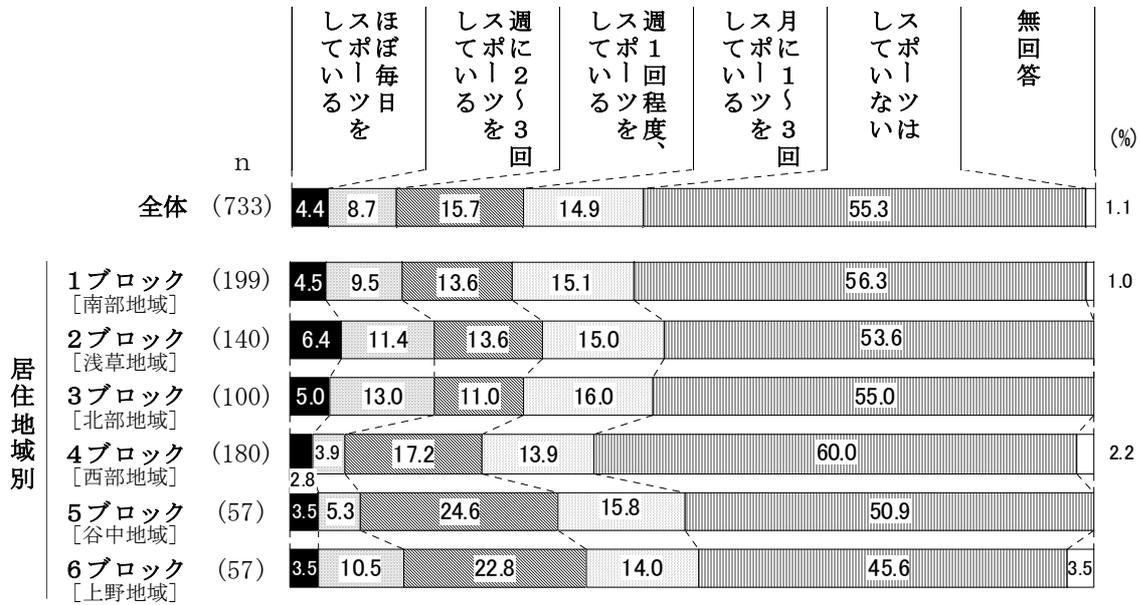
前回の調査結果と比較すると、特に大きな変化はみられない。(図表6-15)

<図表6-15> スポーツの頻度 経年比較



居住地域別でみると、《週に1回以上》は、6ブロック[上野地域] (36.8%) と5ブロック[谷中地域] (33.4%) が3割台半ばで高くなっている。一方、「スポーツはしていない」は、4ブロック[西部地域] (60.0%) が6割で最も高い。(図表6-16)

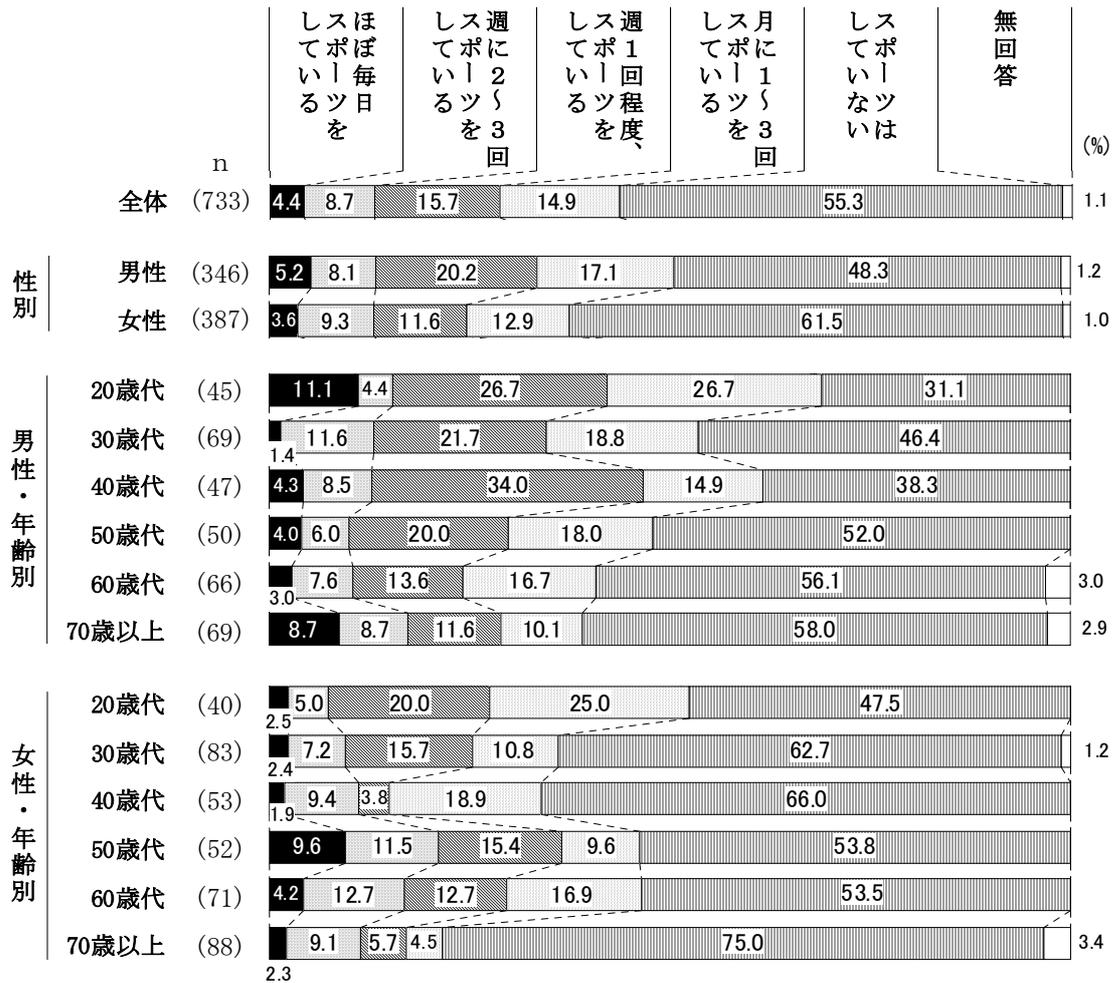
＜図表6-16＞ スポーツの頻度 居住地域別



性別でみると、《週に1回以上》は、男性（33.5%）の方が女性（24.5%）よりも9ポイント高くなっている。逆に、「スポーツはしていない」は、女性（61.5%）が男性（48.3%）を13ポイント上回る。

性・年齢別でみると、《週に1回以上》は、男性では40歳代（46.8%）が4割台半ばで最も高く、次いで20歳代（42.2%）が4割を超える。女性では50歳代（36.5%）が3割台半ばで最も高くなっている。一方、「スポーツはしていない」は、女性の70歳以上（75.0%）が7割台半ばと最も高く、次いで女性の40歳代（66.0%）が6割台半ば、30歳代（62.7%）が6割を超える。（図表6-17）

＜図表6-17＞ スポーツの頻度 性別／性・年齢別



7. 健康づくりのための取り組み

◆ すべての区民が、それぞれに、健康を維持し、いきいきとした日常生活を送ることが大切です。

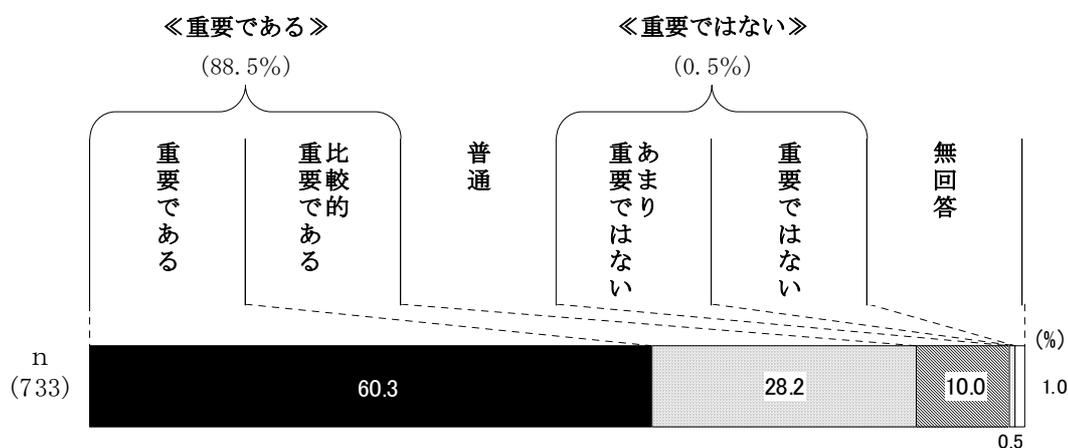
そのため、区では、誰もが生涯を通じて心と体の健康づくりに取り組めるように、生活習慣病の予防、親子の健康づくり、介護の予防、地域の健康づくり活動などを支援しています。

(1) 健康づくりについての重要度

◇ 《重要である》が約9割

問22 健康づくりについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

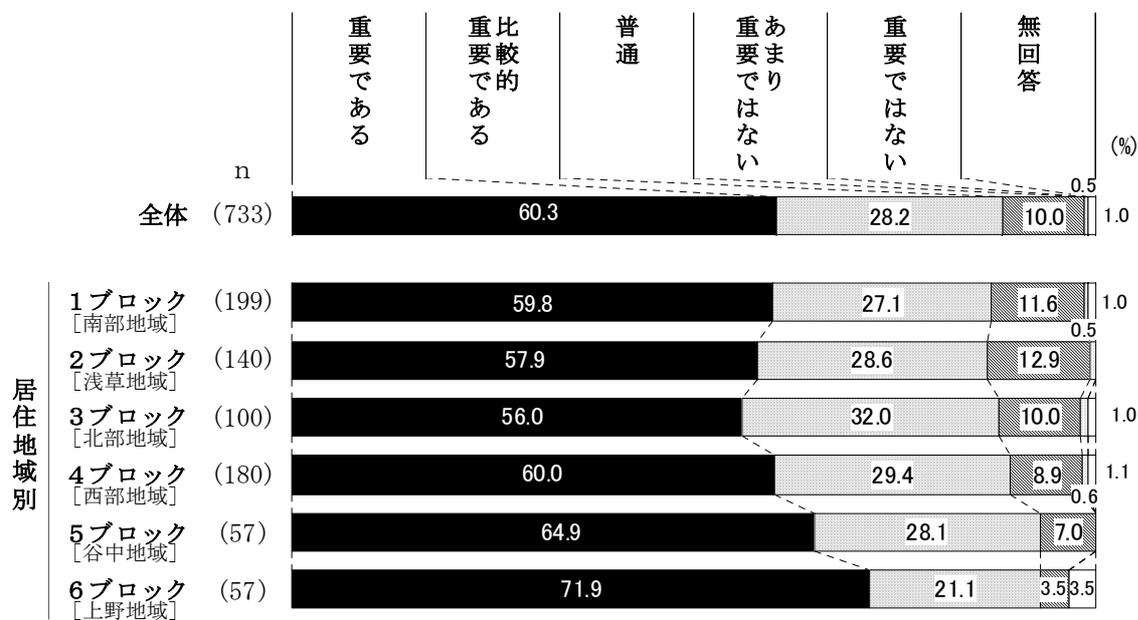
<図表7-1> 健康づくりについての重要度



健康づくりがどの程度重要かを聞いたところ、「重要である」(60.3%)が6割で最も高くなっている。これに「比較的重要な」(28.2%)を合わせると、《重要である》は88.5%で約9割となっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.5%である。(図表7-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、5ブロック[谷中地域] (93.0%) と6ブロック[上野地域] (93.0%) が9割台半ばで並び高くなっている。特に、より強い回答である「重要である」は、6ブロック[上野地域] (71.9%) で7割を超える。(図表7-2)

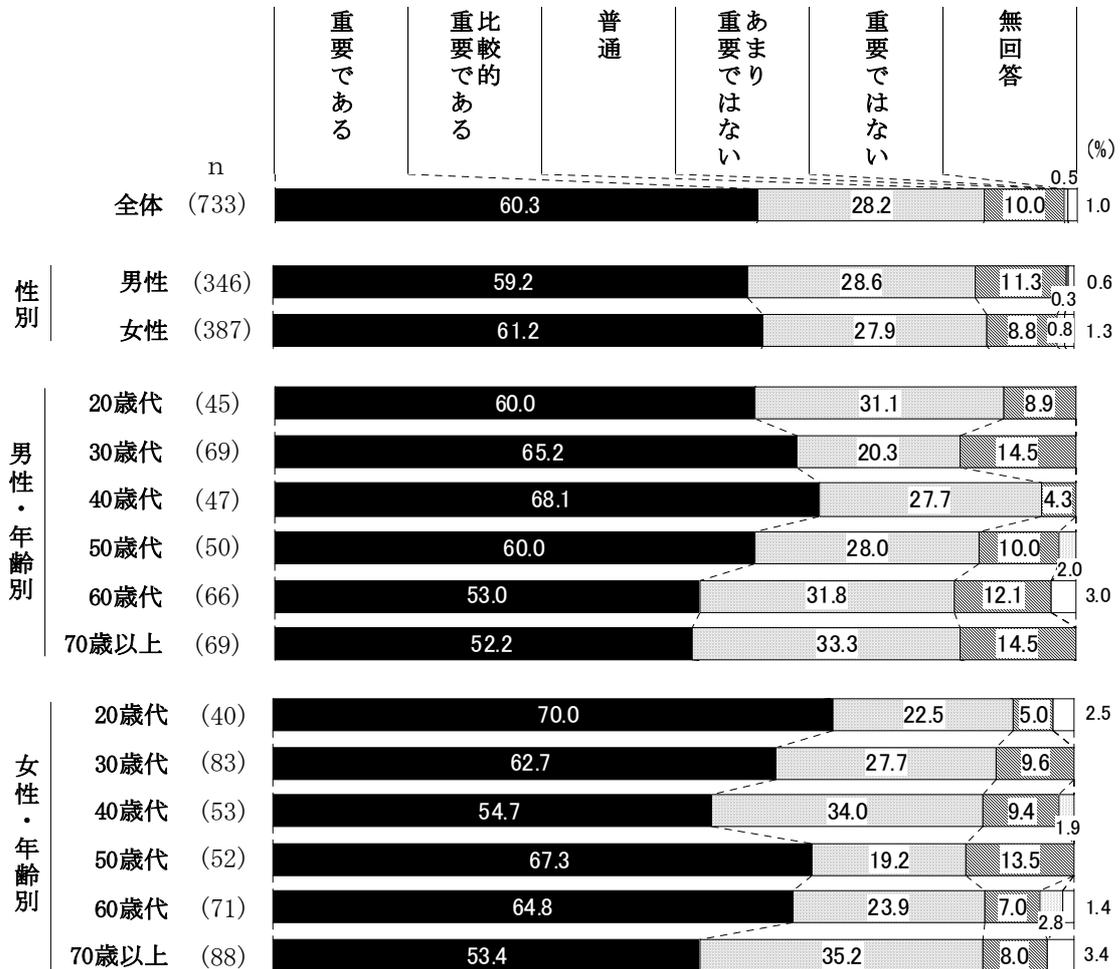
＜図表7-2＞ 健康づくりについての重要度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

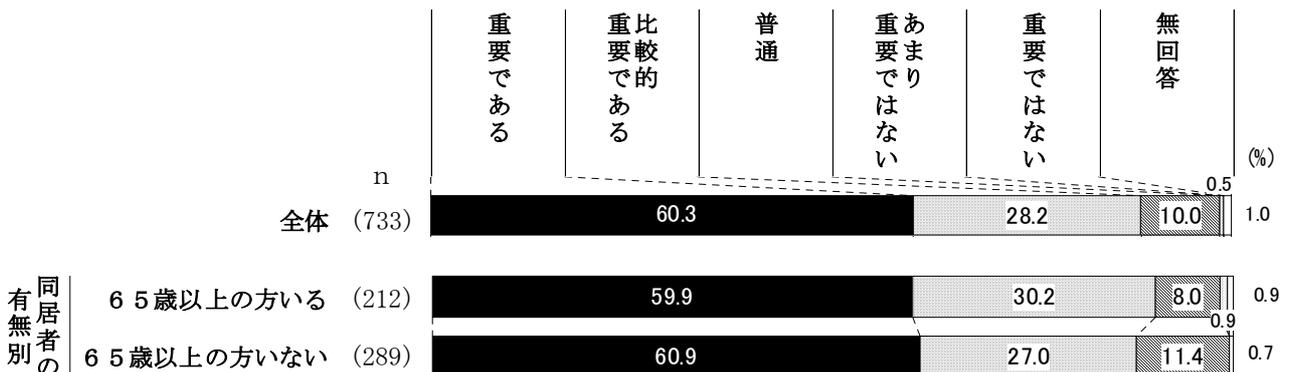
性・年齢別でみると、《重要である》は、男性の40歳代（95.8%）が9割台半ばで最も高くなっている。（図表7-3）

＜図表7-3＞ 健康づくりについての重要度 性別／性・年齢別



同居者の有無別では、特に大きな違いはみられない。（図表7-4）

＜図表7-4＞ 健康づくりについての重要度 同居者の有無別



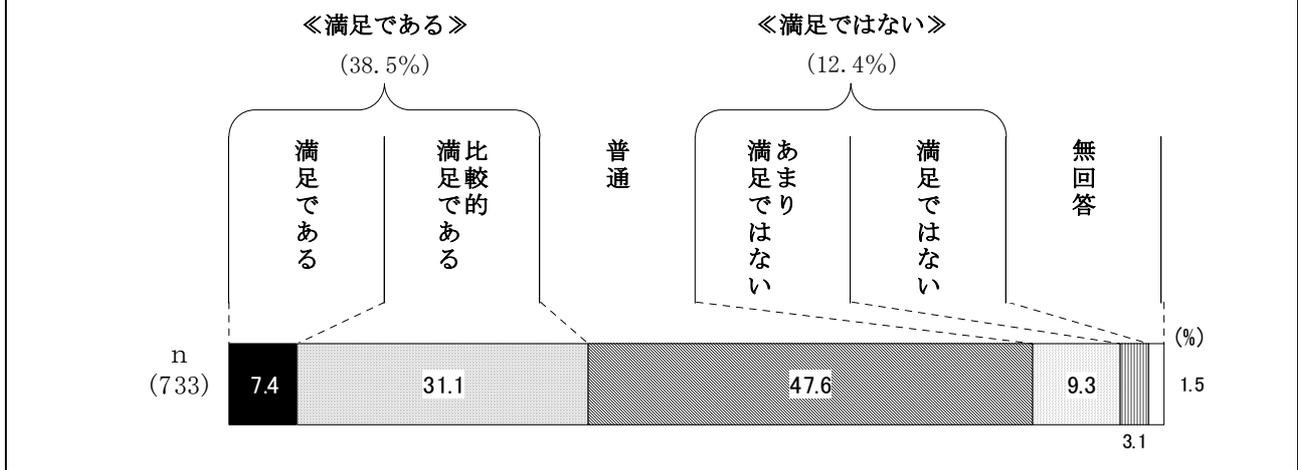
(2) 健康づくりのための区の取り組みについての満足度

◇「普通」が約5割、「満足である」は約4割

問23 健康づくりのための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

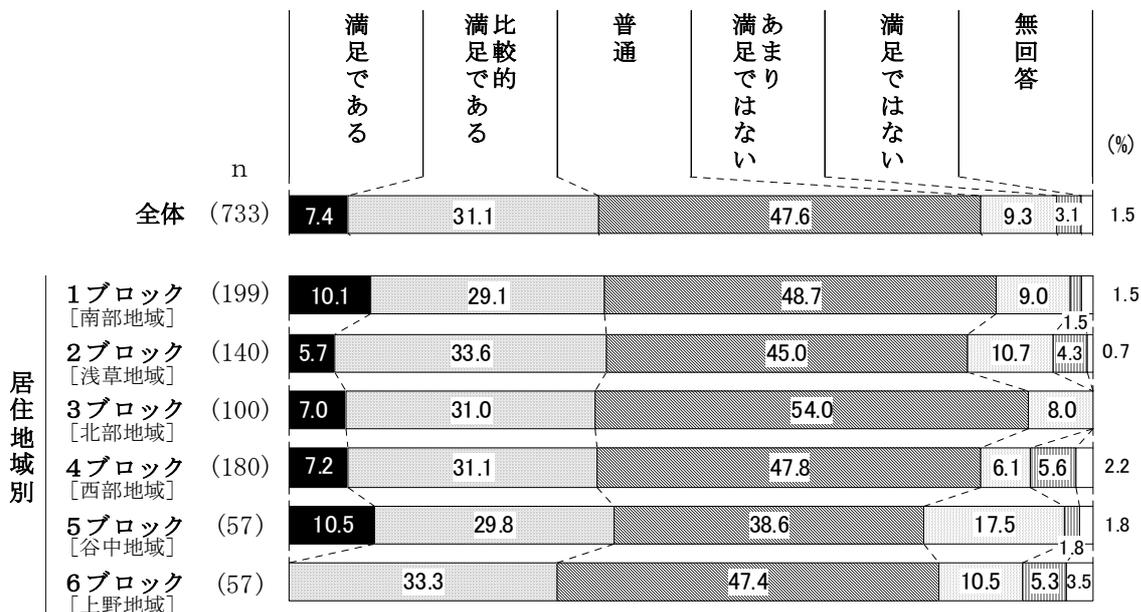
<図表7-5> 健康づくりのための区の取り組みについての満足度



健康づくりのための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(47.6%)が約5割で最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は38.5%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は12.4%である。(図表7-5)

居住地域別でみると、《満足である》は、6ブロック[上野地域](33.3%)が3割台半ばにとどまり低くなっている。一方、《満足ではない》は、5ブロック[谷中地域](19.3%)が約2割で最も高い。(図表7-6)

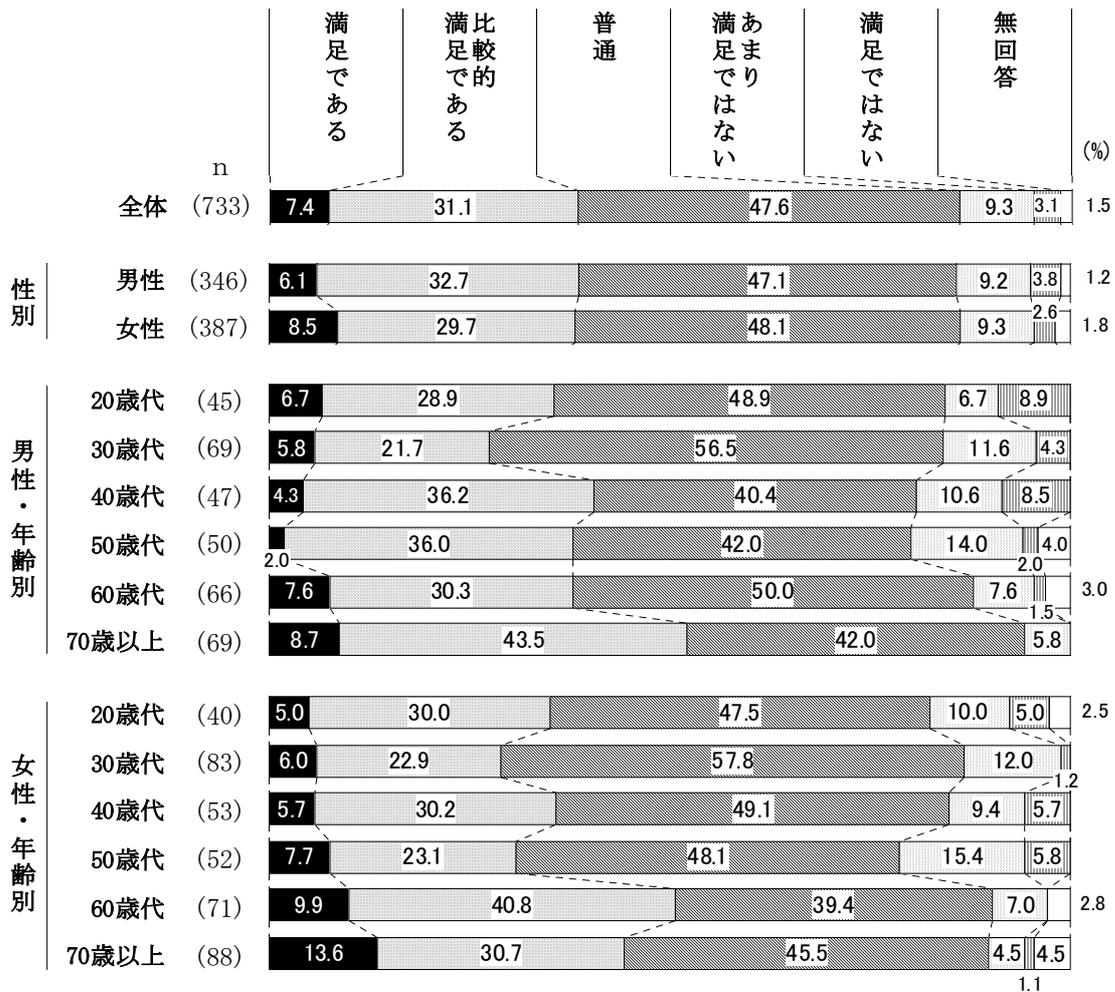
<図表7-6> 健康づくりのための区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

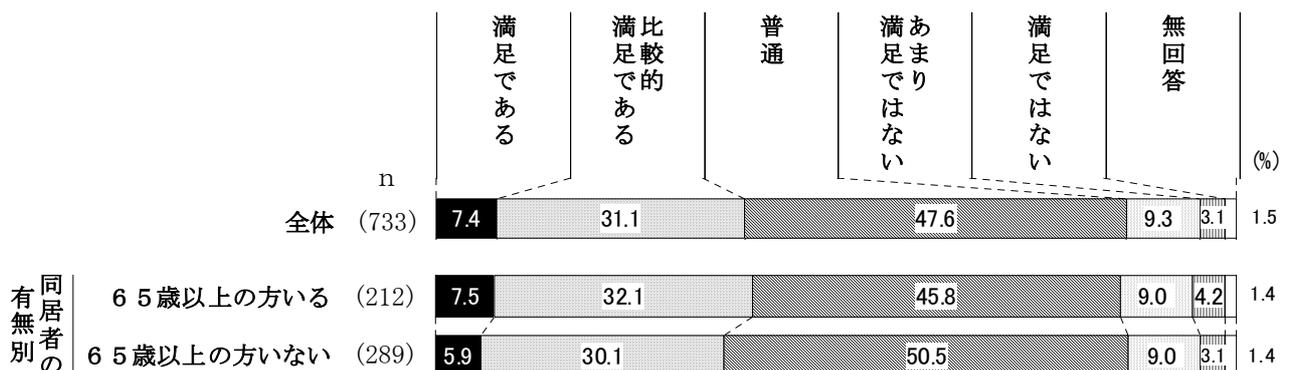
性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では70歳以上（52.2%）が5割を超え最も高くなっていて。女性では60歳代（50.7%）が5割で最も高く、次いで70歳以上（44.3%）が4割台半ばである。一方、《満足ではない》は、男性の40歳代（19.1%）が約2割、女性の50歳代（21.2%）が2割を超える。（図表7-7）

＜図表7-7＞ 健康づくりのための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



同居者の有無別でみると、特に大きな違いはみられない。（図表7-8）

＜図表7-8＞ 健康づくりのための区の取り組みについての満足度 同居者の有無別



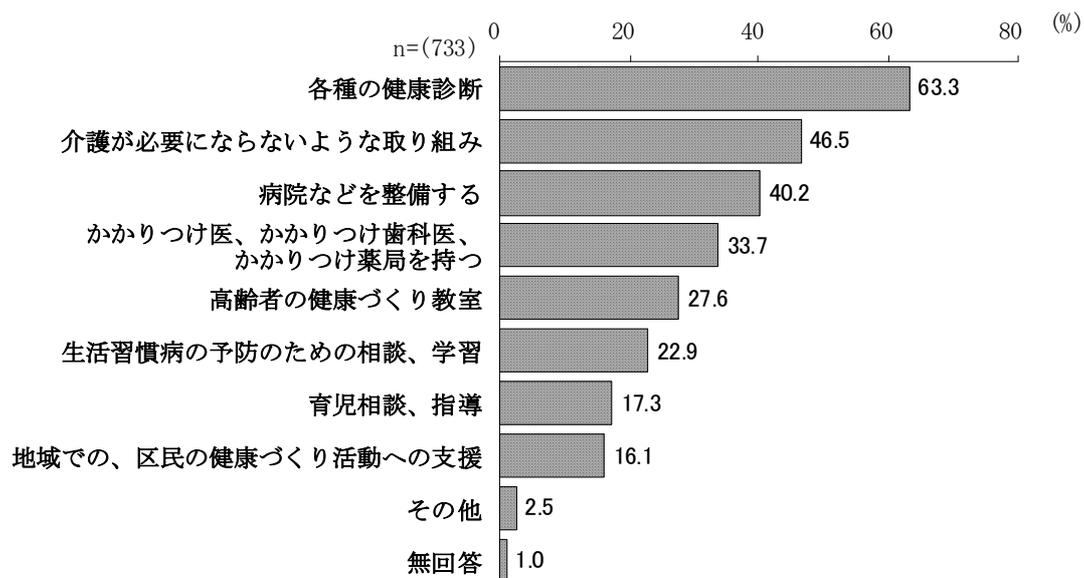
(3) 健康づくりのための取り組みとして大切なもの

◇「各種の健康診断」が6割台半ば

問24 健康づくりのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

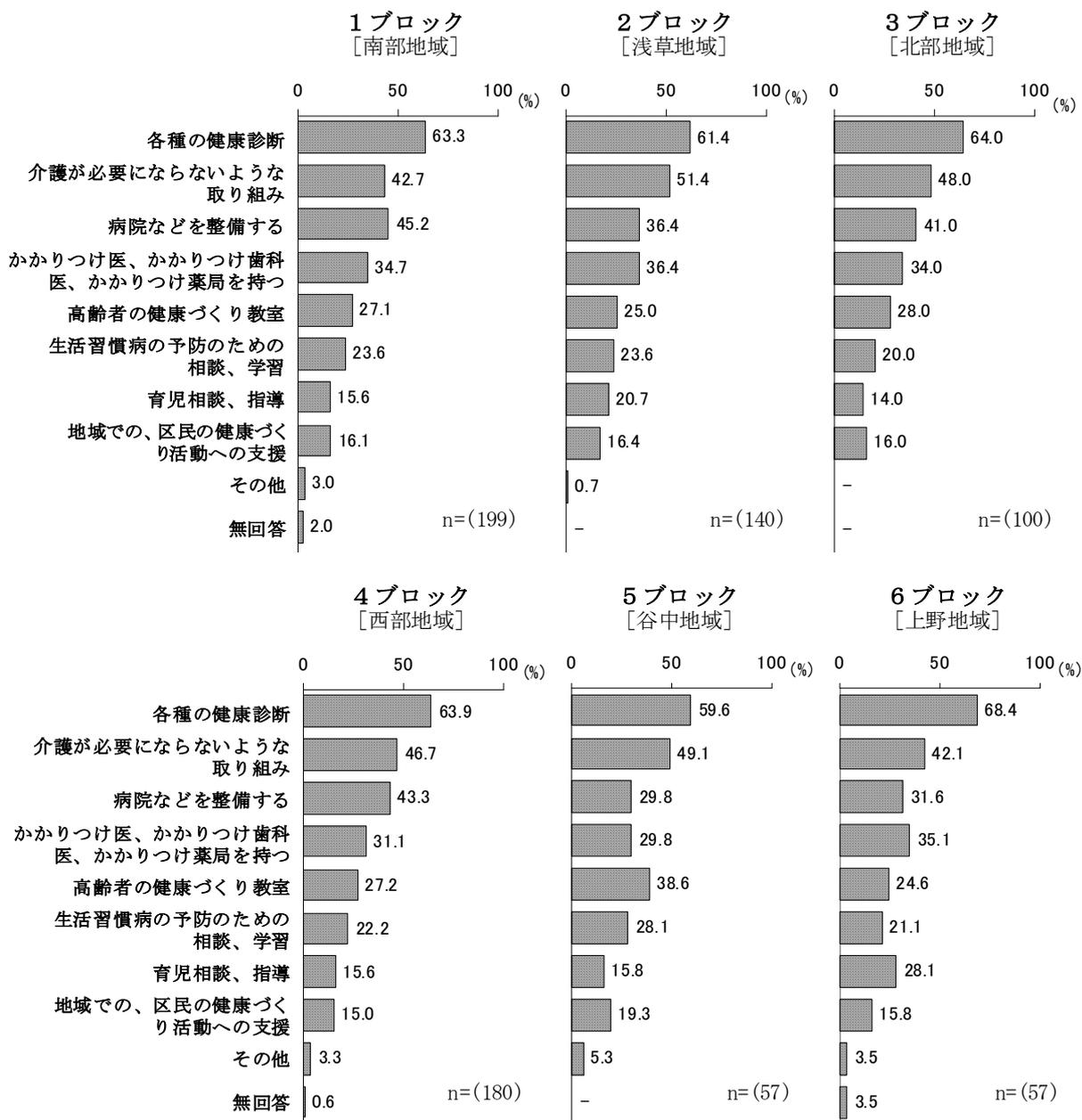
<図表7-9> 健康づくりのための取り組みとして大切なもの(複数回答)



健康づくりのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「各種の健康診断」(63.3%)が6割台半ばで最も高くなっている。次いで「介護が必要にならないような取り組み」(46.5%)が4割台半ば、「病院などを整備する」(40.2%)が4割となっている。(図表7-9)

居住地域別でみると、いずれも「各種の健康診断」が高く、中でも、6ブロック[上野地域] (68.4%) は約7割となっている。また、1ブロック [南部地域]を除いた地域で「介護が必要にならないような取り組み」が2番目に高い。しかし、1ブロック [南部地域]だけは、「病院などを整備する」(45.2%) が4割台半ばで2番目となっている。(図表7-10)

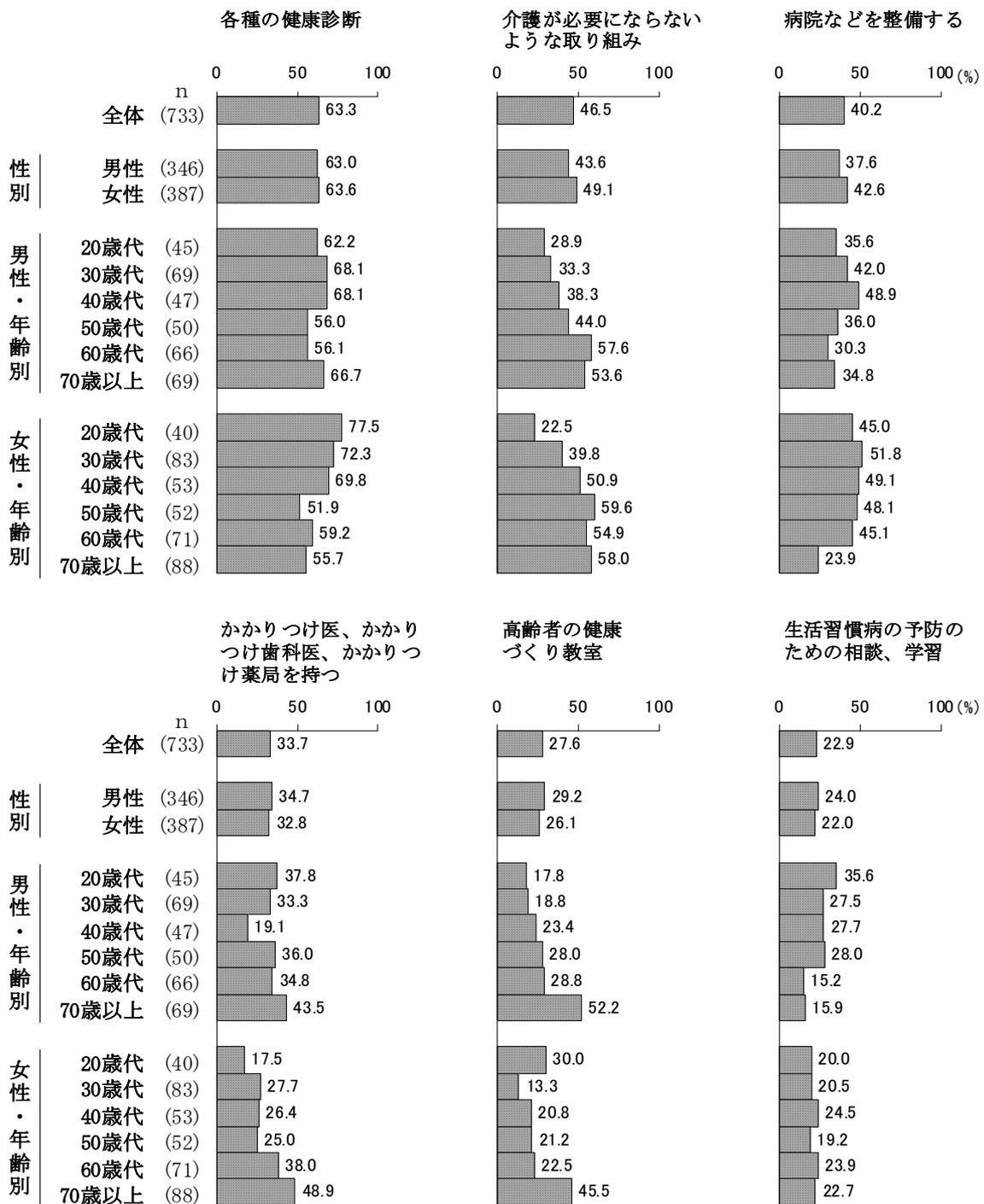
＜図表7-10＞ 健康づくりのための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「介護が必要にならないような取り組み」は、女性（49.1%）の方が男性（43.6%）よりも6ポイント高く、「病院などを整備する」でも、女性（42.6%）は男性（37.6%）を5ポイント上回る。

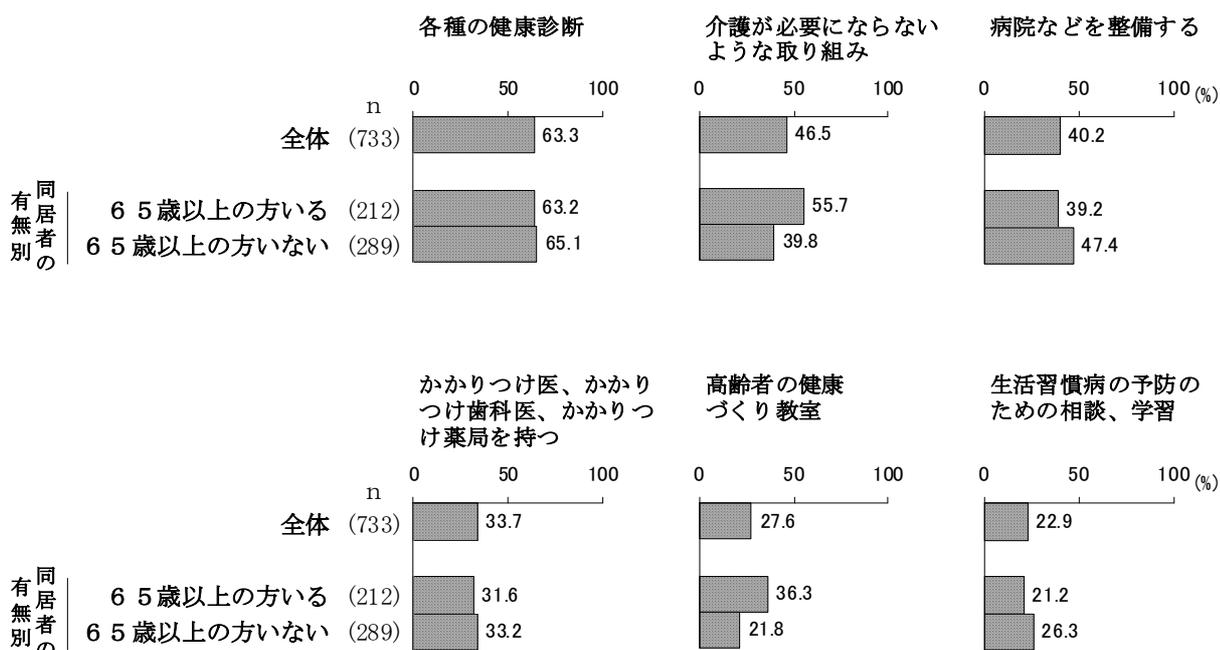
性・年齢別でみると、「各種の健康診断」は、女性の20歳代（77.5%）が約8割で最も高く、次いで30歳代（72.3%）が7割を超える。また、「介護が必要にならないような取り組み」は、男性の60歳代（57.6%）、女性の50歳代（59.6%）と70歳以上（58.0%）で約6割となっている。このほか、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つ」と「高齢者の健康づくり教室」は、男女ともに70歳以上が高く、中でも、「高齢者の健康づくり教室」は男性の70歳以上（52.2%）で5割を超える。（図表7-11）

＜図表7-11＞ 健康づくりのための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



同居者の有無別でみると、「介護が必要にならないような取り組み」は、65歳以上の方がいる人（55.7%）がいない人（39.8%）よりも16ポイント高く、「高齢者の健康づくり教室」でも、65歳以上の方がいる人（36.3%）がいない人（21.8%）を15ポイント上回る。逆に、「病院などを整備する」は、65歳以上の方がいない人（47.4%）がいる人（39.2%）よりも8ポイント高く、「生活習慣病の予防のための相談、学習」でも、65歳以上の方がいない人（26.3%）がいる人（21.2%）を5ポイント上回っている。（図表7-12）

＜図表7-12＞ 健康づくりのための取り組みとして大切なもの 同居者の有無別（上位6項目）



8. 福祉のための取り組み

◆ 高齢の方、障害のある方など、すべての区民が、住みなれた地域で、安心して日常生活を送ることが大切です。

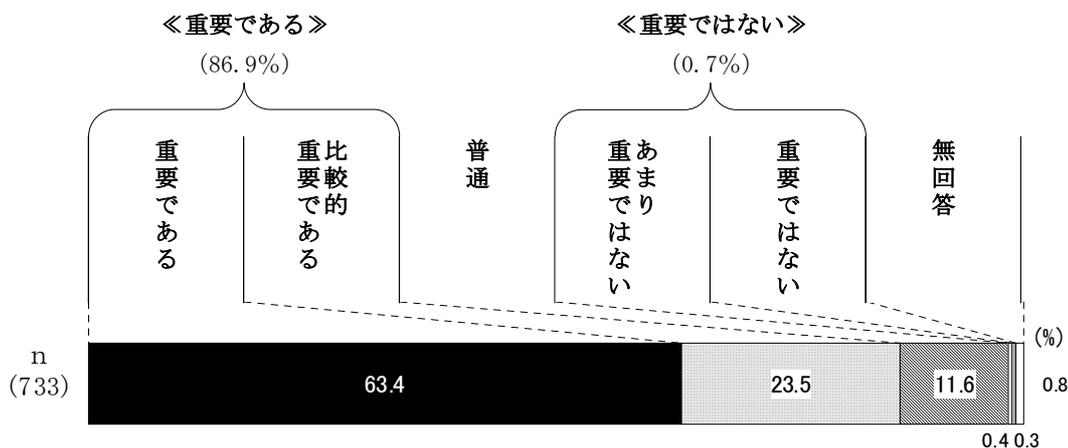
そのため、区では、総合的な相談の充実、在宅サービスや施設サービスの質と量の確保、地域の支えあいの活動への支援などを行っています。

(1) 福祉についての重要度

◇ 《重要である》が8割台半ば

問25 福祉についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

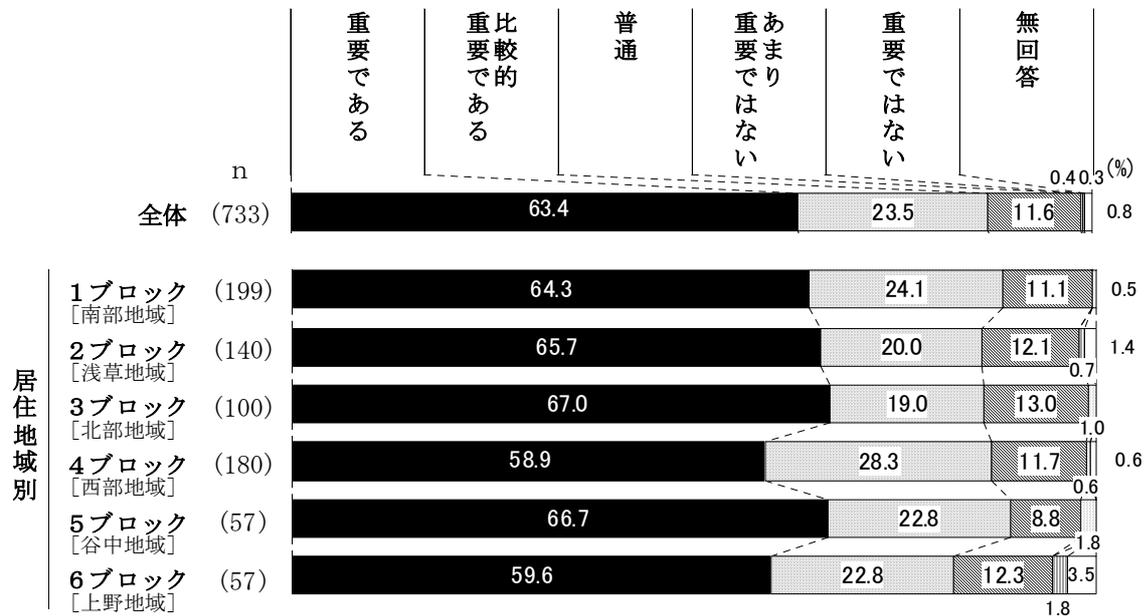
<図表 8-1> 福祉についての重要度



福祉についての重要度を聞いたところ、「重要である」(63.4%)が6割を超え最も高く、これに「比較的重要な」(23.5%)を合わせると、《重要である》は86.9%で8割台半ばとなっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.7%である。(図表8-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、6ブロック[上野地域] (82.4%) が8割を超えるにとどまり低くなっている。(図表8-2)

＜図表8-2＞ 福祉についての重要度 居住地域別



性別でみると、《重要である》と《重要ではない》の間に特に大きな違いはみられない。しかし、より強い回答である「重要である」に限れば、女性 (66.4%) の方が男性 (60.1%) よりも6ポイント高くなっている。

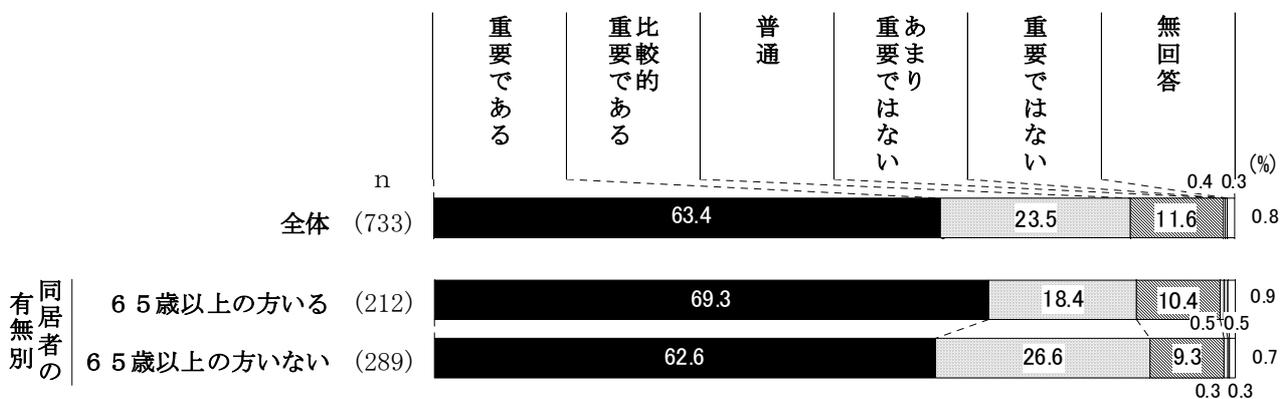
性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では50歳代 (90.0%) が9割で最も高く、僅差で40歳代 (89.4%) が続く。女性では20歳代 (92.5%) が9割を超え、次いで40歳代 (90.6%) が9割である。なお、より強い回答である「重要である」に限ると、女性の50歳代 (73.1%) が7割台半ばで最も高くなっている。(図表8-3)

<図表 8-3> 福祉についての重要度 性別／性・年齢別



同居者の有無別でみると、《重要である》と《重要ではない》の間に特に大きな違いはみられない。しかし、より強い回答である「重要である」に限れば、65歳以上の方がいる人（69.3%）が、いない人（62.6%）よりも7ポイント高くなっている。（図表 8-4）

<図表 8-4> 福祉についての重要度 同居者の有無別



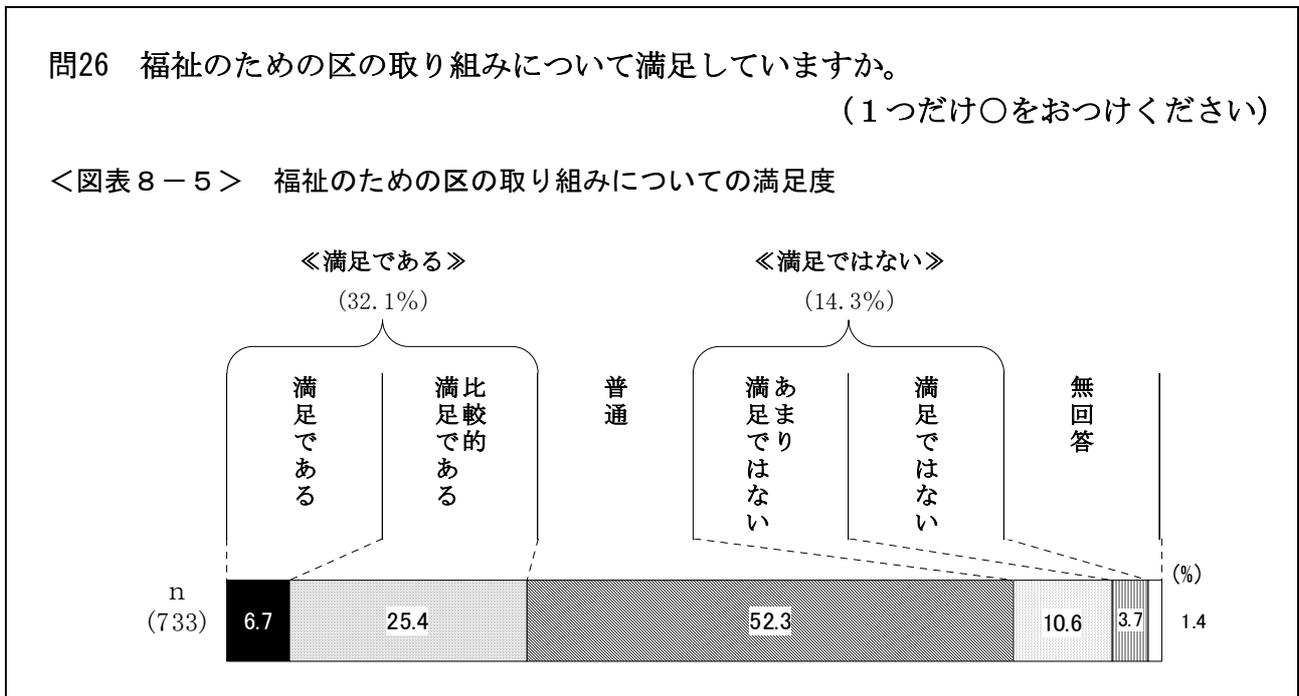
(2) 福祉のための区の取り組みについての満足度

◇「普通」が5割を超える

問26 福祉のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

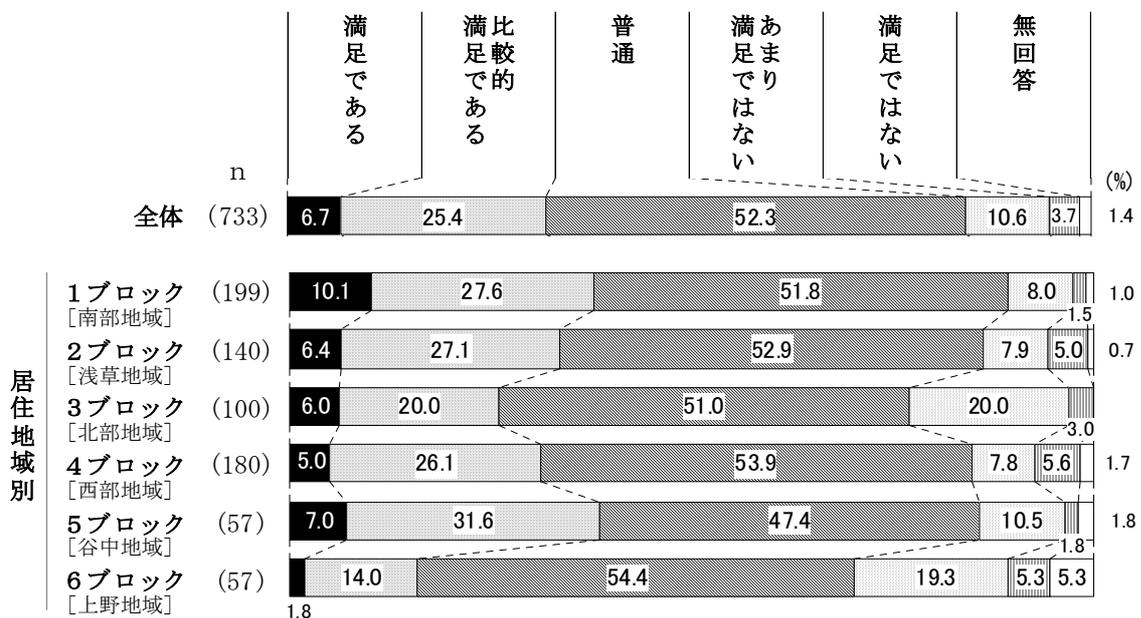
<図表8-5> 福祉のための区の取り組みについての満足度



福祉のための区の取り組みに対する満足度を聞いたところ、「普通」(52.3%)が5割を超え最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は32.1%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は14.3%となっている。(図表8-5)

居住地域別でみると、《満足である》は、5ブロック[谷中地域](38.6%)と1ブロック[南部地域](37.7%)が約4割で高く、6ブロック[上野地域](15.8%)が1割台半ばにとどまり低い。そのため、6ブロック[上野地域]は《満足ではない》(24.6%)が2割台半ばと高くなっている。(図表8-6)

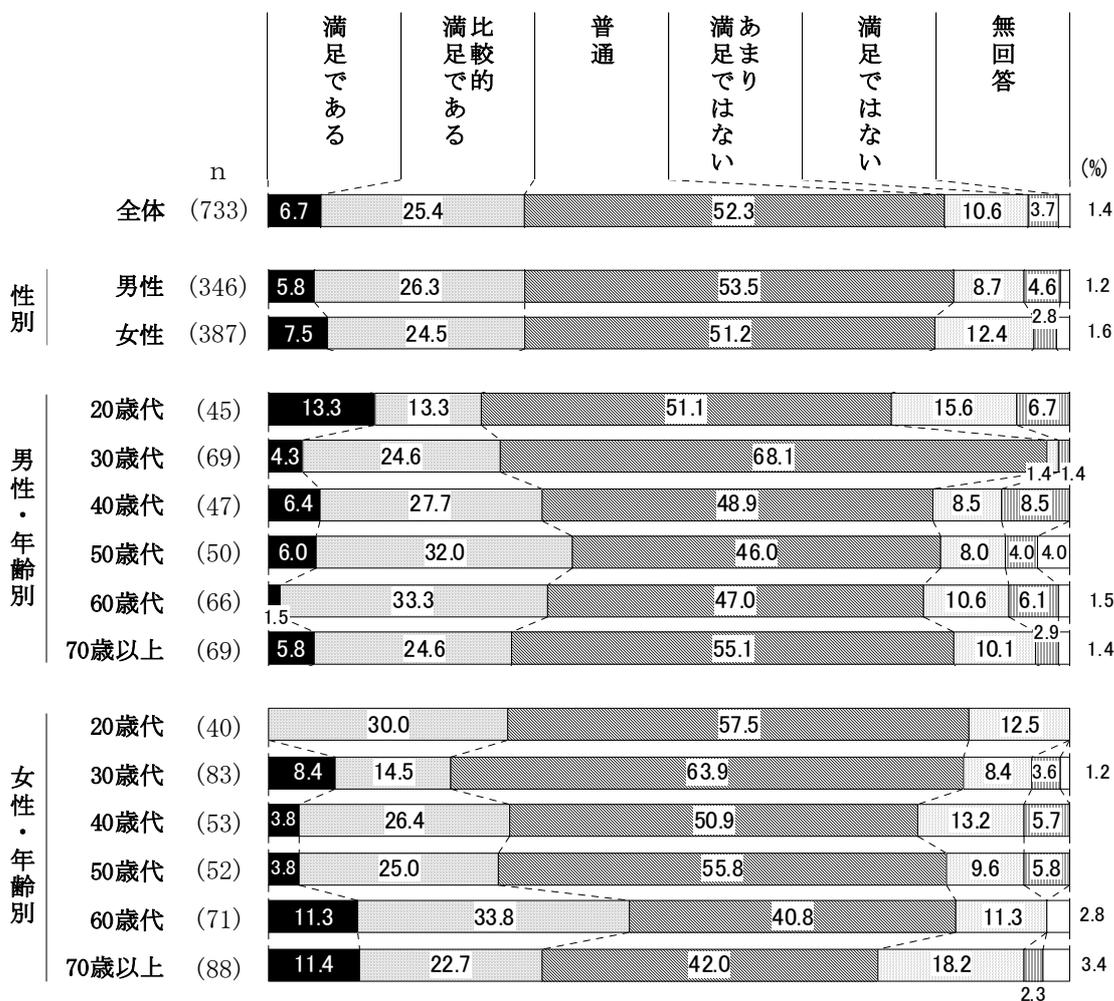
<図表8-6> 福祉のための区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

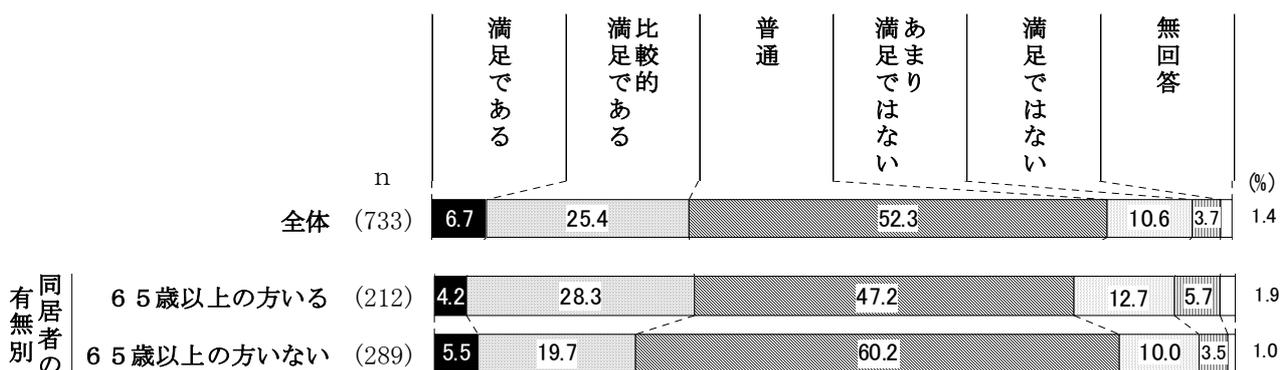
性・年齢別でみると、《満足である》は、女性の60歳代（45.1%）が4割台半で最も高くなっている。一方、《満足ではない》は、男性の20歳代（22.3%）が2割を超え、女性の70歳以上（20.5%）が2割と高くなっている。（図表8-7）

＜図表8-7＞ 福祉のための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



同居者の有無別でみると、《満足である》は、65歳以上の方がいる人（32.5%）の方が、いない人（25.2%）よりも7ポイント高くなっているが、65歳以上の方がいる人では《満足ではない》（18.4%）割合もやや高くなっており、65歳以上の方がいない人は「普通」（60.2%）が6割と高くなっている。（図表8-8）

＜図表8-8＞ 福祉のための区の取り組みについての満足度 同居者の有無別



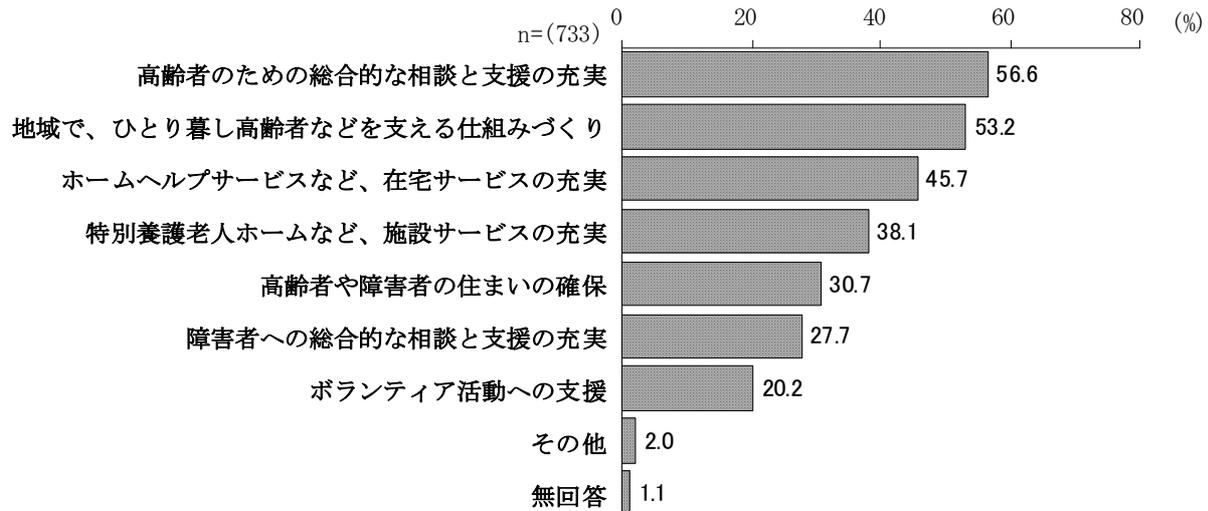
(3) 福祉のための取り組みとして大切なもの

◇「総合的な相談と支援」と「地域で支える仕組み」が5割台半ば

問27 福祉のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

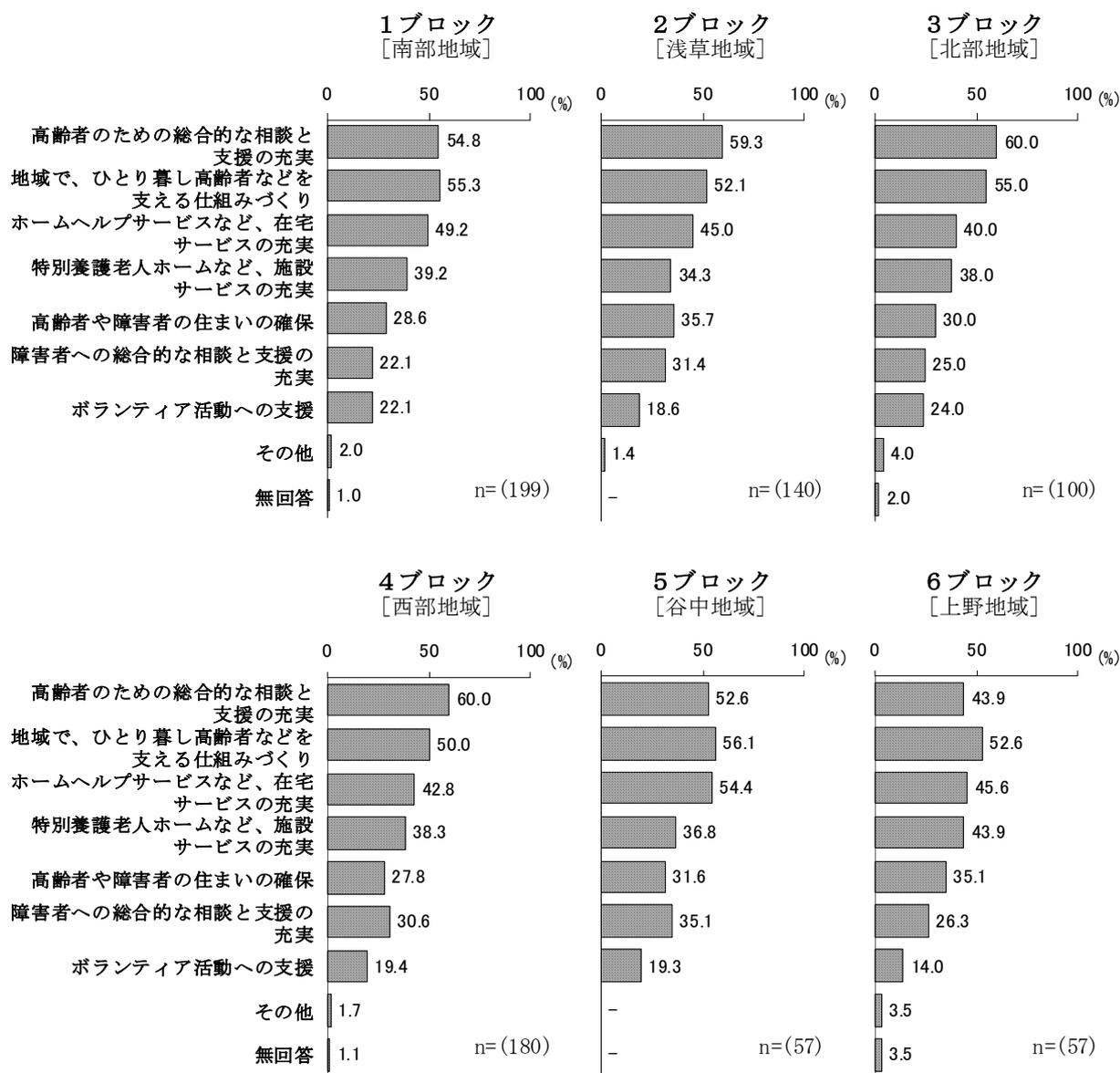
<図表 8-9> 福祉のための取り組みとして大切なもの (複数回答)



福祉のための取り組みとして大切なものについて聞いたところ、「高齢者のための総合的な相談と支援の充実」(56.6%)と「地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり」(53.2%)が5割台半ばで並び高くなっている。次いで「ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実」(45.7%)が4割台半ばとなっている。(図表 8-9)

居住地域別でみると、「高齢者のための総合的な相談と支援の充実」は、3ブロック[北部地域](60.0%)と4ブロック[西部地域](60.0%)が6割、2ブロック[浅草地域](59.3%)が約6割で、それらの地域の中で最も高くなっている。それ以外の居住地域では、「地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり」が最も高く、特に、5ブロック[谷中地域](56.1%)と1ブロック[南部地域](55.3%)は5割台半ばとなっている。また、5ブロック[谷中地域]では、「ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実」(54.4%)も5割台半ばである。(図表 8-10)

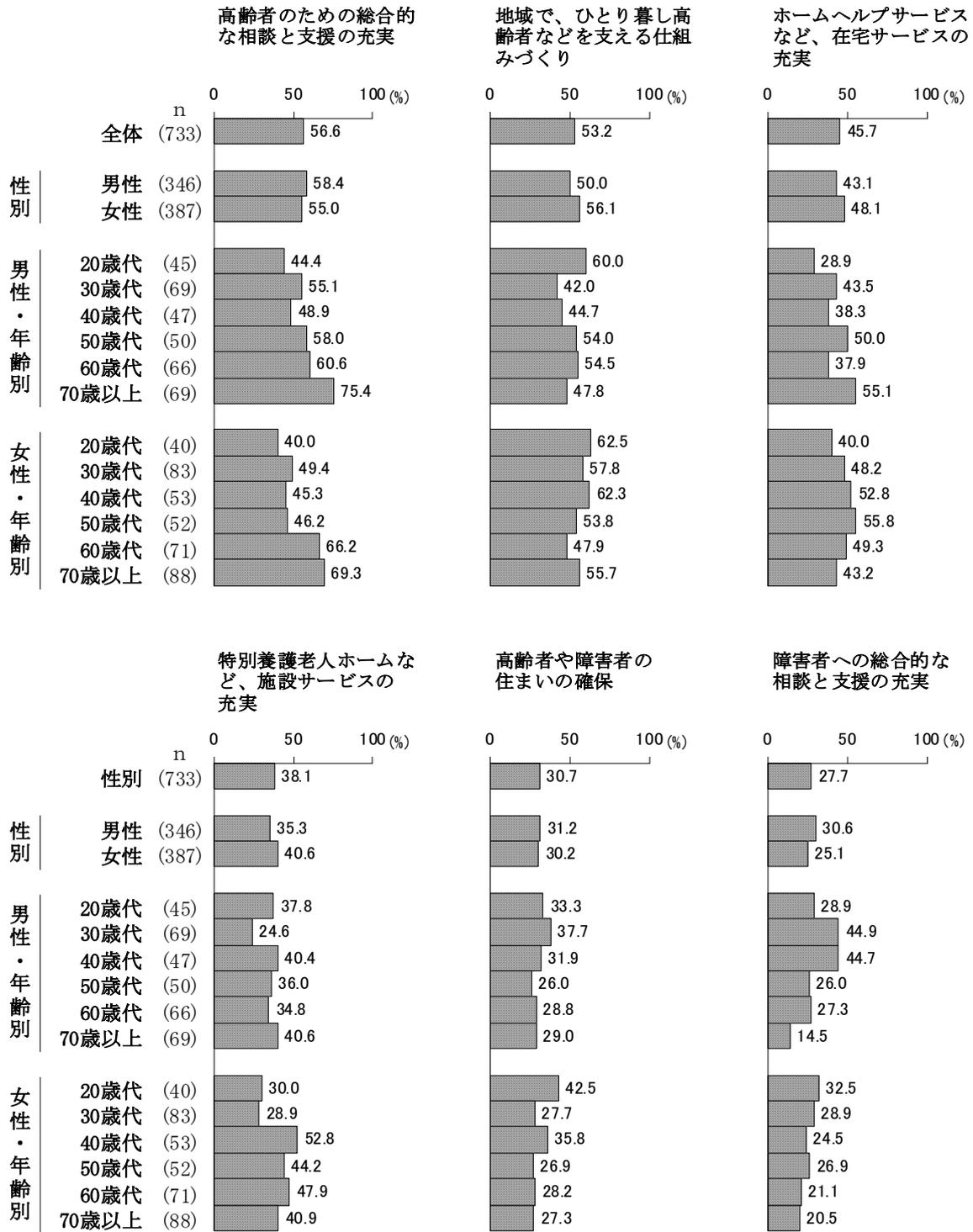
<図表8-10> 福祉のための取り組みとして大切なもの 地域別



性別でみると、「障害者への総合的な相談と支援の充実」は、男性（30.6%）の方が女性（25.1%）よりも6ポイント高くなっている。逆に、「地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり」は、女性（56.1%）が男性（50.0%）を6ポイント上回る。このほかにも、「ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実」は、女性（48.1%）の方が男性（43.1%）よりも5ポイント高く、「特別養護老人ホームなど、施設サービスの充実」でも、女性（40.6%）は男性（35.3%）を5ポイント上回っている。

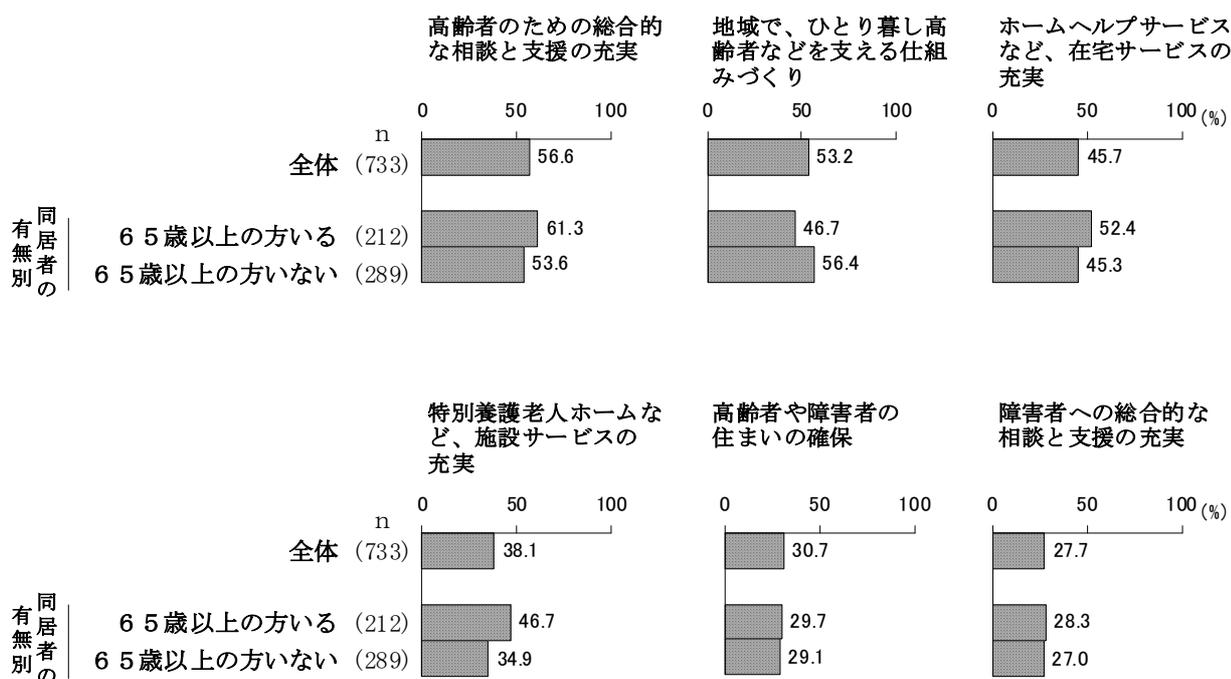
性・年齢別でみると、「高齢者のための総合的な相談と支援の充実」は、男女ともに70歳以上で高く、特に、男性（75.4%）は7割台半ばとなっている。「地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり」は、男性では20歳代（60.0%）が6割、女性では20歳代（62.5%）と40歳代（62.3%）が6割を超え高くなっている。このほか、「ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実」は、男性の70歳以上（55.1%）と女性の50歳代（55.8%）が5割台半ば、「特別養護老人ホームなど、施設サービスの充実」は女性の40歳代（52.8%）が5割を超え高い。（図表8-11）

<図表 8-11> 福祉のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



同居者の有無別でみると、「地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり」を除き、65歳以上の方がいる人がいない人よりも高くなっている。特に、「特別養護老人ホームなど、施設サービスの充実」は、65歳以上の方がいる人（46.7%）がいない人（34.9%）を12ポイント上回っている。逆に、「地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり」は、65歳以上の方がいない人（56.4%）がいる人（46.7%）を10ポイント上回っている。（図表8-12）

＜図表8-12＞ 福祉のための取り組みとして大切なもの 同居者の有無別（上位6項目）



9. 子育てのための取り組み

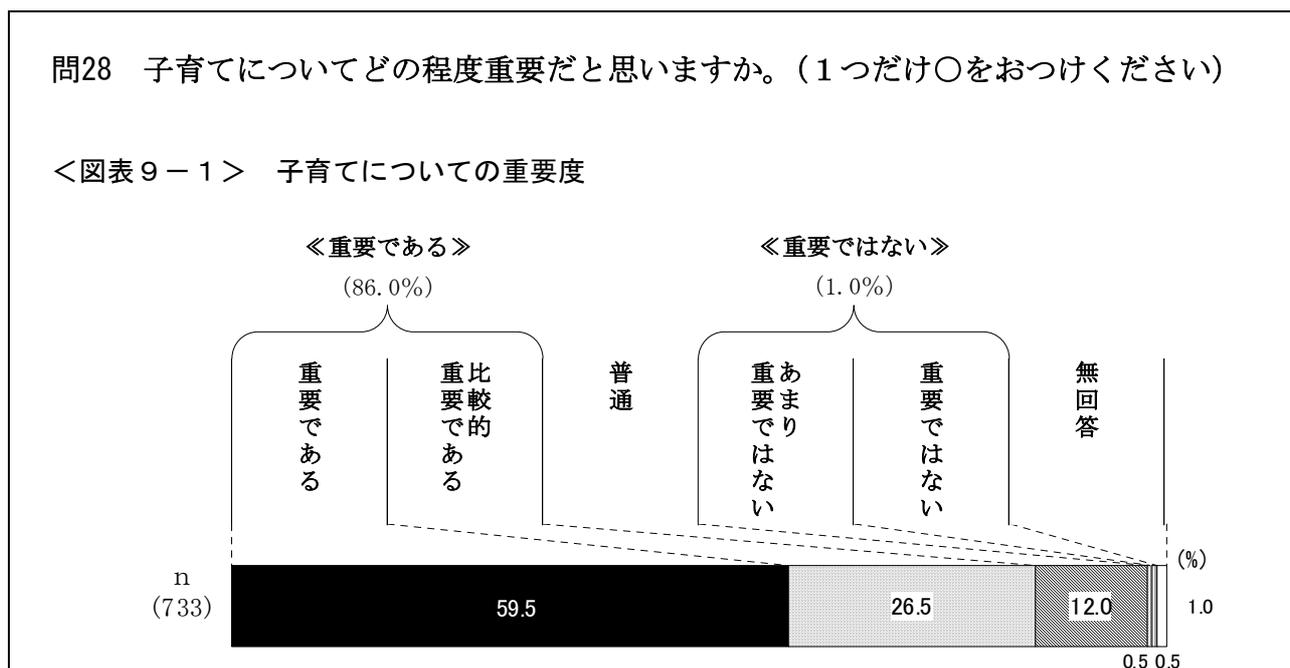
◆ 少子化が進行する中、家庭や地域での子育てを積極的に支援していくことが大切です。
 そのため、区では、若い世代の育児不安の解消、地域での子育て支援、保育園の整備、子どもの医療費の助成などを行っています。

(1) 子育てについての重要度

◇ 《重要である》が8割台半ば

問28 子育てについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

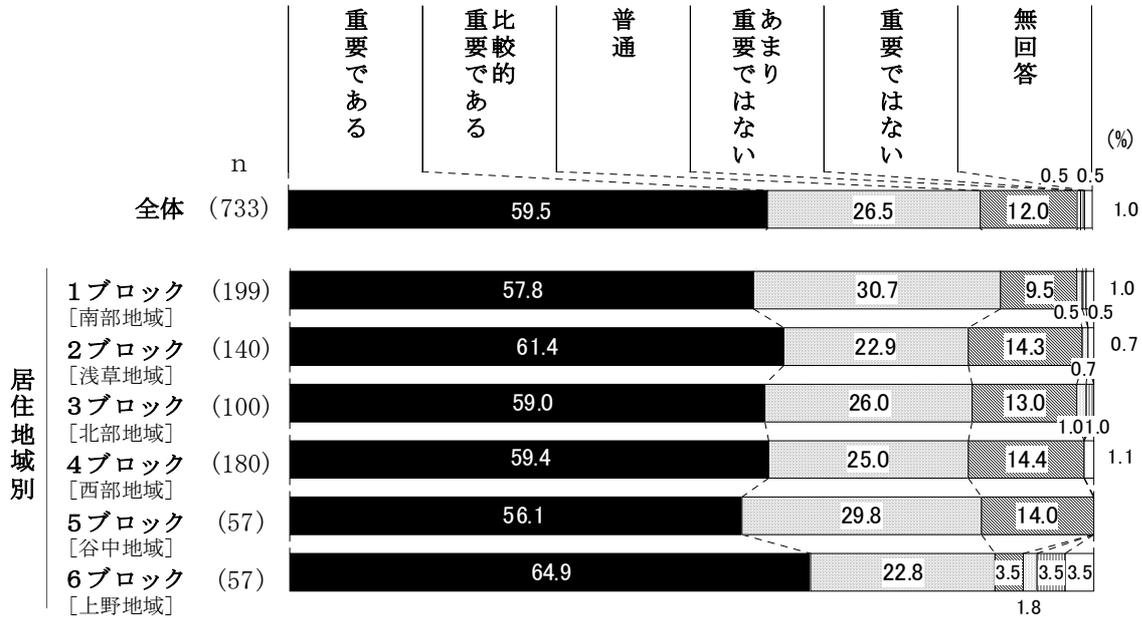
<図表9-1> 子育てについての重要度



子育てについての重要度を聞いたところ、「重要である」(59.5%)が約6割で最も高くなっている。これに「比較的である」(26.5%)を合わせると、《重要である》は86.0%で8割台半ばを超える。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は1.0%である。(図表9-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、1ブロック[南部地域] (88.5%) と6ブロック[上野地域] (87.7%) が約9割で高くなっている。(図表9-2)

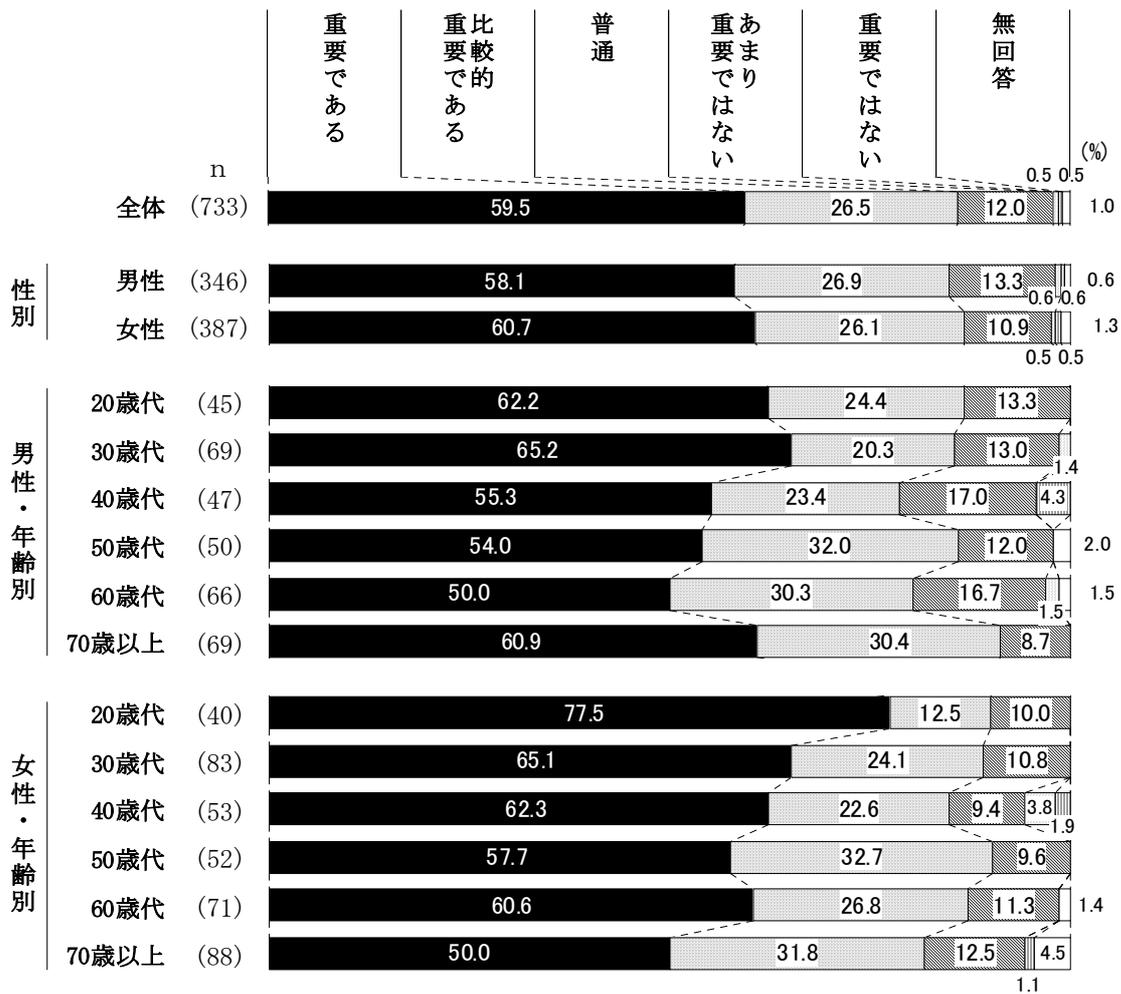
＜図表9-2＞ 子育てについての重要度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

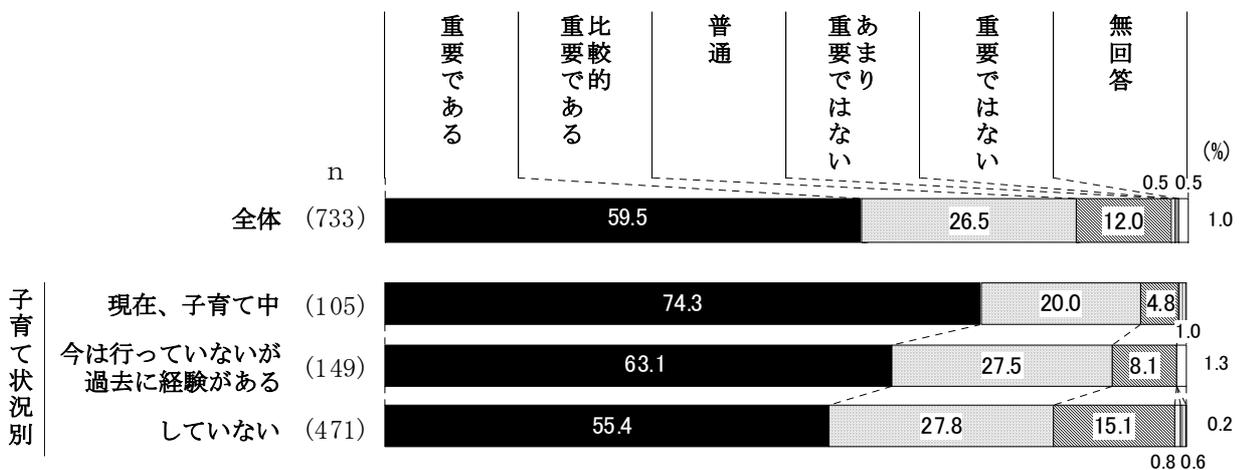
性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では70歳以上 (91.3%) が9割を超え最も高く、女性では50歳代 (90.4%) と20歳代 (90.0%) が9割、僅差で30歳代 (89.2%) が続く。より強い回答である「重要である」に限れば、女性の20歳代 (77.5%) は約8割で最も高い。(図表9-3)

<図表9-3> 子育てについての重要度 性別／性・年齢別



子育て状況別でみると、「重要である」は、現在、子育て中の人（94.3%）が9割台半ばで最も高く、この層は、より強い回答である「重要である」（74.3%）に限ると、7割台半ばである。（図表9-4）

<図表9-4> 子育てについての重要度 子育て状況別



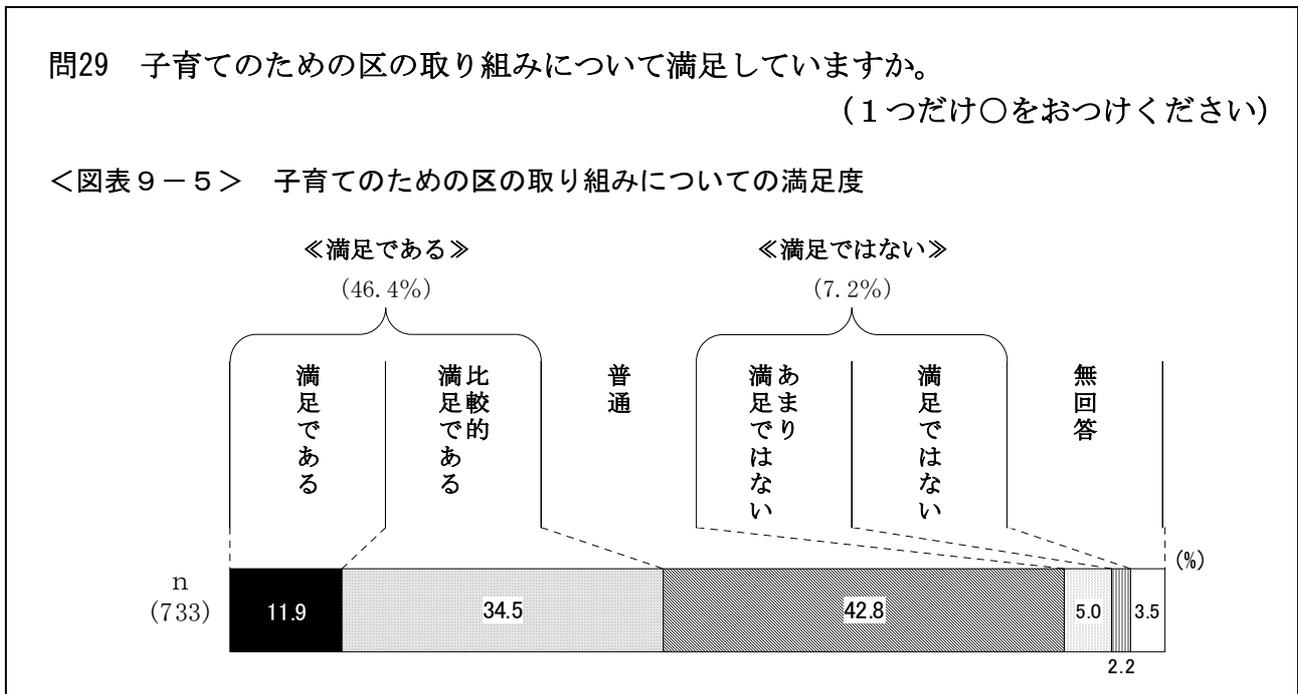
(2) 子育てのための区の取り組みについての満足度

◇ 《満足である》が4割台半ば

問29 子育てのための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

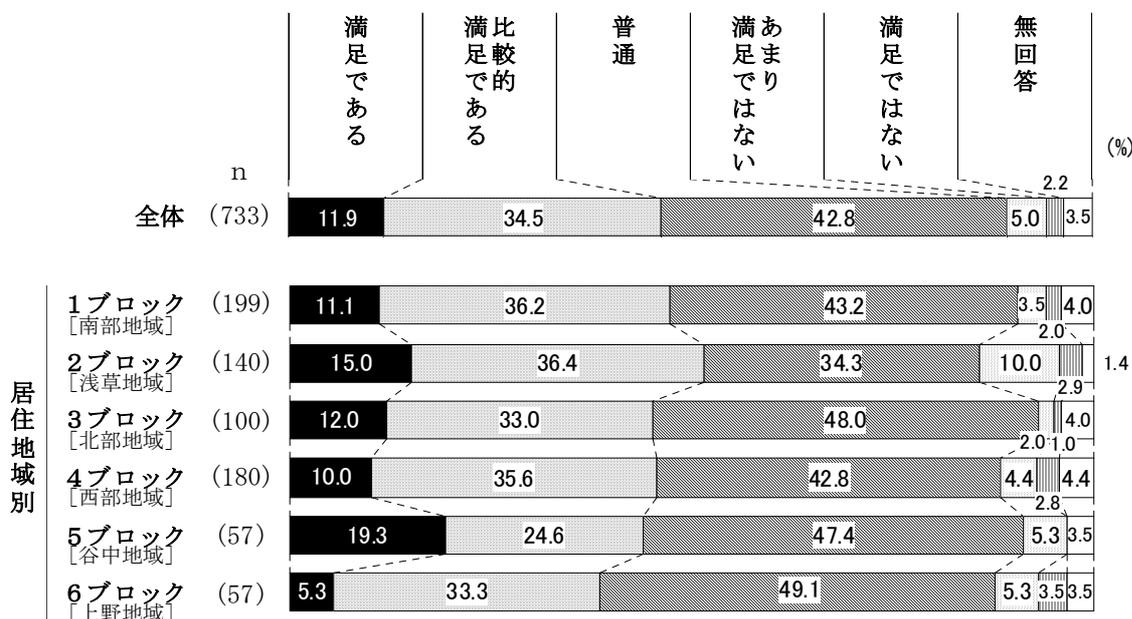
<図表9-5> 子育てのための区の取り組みについての満足度



子育てのための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は46.4%で4割台半ばとなっている。一方、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は7.2%である。(図表9-5)

居住地域別でみると、《満足である》は、2ブロック[浅草地域](51.4%)が5割を超え最も高く、次いで1ブロック[南部地域](47.3%)が約5割となっている。一方、《満足ではない》は、2ブロック[浅草地域](12.9%)が1割を超えている。(図表9-6)

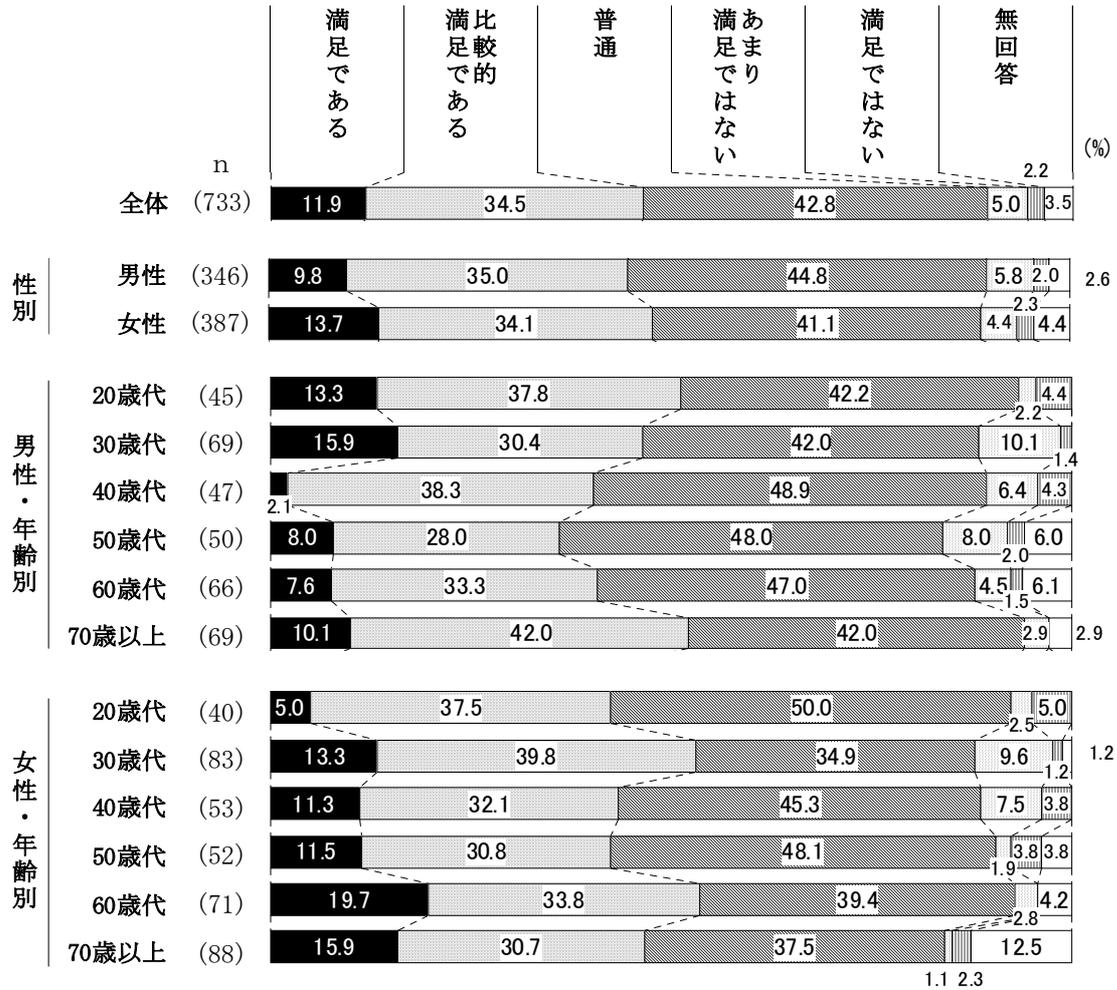
<図表9-6> 子育てのための区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

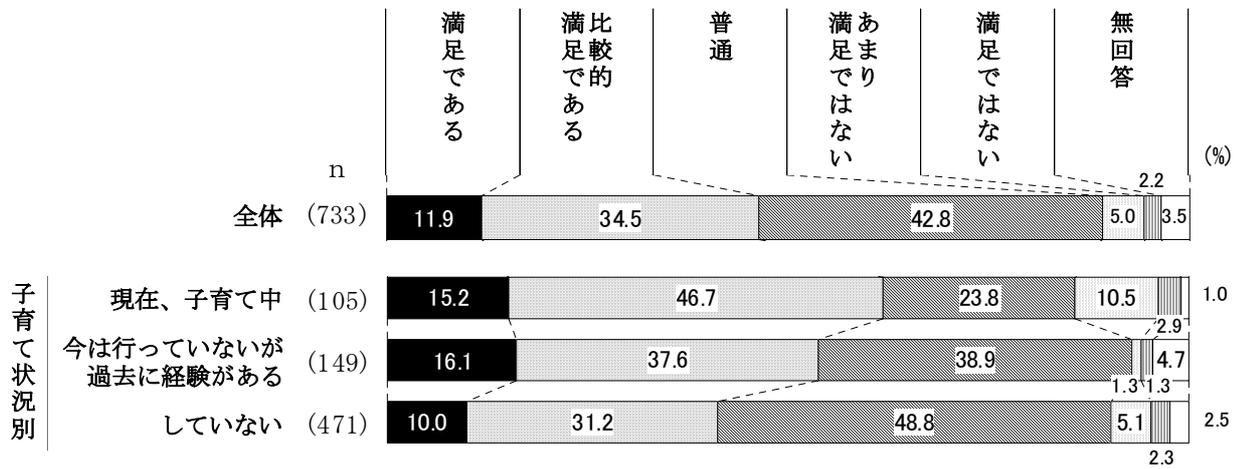
性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では70歳以上（52.1%）と20歳代（51.1%）が5割を超え、女性では60歳代（53.5%）と30歳代（53.1%）が5割台半ばで高くなっている。（図表9-7）

<図表9-7> 子育てのための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



子育て状況別でみると、《満足である》は、現在、子育て中の人（61.9%）が6割を超え最も高くなっている。しかし、《満足ではない》でも、現在、子育て中の人（13.4%）は1割台半ばと高い。（図表9-8）

＜図表9-8＞ 子育てのための区の取り組みについての満足度 子育て状況別



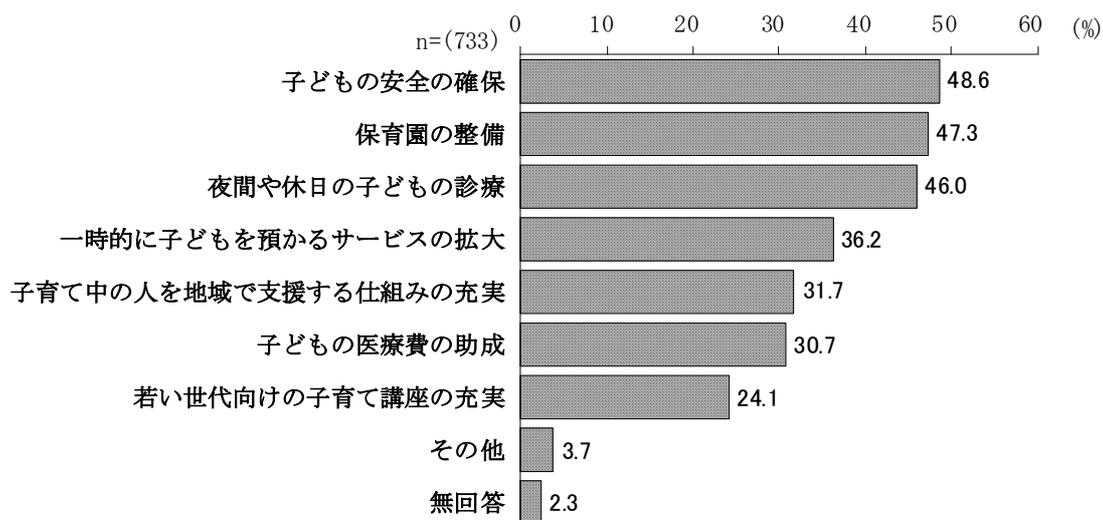
(3) 子育てのための取り組みとして大切なもの

◇「子どもの安全の確保」、「保育園の整備」、「夜間や休日の子どもの診療」が上位で並び

問30 子育てのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

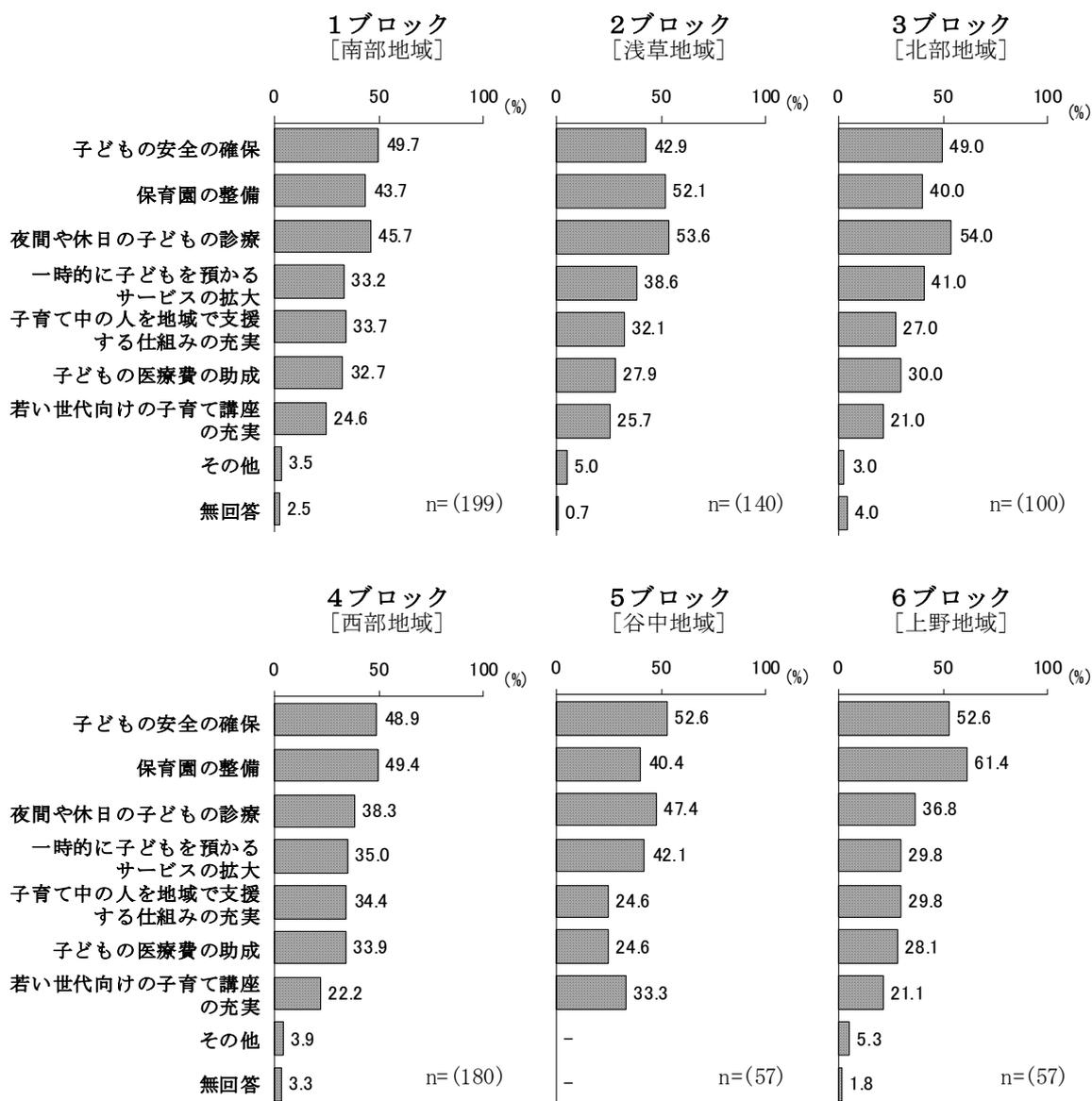
<図表9-9> 子育てのための取り組みとして大切なもの(複数回答)



子育てのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「子どもの安全の確保」(48.6%)と「保育園の整備」(47.3%)が約5割、僅差で「夜間や休日の子どもの診療」(46.0%)が続いている。(図表9-9)

居住地域別でみると、「子どもの安全の確保」は、5ブロック[谷中地域] (52.6%) と1ブロック[南部地域] (49.7%) の中で最も高く、特に、5ブロック[谷中地域]は5割を超える。また、「保育園の整備」は、6ブロック[上野地域] (61.4%) と4ブロック[西部地域] (49.4%) の中で最も高く、特に、6ブロック[上野地域]は6割を超える。このほか、「夜間や休日の子どもの診療」は、3ブロック[北部地域] (54.0%) と2ブロック[浅草地域] (53.6%) の中で最も高く5割台半ばとなっている。(図表9-10)

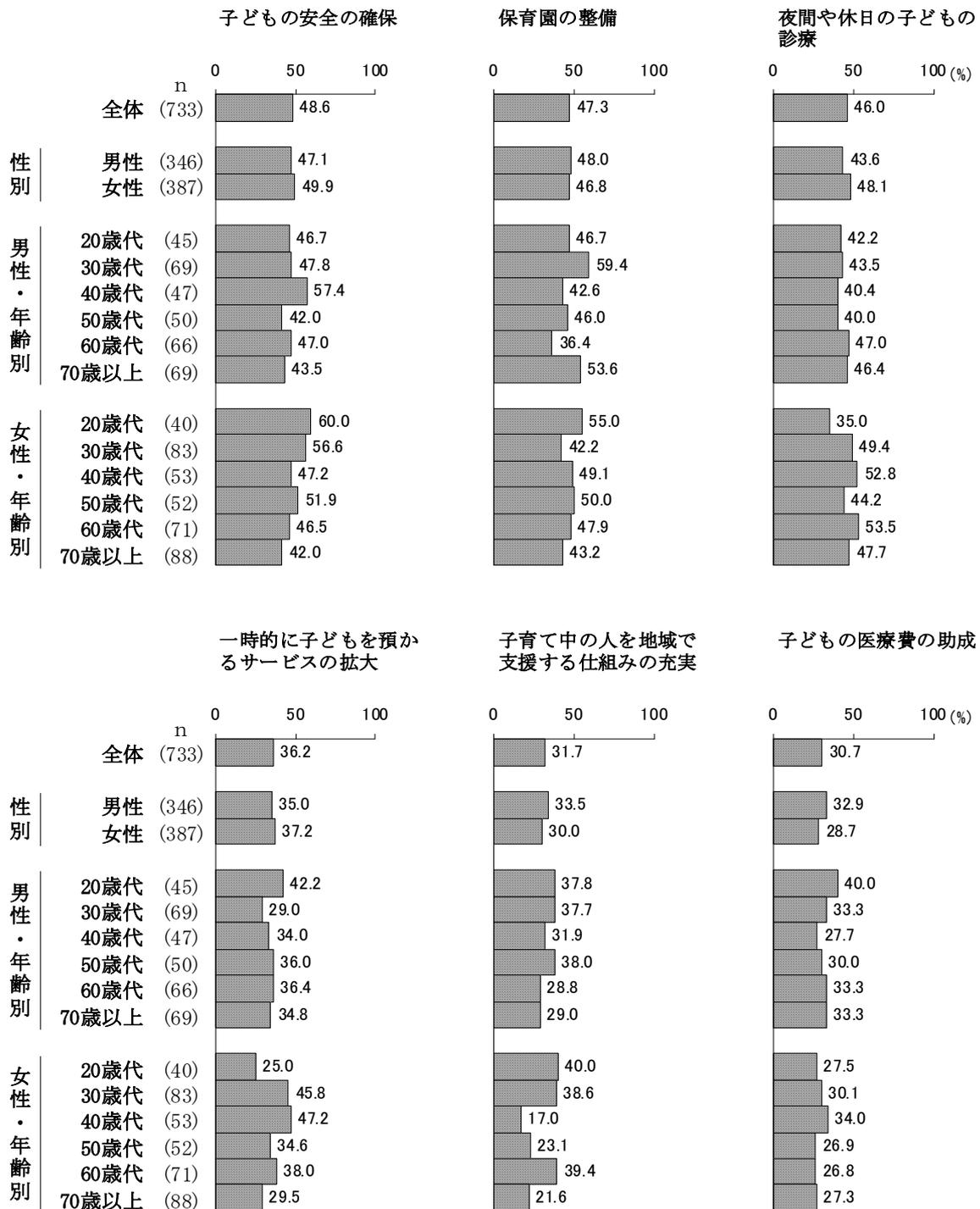
＜図表9-10＞ 子育てのための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「夜間や休日の子どもの診療」は、女性（48.1%）の方が男性（43.6%）よりも5ポイント高くなっている。

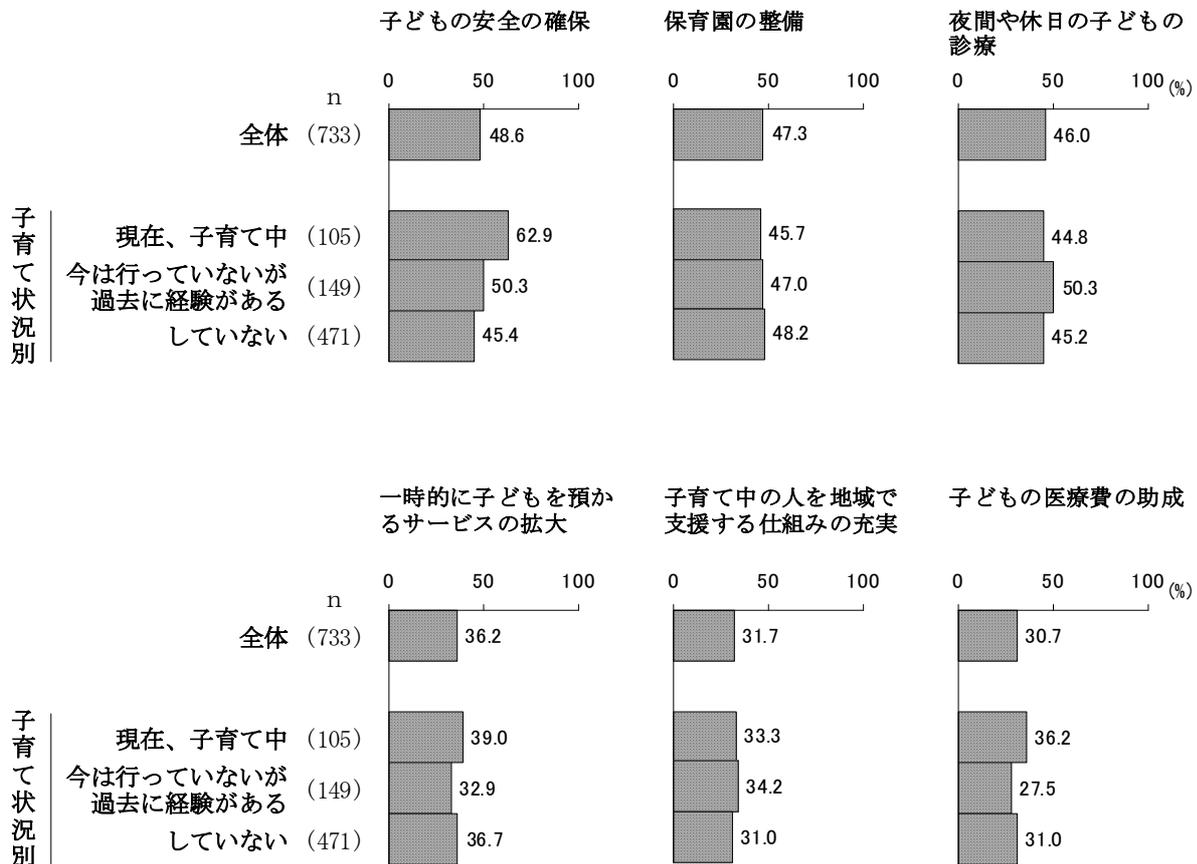
性・年齢別でみると、「子どもの安全の確保」は女性の20歳代（60.0%）が6割、「保育園の整備」は男性の30歳代（59.6%）が約6割で最も高くなっている。また、「夜間や休日の子どもの診療」は、女性の60歳代（53.5%）が5割台半ばで最も高く、僅差で40歳代（52.8%）が続く。このほか、「子育て中の人を地域で支援する仕組みの充実」は、女性の40歳代（17.0%）、70歳以上（21.6%）、50歳代（23.1%）で低く、特に、40歳代は約2割にとどまっている。（図表9-11）

＜図表9-11＞ 子育てのための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



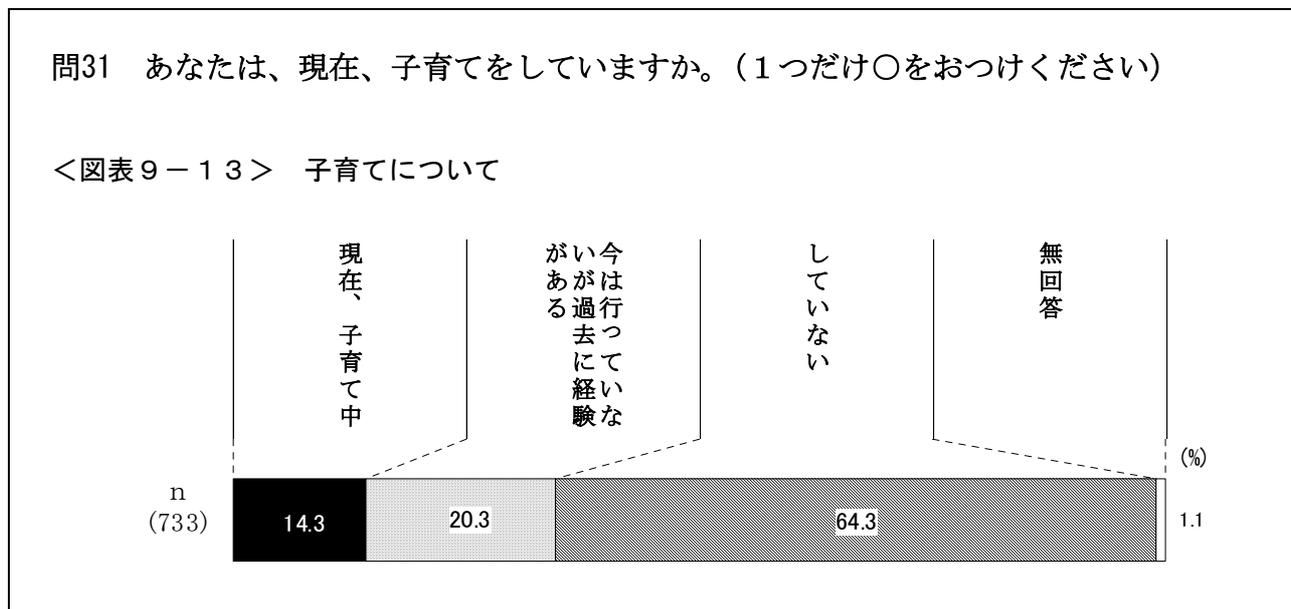
子育て状況別でみると、「子どもの安全の確保」、「一時的に子どもを預かるサービスの拡大」、「子どもの医療費の助成」は、現在、子育て中の人が高く、特に、「子どもの安全の確保」(62.9%)は6割を超えている。また、「夜間や休日の子どもの診療」は、今は行っていないが過去に経験がある人(50.3%)が5割で最も高い。(図表9-12)

＜図表9-12＞ 子育てのための取り組みとして大切なもの 子育て状況別（上位6項目）



(4) 子育てについて

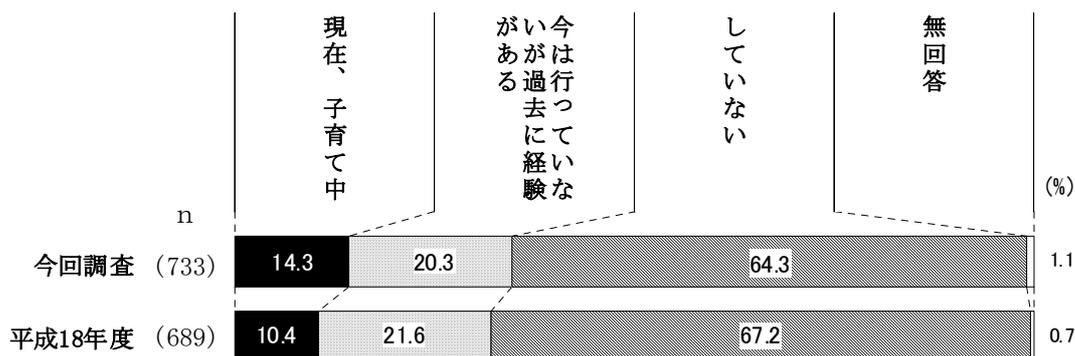
◇「現在、子育て中」は1割台半ば



子育てについて聞いたところ、「現在、子育て中」(14.3%)は1割台半ばで、「今は行っていないが過去に経験がある」(20.3%)は2割となっている。一方、「していない」(64.3%)は6割台半ばである。(図表9-13)

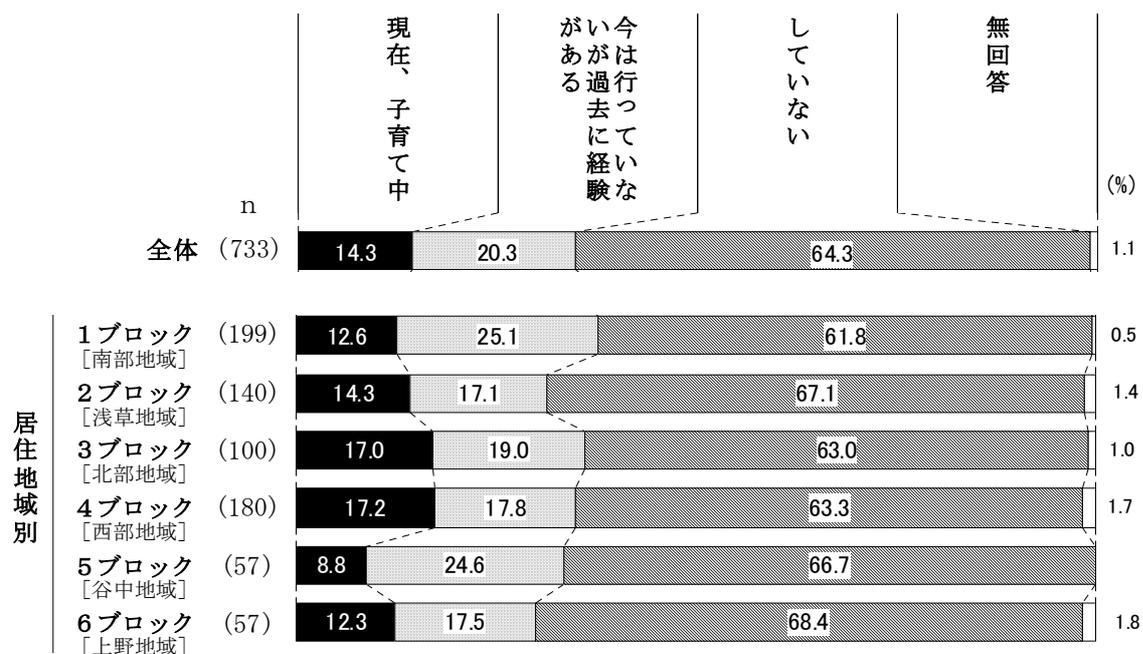
前回の調査結果と比較すると、「現在、子育て中」が前回よりも高くなっている。(図表9-14)

<図表9-14> 子育てについて 経年比較



居住地域別でみると、「現在、子育て中」は、4ブロック[西部地域]（17.2%）と3ブロック[北部地域]（17.0%）が約2割で高くなっている。一方、「していない」は、6ブロック[上野地域]（68.4%）と2ブロック[浅草地域]（67.1%）が約7割、僅差で5ブロック[谷中地域]（66.7%）が続く。（図表9-15）

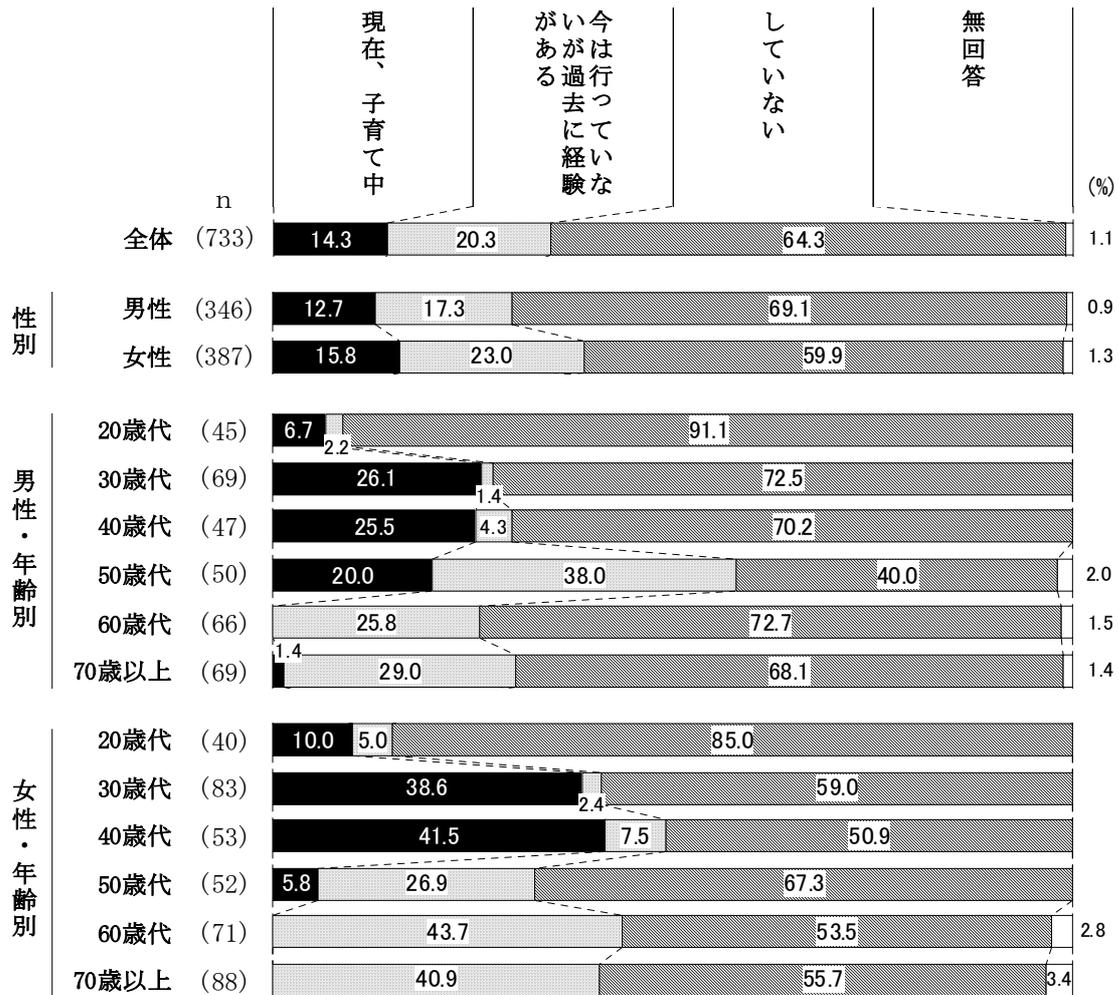
＜図表9-15＞ 子育てについて 居住地域別



性別でみると、「今は行っていないが過去に経験がある」は、女性（23.0%）の方が男性（17.3%）よりも6ポイント高くなっている。逆に、「していない」は、男性（69.1%）が女性（59.9%）を9ポイント上回る。

性・年齢別でみると、「現在、子育て中」は男女ともに30歳～40歳代が高く、中でも、女性は40歳代（41.5%）が4割を超える。（図表9-16）

<図表9-16> 子育てについて 性別／性・年齢別

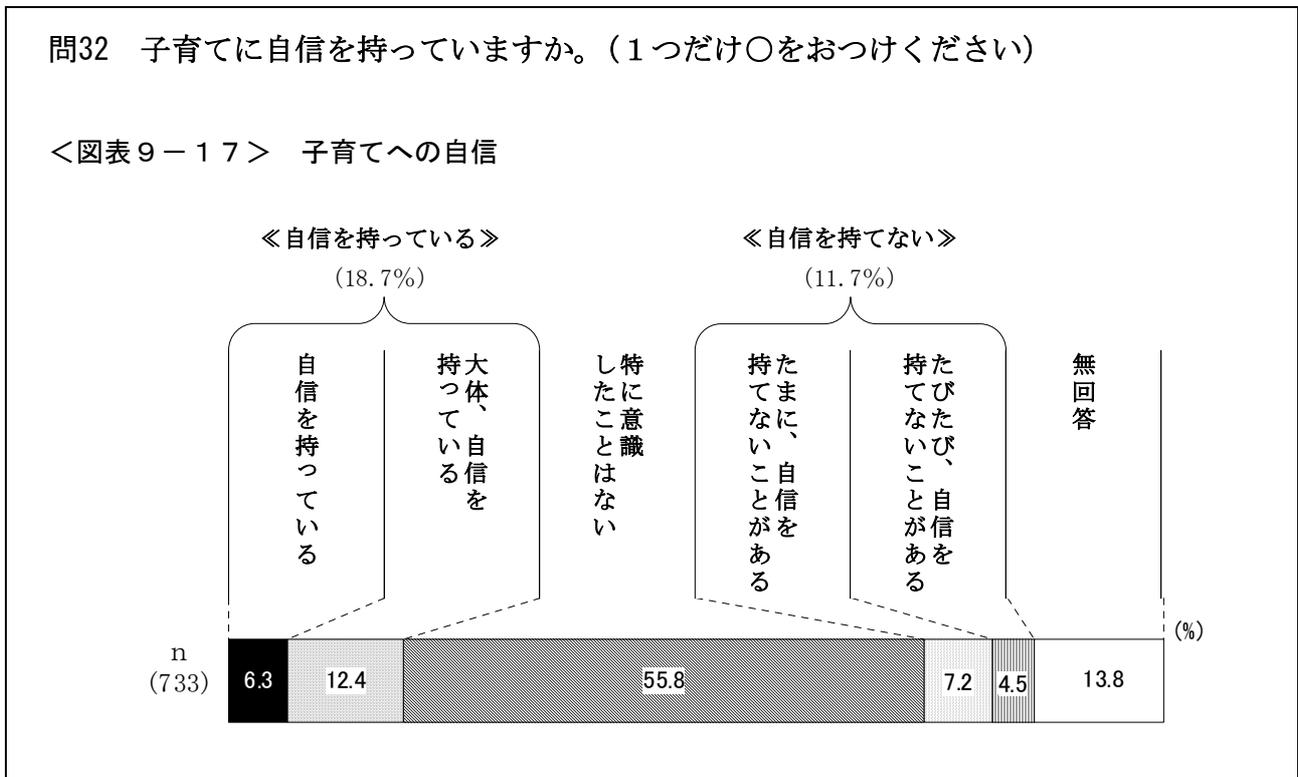


(5) 子育てへの自信

◇「特に意識したことはない」が5割台半ば、《自信を持っている》は約2割

問32 子育てに自信を持っていますか。(1つだけ○をおつけください)

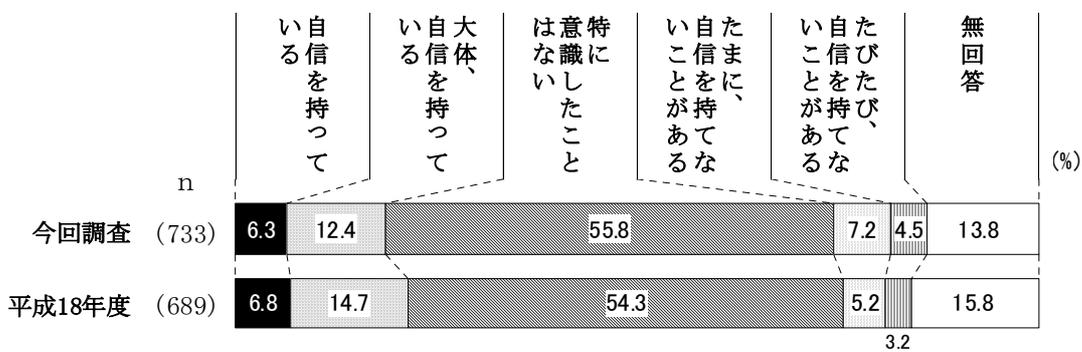
<図表9-17> 子育てへの自信



子育てへの自信について聞いたところ、「特に意識したことはない」(55.8%)が5割台半ばで最も高くなっている。《自信を持っている》(「自信を持っている」と「大体自信を持っている」の合計)は18.7%、《自信を持ってない》(「たびたび、自信を持ってないことがある」と「たまに、自信を持ってないことがある」の合計)は11.7%である。(図表9-17)

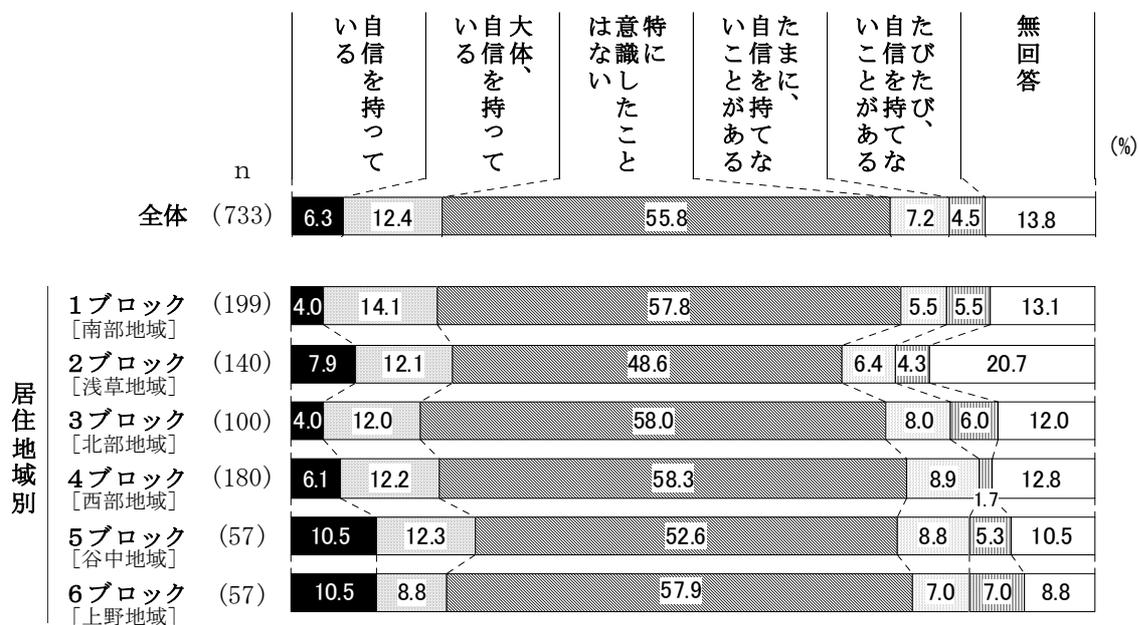
前回の調査結果と比較すると、特に大きな変化はみられない。(図表9-18)

<図表9-18> 子育てへの自信 経年比較



居住地域別でみると、《自信を持っている》は、5ブロック[谷中地域] (22.8%) が2割を超え最も高くなっている。なお、より強い回答である「自信を持っている」に限ると、5ブロック [谷中地域] (10.5%) と6ブロック [上野地域] (10.5%) が1割で並んでいる。(図表9-19)

＜図表9-19＞ 子育てへの自信 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

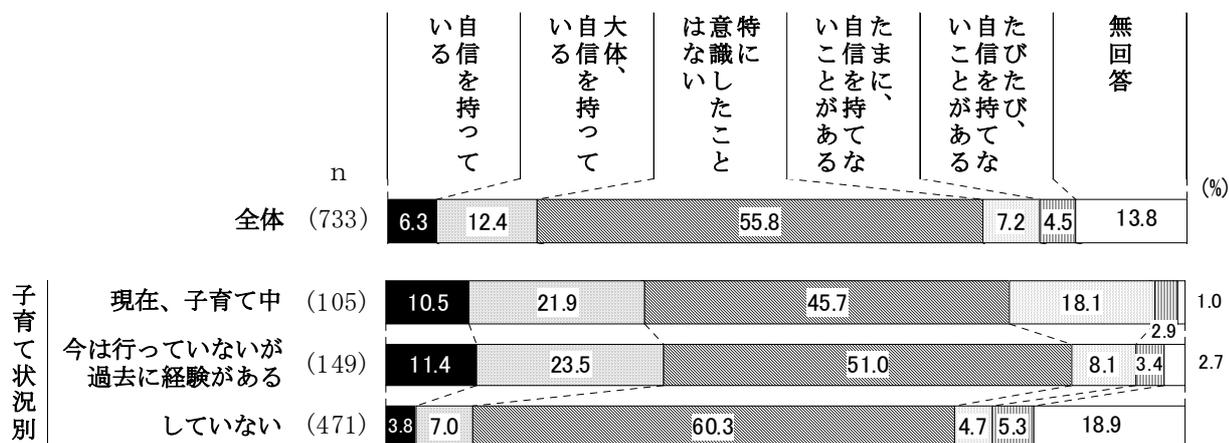
性・年齢別でみると、《自信を持っている》は、女性の60歳代（33.9%）が3割台半ばで最も高く、逆に男性の30歳代（8.6%）は約1割にとどまる。（図表9-20）

<図表9-20> 子育てへの自信 性別／性・年齢別



子育て状況別でみると、《自信を持っている》は、今は行っていないが過去に経験がある人（34.9%）が3割台半ばで最も高く、僅差で現在、子育て中の人（32.4%）が続く。一方、《自信を持ってない》は、現在、子育て中の人（21.0%）で2割を超える。（図表9-21）

＜図表9-21＞ 子育てへの自信 子育て状況別



10. 教育のための取り組み

◆ 子どもたちが、こころざしを抱き、夢や希望をもち、これからの時代を自らの力でたくましく生きることのできる教育が大切です。

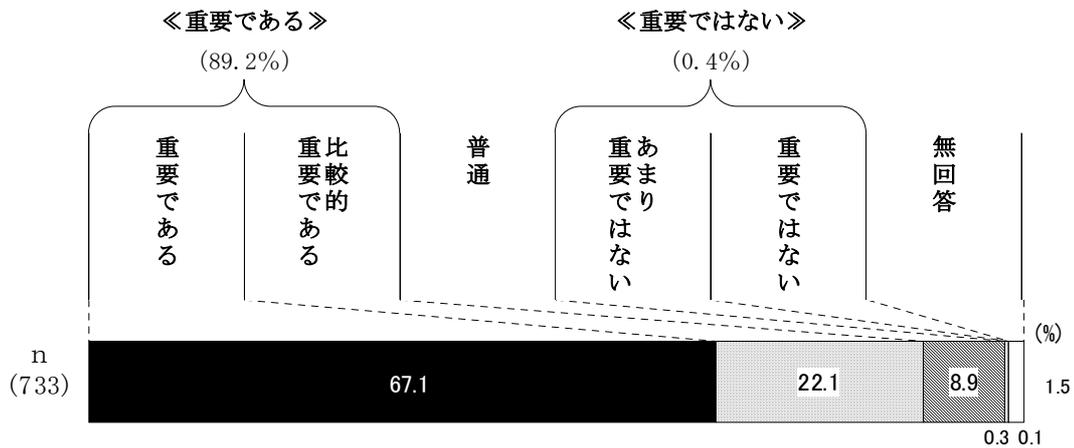
そのため、区では、基礎学力の向上、心と体の育成、学校施設の整備、学校と家庭・地域との連携などを行っています。

(1) 教育の重要度

◇ 《重要である》が約9割

問33 教育についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

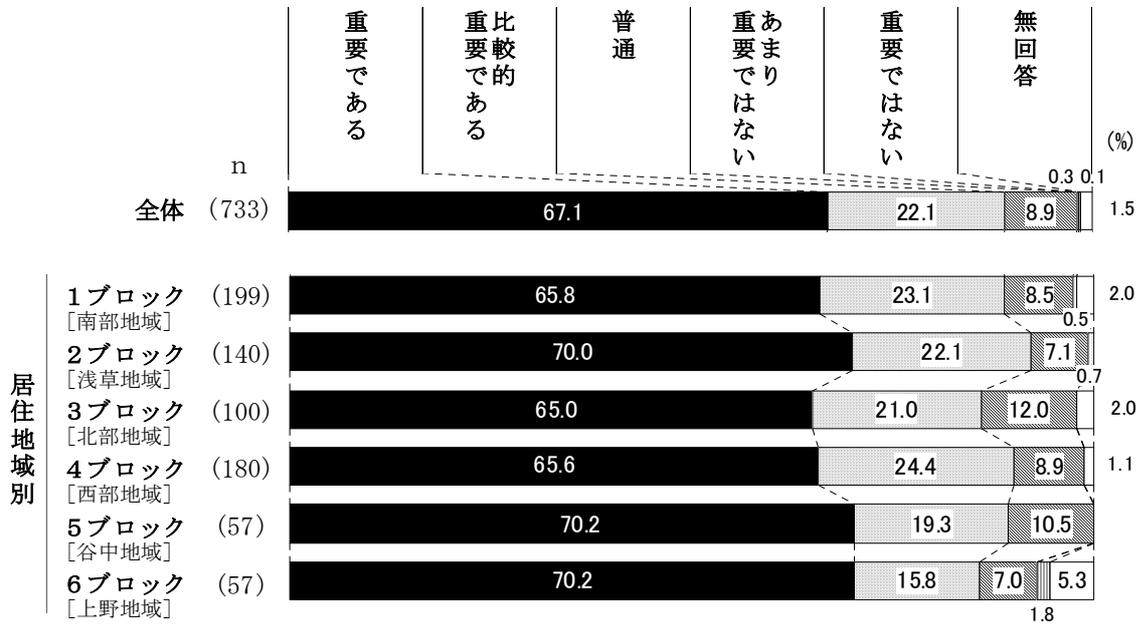
<図表10-1> 教育の重要度



教育の重要度を聞いたところ、「重要である」(67.1%)が約7割で最も高くなっている。これに「比較的重要な」(22.1%)を合わせると、《重要である》は89.2%で約9割となっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.4%である。(図表10-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、2ブロック[浅草地域] (92.1%) が9割を超え最も高くなっている。(図表10-2)

＜図表10-2＞ 教育の重要度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

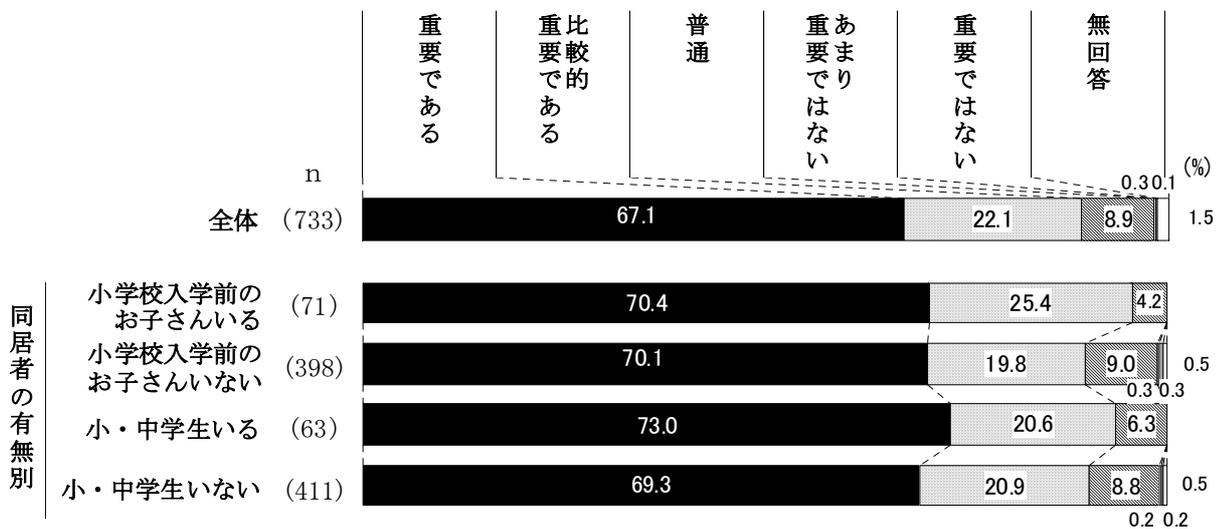
性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では50歳代 (94.0%) が9割台半ばで最も高く、30歳代 (91.3%) が9割を超える。女性では20歳代 (95.0%) と60歳代 (94.3%) が9割台半ばで高い。(図表10-3)

<図表10-3> 教育の重要度 性別／性・年齢別



同居者の有無別でみると、《重要である》は、小学校入学前の子どもがいる人（95.8%）と小・中学生がいる人（93.6%）が9割台半ばで、それぞれいない人よりも高くなっている。（図表10-4）

<図表10-4> 教育の重要度 同居者の有無別



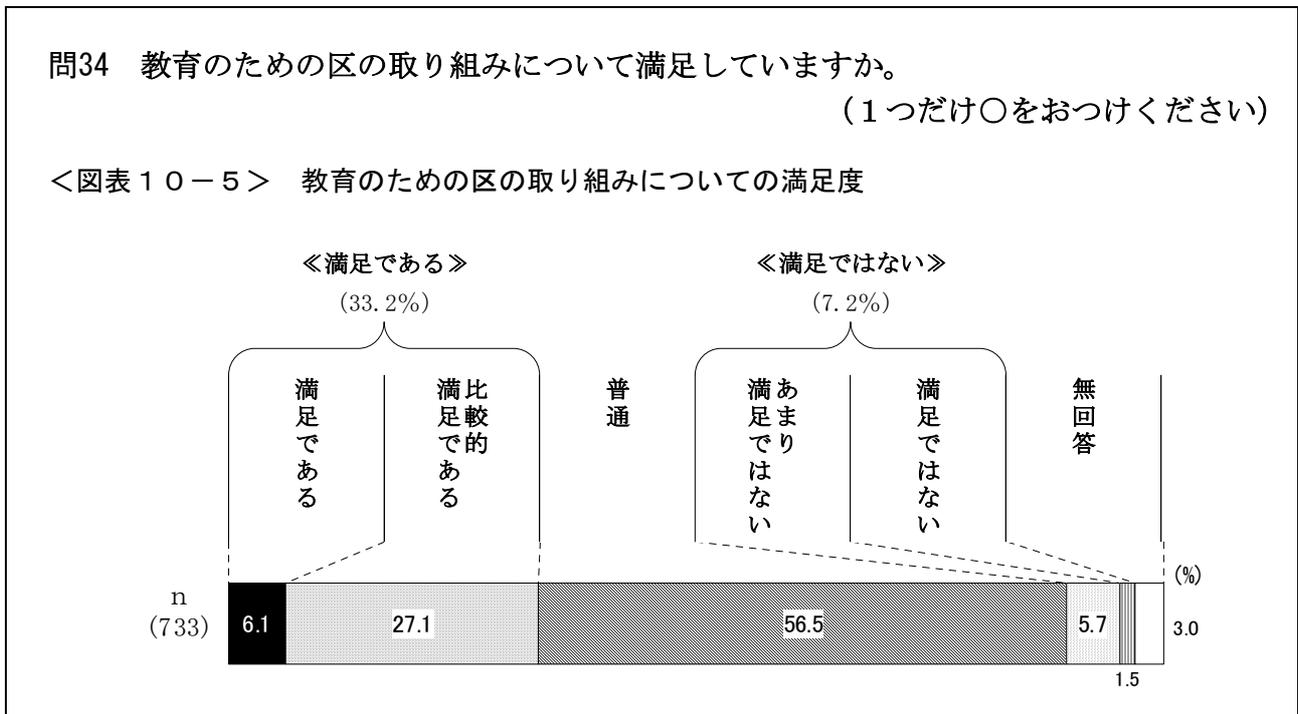
(2) 教育のための区の取り組みについての満足度

◇「普通」が5割台半ば、「満足である」は3割を超える

問34 教育のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

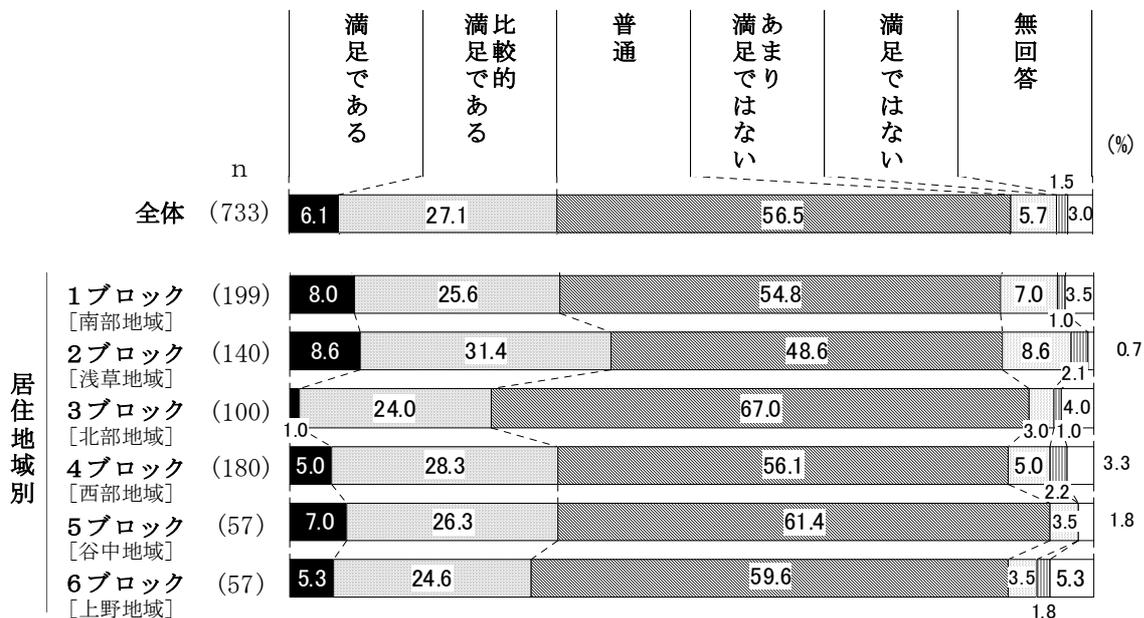
<図表10-5> 教育のための区の取り組みについての満足度



教育のための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(56.5%)が5割台半ばで最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は33.2%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は7.2%である。(図表10-5)

居住地域別でみると、《満足である》は、2ブロック[浅草地域](40.0%)が4割で最も高くなっている。(図表10-6)

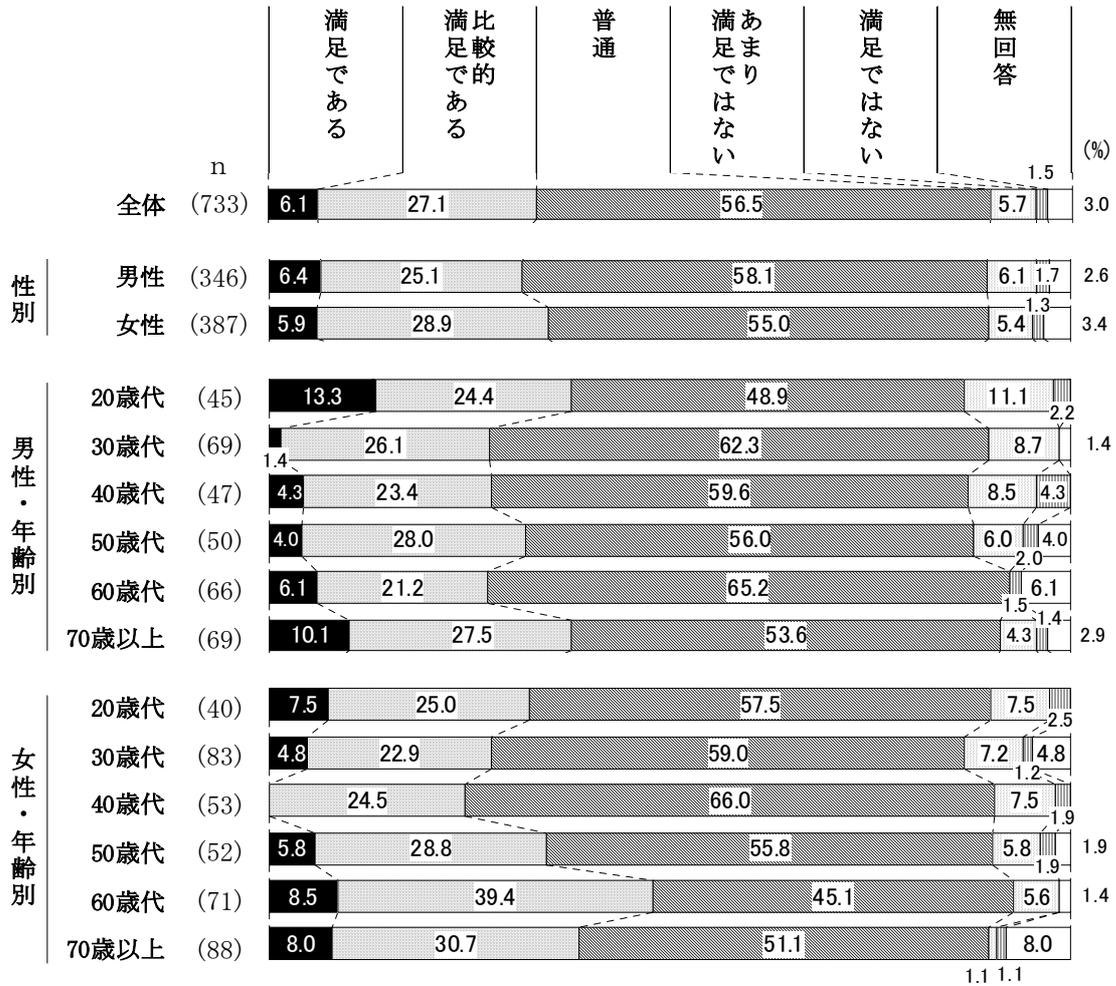
<図表10-6> 教育のための区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

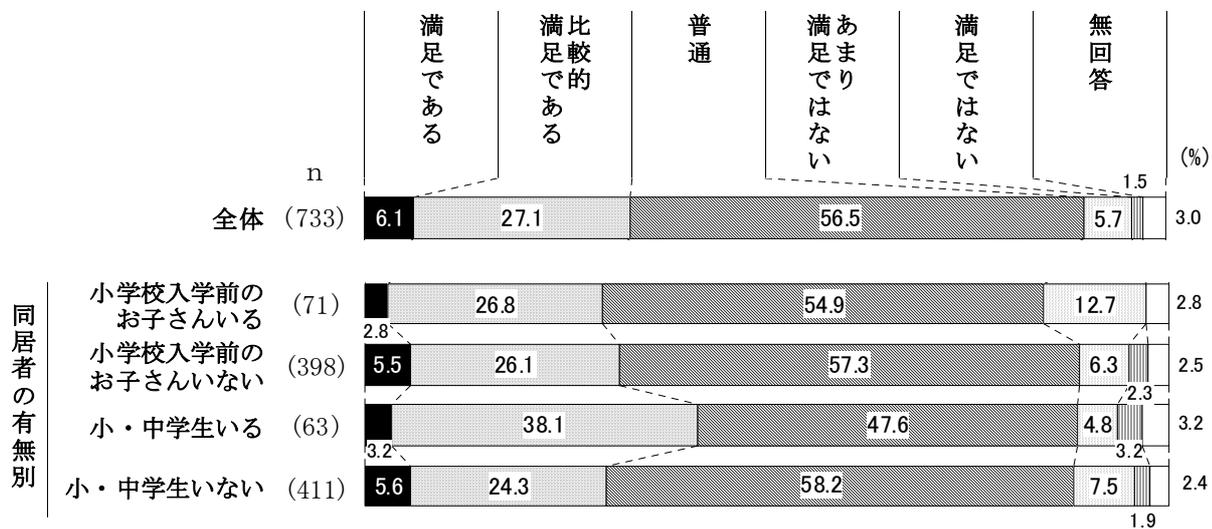
性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では20歳代（37.7%）と70歳以上（37.6%）が約4割で高くなっている。女性では60歳代（47.9%）が約5割で最も高く、次いで70歳以上（38.7%）が約4割である。（図表10-7）

<図表10-7> 教育のための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



同居者の有無別でみると、《満足である》は、小・中学生がいる人（41.3%）が4割を超え高い。（図表10-8）

＜図表10-8＞ 教育のための区の取り組みについての満足度 同居者の有無別



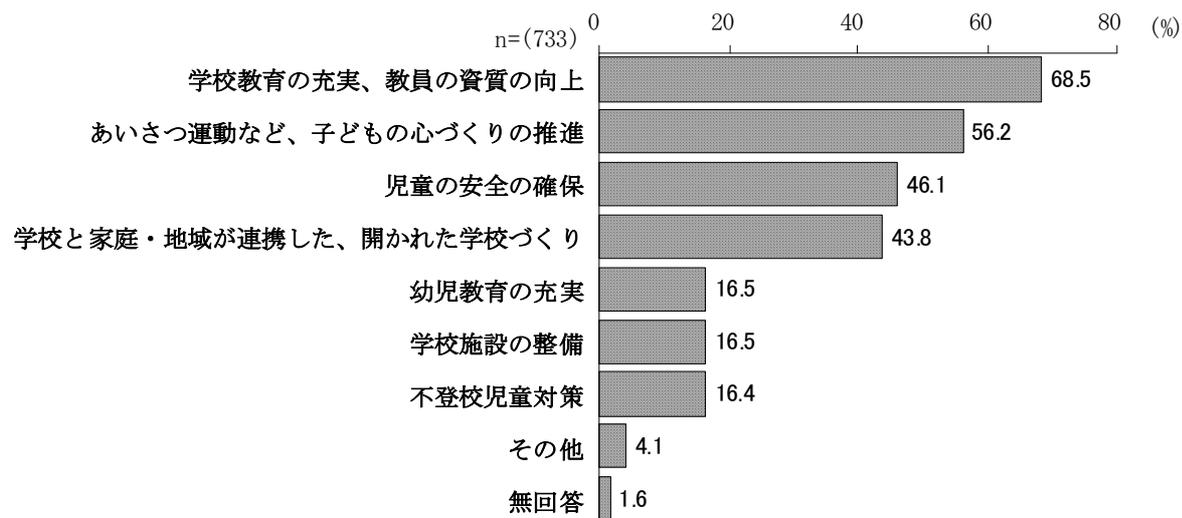
(3) 教育のための取り組みとして大切なもの

◇「学校教育の充実、教員の資質の向上」が約7割

問35 教育のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

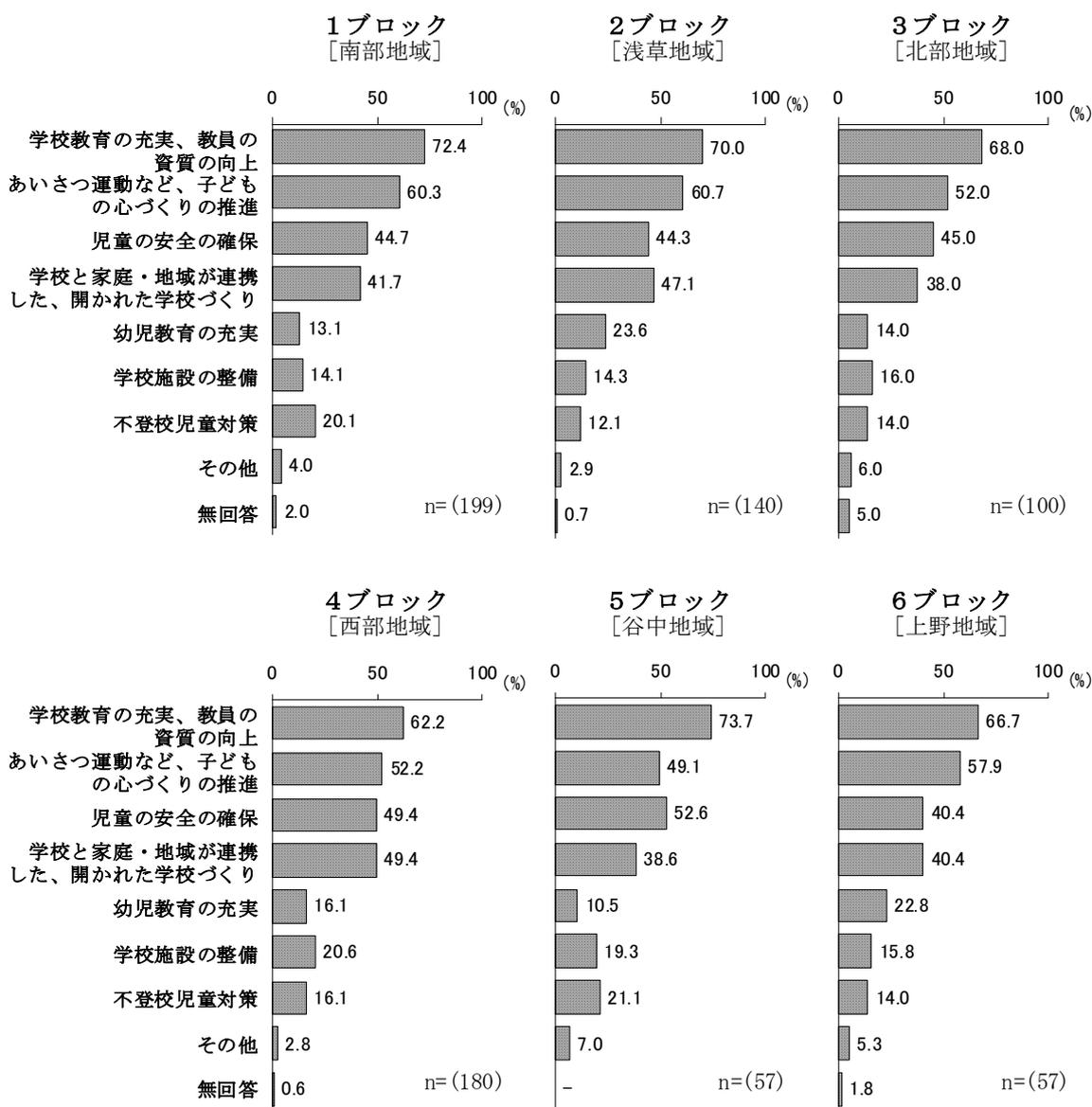
<図表10-9> 教育のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



教育のための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「学校教育の充実、教員の資質の向上」(68.5%)が約7割で最も高く、次いで「あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進」(56.2%)が5割台半ばとなっている。このほか、「児童の安全の確保」(46.1%)と「学校と家庭・地域が連携した、開かれた学校づくり」(43.8%)が4割台半ばとなっている。(図表10-9)

居住地域別でみると、いずれも「学校教育の充実、教員の資質の向上」が最も高く、中でも、5ブロック[谷中地域] (73.7%) が7割台半ばで最も高く、僅差で1ブロック[南部地域] (72.4%) が続く。「あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進」は、5ブロック[谷中地域]を除き、それぞれの地域の中で2番目に高く、2ブロック[浅草地域] (60.7%) と1ブロック[南部地域] (60.3%) が6割となっている。一方、5ブロック[谷中地域]は、「児童の安全の確保」(52.6%) が2番目に高く5割を超える。(図表10-10)

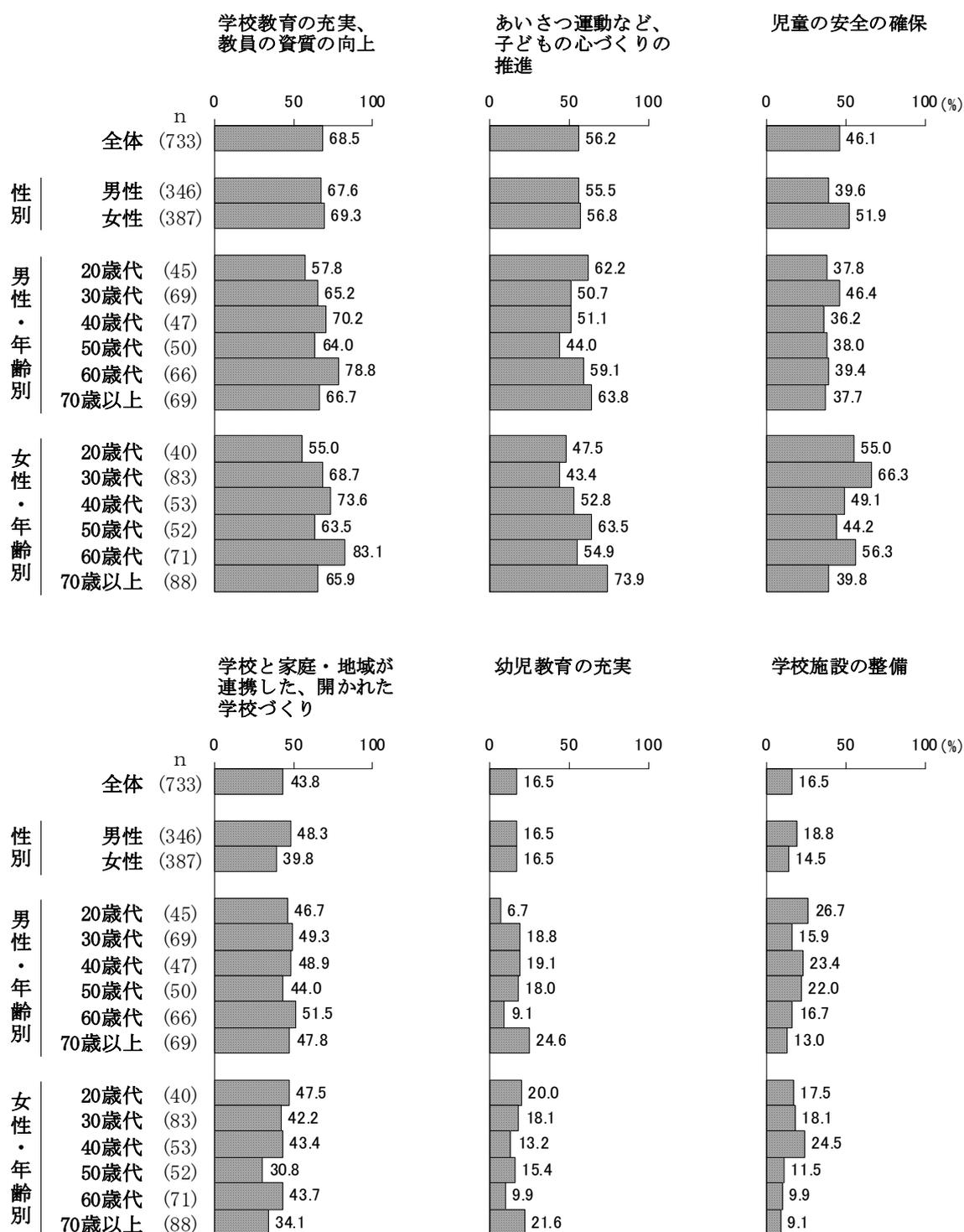
<図表10-10> 教育のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「児童の安全の確保」は、女性（51.9%）の方が男性（39.6%）よりも12ポイント高くなっている。逆に、「学校と家庭・地域が連携した、開かれた学校づくり」は、男性（48.3%）が女性（39.8%）を9ポイント上回る。

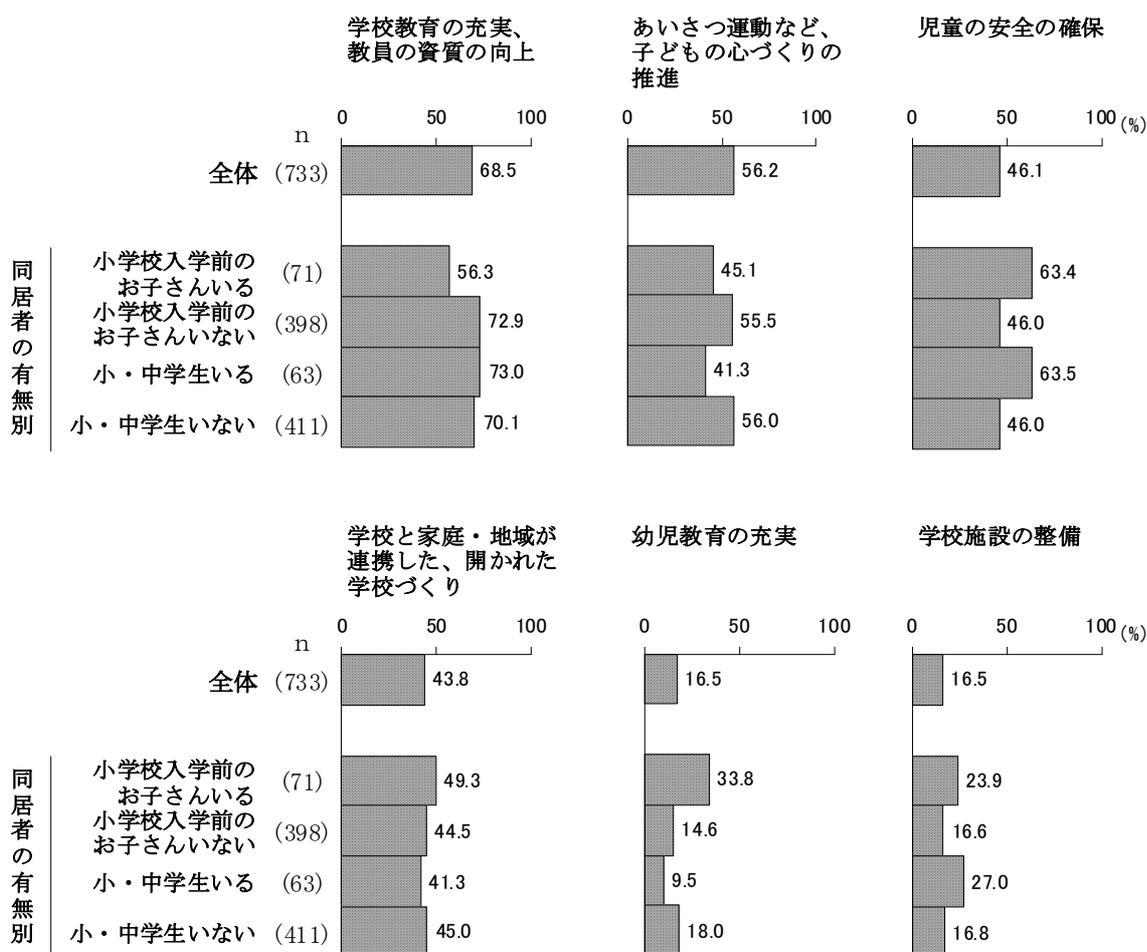
性・年齢別でみると、「学校教育の充実、教員の資質の向上」は、男女ともに60歳代で高く、特に、女性の60歳代（83.1%）は8割台半ばとなっている。「あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進」は、女性の70歳以上（73.9%）が7割台半ば、「児童の安全の確保」は女性の30歳代（66.3%）が6割台半ばで最も高くなっている。（図表10-11）

<図表10-11> 教育のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



同居者の有無別でみると、「あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進」は、小学校入学前の子どもがいない人（55.5%）と小・中学生がいない人（56.0%）が5割台半ばで、それぞれいる人よりも高くなっている。逆に、「児童の安全の確保」は、小学校入学前の子どもがいる人（63.4%）と小・中学生がいる人（63.5%）が6割台半ばで、それぞれいない人よりも高くなっている。また、「幼児教育の充実」は、小学校入学前の子どもがいる人（33.8%）が3割台半ばである。（図表10-12）

＜図表10-12＞ 教育のための取り組みとして大切なもの 同居者の有無別（上位6項目）



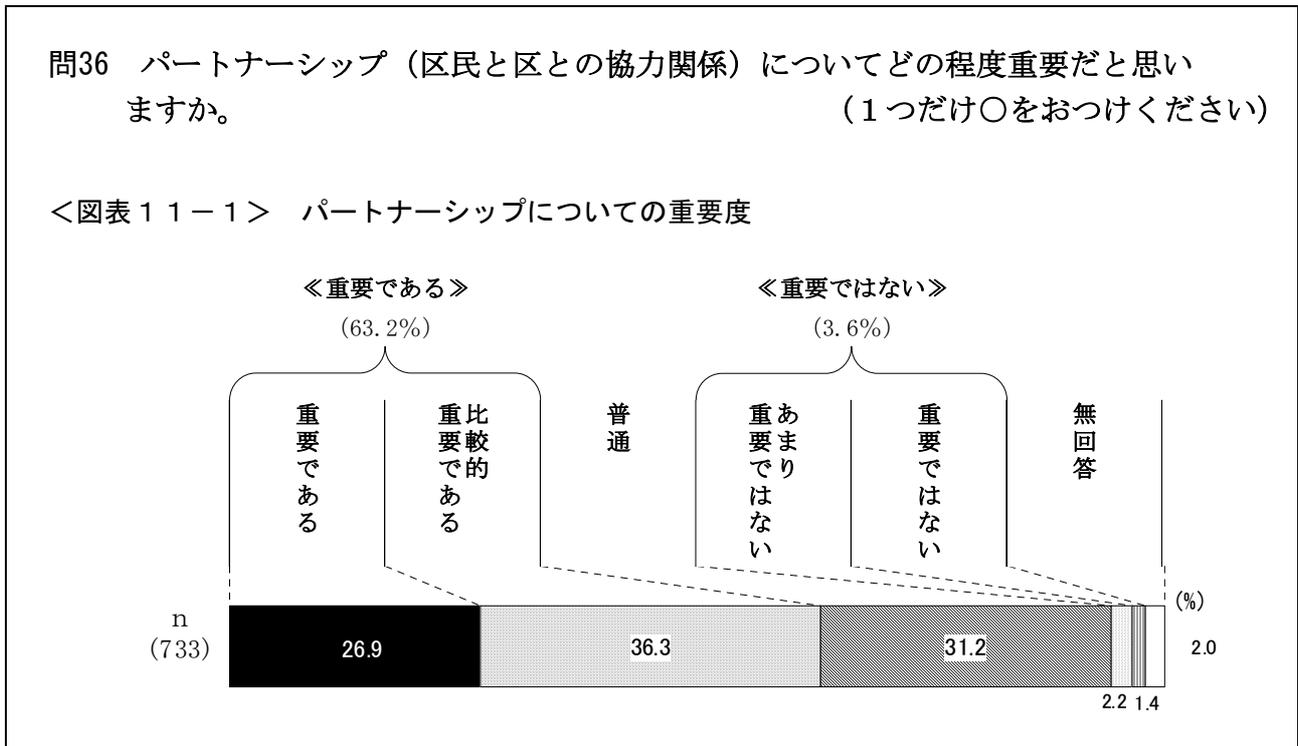
1 1 . パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み

◆ 本区は、支えあいの地域性があり、地域での活動が盛んです。また、社会では、ボランティアやNPO（非営利の社会貢献活動団体）の活動が増加しています。

地域の課題の解決のため、区民一人ひとりと、区、企業などが協力関係を深めていくことが大切です、そのため、区では、区政やまちづくり活動への参加の拡大、NPOなどとの協働の促進などに取り組んでいます。

(1) パートナーシップについての重要度

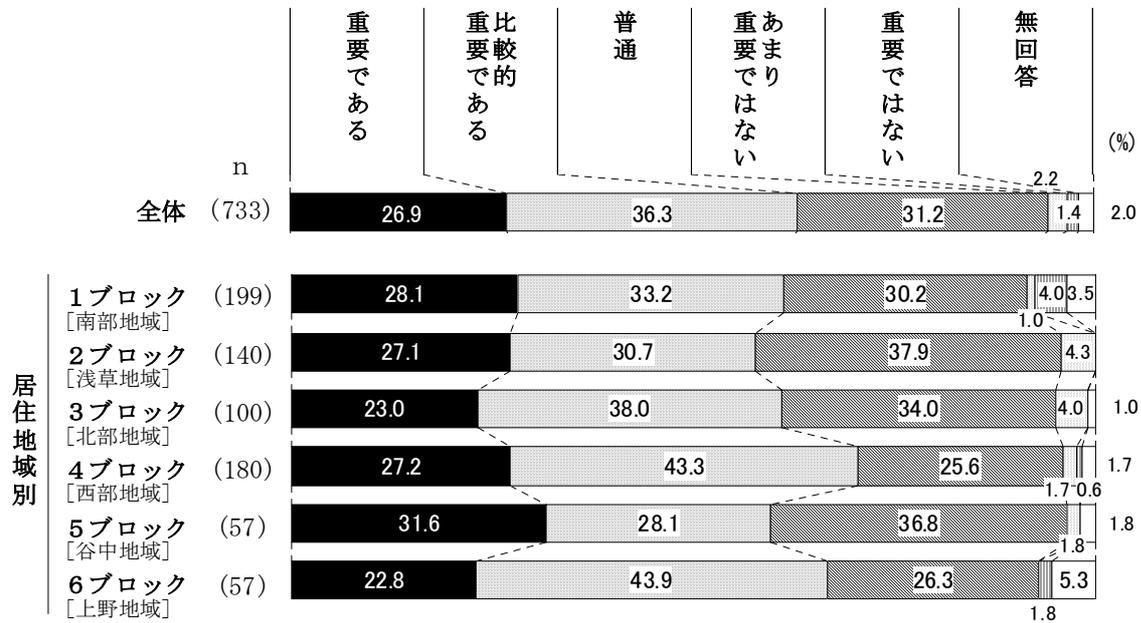
◇ 《重要である》が6割台半ば



パートナーシップの重要度を聞いたところ、「重要である」(26.9%)に「比較的重要である」(36.3%)を合わせると、《重要である》は63.2%で6割台半ばとなっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は3.6%である。(図表 1 1 - 1)

居住地域別でみると、《重要である》は、4ブロック[西部地域] (70.5%) が7割で最も高く、次いで6ブロック[上野地域] (66.7%) が6割台半ばとなっている。(図表1 1 - 2)

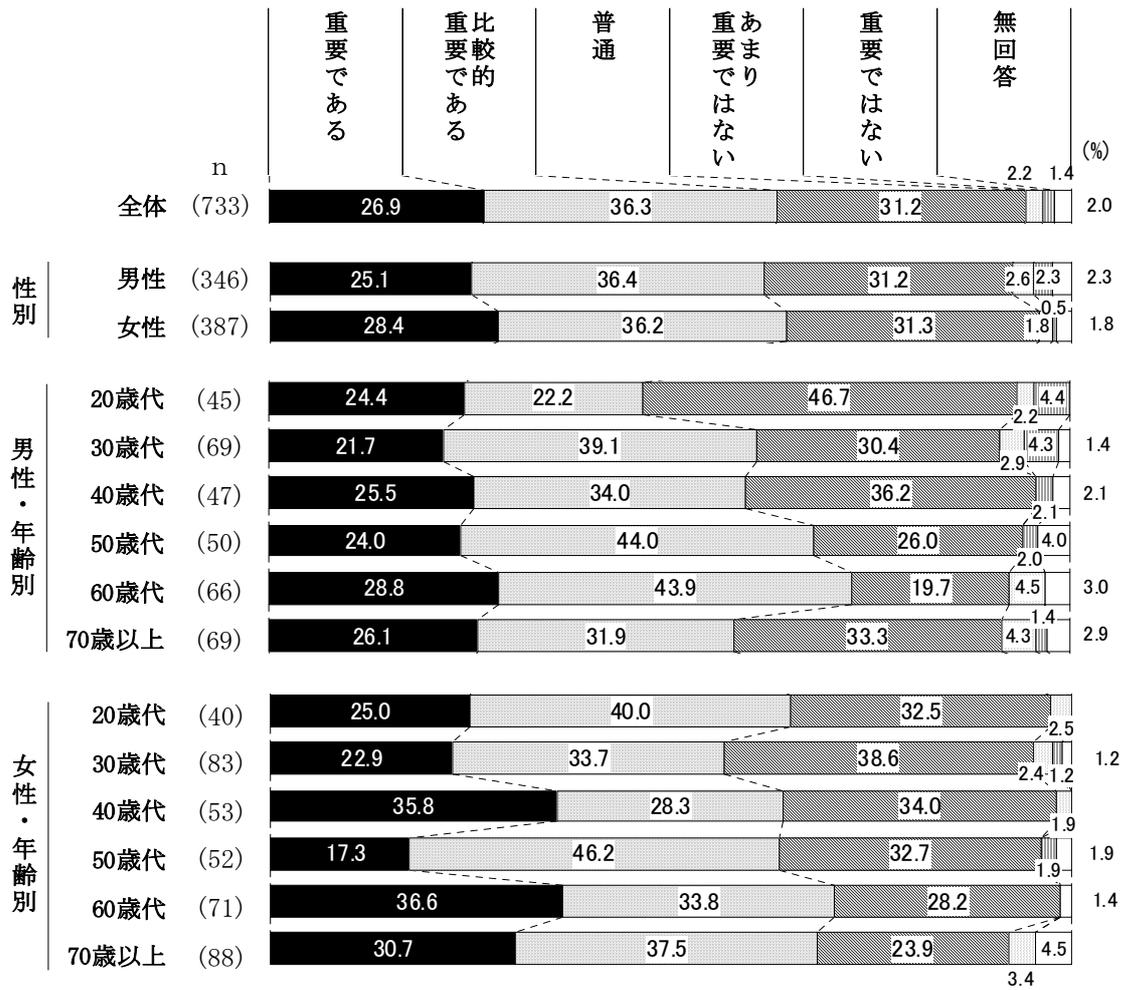
＜図表1 1 - 2＞ パートナーシップについての重要度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

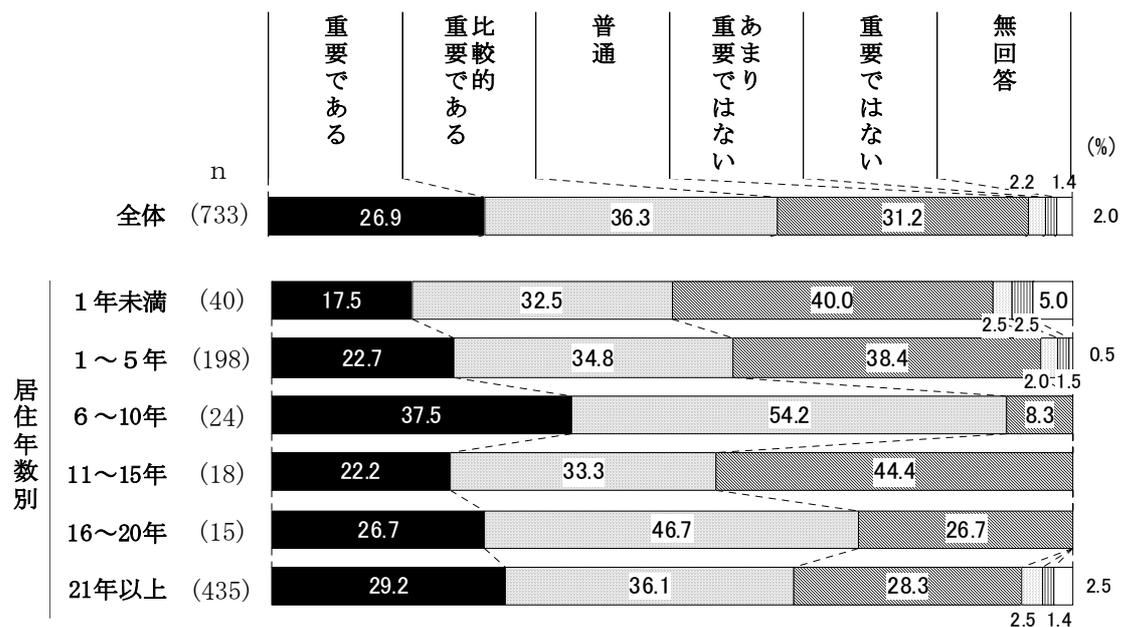
性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では60歳代 (72.7%) が7割を超え最も高く、次いで50歳代 (68.0%) が約7割となっている。女性でも同じ年齢層は高く、60歳代 (70.4%) が7割、70歳以上 (68.2%) が約7割である。(図表1 1 - 3)

<図表 1 1 - 3> パートナーシップについての重要度 性別／性・年齢別



居住年数別でみると、「重要である」は、21年以上（65.3%）が6割台半ばである。（図表 1 1 - 4）

<図表 1 1 - 4> パートナーシップについての重要度 居住年数別



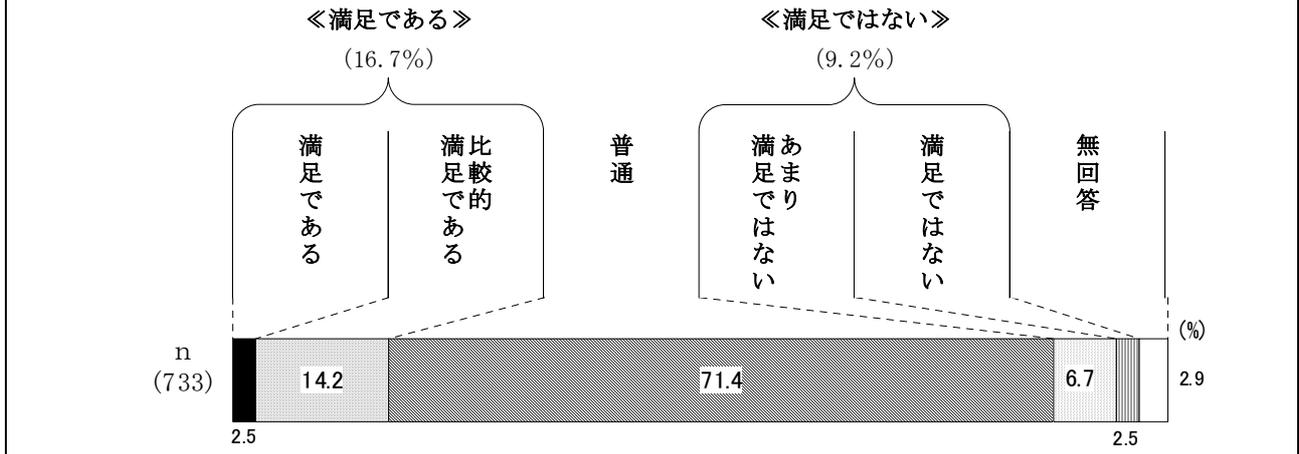
※ “6～10年”、“11～15年”、“16～20年”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) パートナーシップのための区の取り組みについての満足度

◇「普通」が7割を超え、「満足である」は1割台半ば

問37 パートナーシップのための区の取り組みについて満足していますか。
(1つだけ○をおつけください)

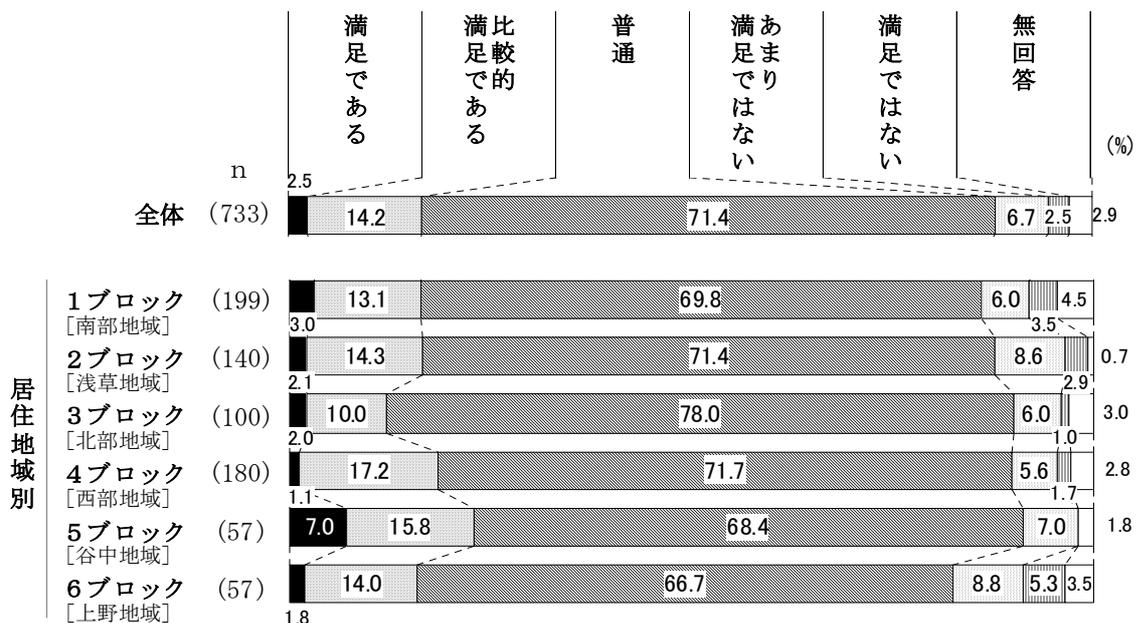
<図表11-5> パートナーシップのための区の取り組みについての満足度



パートナーシップのための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(71.4%)が7割を超え最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は16.7%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は9.2%である。(図表11-5)

居住地域別でみると、《満足である》は、5ブロック[谷中地域](22.8%)が2割を超え最も高くなっている。(図表11-6)

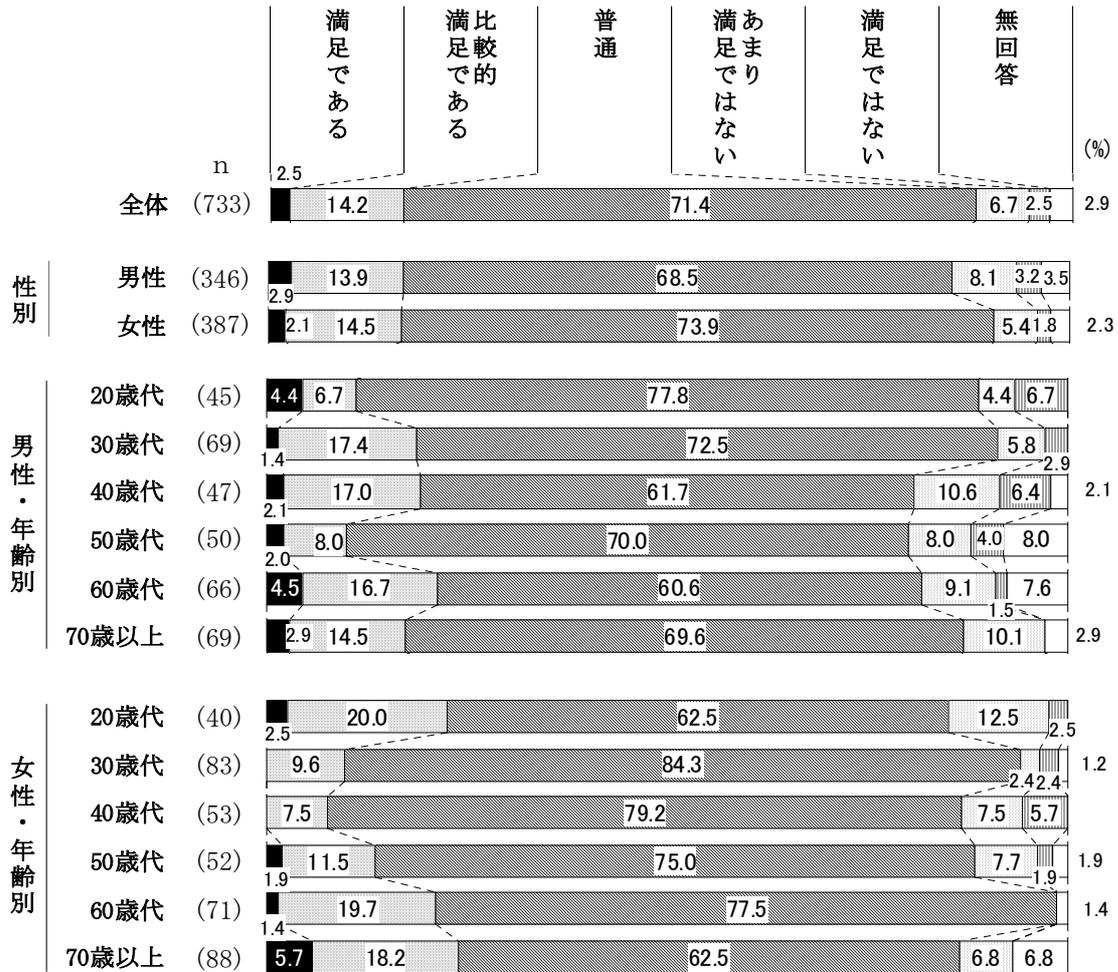
<図表11-6> パートナーシップのための区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

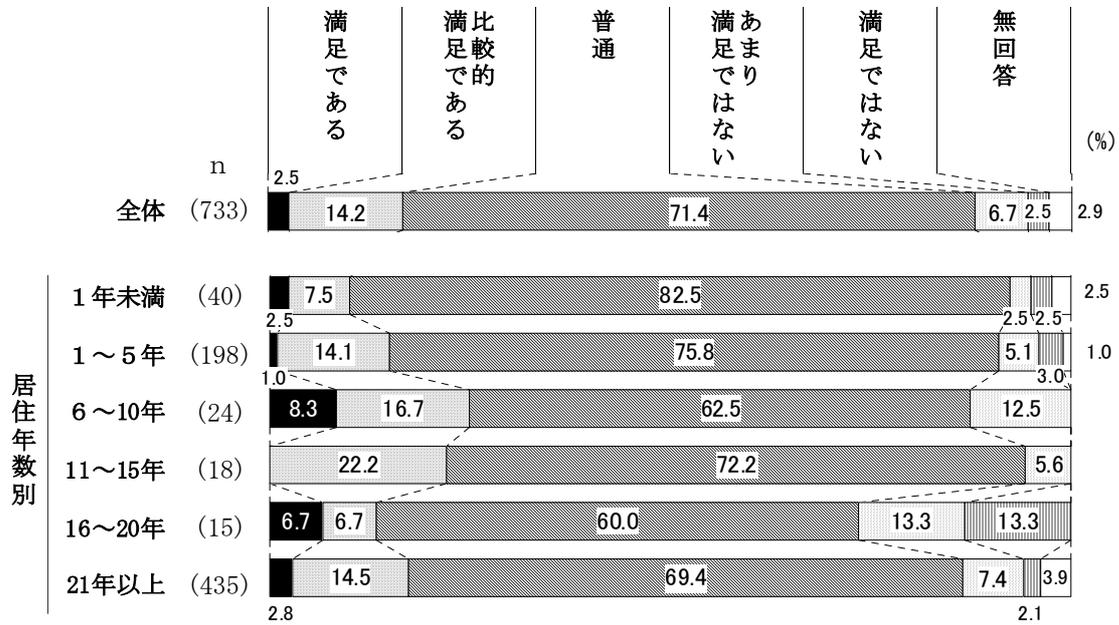
性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では60歳代（21.2%）が2割を超え最も高くなっている。女性では70歳以上（23.9%）が2割台半ばで最も高く、次いで女性の20歳代（22.5%）と60歳代（21.1%）が2割を超える。（図表11-7）

<図表11-7> パートナーシップのための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



居住年数別でみると、《満足である》は、21年以上（17.3%）が約2割、1～5年（15.1%）が1割台半ばとなっている。（図表11-8）

＜図表11-8＞ パートナーシップのための区の取り組みについての満足度 居住年数別



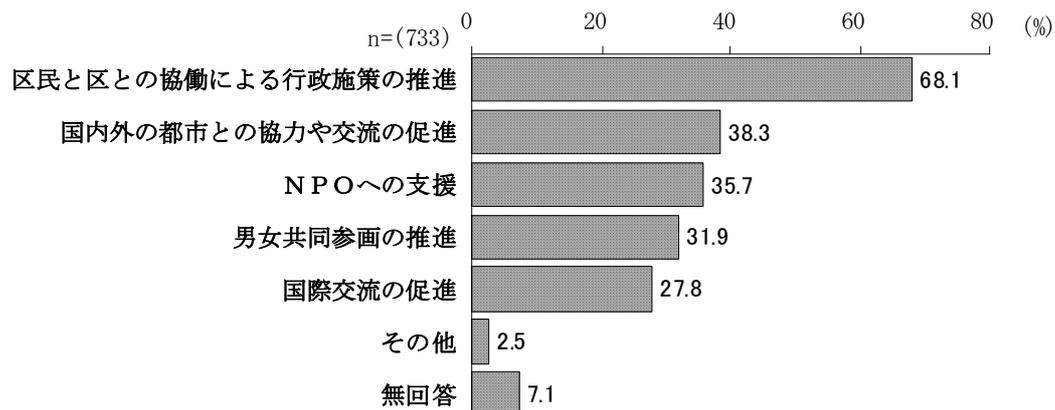
※ “6～10年”、“11～15年”、“16～20年”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(3) パートナーシップのための取り組みとして大切なもの

◇「区民と区との協働による行政施策の推進」が約7割

問38 パートナーシップのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。
(3つまで○をおつけください)

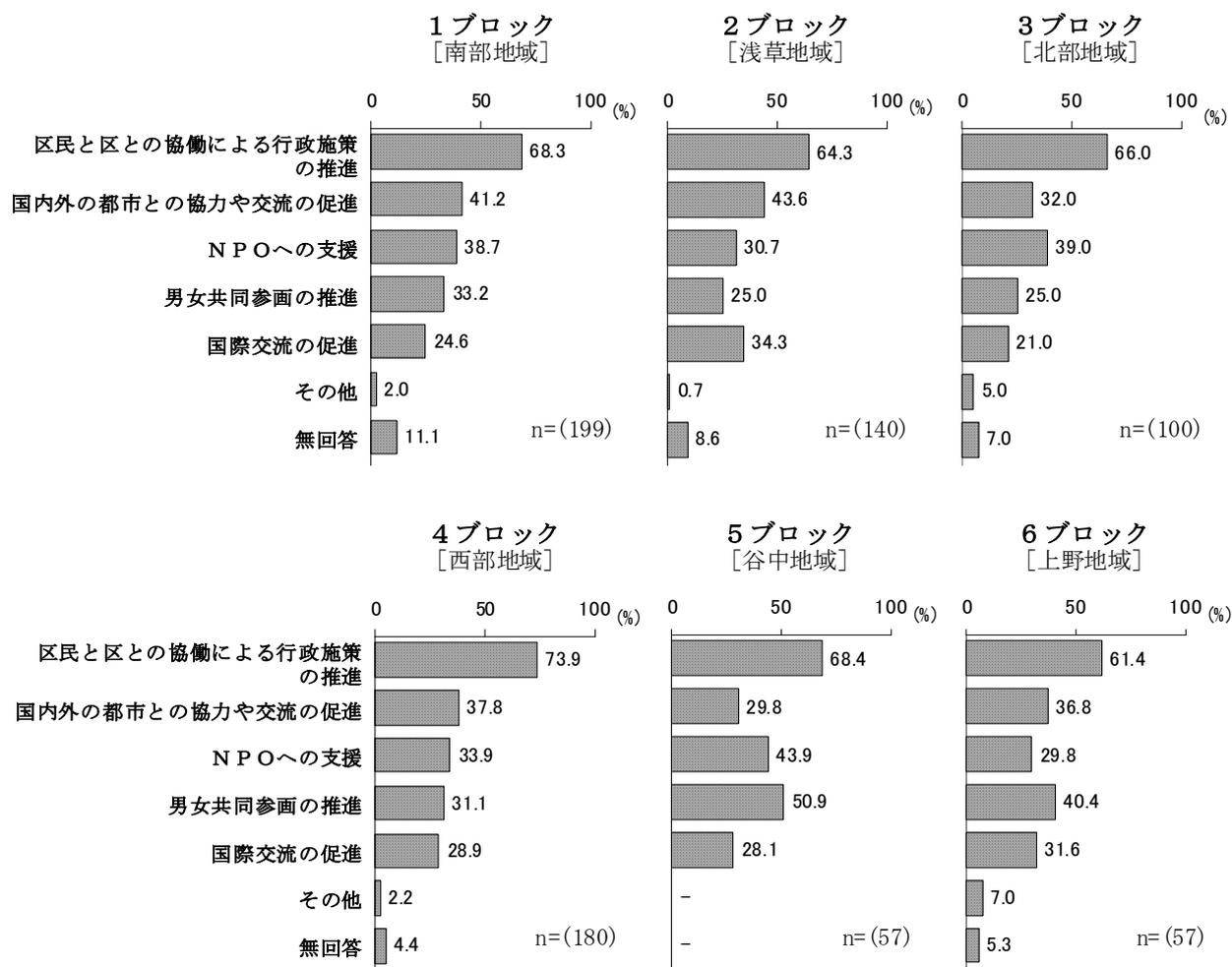
<図表11-9> パートナーシップのための取り組みとして大切なもの(複数回答)



パートナーシップのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「区民と区との協働による行政施策の推進」(68.1%)が約7割で最も高くなっている。次いで「国内外の都市との協力や交流の促進」(38.3%)が約4割、「NPOへの支援」(35.7%)が3割台半ばとなっている。(図表11-9)

居住地域別でみると、いずれも「区民と区との協働による行政施策の推進」が高く、中でも、4ブロック [西部地域] (73.9%) は7割台半ばである。また、「男女共同参画の推進」は5ブロック [谷中地域] (50.9%) と6ブロック [上野地域] (40.4%) の中で2番目に高く、特に、5ブロック [谷中地域] は5割である。(図表11-10)

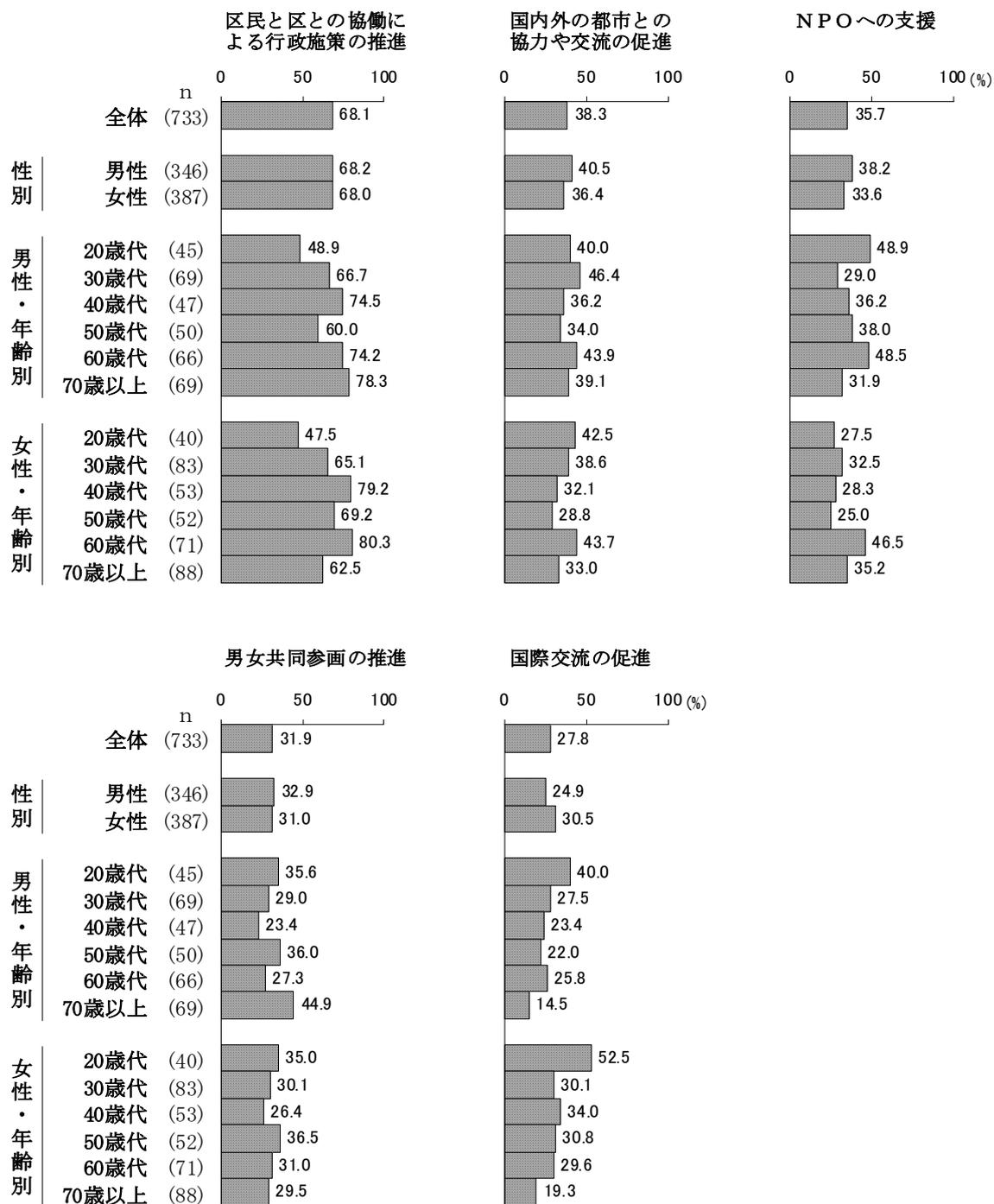
<図表11-10> パートナーシップのための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「NPOへの支援」は、男性 (38.2%) の方が女性 (33.6%) よりも5ポイント高くなっている。逆に、「国際交流の促進」は、女性 (30.5%) が男性 (24.9%) を6ポイント上回る。

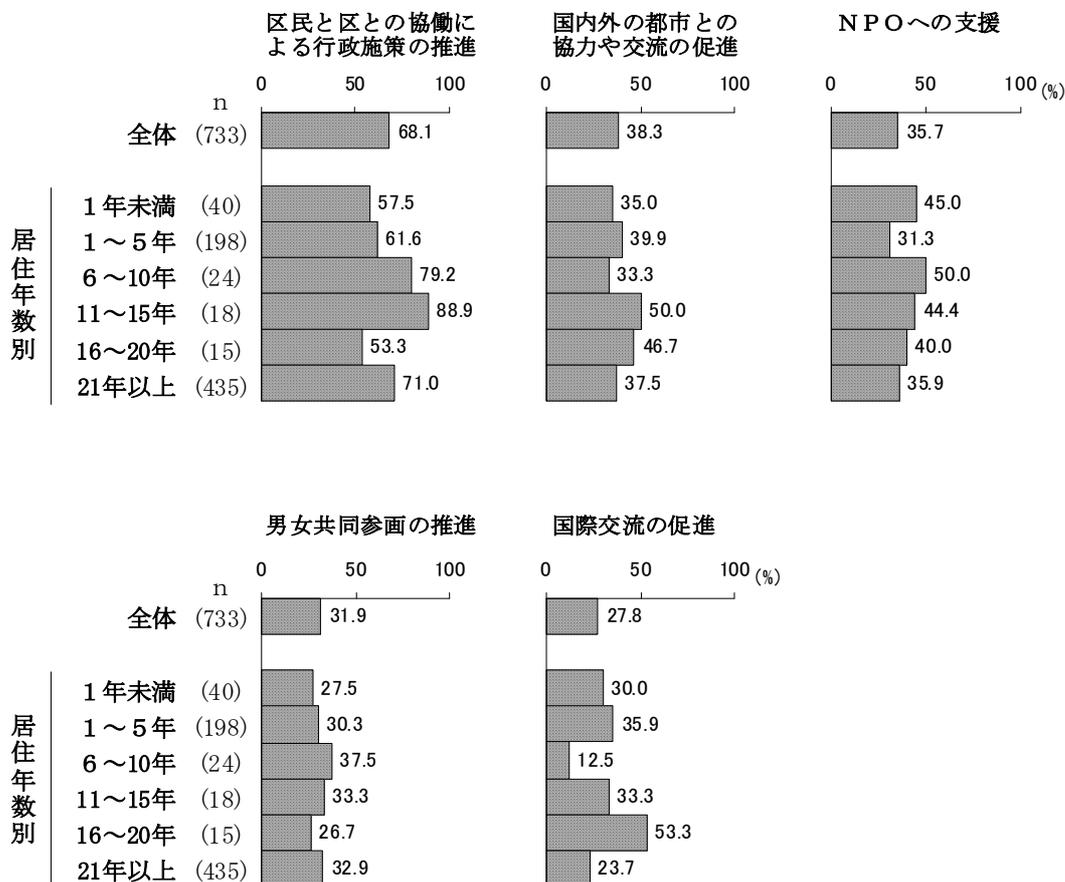
性・年齢別でみると、「区民と区との協働による行政施策の推進」は、男性では70歳以上 (78.3%) が約8割で最も高くなっている。女性では60歳代 (80.3%) が8割、僅差で40歳代 (79.2%) が続く。「国内外の都市との協力や交流の促進」は男性の30歳代 (46.4%) と女性の60歳代 (43.7%) が4割台半ばで、「NPOへの支援」は男性の20歳代 (48.9%) と60歳代 (48.5%) が約5割、女性の60歳代 (46.5%) が4割台半ばと高い。また、「国際交流の促進」は、女性の20歳代 (52.5%) が5割を超える。(図表11-11)

<図表 11-11> パートナーシップのための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別



居住年数別でみると、「区民と区との協働による行政施策の推進」は、21年以上（71.0%）が7割を超える。（図表1 1－1 2）

＜図表1 1－1 2＞ パートナーシップのための取り組みとして大切なもの 居住年数別



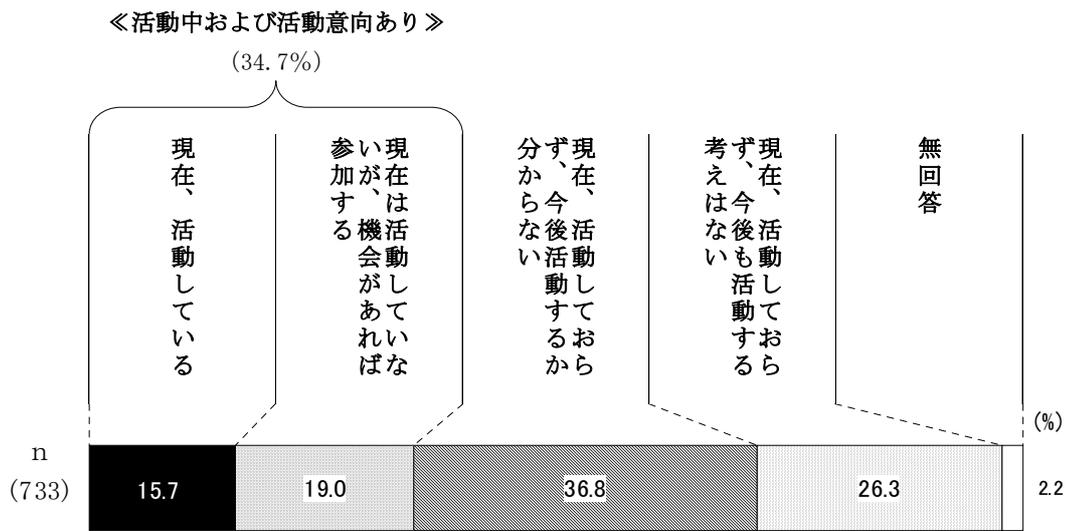
※ “6～10年”、“11～15年”、“16～20年”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(4) 地域の活動の状況と今後の活動予定

◇ 《活動中および活動意向あり》が3割台半ば

問39 あなたは、地域の活動（町会やPTAなど）をしていますか、または、今後、活動するお考えがありますか。
(1つだけ○をおつけください)

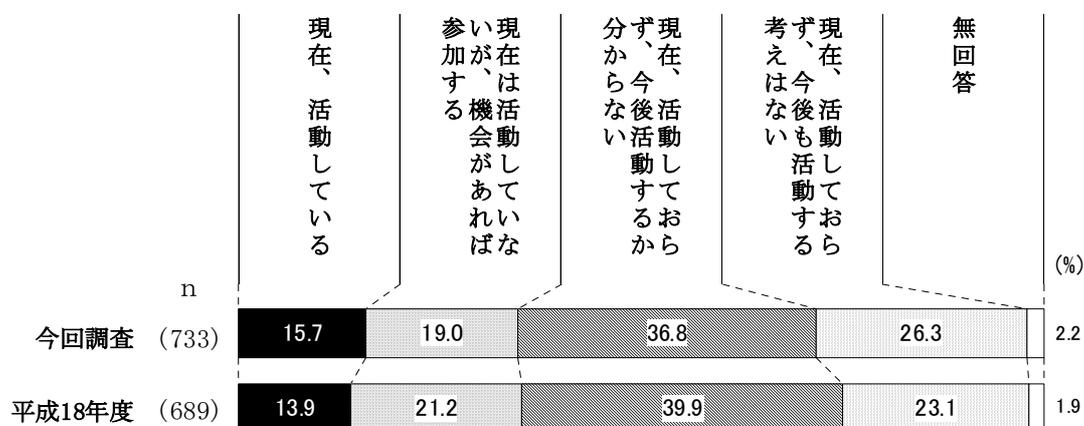
<図表 11-13> 地域の活動の状況と今後の活動予定



地域の活動の状況と今後の活動予定について聞いたところ、「現在、活動している」(15.7%)と「現在は活動していないが、機会があれば参加する」(19.0%)を合わせると、《活動中および活動意向あり》は34.7%で3割台半ばとなっている。ただし、「現在、活動しておらず、今後活動するか分からない」(36.8%)も3割台半ばで、「現在、活動しておらず、今後も活動する考えはない」(26.3%)が2割台半ばである。(図表 11-13)

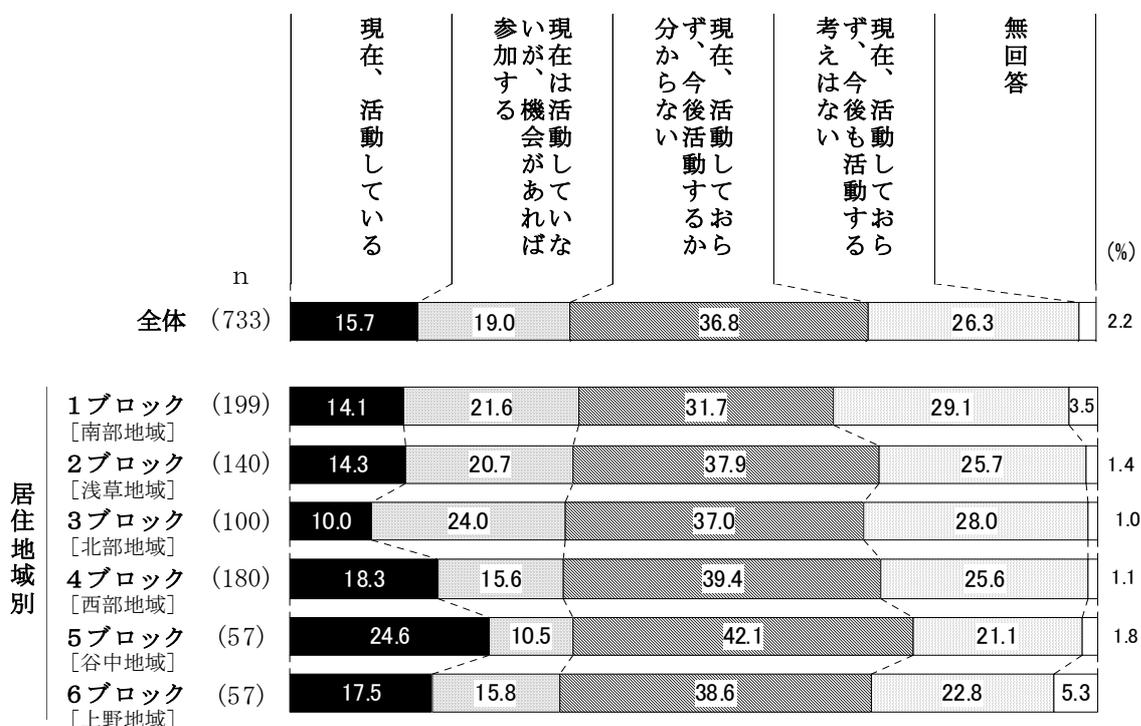
前回の調査結果と比較すると、特に大きな変化はみられない。(図表 1 1 - 1 4)

<図表 1 1 - 1 4> 地域の活動の状況と今後の活動予定 経年比較



居住地域別で見ると、「現在、活動している」は、ほとんどが1割台半ばで並んでいるが、5ブロック[谷中地域] (24.6%) は2割台半ばで最も高くなっている。ただし、「活動中および活動意向あり」は、いずれの地域も3割台半ばで並ぶ。一方、「現在、活動しておらず、今後も活動する考えはない」は、1ブロック[南部地域] (29.1%) と3ブロック[北部地域] (28.0%) が約3割で高い。(図表 1 1 - 1 5)

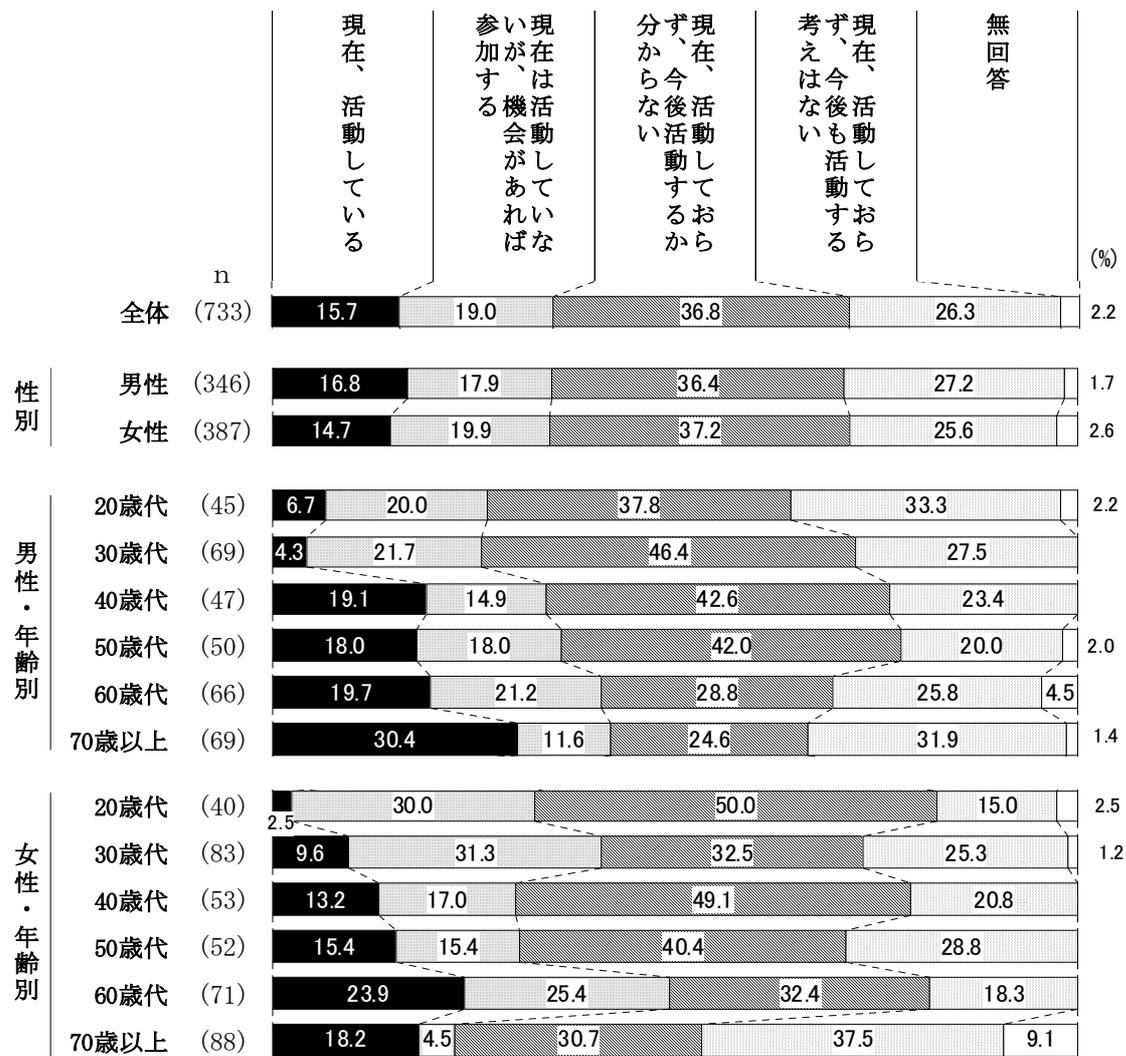
<図表 1 1 - 1 5> 地域の活動の状況と今後の活動予定 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

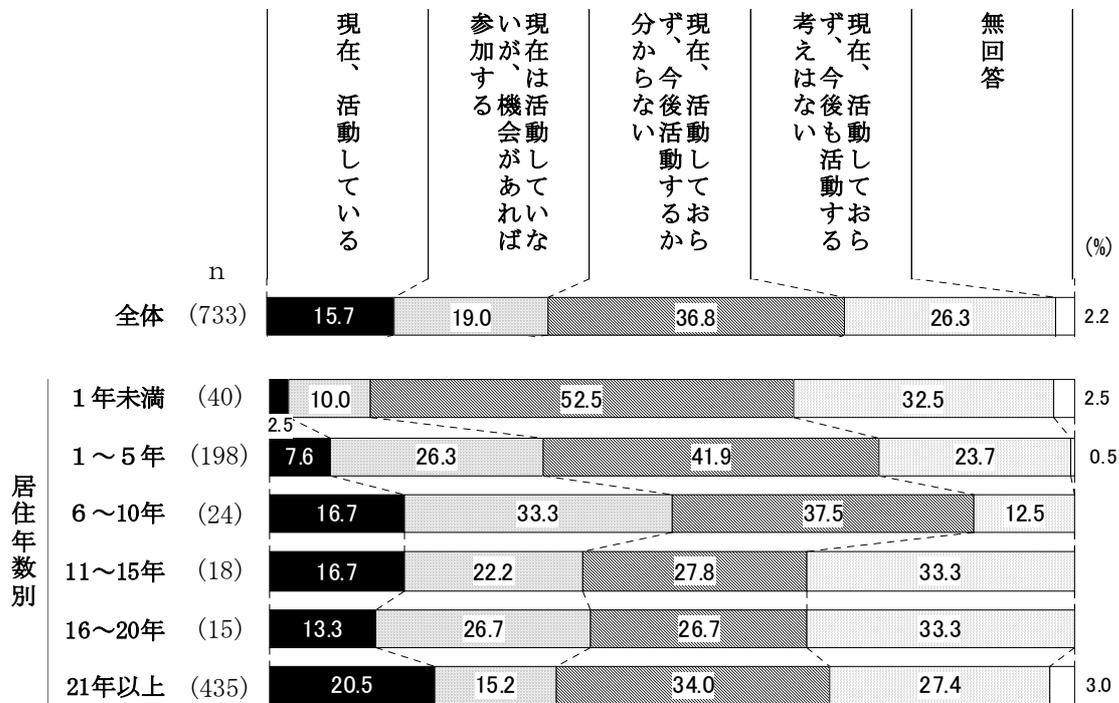
性・年齢別でみると、「現在、活動している」は、男性の70歳以上（30.4%）が3割で最も高くなっている。また、「活動中および活動意向あり」は、女性の60歳代（49.3%）が約5割で最も高い。（図表11-16）

<図表11-16> 地域の活動の状況と今後の活動予定 性別／性・年齢別



居住年数別でみると、「現在、活動している」は、21年以上（20.5%）が2割となっている。（図表11-17）

＜図表11-17＞ 地域の活動の状況と今後の活動予定 居住年数別



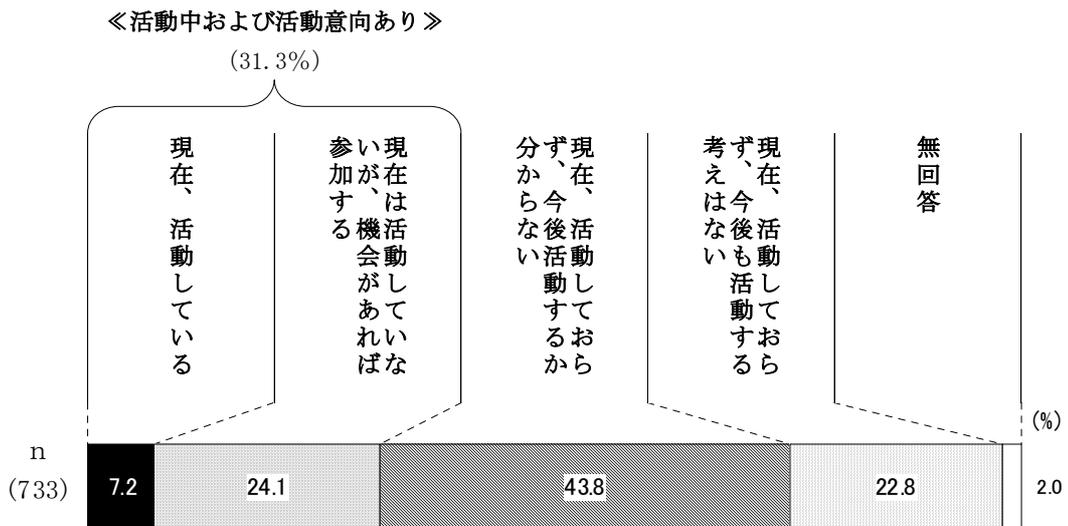
※ “6～10年”、“11～15年”、“16～20年”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(5) ボランティアやNPO活動と今後の活動予定

◇ 《活動中および活動意向あり》が3割を超える

問40 あなたは、ボランティアやNPO活動をしていますか、または、今後、活動するお考えがありますか。
(1つだけ○をおつけください)

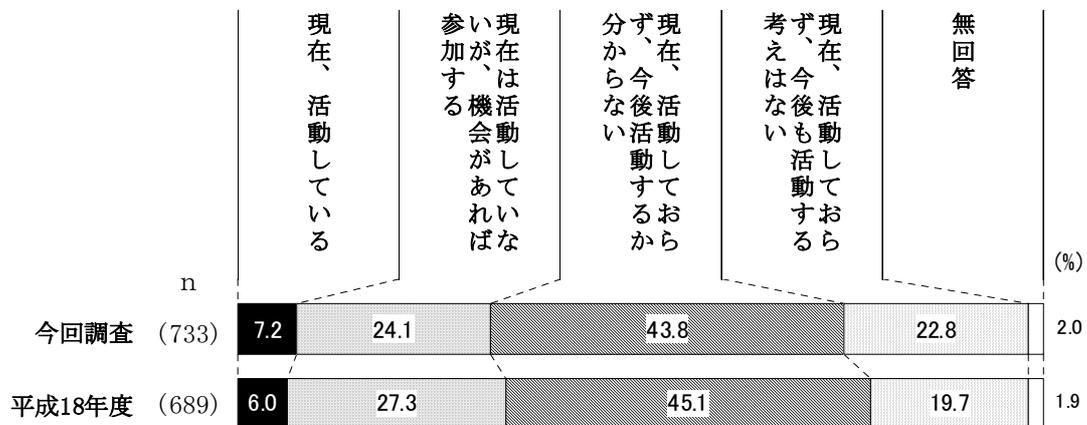
<図表11-18> ボランティアやNPO活動と今後の活動予定



ボランティアやNPO活動と今後の活動予定について聞いたところ、「現在、活動している」(7.2%)と「現在は活動していないが、機会があれば参加する」(24.1%)を合わせると、《活動中および活動意向あり》は31.3%で3割を超える。ただし、「現在、活動しておらず、今後活動するか分からない」(43.8%)が4割台半ばで最も高く、「現在、活動しておらず、今後も活動する考えはない」(22.8%)が2割を超える。(図表11-18)

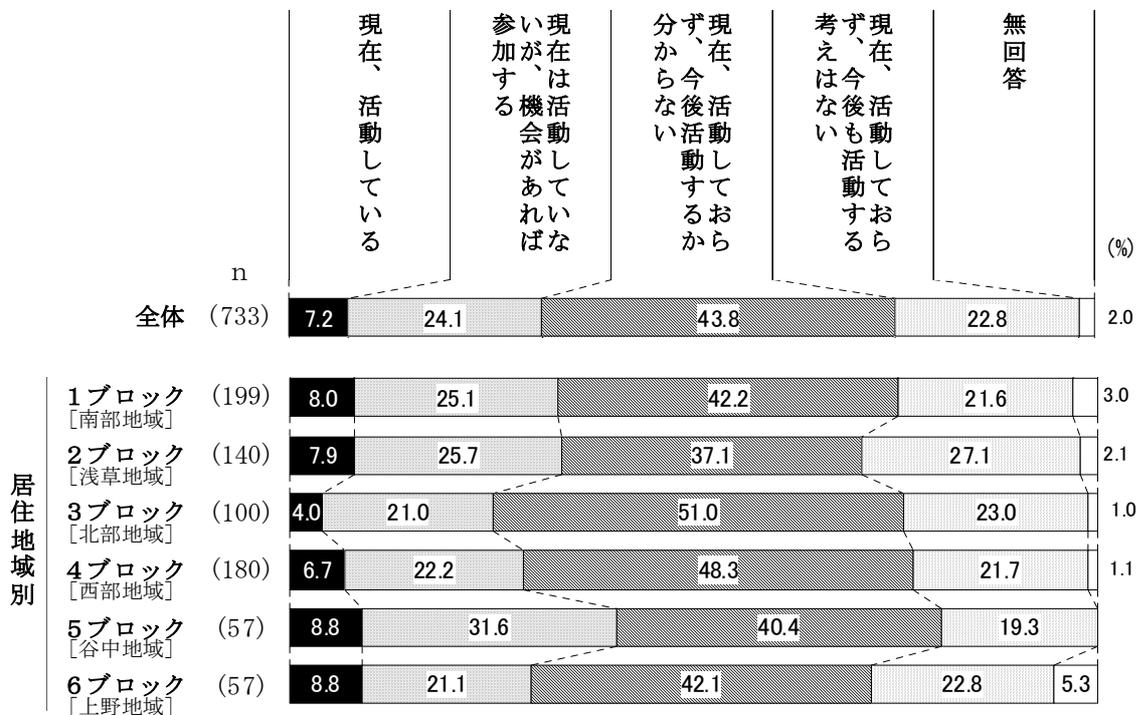
前回の調査結果と比較すると、特に大きな変化はみられない。(図表 1 1 - 1 9)

<図表 1 1 - 1 9> ボランティアやNPO活動と今後の活動予定 経年比較



居住地域別でみると、《活動中および活動意向あり》は、5ブロック[谷中地域] (40.4%) が4割で最も高くなっている。(図表 1 1 - 2 0)

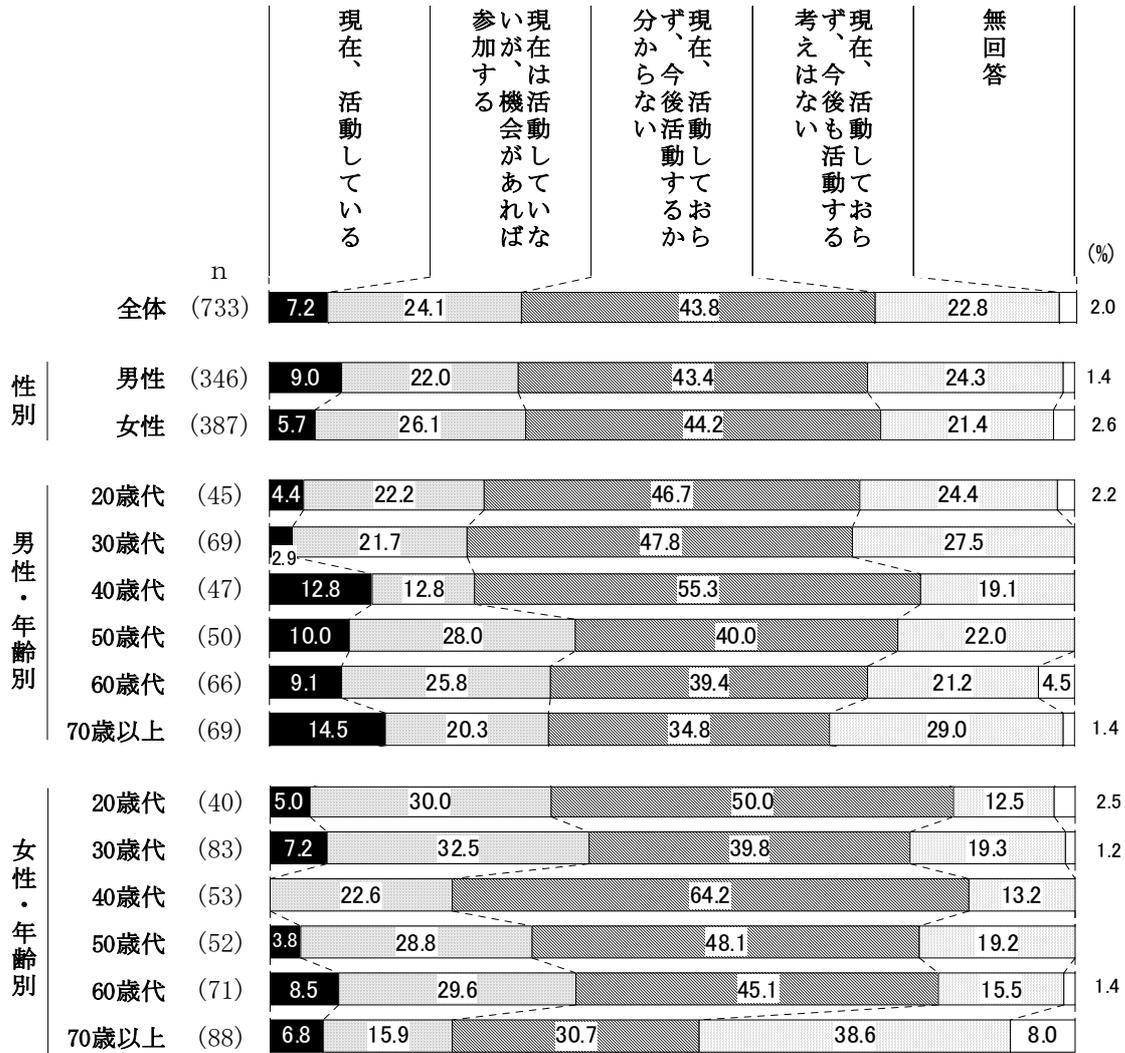
<図表 1 1 - 2 0> ボランティアやNPO活動と今後の活動予定 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

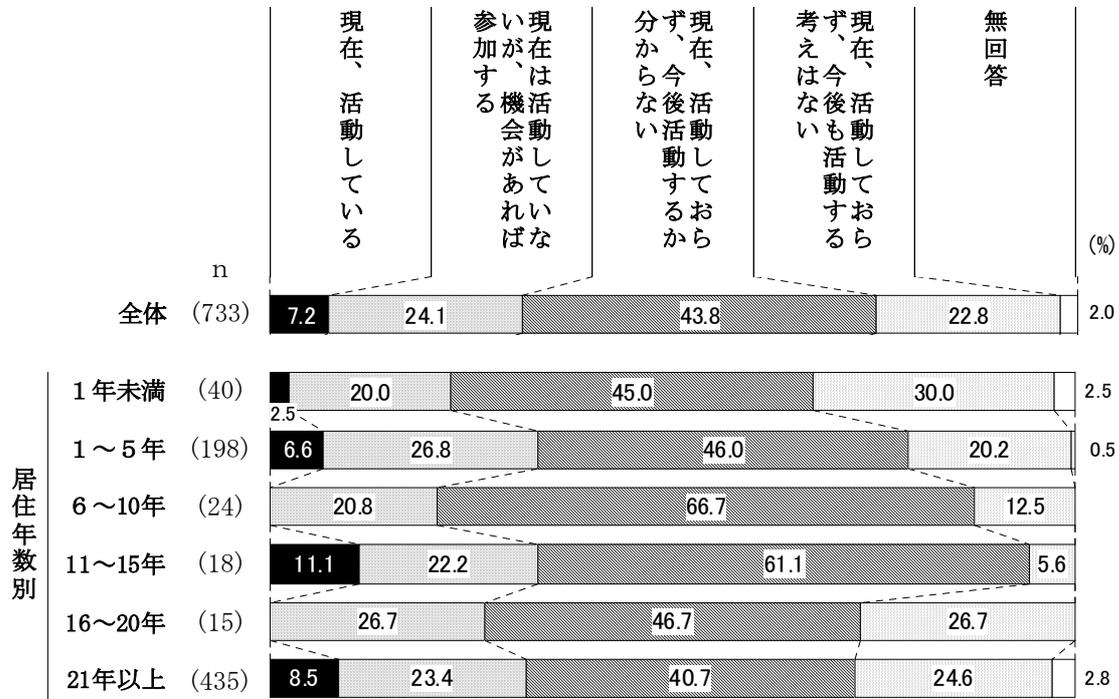
性・年齢別でみると、「活動中および活動意向あり」は、男性では50歳以上で高く、特に、50歳代(38.0%)が約4割となっている。女性では30歳代(39.7%)と60歳代(38.1%)が約4割で高い。(図表11-21)

＜図表11-21＞ ボランティアやNPO活動と今後の活動予定 性別／性・年齢別



居住年数別でみると、《活動中および活動意向あり》は、1～5年（33.4%）が3割台半ば、21年以上（31.9%）が3割を超える。（図表11-22）

＜図表11-22＞ ボランティアやNPO活動と今後の活動予定 居住年数別



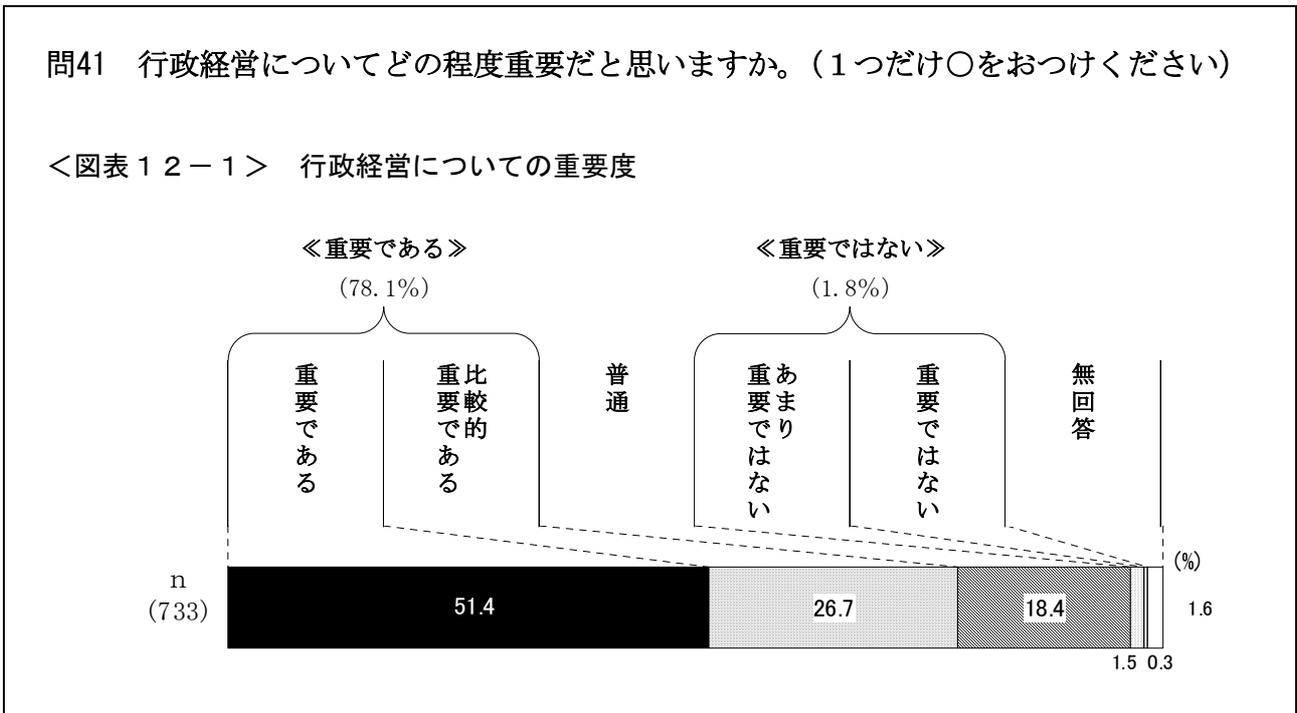
※ “6～10年”、“11～15年”、“16～20年”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

1 2. 行政経営のための取り組み

◆ 国全体で行政改革が進められています。本区も行政改革を進めてきました。今後、区民に満足していただける行政サービスを提供していくためには、限られた財源や人員を、より効果的・効率的に活かしていく行政が必要です。そのため、区では、施策や事業の不断の見直し、健全な財政の推進、職員数の削減、そして行政の外部からのチェックなど、行政経営の取り組みを進めています。

(1) 行政経営についての重要度

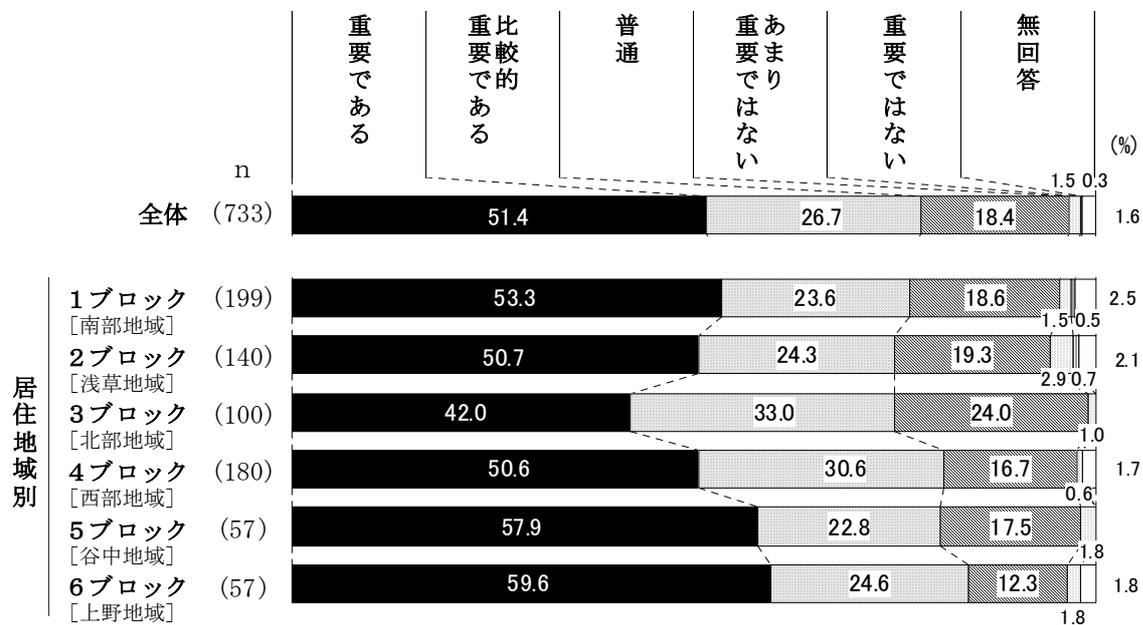
◇ 《重要である》が約8割



行政経営についての重要度を聞いたところ、「重要である」(51.4%)が5割を超え最も高くなっている。これに「比較的重要な」(26.7%)を合わせると、《重要である》は78.1%で約8割となっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は1.8%である。(図表12-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、6ブロック[上野地域] (84.2%) が8割台半ばで最も高く、次いで、4ブロック[西部地域] (81.2%)、5ブロック[谷中地域] (80.7%) が続く。(図表12-2)

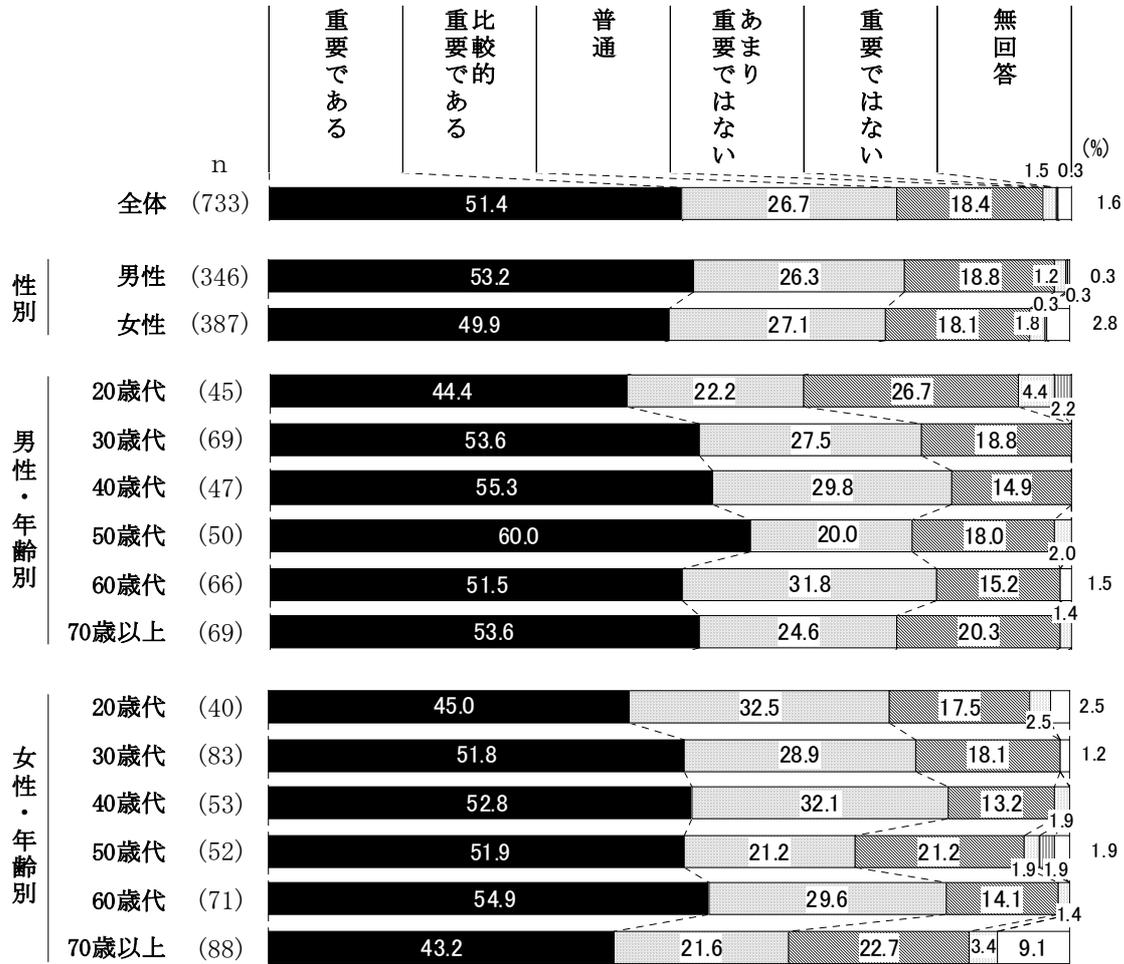
＜図表12-2＞ 行政経営についての重要度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では40歳代（85.1%）と60歳代（83.3%）が、女性では40歳代（84.9%）と60歳代（84.5%）が8割台半ばで高くなっている。（図表12-3）

＜図表12-3＞ 行政経営についての重要度 性別／性・年齢別



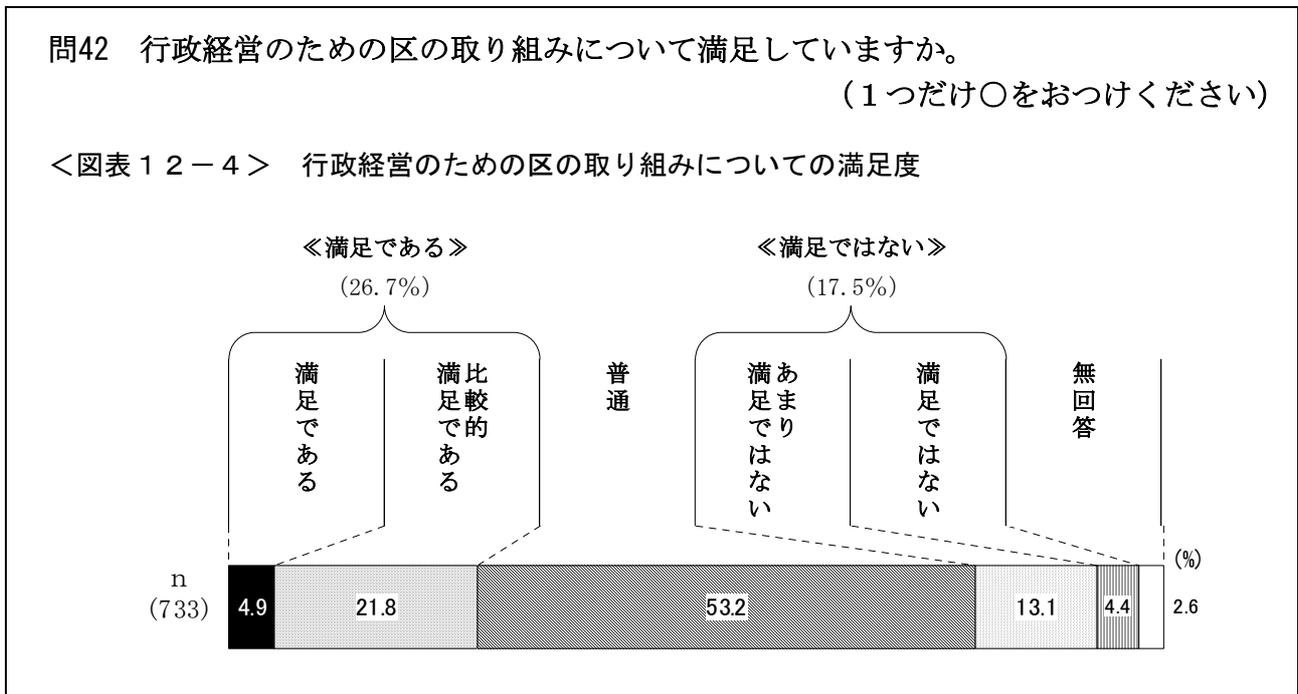
(2) 行政経営のための区の取り組みについての満足度

◇「普通」が5割台半ば、「満足である」が2割台半ば

問42 行政経営のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

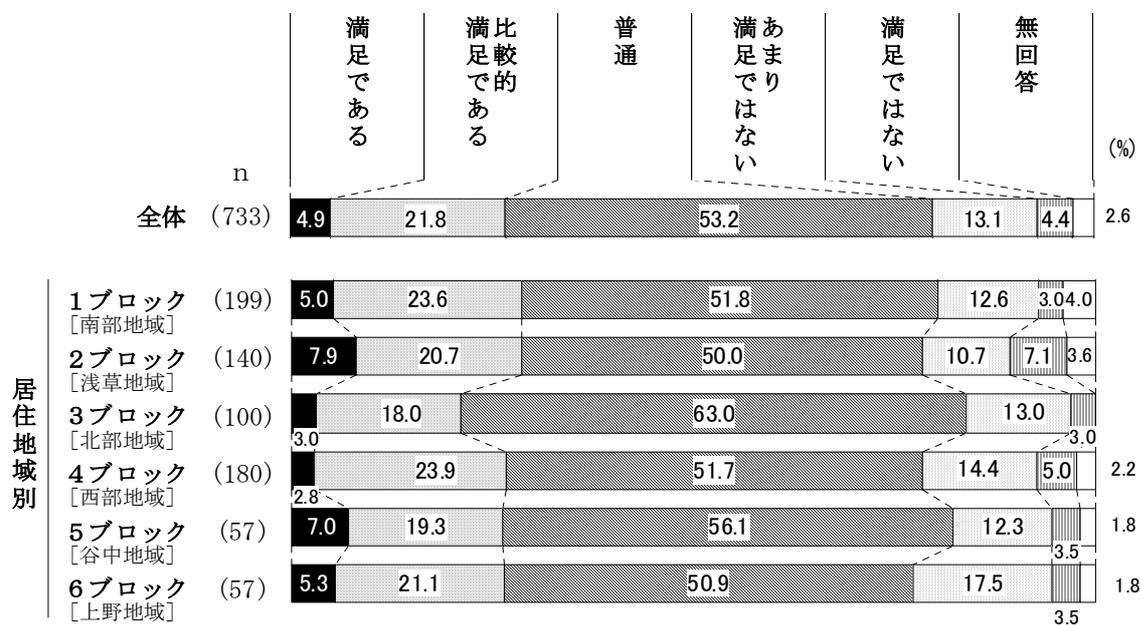
<図表12-4> 行政経営のための区の取り組みについての満足度



行政経営のための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(53.2%)が5割台半ばで最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較満足である」の合計)は26.7%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は17.5%である。(図表12-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、3ブロック[北部地域](21.0%)が2割を超えるにとどまり低い。一方、《満足ではない》は、6ブロック[上野地域](21.0%)が2割を超え最も高くなっている。(図表12-5)

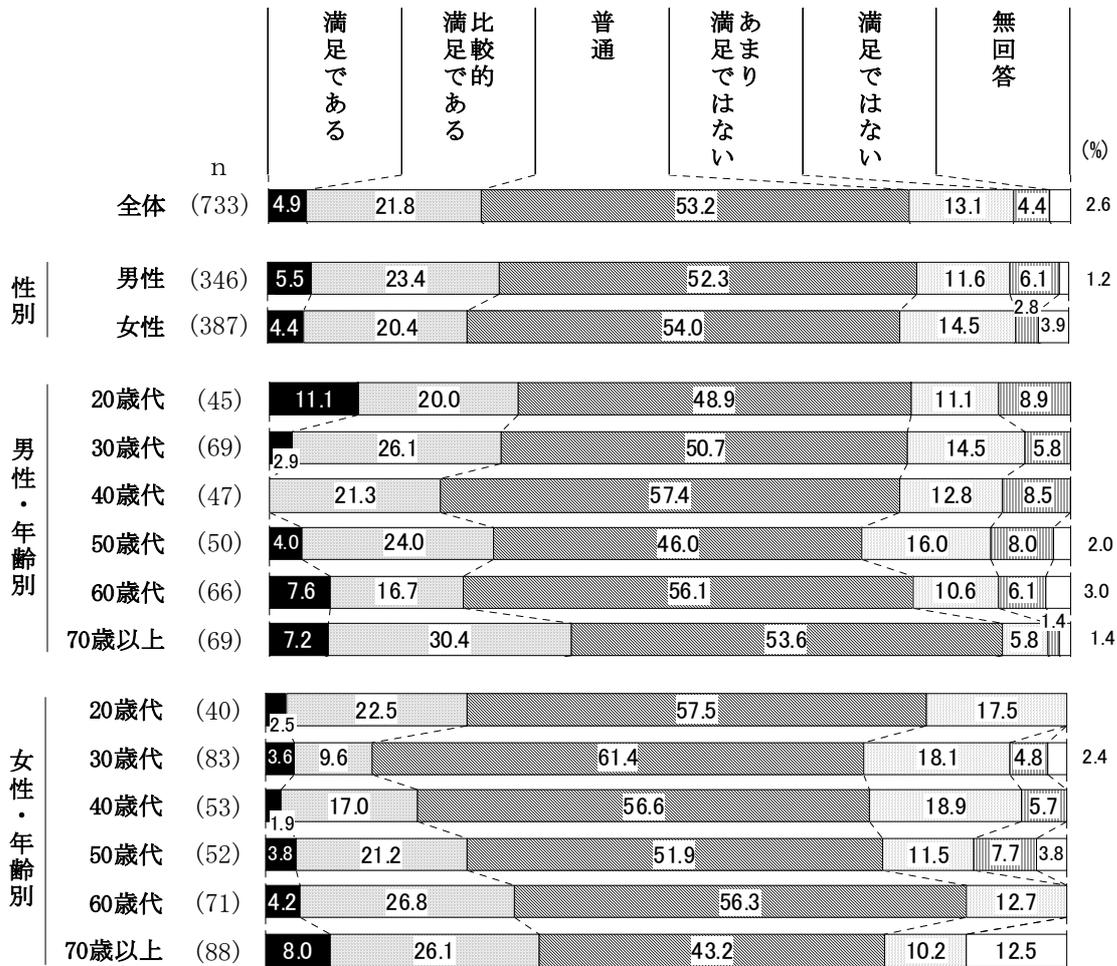
<図表12-5> 行政経営のための区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別では、特に大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、《満足である》は、男女ともに70歳以上で高く、特に、男性の70歳以上（37.6%）は約4割となっている。一方、《満足ではない》は、男性の50歳代（24.0%）と女性の40歳代（24.6%）が2割台半ばと高い。（図表12-6）

＜図表12-6＞ 行政経営のための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



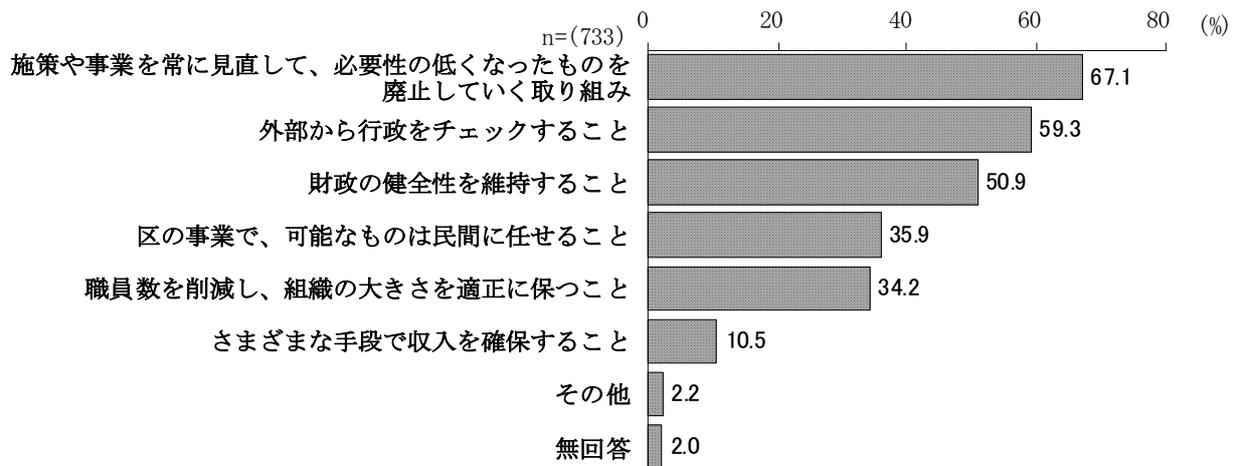
(3) 行政経営のための取り組みとして大切なもの

◇「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」が約7割

問43 行政経営のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

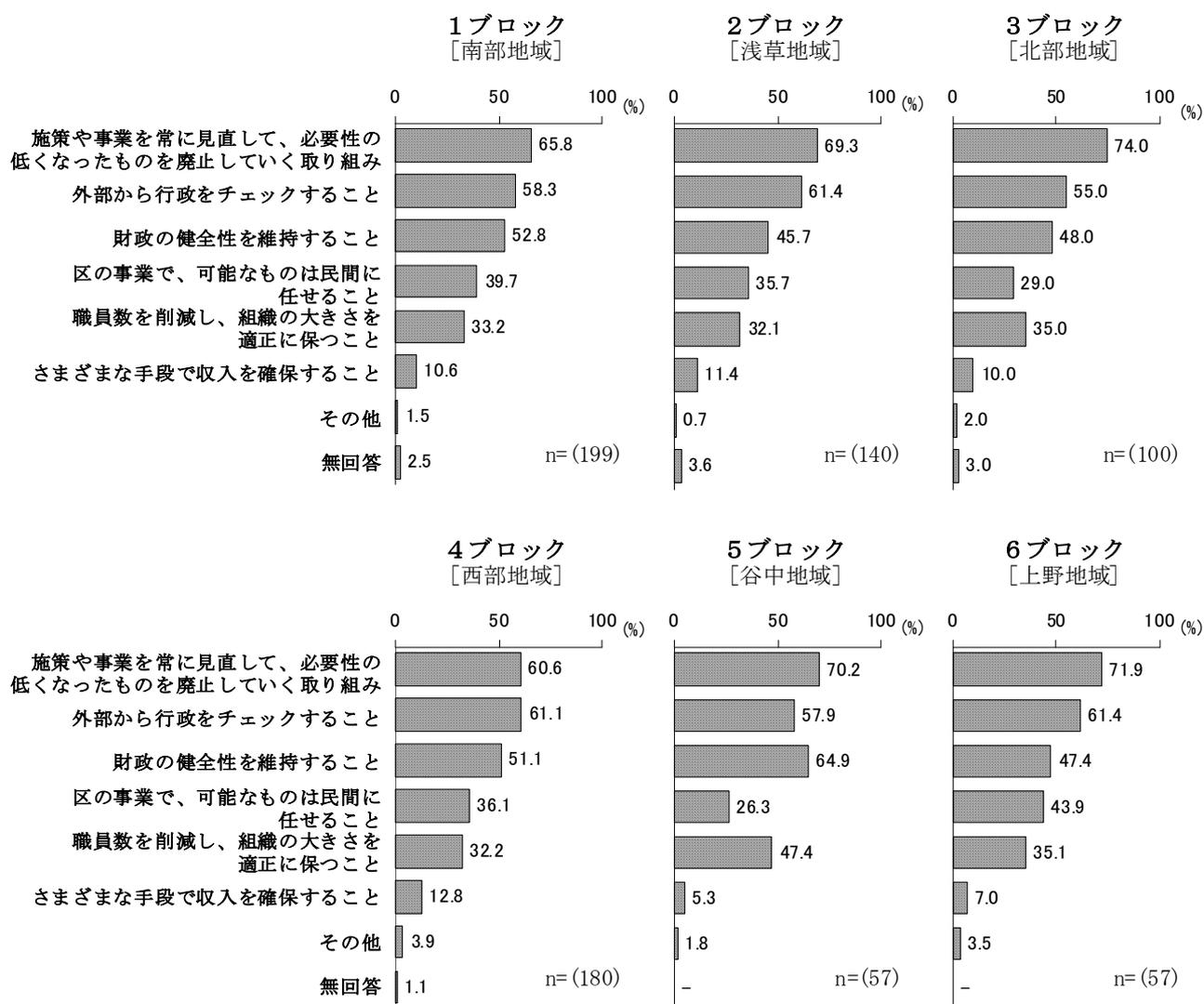
<図表12-7> 行政経営のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



行政経営のための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」(67.1%)が約7割で最も高くなっている。次いで「外部から行政をチェックすること」(59.3%)が約6割、「財政の健全性を維持すること」(50.9%)が5割となっている。(図表12-7)

居住地域別でみると、「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」が、4ブロック[西部地域]を除き、それぞれの地域で最も高く、中でも、3ブロック[北部地域](74.0%)は7割台半ばと高い。また、「財政の健全性を維持すること」は、5ブロック[谷中地域](64.9%)で6割台半ばとなっている。(図表12-8)

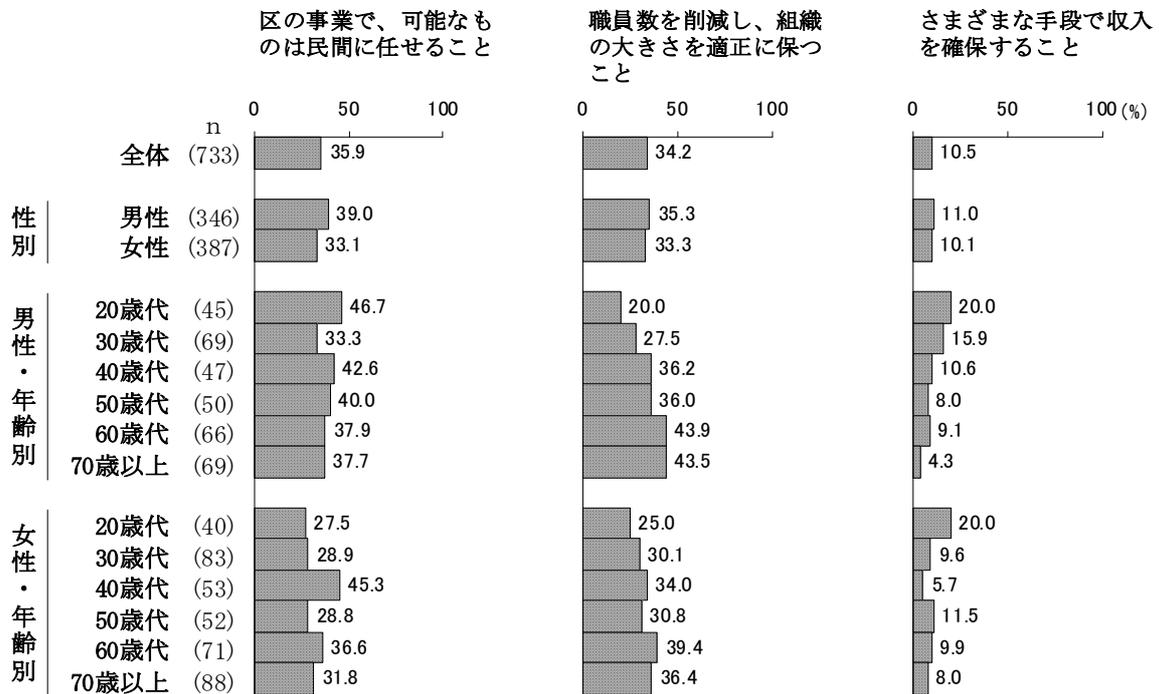
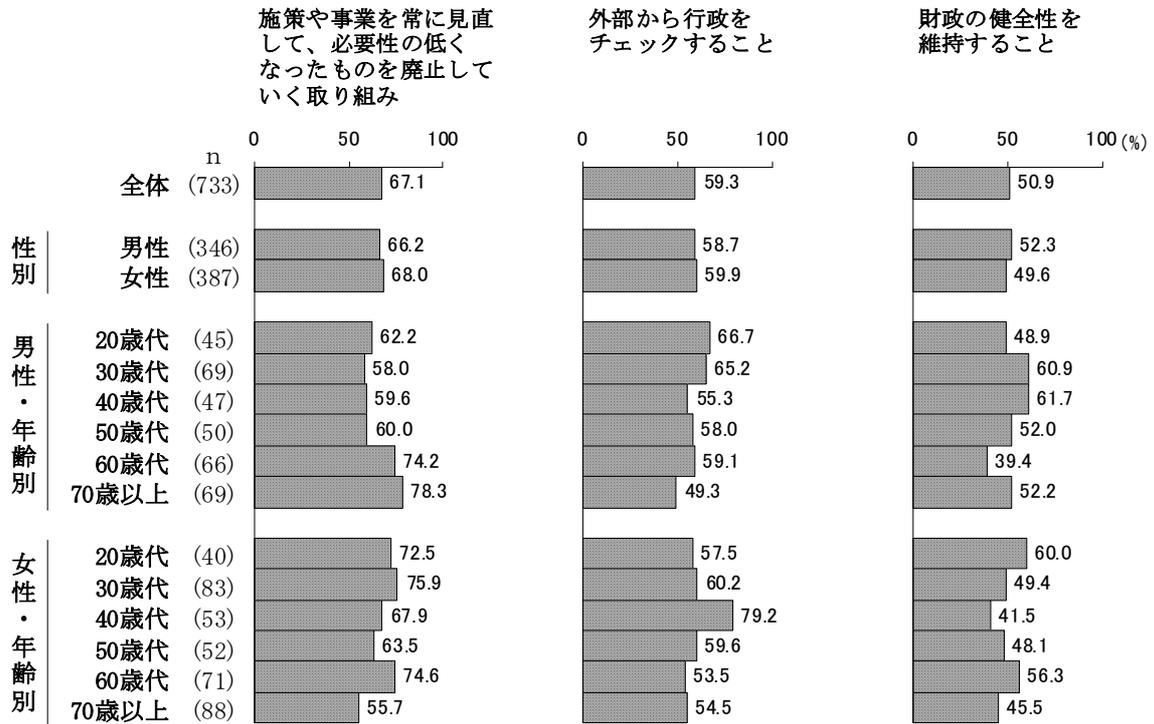
＜図表 1 2－8＞ 行政経営のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「区の事業で、可能なものは民間に任せること」は、男性 (39.0%) の方が女性 (33.1%) よりも6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」は、男性では70歳以上 (78.3%) が約8割で最も高く、次いで60歳代 (74.2%) が7割台半ばとなっている。女性では30歳代 (75.9%) と60歳代 (74.6%) が7割台半ばで高い。また、「外部から行政をチェックすること」は、女性の40歳代 (79.2%) が約8割で最も高くなっている。(図表 1 2－9)

<図表 1 2 - 9> 行政経営のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別

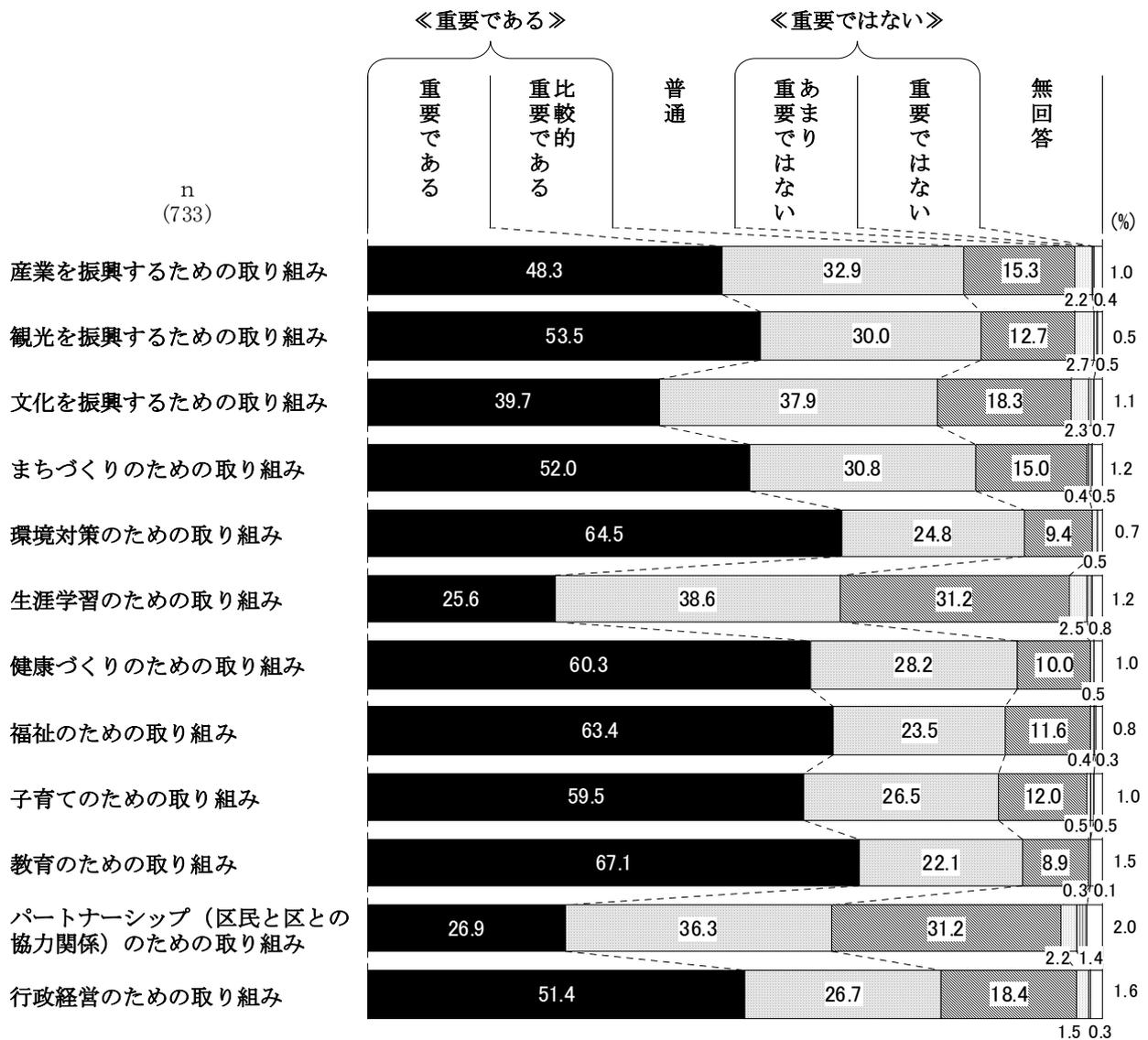


【重要度と満足度の項目間比較】

各項目の重要度を比較すると、「重要である」が最も高かったのは＜教育のための取り組み＞（67.1%）で、次いで＜環境対策のための取り組み＞（64.5%）、＜福祉のための取り組み＞（63.4%）などとなっている。

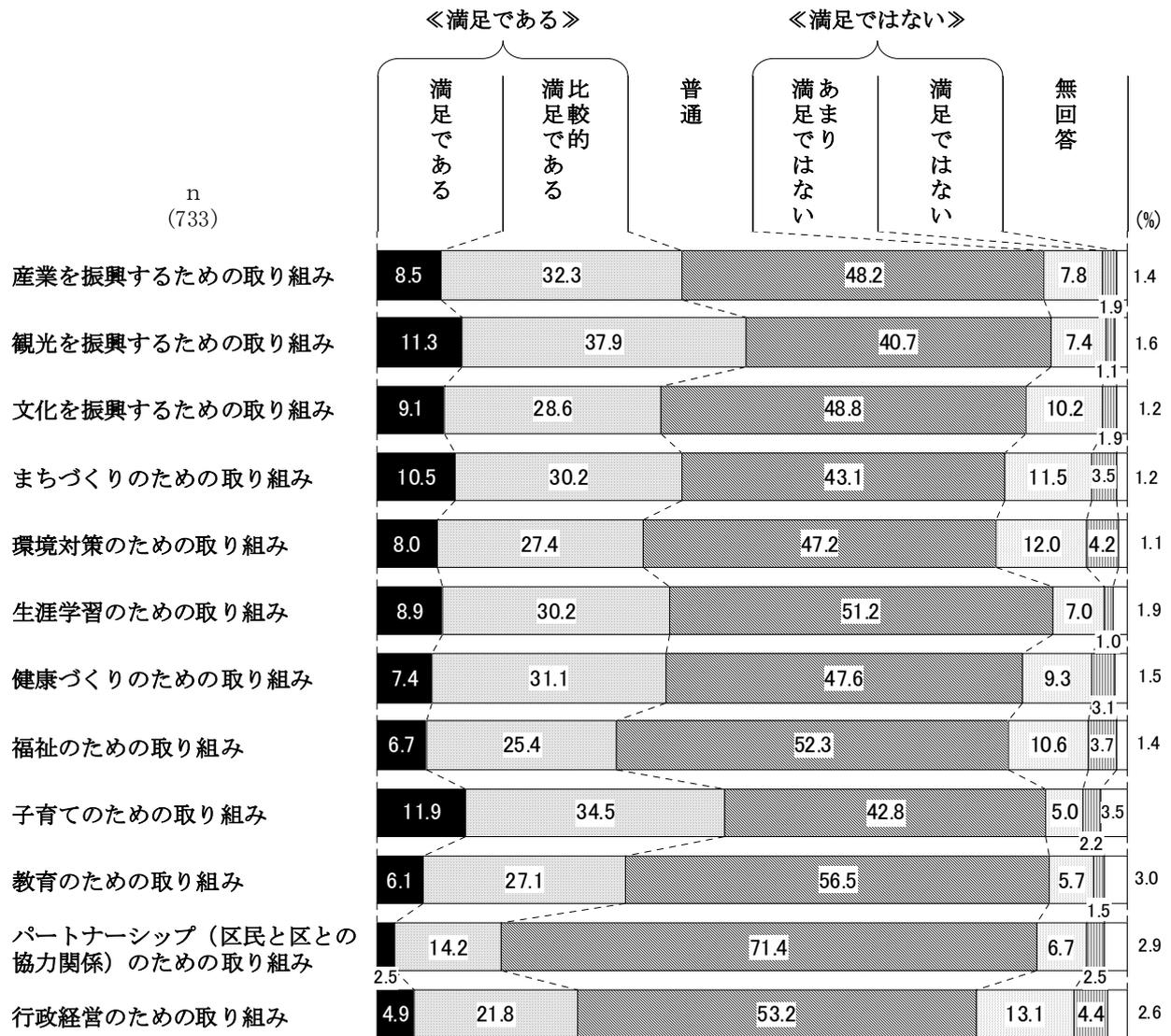
「重要である」と「比較的重要である」を合わせた《重要である》をみると、＜環境対策のための取り組み＞（89.3%）、＜教育のための取り組み＞（89.2%）、＜健康づくりのための取り組み＞（88.5%）が約9割と特に高くなっている。（図表12-10）

＜図表12-10＞ 重要度の項目間比較



各項目の満足度を比較すると、「満足である」と「比較的満足である」を合わせた《満足である》は、＜観光を振興するための取り組み＞（49.2%）が約5割で最も高くなっている。次いで＜子育てのための取り組み＞（46.4%）が4割台半ば、＜産業を振興するための取り組み＞（40.8%）と＜まちづくりのための取り組み＞（40.7%）が4割となっている。（図表12-11）

＜図表12-11＞ 満足度の項目間比較



【重要度と満足度の相関】

各項目の比較を簡単にするため、下式のように5段階評価を与えて、各項目の評価点を算出した。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「重要 (満足) である」} \times 2 \text{点}) + (\text{「比較的重要 (満足) である」} \times 1 \text{点}) + (\text{「普通」} \times 0 \text{点}) + [\text{「あまり重要 (満足) ではない」} \times (-1 \text{点})] + [\text{「重要 (満足) ではない」} \times (-2 \text{点})]}{\text{回答者数} - \text{無回答}}$$

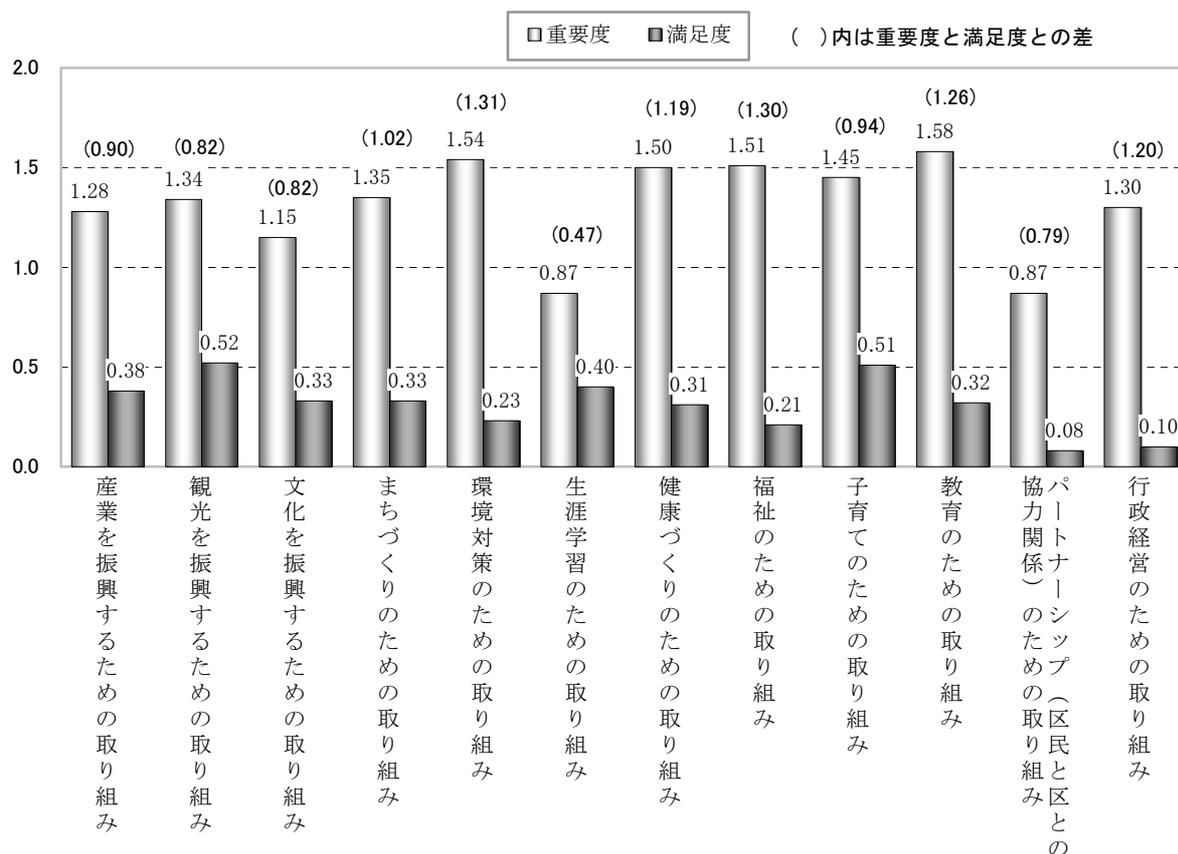
この算出方法では、評価点は-2.00点～2.00点の間に分布し、0.00点が中間点であり、2.00点に近いほど評価は良く、逆に-2.00点に近いほど評価が悪いことを表す。

結果は図12-12のとおり、重要度では「教育のための取り組み」(1.58点)が最も高く、次いで「環境対策のための取り組み」(1.54点)、「福祉のための取り組み」(1.51点)、「健康づくりのための取り組み」(1.50点)が続く。一方、「生涯学習のための取り組み」(0.87点)と「パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み」(0.87点)は1点を下回り低くなっている。

満足度では、「観光を振興するための取り組み」(0.52点)と「子育てのための取り組み」(0.51点)が高い。一方、「パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み」(0.08点)や「行政経営のための取り組み」(0.10点)が低くなっている。

重要度と満足度の差をみると、「環境対策のための取り組み」(1.31点差)、「福祉のための取り組み」(1.30点差)、「教育のための取り組み」(1.26点差)などで差が広がっており、希望と現状の差が現われている。(図表12-12)

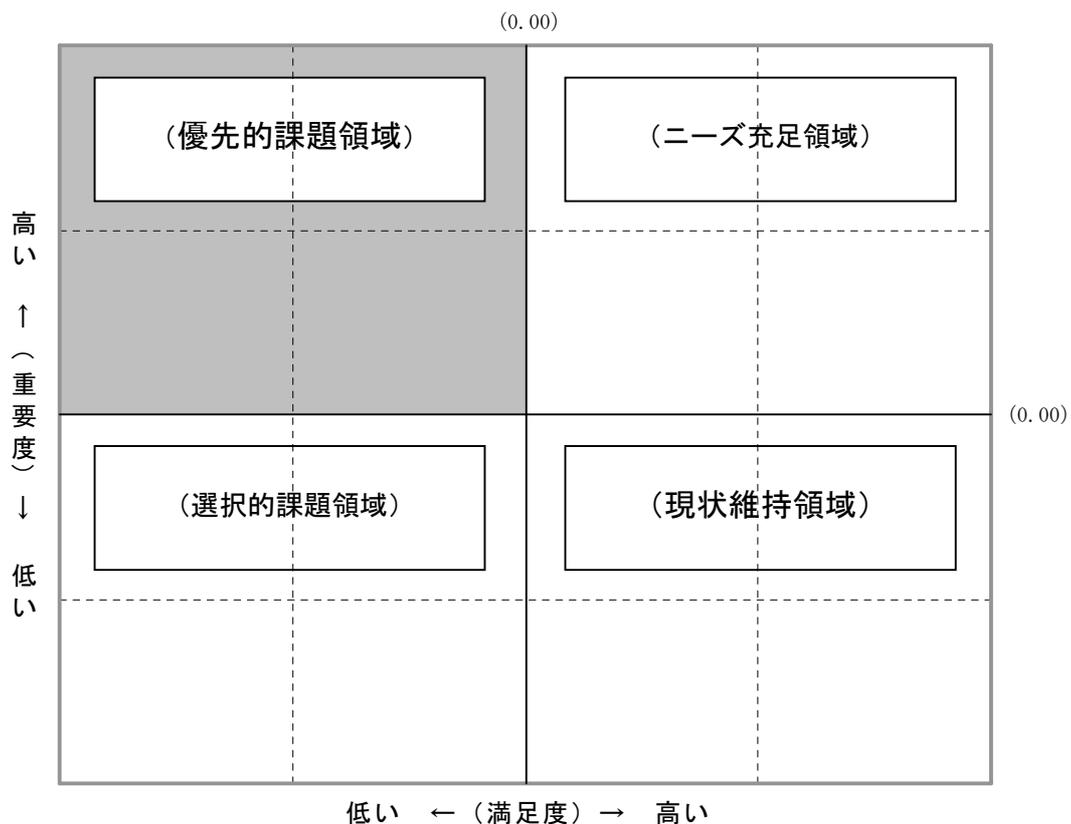
＜図表12-12＞ 区の取り組みの重要度と満足度 全体



次に、12項目の各「満足度」と「重要度」の2つの得点を用い、散布図を作成した。縦軸は“重要度”、横軸は“満足度”を表し、それぞれの基準値（0.00）で4つの領域に分けている。

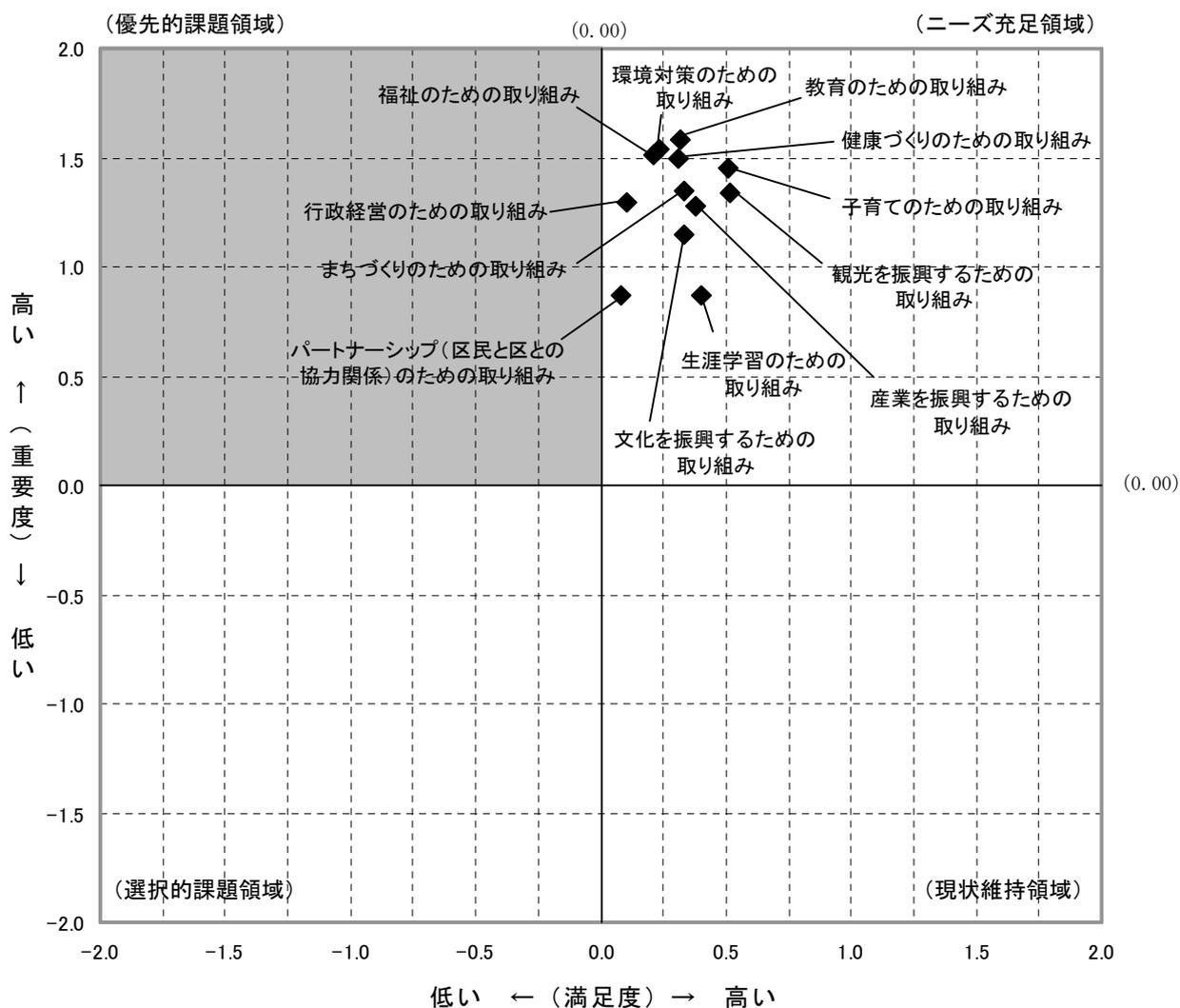
さらに、満足度が高く重要度も高い領域を<ニーズ充足領域>、満足度が低く重要度が高い領域を<優先的課題領域>、満足度が低く重要度も低い領域を<選択的課題領域>、満足度が高く重要度が低い領域を<現状維持領域>としている。網掛け  されている<優先的課題領域>内の項目が、最も優先的に取り組むべき項目と考えられる。

なお、ここでの領域は基準値（0.00）で分けているため、項目間で相対的にみているものではなく、絶対的評価となっている。



全体で見ると、全て<ニーズ充足領域>内にあるが、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」、「行政経営のための取り組み」、「福祉のための取り組み」、「環境対策のための取り組み」が、<優先的課題領域>の近くに位置している。（図表12-13）

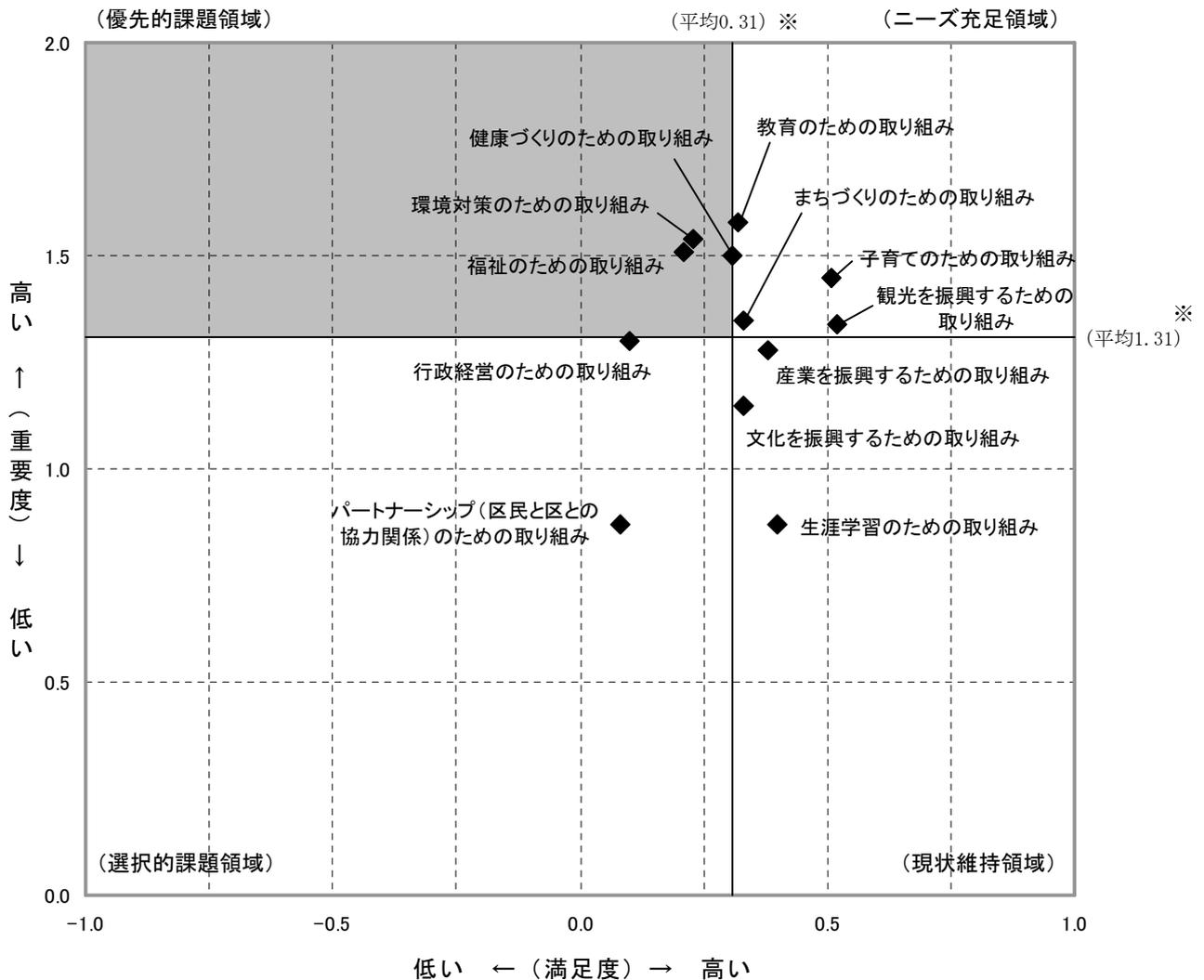
<図表12-13> 重要度と満足度の相関（全体）



前頁では、各項目の位置関係について0.00を基準値とした絶対的評価の領域で表していたが、ほとんどの項目が<ニーズ充足領域>に入っていたため項目間の違いがはっきりとはみられない。そこで、項目間の相対的な評価を行うために、ここからは基準値(0.00)ではなく、「重要度」と「満足度」の平均値を基準に4つの領域に分けて分析を行う。なお、図表を拡大するために重要度を0.00~2.00、満足度を-1.00~1.00の範囲で表示している。

12項目の平均値を基準に見ると、<優先的課題領域>には「環境対策のための取り組み」と「福祉のための取り組み」の2つが入り、また、「健康づくりのための取り組み」は<優先的課題領域>と<ニーズ充足領域>との境界に位置している。一方、<選択的課題領域>には、「行政経営のための取り組み」、「パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み」が入っている。(図表12-14)

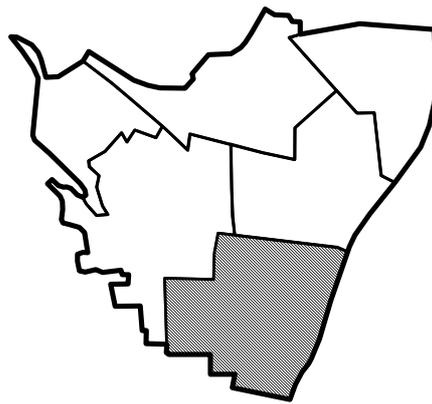
<図表12-14> 重要度と満足度の相関(全体)



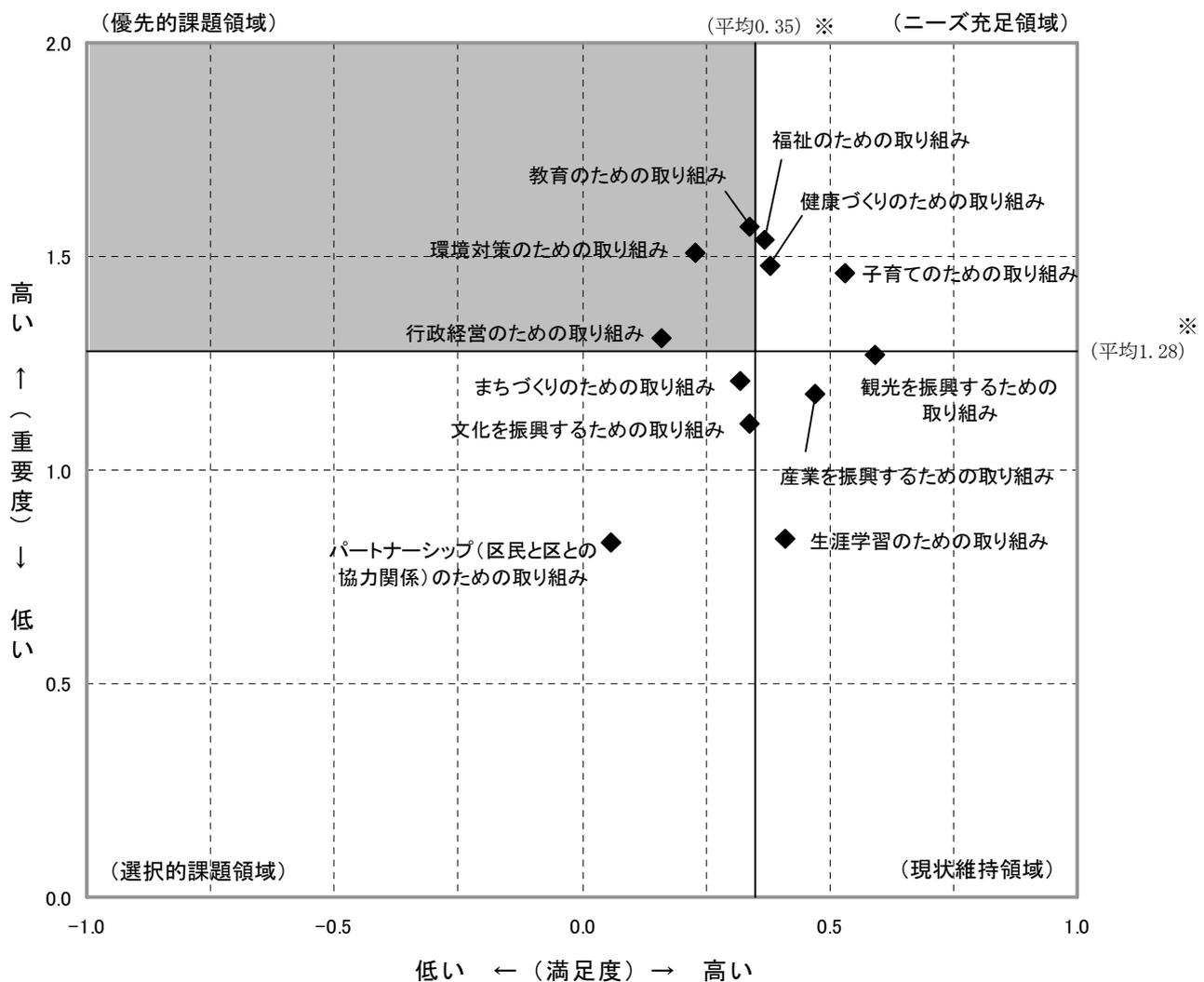
※上記12項目の平均値

【1ブロック [南部地域]】

1ブロック [南部地域] でみると、「教育のための取り組み」、「環境対策のための取り組み」、「行政経営のための取り組み」が優先して取り組むべき項目となっている。また、選択的課題としては、「まちづくりのための取り組み」、「文化を振興するための取り組み」、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。（図表12-15）

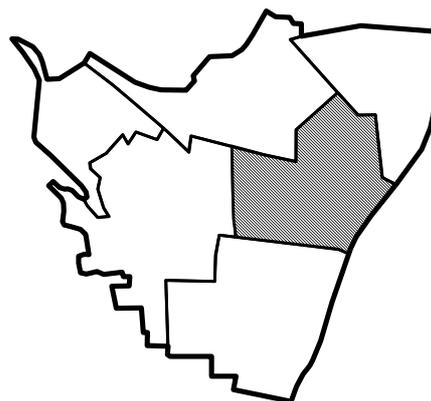


＜図表12-15＞ 重要度と満足度の相関（1ブロック [南部地域]）

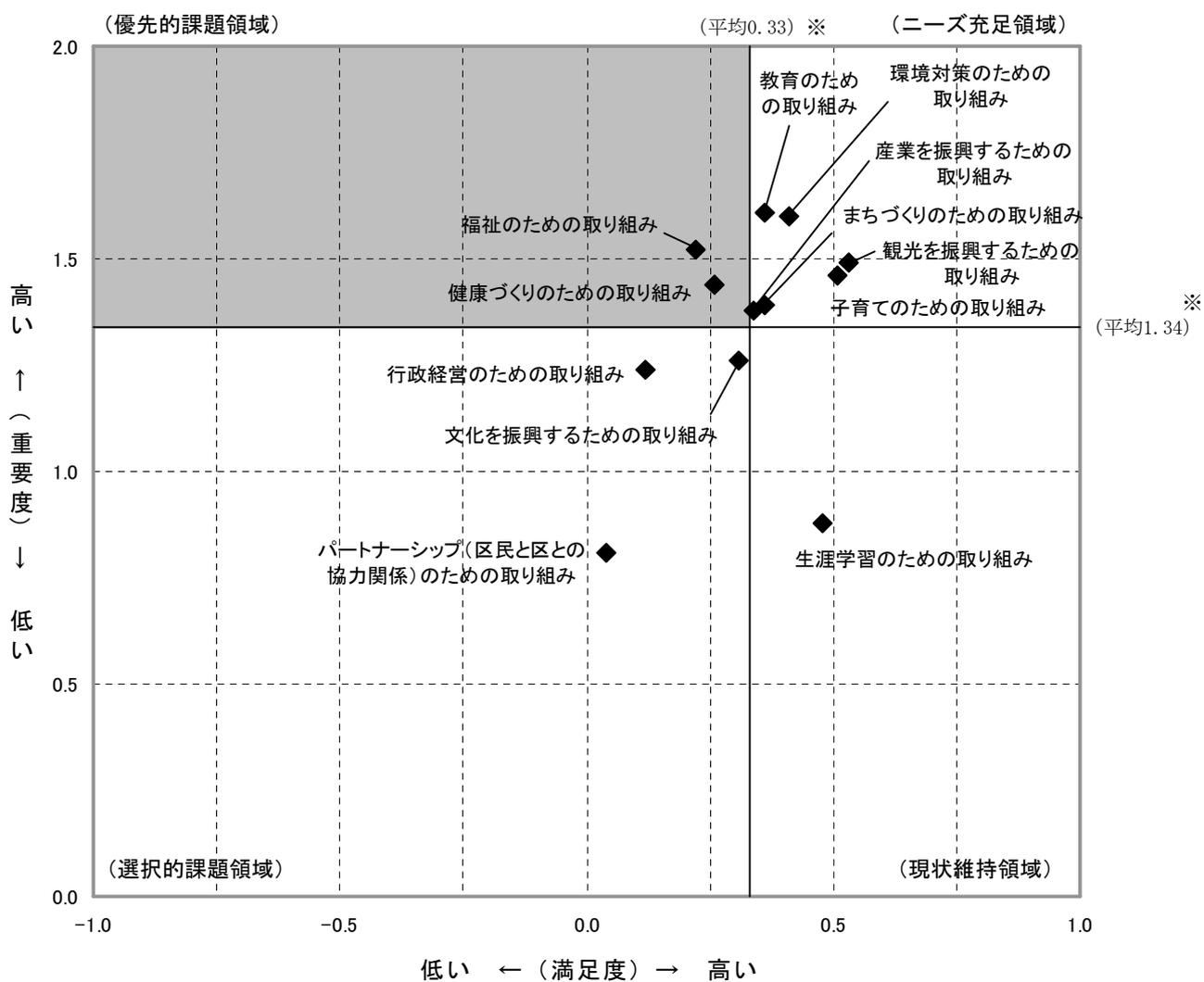


【2ブロック [浅草地域]】

2ブロック [浅草地域] では、「福祉のための取り組み」と「健康づくりのための取り組み」が優先的に取り組むべき項目であり、「産業を振興するための取り組み」も＜優先的課題領域＞に近い。一方、＜選択的課題領域＞には、「文化を振興するための取り組み」、「行政経営のための取り組み」、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。（図表12-16）

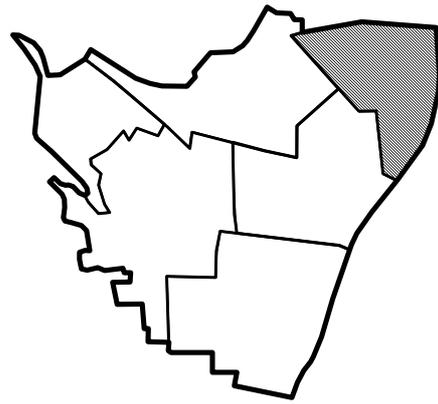


＜図表12-16＞ 重要度と満足度の相関（2ブロック [浅草地域]）

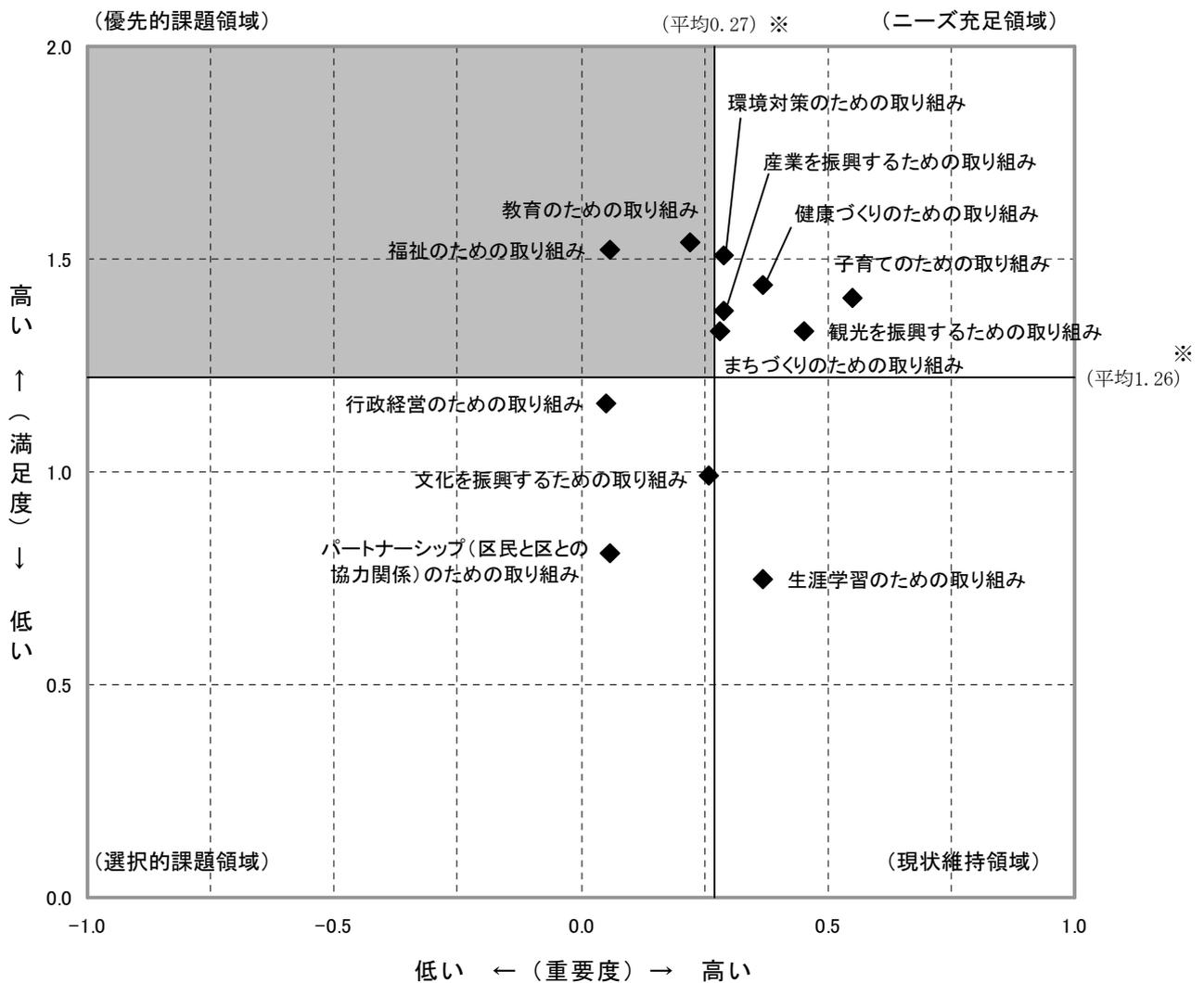


【3ブロック [北部地域]】

3ブロック [北部地域] でみると、「教育のための取り組み」と「福祉のための取り組み」が優先的に取り組むべき項目となっている。一方、＜選択的課題領域＞には、「行政経営のための取り組み」、「文化を振興するための取り組み」、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。（図表12-17）



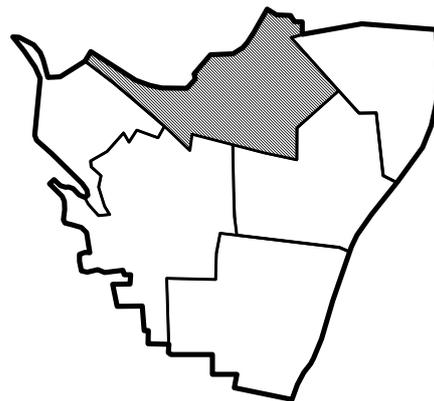
＜図表12-17＞ 重要度と満足度の相関（3ブロック [北部地域]）



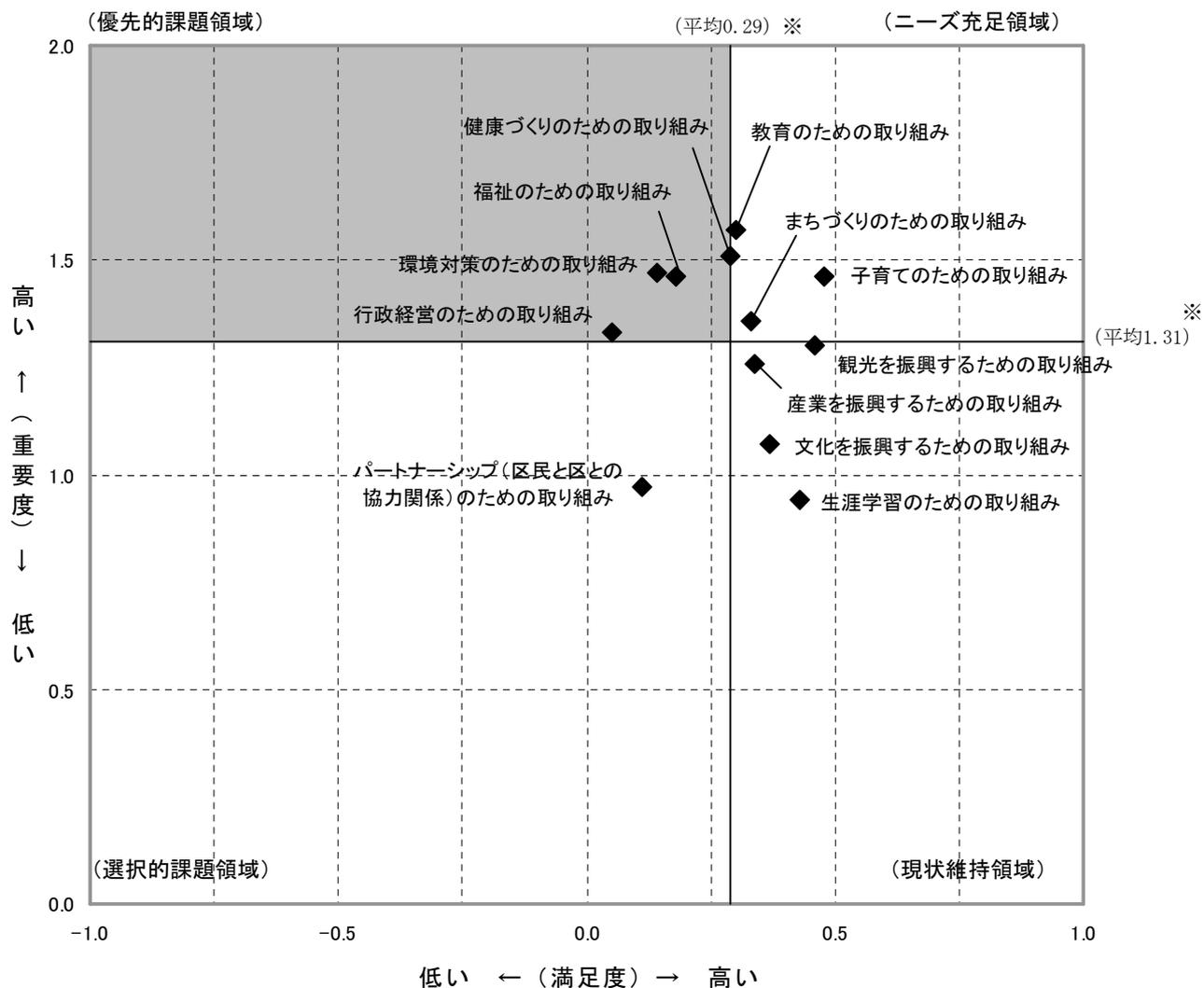
※上記12項目の平均値

【4ブロック [西部地域]】

4ブロック [西部地域] でみると、「福祉のための取り組み」、「環境対策のための取り組み」、「行政経営のための取り組み」が優先的に取り組むべき項目となっている。また、「健康づくりのための取り組み」は、＜優先的課題領域＞と＜ニーズ充足領域＞との境界に位置している。一方、＜選択的課題領域＞には、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」だけが入っている。（図表12-18）

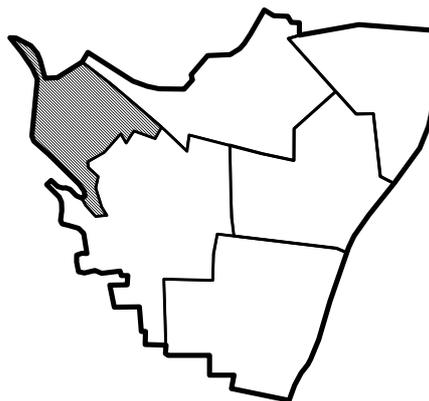


＜図表12-18＞ 重要度と満足度の相関（4ブロック [西部地域]）

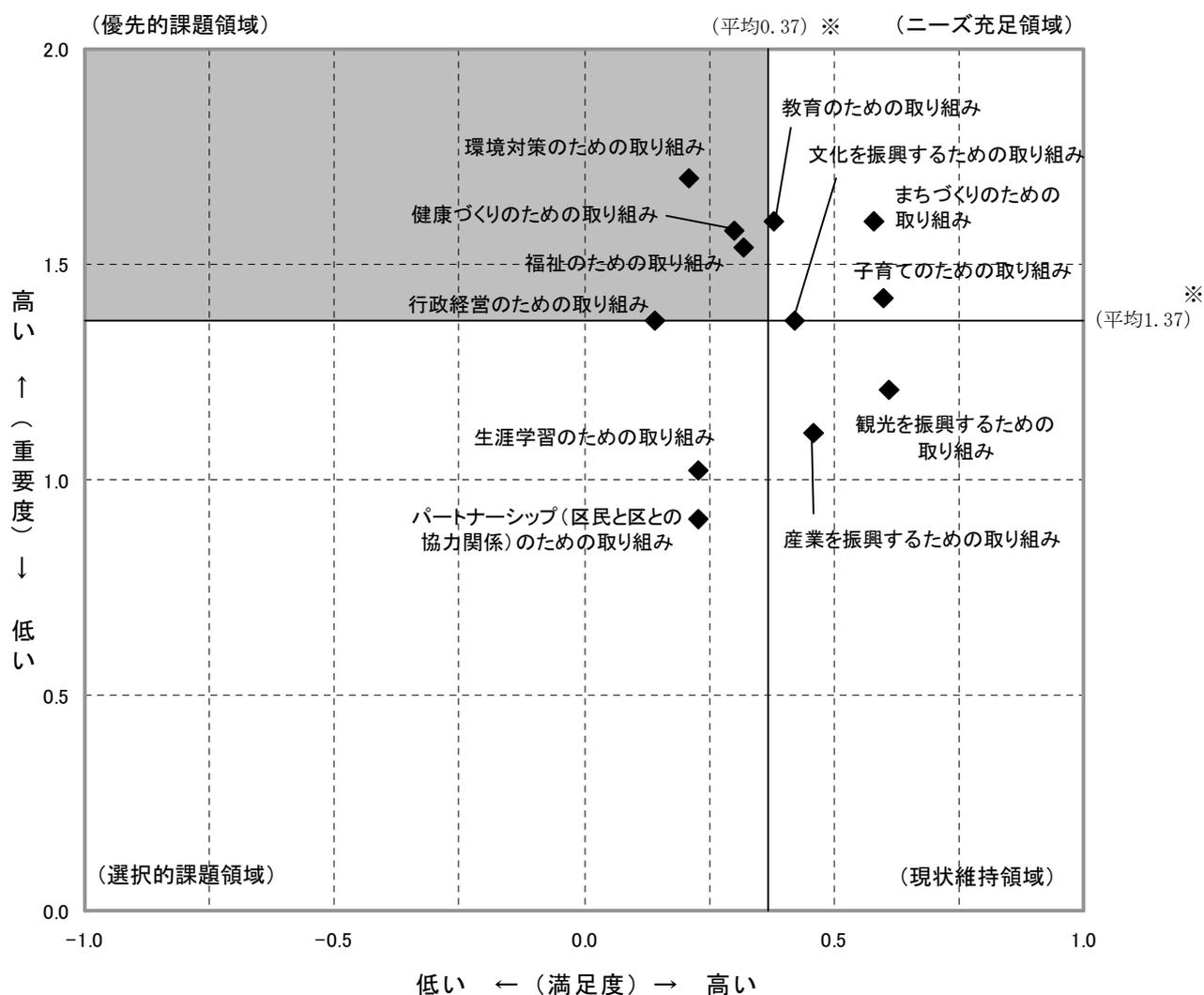


【5ブロック [谷中地域]】

5ブロック [谷中地域] でみると、「環境対策のための取り組み」、「健康づくりのための取り組み」、「福祉のための取り組み」が優先的に取り組むべき項目となっている。また、「行政経営のための取り組み」は、＜優先的課題領域＞と＜選択的課題領域＞の境界に位置している。一方、＜選択的課題領域＞には、「生涯学習のための取り組み」と「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。（図表12-19）

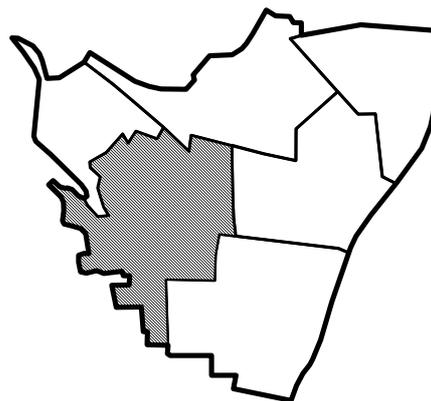


＜図表12-19＞ 重要度と満足度の相関（5ブロック [谷中地域]）

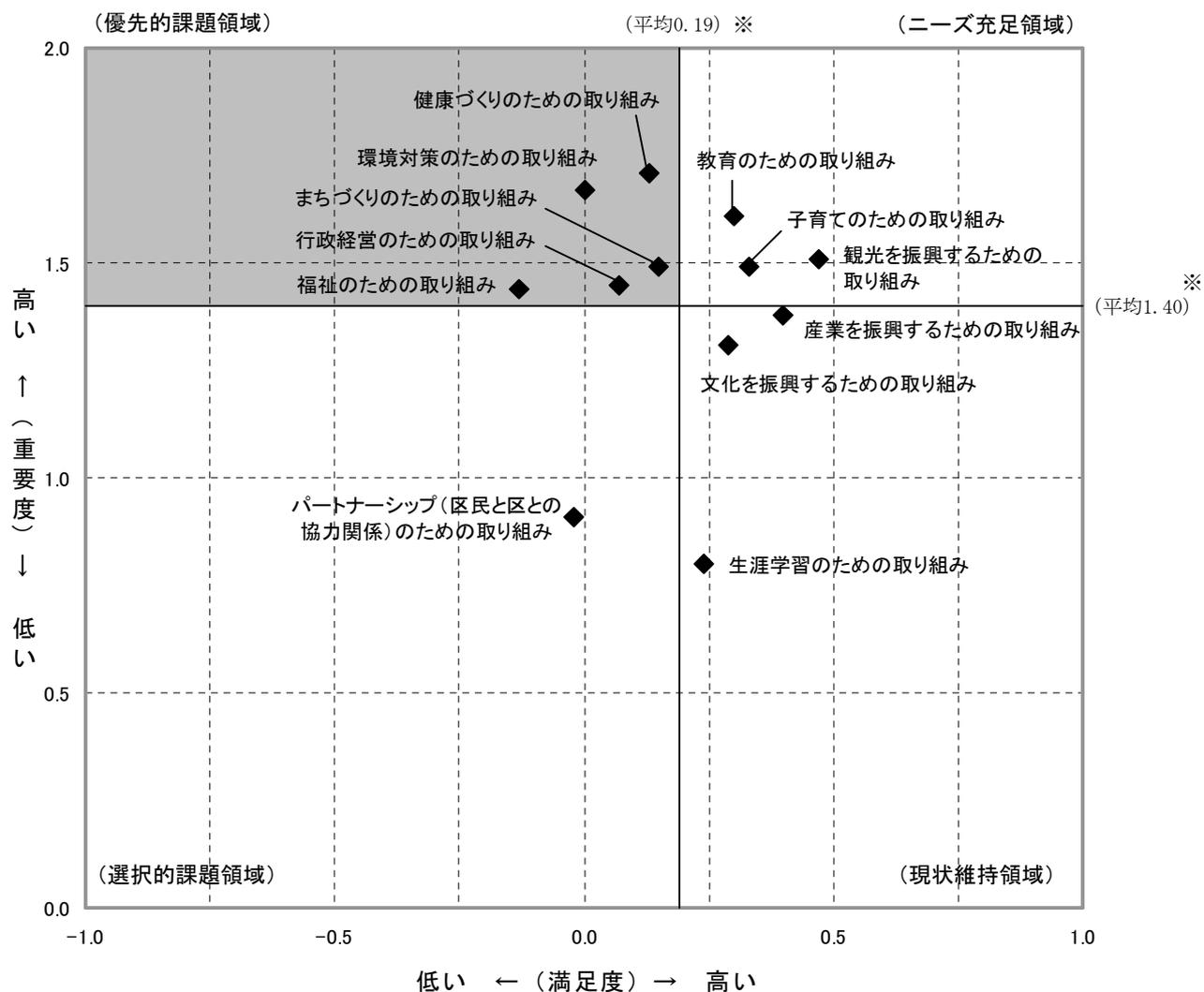


【6ブロック [上野地域]】

6ブロック [上野地域] でみると、「健康づくりのための取り組み」、「環境対策のための取り組み」、「まちづくりのための取り組み」、「行政経営のための取り組み」、「福祉のための取り組み」が優先的に取り組むべき項目となっている。一方、＜選択的課題領域＞には、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。（図表12-20）



＜図表12-20＞ 重要度と満足度の相関（6ブロック [上野地域]）

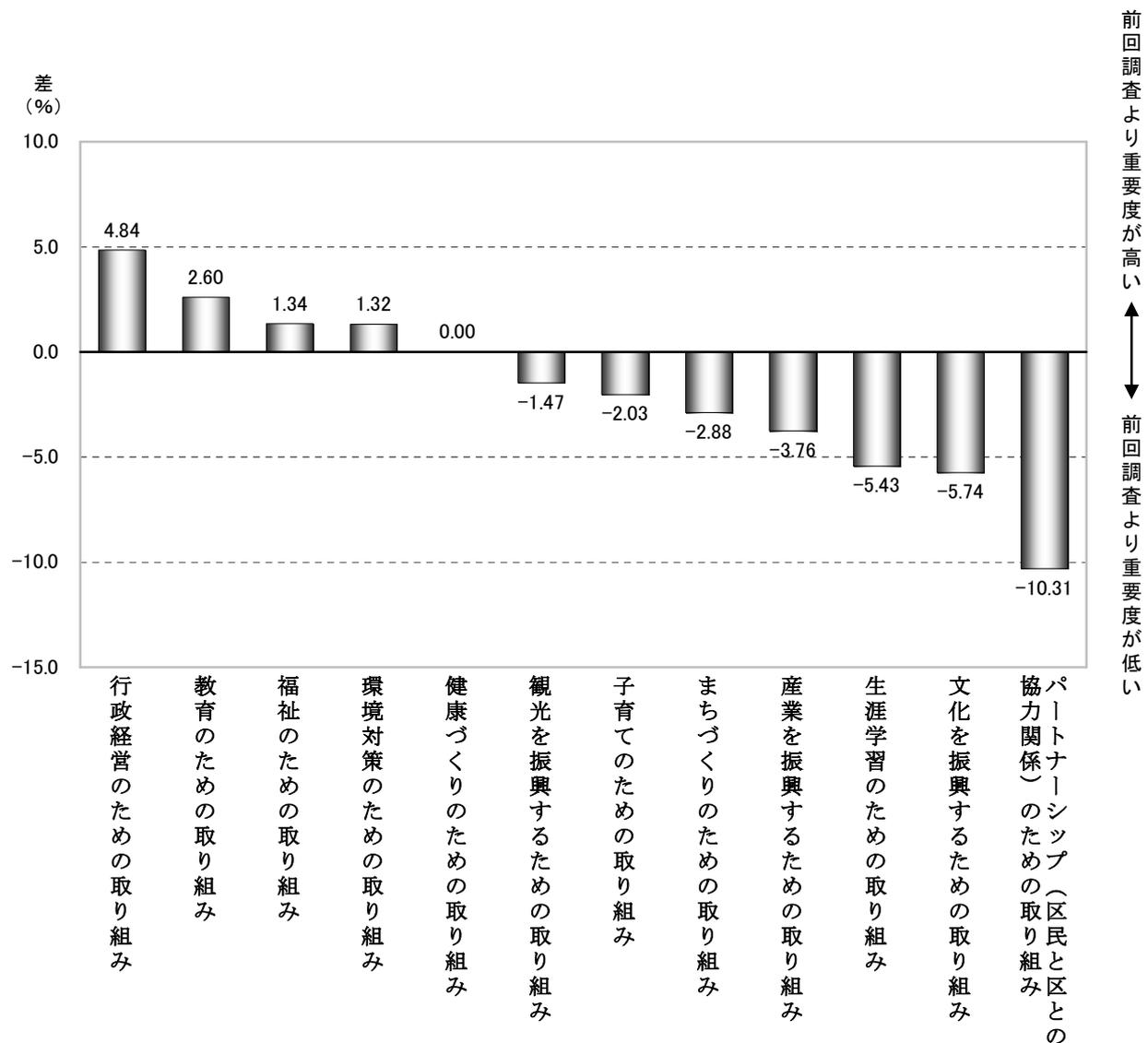


【重要度と満足度の前回調査との比較】

この区民満足度調査は、平成18年度（以下、前回調査）に同じ方法で実施し、同じ項目をたずねている。そのため、前回調査からの変化を把握することが可能である。

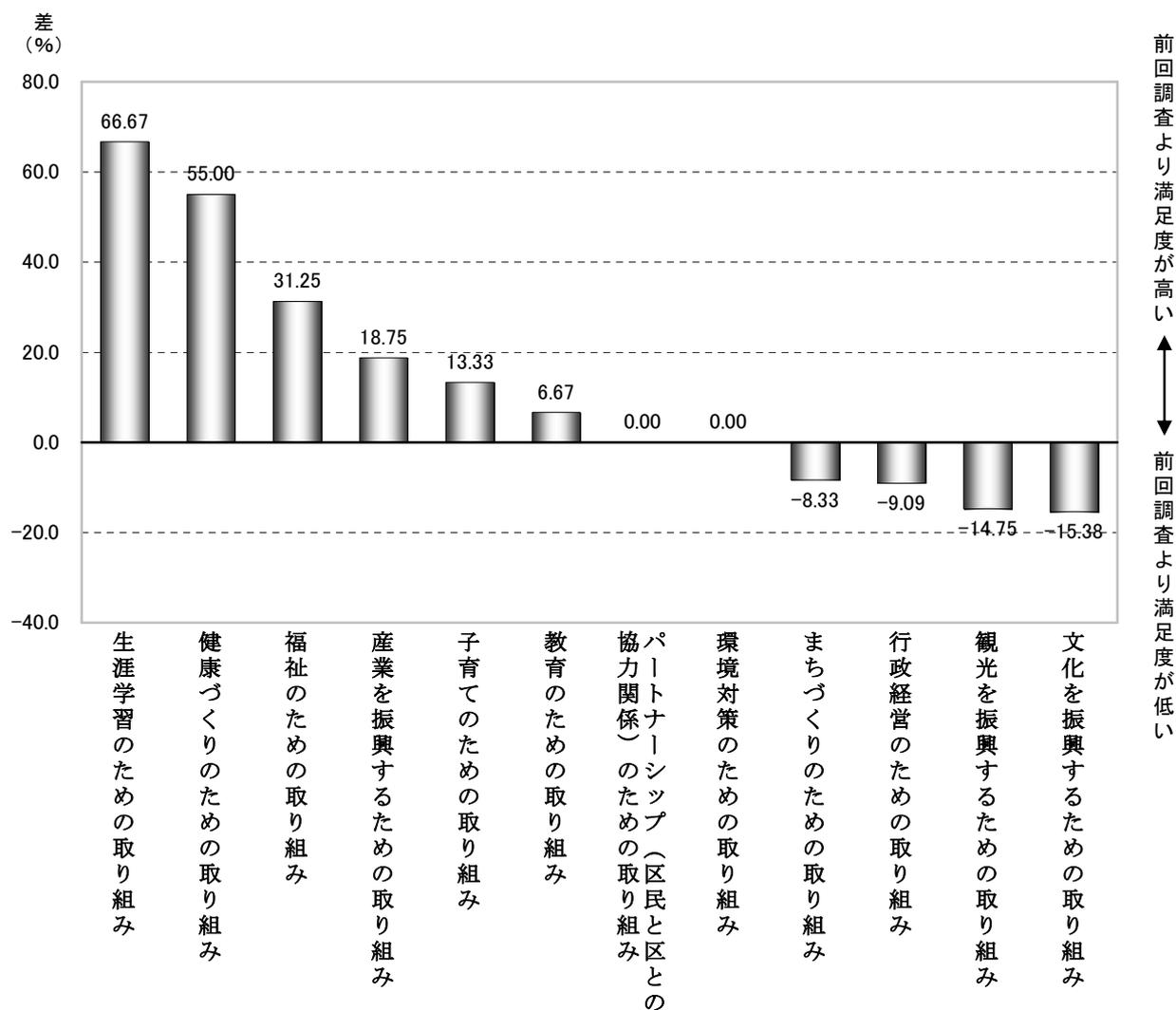
前回調査で得られた重要度の評価点と今回の重要度の評価点を比較したところ、「行政経営のための取り組み」(4.84%増加)や「教育のための取り組み」(2.60%増加)が重要度を上げている。逆に、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」(10.31%減少)は重要度が10%以上減少しており、「文化を振興するための取り組み」(5.74%減少)や「生涯学習のための取り組み」(5.43%減少)でも重要度が5%以上減少している。(図表12-21)

＜図表12-21＞ 重要度の前回調査との差



重要度と同様に、満足度についても前回調査で得られた評価点と今回の評価点を比較したところ、「生涯学習のための取り組み」(66.67%増加)や「健康づくりのための取り組み」(55.00%増加)では満足度が50%以上増加しており、「福祉のための取り組み」(31.25%)でも30%以上増加している。逆に、「文化を振興するための取り組み」(15.38%減少)や「観光を振興するための取り組み」(14.75%減少)が満足度を下げている。(図表12-22)

<図表12-22> 満足度の前回調査との差



【改善要望度】

各施策の重要度・満足度を同等の尺度で評価するため、それぞれの数値を標準化し、標準化された重要度・満足度を合算して新たな指標「改善要望度」を作成した。これは重要度と満足度双方を考慮して、いずれの施策を優先的に改善すればよいのかを把握する一つの指標と位置づけられる。

なお改善要望度は、満足度が低く重要度が高いほど数値が大きくなり、満足度が高く重要度が低いほど小さくなるよう、以下のような数式を用いて算出した。

改善要望度について各項目の順位をみると、前回の調査からいずれの項目も大きな変化はみられない。最も大きな変化（変動）は、「健康づくりのための取り組み」が前回の調査より2位から5位と、順位を3つ下げていることである。（図表12-23）

$$\text{改善要望度} = (\text{重要度 z 値}) - (\text{満足度 z 値})$$

$$\text{重要度 z 値} = (\text{各施策の重要度平均} - \text{重要度全体の平均}) / \text{重要度全体の標準偏差}^{\ast}$$

$$\text{満足度 z 値} = (\text{各施策の満足度平均} - \text{満足度全体の平均}) / \text{満足度全体の標準偏差}^{\ast}$$

※標準偏差とは、複数のデータが存在した時に、そのデータ群の平均値とそれぞれのデータの乖離具合、ばらつき具合を示したものです。

<図表12-23> 改善要望度

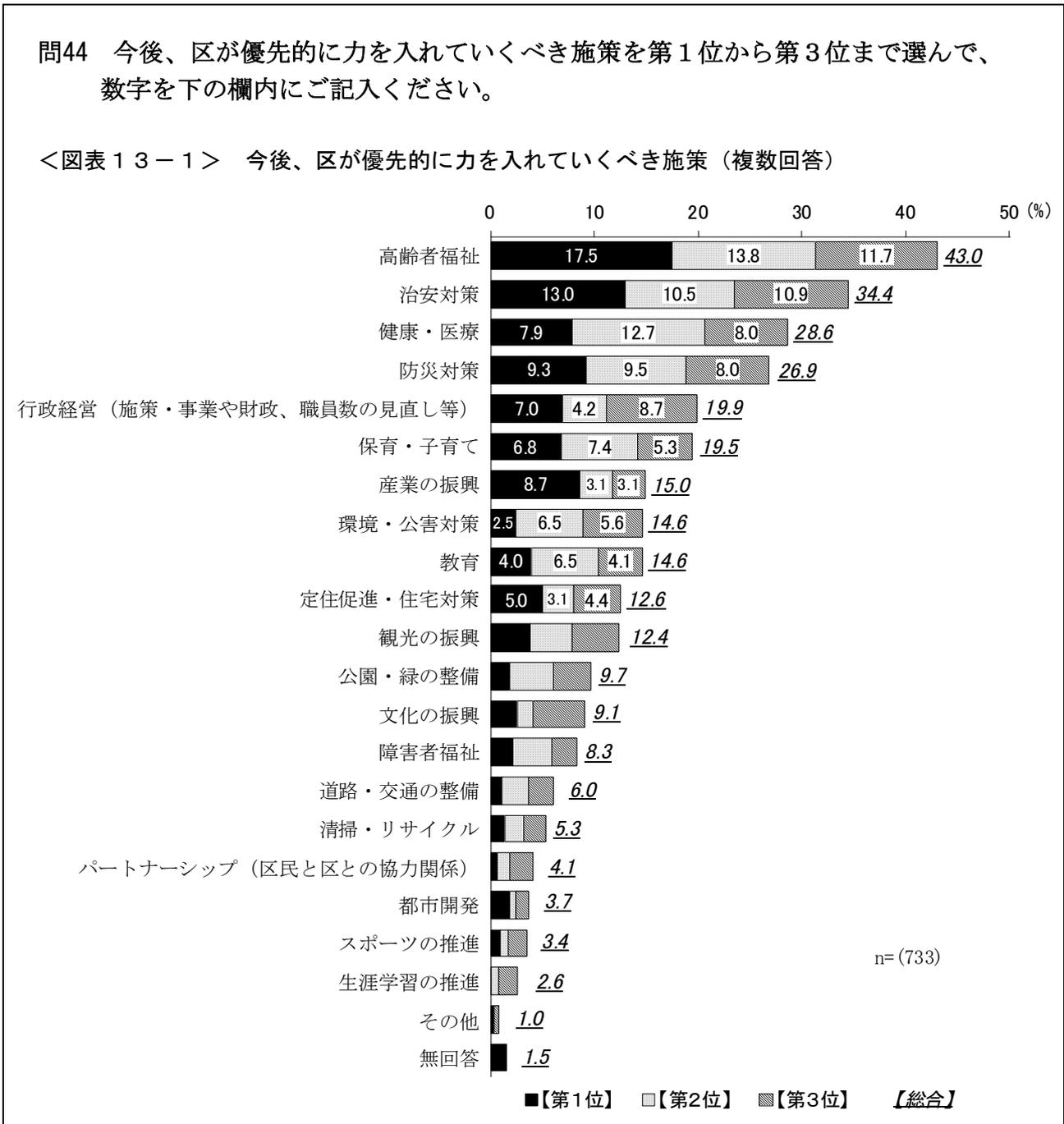
| 今回調査 | | | | | 前回調査 | | |
|------|------------------------------|---------|---------|--------|------|----|--------|
| 順位 | 施策 | 重要度 z 値 | 満足度 z 値 | 改善要望度 | 順位比較 | 順位 | 改善要望度 |
| 1 | 福祉のための取り組み | 0.843 | -0.750 | 1.594 | ← | 1 | 1.572 |
| 2 | 環境対策のための取り組み | 1.007 | -0.577 | 1.584 | ↑ | 3 | 1.254 |
| 3 | 行政経営のための取り組み | -0.063 | -1.578 | 1.515 | ↑ | 5 | 0.680 |
| 4 | 教育のための取り組み | 1.170 | 0.053 | 1.117 | ← | 4 | 0.934 |
| 5 | 健康づくりのための取り組み | 0.805 | -0.015 | 0.820 | ↓ | 2 | 1.363 |
| 6 | まちづくりのための取り組み | 0.165 | 0.156 | 0.009 | ↑ | 7 | -0.197 |
| 7 | パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み | -1.914 | -1.756 | -0.157 | ↓ | 6 | 0.026 |
| 8 | 産業を振興するための取り組み | -0.149 | 0.547 | -0.696 | ← | 8 | -0.257 |
| 9 | 文化を振興するための取り組み | -0.702 | 0.177 | -0.880 | ↑ | 10 | -1.233 |
| 10 | 子育てのための取り組み | 0.608 | 1.489 | -0.882 | ↓ | 9 | -0.351 |
| 11 | 観光を振興するための取り組み | 0.119 | 1.583 | -1.464 | ↑ | 12 | -1.953 |
| 12 | 生涯学習のための取り組み | -1.915 | 0.668 | -2.583 | ↓ | 11 | -1.825 |

1 3. 施策の優先順位について

◆ 最後に、あらためて、全体を通して、今後、区が力を入れていくべきとお考えの施策について、優先順位をお伺いします。

(1) 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策

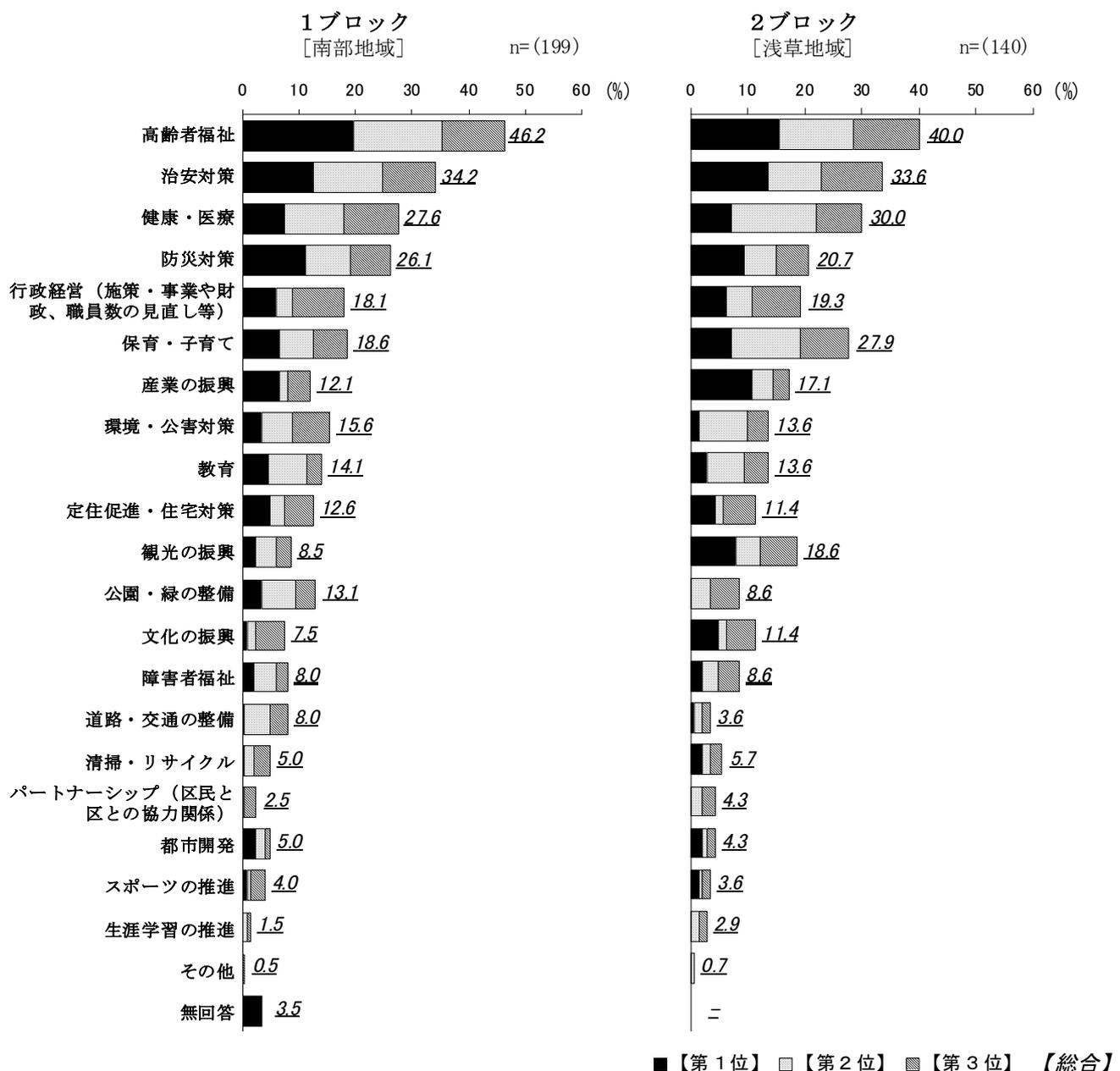
◇「高齢者福祉」が4割台半ば

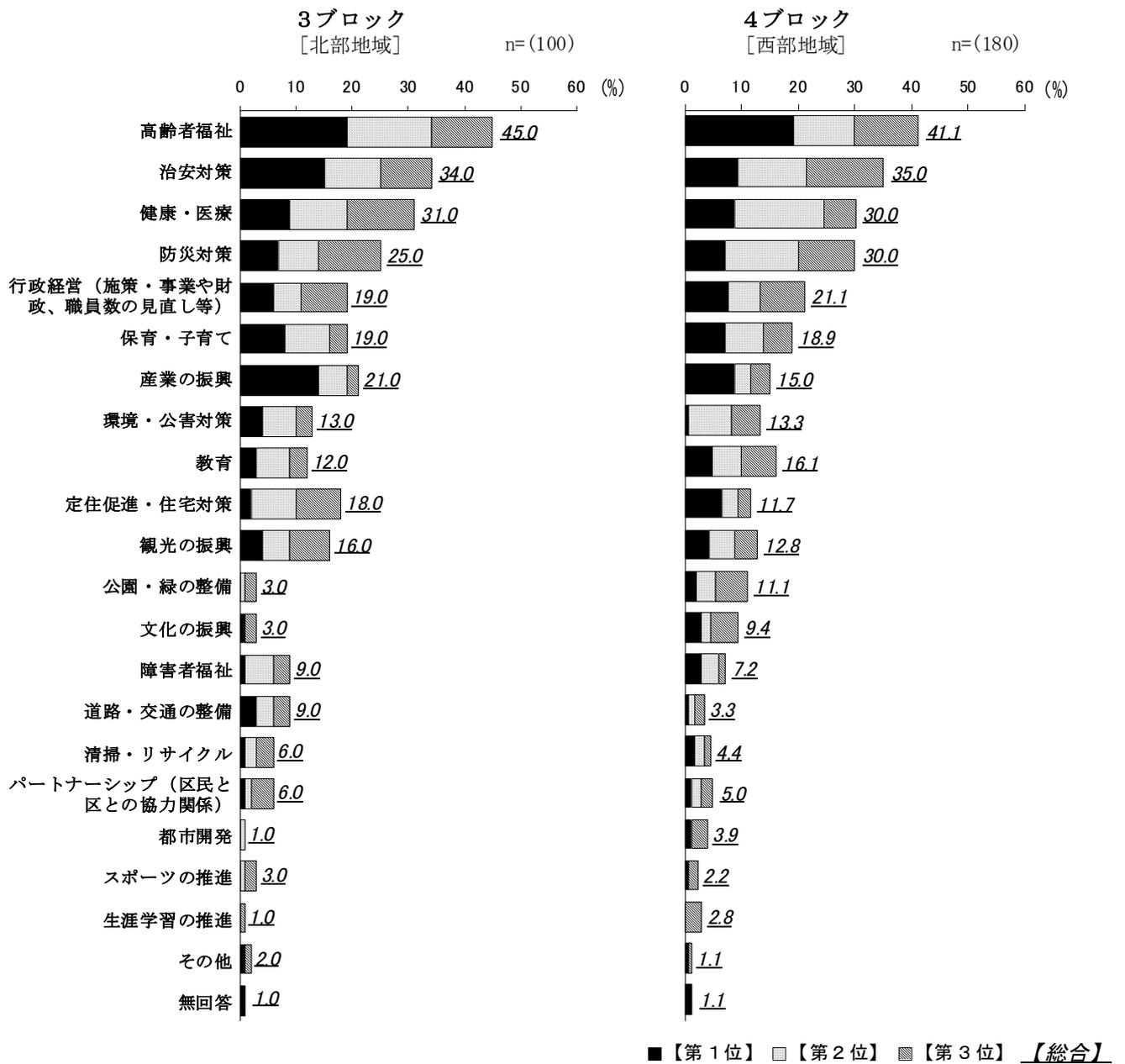


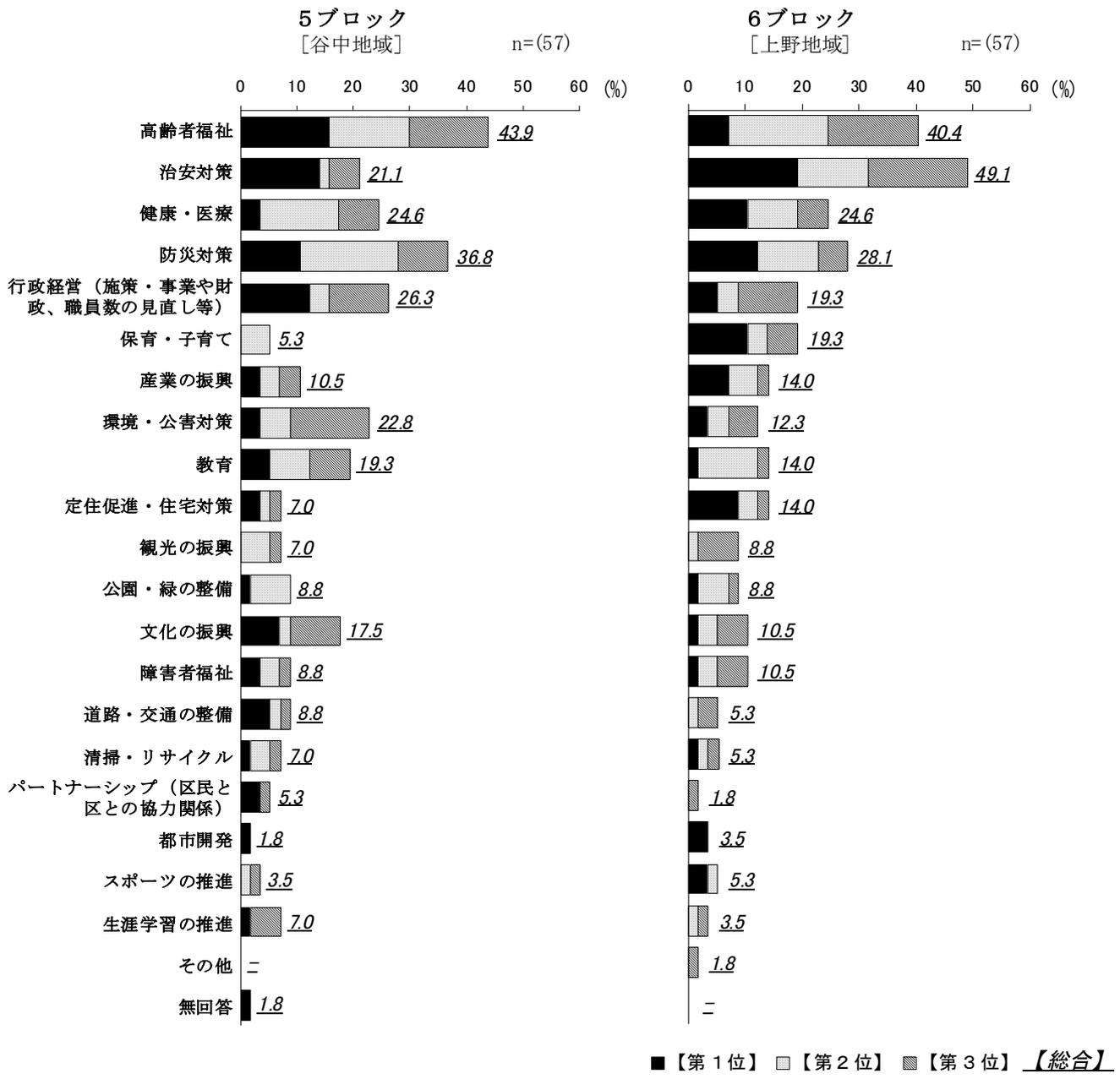
今後、区が優先的に力を入れていくべき施策としては、【総合】で「高齢者福祉」（43.0%）が4割台半ばで最も高く、次いで「治安対策」（34.4%）が3割台半ばとなっている。このほか、「健康・医療」（28.6%）が約3割、「防災対策」（26.9%）が2割台半ばを超える。（図表13-1）

居住地域別でみると、【総合】では、「高齢者福祉」は1ブロック [南部地域] (46.2%) が4割台半ば、「治安対策」は6ブロック [上野地域] (49.1%) が約5割で最も高くなっている。「健康・医療」は、3ブロック [北部地域] (31.0%)、2ブロック [浅草地域] (30.0%) と4ブロック [西部地域] (30.0%) の3地域で3割と高く、「防災対策」は5ブロック [谷中地域] (36.8%) が3割台半ばで最も高くなっている。(図表13-2)

＜図表13-2＞ 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策 居住地域別



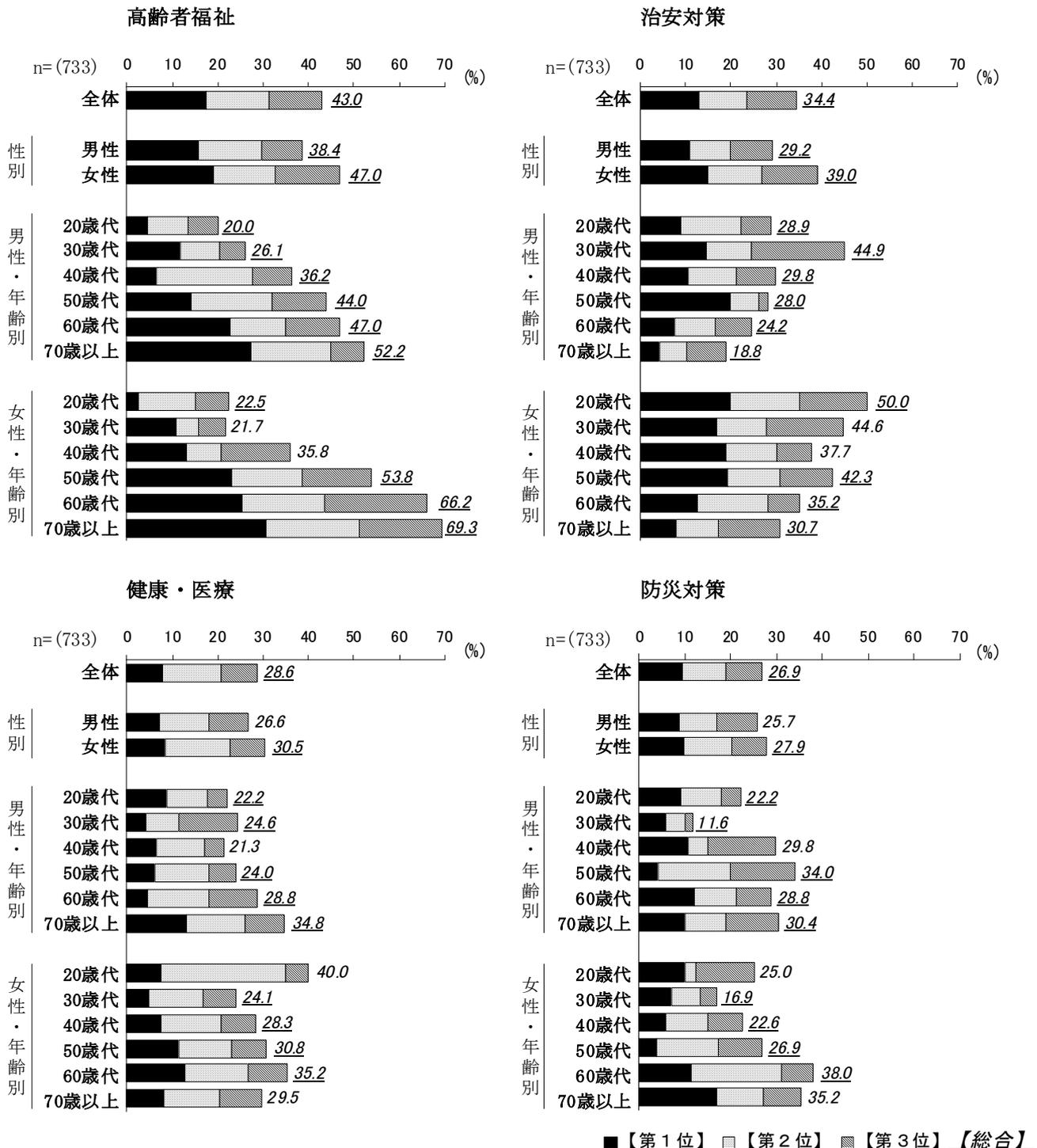




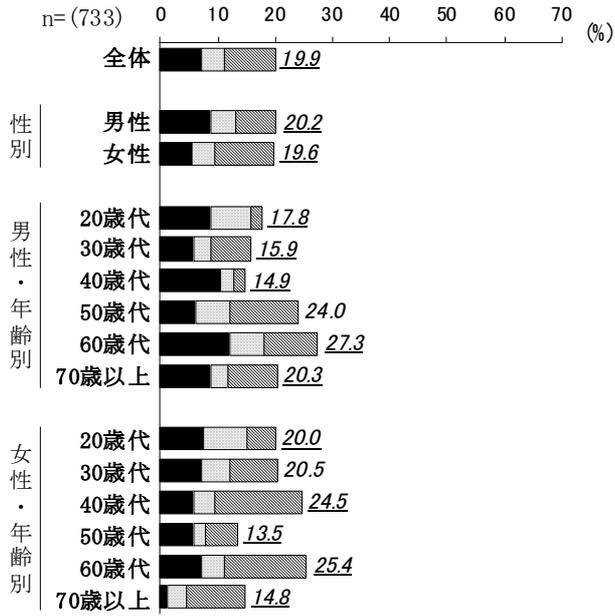
性別でみると、【総合】では、上位6項目のうち「行政経営（施策・事業や財政、職員数の見直し等）」を除いて女性の方が男性よりも高く、「高齢者福祉」は女性（47.0%）が男性（38.4%）を9ポイント、「治安対策」は女性（39.0%）が男性（29.2%）を10ポイント上回っている。

性・年齢別でみると、【総合】では、「高齢者福祉」は男女ともに年齢が上がるほど増加する傾向にあり、特に、女性の70歳以上（69.3%）は約7割となる。「治安対策」は女性の20歳代（50.0%）が5割で最も高く、この層は「健康・医療」（40.0%）でも高くなっている。また、「保育・子育て」は、男女ともに30歳代で高く、特に、女性の30歳代（39.8%）は約4割である。（図表13-3）

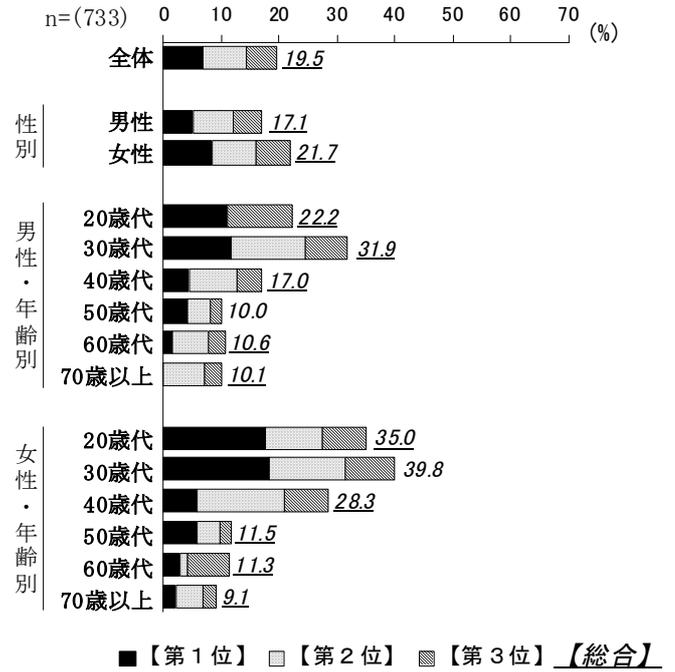
＜図表13-3＞ 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策 性別／性・年齢別（上位6項目）



行政経営（施策・事業や財政、職員数の見直し等）



保育・子育て



<図表13-4> 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策 前回調査との比較

| 今回調査 | | | 順位比較 | 前回調査 | |
|------|--------------------------|------|------|------|------|
| 順位 | 施策 | 総合% | | 順位 | 総合% |
| 1 | 高齢者福祉 | 43.0 | ← | 1 | 40.5 |
| 2 | 治安対策 | 34.4 | ← | 2 | 28.2 |
| 3 | 健康・医療 | 28.6 | ← | 3 | 26.9 |
| 4 | 防災対策 | 26.9 | ↑ | 5 | 19.3 |
| 5 | 行政経営（施策・事業や財政、職員数の見直し等） | 19.9 | ↑ | 7 | 17.9 |
| 6 | 保育・子育て | 19.5 | ← | 6 | 18.4 |
| 7 | 産業の振興 | 15.0 | ↓ | 4 | 20.8 |
| 8 | 環境・公害対策 | 14.6 | ↑ | 9 | 16.3 |
| 8 | 教育 | 14.6 | ↑ | 13 | 10.6 |
| 10 | 定住促進・住宅対策 | 12.6 | ← | 10 | 15.5 |
| 11 | 観光の振興 | 12.4 | ← | 11 | 12.3 |
| 12 | 公園・緑の整備 | 9.7 | ← | 12 | 10.7 |
| 13 | 文化の振興 | 9.1 | ↓ | 8 | 16.5 |
| 14 | 障害者福祉 | 8.3 | ← | 14 | 9.1 |
| 15 | 道路・交通の整備 | 6.0 | ← | 15 | 7.5 |
| 16 | 清掃・リサイクル | 5.3 | ← | 16 | 6.4 |
| 17 | パートナーシップ （区民と区との協力関係） | 4.1 | ← | 17 | 4.4 |
| 18 | 都市開発 | 3.7 | ← | 18 | 4.2 |
| 19 | スポーツの推進 | 3.4 | ↑ | 20 | 3.2 |
| 20 | 生涯学習の推進 | 2.6 | ↓ | 18 | 4.2 |

1 4. 区政や区役所に対する意見・要望（自由意見）

◇記入率は26.9%

問45 最後に、区政全般について、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

アンケートの最後に区に対する意見、要望を自由記入形式で求めたところ、197人（26.9%）の方からの記入があった。

以下は記入内容を分類し表にまとめたものである。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は291件となる。

寄せられた意見・要望については、アンケート結果とともに、今後の区政運営の貴重な資料として活用させていただく。

| 大分類 | 小分類 | 件数 |
|----------------|---------|------|
| 産業の振興に関すること | 産業 | 15件 |
| 観光の振興に関すること | 観光 | 9件 |
| 文化の振興に関すること | 文化 | 7件 |
| まちづくりに関すること | まちづくり | 83件 |
| | 交通 | |
| | 自転車 | |
| | 道路 | |
| | 住宅 | |
| | 駐車場 | |
| | 安全安心 | |
| | 景観 | |
| | 公園 | |
| | 防災 | |
| 環境対策に関すること | 環境 | 20件 |
| | 清掃 | |
| | 喫煙 | |
| 生涯学習に関すること | 生涯学習 | 2件 |
| 健康づくりに関すること | 健康・医療 | 2件 |
| 福祉に関すること | 高齢者福祉 | 30件 |
| | 障害者福祉 | |
| | 介護 | |
| | 生活保護 | |
| | ホームレス | |
| 子育てに関すること | 子育て | 18件 |
| 教育に関すること | 教育 | 13件 |
| パートナーシップに関すること | 区民の行政参加 | 2件 |
| 行政経営に関すること | 行政経営 | 21件 |
| 本調査に関すること | 本調査 | 12件 |
| その他区政又は区に関すること | 区職員 | 57件 |
| | 広報 | |
| | 窓口サービス | |
| | 区政全般 | |
| | その他 | |
| 合 計 | | 291件 |

続いて、各項目ごとに主な意見を紹介する。(原則として、寄せられた意見・要望を原文のまま掲載する。)

◇ 産業の振興に関して

【産業】

- ・ 下町の特長のある産業に力を入れてほしいと思います。
- ・ いろいろやっているとありますが、街（自分の住んでいる）に活気が足りないように思います。平日でも閉まっているところが多く、産業の活性化など考えて行ってほしいと思います。
- ・ 個人事業の後継者に支援してほしい。
- ・ 23年生活してきて比較的満足してます。台東区は小さな商店や企業が多く、それらを経営されているのは高齢者の方々です。そして私の周りではそういった企業はどんどん廃業しております。こういった方々への支援があれば良いなと感じます。
- ・ 若い世代が集う町でなければ未来の台東区はないと思います。商店も企業も文化も若い人達が盛り上げなければ消滅し、寂れてしまいます。子供たちが社会人になっても住み続けられるような、世代を越えた取り組みを考えてほしいです。

◇ 観光の振興に関すること

【観光】

- ・ 地域の観光事業を発展させてほしい。
- ・ 外国人観光客も増えている折、区内の観光文化拠点を整備し、日常的な国際化が進むよう施策を講じてほしい。
- ・ 観光に関しては、新タワーが上野浅草を通る先にあるので上手にルートを確認してほしい（上野→合羽橋入口→雷門→水上バス乗り場→新タワー）。
- ・ 3年後に押上地区に完成予定の東京スカイツリーには年間多数の来場者が予想されます。その人の流れを浅草、上野に引き寄せる工夫を積極的に考え、実現させることが直近の課題だと思います。1つや2つの事ではなく幾つもの方法を実行して欲しい。
- ・ 浅草という素晴らしい街を更に素晴らしくする為、江戸の情緒を日本全体、更には世界へアピールして頂きたいと思います。特に団子や和菓子などを中心に、食べ歩きのできる珍しい地域としてもアピールして頂きたいです。渋谷、新宿に負けない強い浅草を期待しております。
- ・ 待望のエクスプレスが開通して浅草への観光客が非常に増したのに、それに対して六区周辺及び観音裏の整備があまり良くなく、折角来たお客様ががっかりされるのではないかと思います。これらのお客様を取り込めるだけの観光施設の充実が必要だと思います。

◇ 文化の振興に関すること

【文化】

- ・ 文化・伝統のある地区ですので、それを大切にしていこうとする姿勢は常に感じており、ここに住み続けたいと思う最大の理由です。

- ・文化財の保護、啓発、国際交流（外国人受け入れ等）、地域住民との関係強化を推進し、日本の伝統的空気、環境を持つ美しい台東区を目指して頂きたいと存じます。
- ・「江戸しぐさ」台東区はこの言葉の似合う町であってほしいと願っています。
- ・台東区には上野公園周辺に代表される数多くの「文化資源」と浅草など「観光資源」を保有しています。新しいものを作るよりも、こういった資源の保存、宣伝などにより「活かす」方向性の活動を求めます。

◇ まちづくりに関すること

【まちづくり】

- ・台東区らしい町づくりになるように、盛り上げてください。
- ・産業、文化、観光は大切だと思う。この10年浅草の名前を多く聞くようになった。
- ・住み続けられる街にしてほしい。
- ・地域定住者にも観光客にも開かれた活気ある町づくりを希望する。
- ・バリアフリー化を進めて欲しい。
- ・超高層のマンションが乱立するのは防いで欲しい。高いマンション、空が見えない。もっと低く8階か10階ぐらいでよいと思う。人情のない下町になってきた。
- ・前にも書きましたが公的サービスを受けられる施設が区の北側に偏っているので、南側にももう少しいろいろな施設を持ってきてください。
- ・浅草は人の歩調がゆっくりで住みやすい良い所です。若い層も高齢者も共に永く住める台東区にしてください。バランスのよい人口構成と共に、こんなに小さい区なので、地域差のない政策をお願いします。観光に重点がかかれば奥まった地域の住民は暗くなりがちです。まんべんない都市開発、住民のための開発であるべきです。浅草はビジネス街ではないのです。なのに皆早々と店を閉める。
- ・学校等跡地の効率的活用をお願いします。
- ・世界的な観光地としてPRするならば、壊す事よりも古さを生かす事を考えてほしい。小路の多い不便さが街の文化だし、車が減るならエコになる。江戸時代のリサイクル文化を学び直し、世界に発信できるのは、浅草、上野がある台東区だけだと思うので、新しく作る、建てる事よりも今ある資源、資産を見直してほしい。物質に金銭をかけない努力をして下さい。「粋」を大事にする心のある町であり続けて欲しいと思います。

【交通】

- ・「めぐりん」を一通だけでなく、往復に使って下さい。
- ・「めぐりん」を1方向ではなく、上り下りのように2方向で運行してくれるともっと利用しやすい。
- ・「めぐりん」をもう少し有効的に活用したいため、停留所の増設を希望します。
- ・住民も外から来る観光客も高齢者が多いので、駅にもっとエスカレーターやエレベーターを設置してほしい。

- ・浅草は観光地であり、高齢者の方も多く訪れるにも関わらず、浅草駅にエスカレーターもエレベーターも無いのはとても不自然だと思います。私は階段で高齢の方を見ると、積極的に出来ることは援助していますが、無関心な若い人が多すぎます。情操教育も大切だと思いますが、まず環境の整備が先だと思います。バス停に設置されているベンチも見直す必要があると思います。

【自転車】

- ・放置自転車の徹底取り締まり（警告でなく即時処分）を行ってください。
- ・歩道への自転車放置も早急な対策を考えて欲しい。

【道路】

- ・現在、歩く人と自転車を分けてある歩道がありますが、あまり守られていないので意味がないと思う。
- ・例えば、家の近くの歩道が狭くて、その上個人の植木等があったり、真ん中に電柱が立っていたりして歩きにくい。おまけに地面そのものが斜めになっていてとても歩きにくい。こんな日常の不便、不都合をわかって欲しい。
- ・街灯が少なく暗い道があるので、夜道も安心して歩けるようにして頂きたいです。

【住宅】

- ・多くの人に住んで頂ける様に住宅施策に力を入れてほしいと思います。
- ・生まれてからずっと台東区に住んでいるので、世帯を持ってからも台東区に住みたいが、自分達の家庭を持つための住居費などを考えると台東区には住めないし、子づくりも考えるととても住める場所ではないと思う。
- ・商業地域が多く、持ち家を建てようと思うと費用が防火仕様分何百万円と掛かる。土地があつてここに住みたいと思っても、建て替え費用等考えると、少し離れれば高級マンションに住めるような額になるのだから普通手が出ない。私の地元の友人は結婚をするこの土地を去って行きます。最近マンションが次々と建っていますが、他の区と比べると規模も小さく、あまり人も入っていない印象。そもそも下町がどんどんマンション化していくのもどうかと思う。若い人が住みやすく定住できるような（高齢者の問題も確かに重要ですが）そういう町づくりをして欲しいと思います。
- ・商業地に50年以上住んでいますが、後継者がいなくて廃業する家が多く心配です。現在、前の家2軒が廃業して引っ越して売家になっています。近所も老夫婦か1人暮らしの高齢者で、今後10年経ったらみんな空家になってしまうでしょう。ワンルームマンションが次々と建てられ、どんな人達が今町にいるかもわかりません。下町の向こう3軒両隣の知人がいなくなるのは本当に淋しく思います。若い人達が親の家に戻って住めるような税制上の有利な案はないでしょうか。例えば古い家をリフォームして若い人が町に戻る時、リフォーム代金の一部を援助する等は難しいですか。

【駐車場・駐輪場】

- ・南千住駅を利用していますが、台東区で駅に近い所に駐輪場を作って欲しい。
- ・コストの高い駐車場は作るべきではないと思う。

- ・ 家族に身体障害者がおります。母なのですが、母は歩くことも不自由で、よく「障害者用の駐輪場があれば良いのに」と言っています。どうか足が悪い人、怪我をしている人が安心して停められる駐輪場の設置をお願いします。

【安全安心】

- ・ 出来れば巡回などで、道路整備や警察の警備に重点を置いて、事件事故の減少を図り、区民が安心して住めるような安全対策をとって頂きたい。
- ・ 治安対策にもっと力を入れてほしい。どんどん観光地化すれば表面的には経済が潤うかもしれないが、治安は悪くなり街も汚れ、決して良い事とは思えない。台東区は昔から商売をしながらそこに暮らす人々が多い。産業を振興しつつも暮らしの安全性や快適性が守られるような町づくりが望まれる。
- ・ 観光に力を入れるのであれば、多くの人が集まってくる事もふまえて、防犯にも力を入れて頂ければ幸いです。日暮里駅から谷中のあたり、駐車場のあたりは特に工事中となってから夜とても怖い感じがします。防犯カメラなどで抑止するなどして欲しいです。そのあとでサインボード（観光用）を付けて頂けた方が良かったと思っています。見回りも午前までです。荒川区との境目になっているからだと思いますが。
- ・ 新仲見世西口より松屋までの商店（各店）の道路に商品のワゴン、店看板等のはみ出し、異常と思えるような今現在です。道路の半分まで使用している。救急車も思うように入れない。このような事は区役所で注意していただけないものでしょうか。それと店の呼び込み、近所迷惑です（ラジカセの呼び込みも同じ）。

【景観】

- ・ 昔からの下町、浅草の町並みが大好きなので、高層マンションなど下町らしくない建物の建設はなるべく減らして頂きたいです。これからも良い下町、住み心地よい街を目指してよろしくをお願いします。
- ・ 土地買収、マンション乱立により、一部を除く商店街や住宅地がさまざまな形の建物のせいで外観の統一性がなくなってしまい、その土地の利を生かすためにも、もう少し建物の高さ制限などの規則は必要だと思う。フランスのある地区のような、個性もあるが町の風土もあるような、できれば大企業ではなく個人に優しい街づくりをもっと率先して方針を打ち出して欲しいです。
- ・ ラジオで前に、災害危険地域順位の高かった所が整備され、順位が下がり、街の景観を維持している谷中は順位が高いままで、どちらが良いかという様なのがありました。下町といわれる所で、その昔ながらの景観が全くなりつつある私の近所というか台東区。新たに建つ物は全部14階などの高層マンション集合住宅であり、見た目のバランスが悪すぎる。外国の街のように7～8階の高さがきれいに並んだりした方が良い。勤め先の周辺（千駄ヶ谷）は高くても4～5階、今、社の6階から見渡してもきれいで、しかも、路地であっても太陽が差し込み明るく、とても生きてる感がある。近い将来、台東区は人を呼ぶつもりの住宅が余りすぎて、空き家が目立ち、ビルを建てた方々がビルを手放さなければならず、厳しい現実となり、逆効果になると考える。台東区は地下鉄も沢山でき、通勤も便利になっているが、それは逆に遠くの方からも通いやすくなる。そうなった時にもっと自然を取り入れて環境を整えて住みたい街づくりをしていくべきだと思う。皆いつかは田舎暮らしと言っている今、住みたい所は自然が多い所だと思う。ビルの谷間を歩く休日ではないと考える。

【公園】

- ・ 緑が少ないように感じます。道路、歩道脇などに植樹するとか、区で公園など緑の確保が必要と考えています。
- ・ 子供たちが自由に緑の多い所でボール遊びなど出来る広い公園を作って欲しい。道路で遊んで大声を出していると近所の人に注意をされた。

【防災】

- ・ 防災対策がこれからは重要だと思います。

【地域社会】

- ・ 町会及び老人会の制度の見直し。無駄はないか、制度ができた時と現在の社会状況の違いによる矛盾点などを再考してほしい。
- ・ マンションの建築が年々増え、通勤の電車内も混み合う一方です。人口が増えることで区の収入は増すでしょうが、昔から住んでいる地域の方と、他県から移り住んで来た人との意識のズレやコミュニケーション不足も問題があるように思います。

◇ 環境対策に関すること

【環境】

- ・ 上野浅草その他にある自然環境を守り、温暖化防止に努めてもらいたい。
- ・ 隅田川が昔に比べてキレイになったと言われますが、川の構造や護岸のせいで堆積物が多く、生物が暮らしやすい状態ではありません。港区では護岸を見直し、浅瀬を増やす取り組みをしているそうです。都心に一番近い隅田川という自然を世界に誇れる川にしたいです。
- ・ 家庭菜園をしているのですが、近所に野良猫が多く、糞、尿で困り果てています。区政で何とか御協力願いたいです。具体的に対策して欲しい。

【清掃】

- ・ ゴミの分別の仕方について疑問があります。プラを燃やすことの必要性は仕方ないかと思いますが、分別がきちんとされていない他のものが「燃やせるゴミ」に入ってしまった場合、公害を引き起こすことにもなると思うのです。例えば「燃やせないゴミ」で現在集められている蛍光灯には水銀が含まれていて、現在東京湾に埋め立てていると思います。その土から水が染み出し、有機水銀入りの魚が江戸前の魚には入っていると思うと、東京の魚は食べてはいけないのかと思います。見えないもの、原因がはっきりしないものを基に政策を考えてほしいと言っても、行政の皆さんは動きにくいと思います。けれど、自分の街の50～100年その先、自分の子、孫、曾孫のことを思い、予測、予防をするのも将来への政策だと思います。
- ・ 国際通りの植え込みの中の清掃（タバコ、ビニール、ゴミ、缶等）よろしくお願いします。住みやすいきれいな町でありたい。

【喫煙】

- ・ 街全体が汚い。タバコの投げ捨て等よく見かけます。住みやすい街になるように是非改善をお願いします。
- ・ 他区でもやっているタバコの「ポイ捨て禁止」条例や、道に平気でたんやつばを吐くことを禁止し、それを守らせる様な対処をして欲しい。平気でやっている人を多く見かける。個人のマナーの問題とは思いますが、わからない人が多い。

◇ 生涯学習に関すること

【生涯学習】

- ・ 区のスポーツ施設、特に陸上用グラウンドを増やして欲しい。

◇ 健康づくりに関すること

【健康・医療】

- ・ 誰でも考える事だと思いますが、健康で自分のことは最後迄出来るよう心掛けており、健康に気を付けています。今、いきいきプラザで1ヵ月に1回いきいき体操を楽しみに行っておりますが、週1回にして月4回にして頂きたいと思っております。月1回では少ないように思い、重ねてお願いいたします。

◇ 福祉に関すること

【高齢者福祉】

- ・ 年金問題や後期高齢者制度など老後が不安なので、年を取っても安心して暮らせるようにしてほしい。
- ・ 台東区が大好きです。今まで頑張ってお年寄りを大切にしてほしいと思います。

【障害者福祉】

- ・ 高齢者には手厚い援助があるのに、障害児(者)やその親には援助が行き届いていない様に思います。車椅子での外出も歩道がガタガタしていて、放置自転車やホームレスも多く困難です。交通の便も悪く、めぐりんもあまり利用できません。車内が狭いので車椅子で利用するのは肩身が狭いです。介護を受けている(必要としている)人の援助と同じように、介護をしている人達への負担が軽くなるような行政サービスをお願いしたいです。

【介護】

- ・ 現在の社会の高齢化により、沢山のお年寄りの方や中高年の方がいます。そういった方を支えているのは家族であり、地域であります。なのでこれからは家族福祉の重要度が増えると思います。本区は福祉の充実に努めるべきであると思います。

【ホームレス】

- ・ 公園・駅などのホームレス対策をして欲しい。
- ・ ホームレスの人の中には就職して生活の基盤を築きたいと思っている人もいます。その人達へ就職の斡旋をお願いします。
- ・ 本区に来て一番気になるのはホームレスの方々の多さ。観光においても街づくりにも、子育ての場としても、この問題はとても重要に思う。ホームレスの方々の支援について東京都とタッグを組み、力を入れて取り組んで頂きたい。
- ・ 区政全般について、意識や取り組み方に感心し、賛同します。個人的に望むことは、まず路上生活者に関する対応対策です。区には路上生活者が非常に多く存在すると思います。それを排除するというのではなく、何かしら支援できないか、また、これ以上路上生活者が増えないようにできないのか、区が都や国と共に取り組んでもらえたらと思います。
- ・ 「下町台東の美しい心づくり運動」いつも夜仕事帰り、道で寝ていたりするホームレスを見て、見ぬふりをして通り過ぎます。大学の時はゼミで課題にしていたのですがそこから逃げました。子供に「美しい心」と言うなら、この見て見ぬふりは通用しません。見捨てないで、この人たちにも相談と支援の充実（最終的には本人が選ぶにしても）があるといいと思います。正直、女性や子供の安全につながることもあるかも。全ての人が「大丈夫、何とかやっていく」と前向きに生きていける町づくりが大切だと思います。私はこの台東区が好きです。口先だけの「美しい心」は自分をももちろん含めて、恥ずかしいことです。日頃思う事を書く機会があり、ありがとうございます。

◇ 子育てに関すること

【子育て】

- ・ 子育てをしやすい区になる事を期待します。
- ・ 保育園に入れる数を増やして欲しいです。
- ・ 保育園が少ないです。働きたくても預ける場所がなく、保育園の空きが出るのを待っているお母さんが沢山います。よろしくお願いします。
- ・ 女性が産後復職できるよう保育園を増やしたり、保育施設のある企業を支援してほしい。
- ・ 所得に関係なく子供1人1人に対して児童手当を出していただきたいです。それでなくても保育園代も高いですし子供が1人ではないので大変です。子育て支援が良いと思って台東区に来たのですから、子供が多い家庭に対して優遇していただくと子供を育てていくうえで助かります。
- ・ 出産、育児への助成制度が整備されていて大変助かりました。これからも住みやすく、安全な台東区であり続けることを願っております。

◇ 教育に関すること

【教育】

- ・ 未来を持った子供にしっかり教育をしてほしいと思います。
- ・ 一番大切なのは人。如何に育てるか、その全ての環境整備を目指し、教育都市“台東”、日本人の心を育む“台東”づくりを期待しています。

- ・台東区を発展させていくには、次世代の力（考える力etc）が大事であると思う。そのためには教育に力を入れ、自分の考えを持てる人間を作らなければいけないと思う。
- ・土曜スクールの推進があるのですが、自由参加でも多数参加しているんだったら、全員参加を促した方がいいのではないかと思います。

◇ パートナーシップに関すること

【区民の行政参加】

- ・他の地区と同様の「住み難さ」の問題も顕在化しており、一人一人の協力により、よくすることはやはり難しいと感じています。区政と区民がしっかり手を組めば実現可能と信じていますので、「おまかせ」にすることなく協力していきたいと考えています。

◇ 行政経営に関すること

【行政経営】

- ・無駄な税金を使わないでほしいと思う。
- ・健全な財政運営に努めてください。
- ・1円たりとも税金を無駄にしないで欲しいです。弱者（特に）が安心して住める区であるように、区長をはじめ区の職員の方々に頑張ってもらいたい。老人になった時に台東区民で良かったと言えることを願っています。
- ・これからの時代、高齢化がますます進み人口が減少し、税収が望めなくなるので、無駄なハコモノ行政を見直して、中身が充実した政策をとってもらいたい。とにかく区民が安心して楽しく生活できる環境を作ってもらいたいと思います。
- ・区内の様々な民間の資源を有効活用し、より活力のある台東区になる様に行政の思考の刷新をして欲しい。前例主義では何も改革できません。
- ・基本として満足していますが、より区民とのパートナーシップを強めたガバナンスを期待しています。その結果として大阪市のように財政再建が出来るようになってもらいたいと思います。

◇ 本調査に関すること

【本調査】

- ・抽象的な設問でした。調査票は抽象的な設問で答えにくいところがあった。
- ・国勢調査etcプライバシー保護対策をしっかり行って頂きたい。
- ・この調査について、調査員が回収ではなく、郵送できるようにして欲しかった。
- ・この用紙の回収日を指定されても、そちらの都合に合わせる事のできる人ってあまり存在しないのでは。料金後納の返信用封筒を同封した方が経費が少なくて済むのではないのでしょうか。

◇ その他区政又は区に関すること

【区職員】

- ・ 公務員は短いスパンでの異動が多い。それはそれで良いが、半々位の割合で長期にわたり関わるプロフェッショナルが欲しい。反面、異動しない部署等（人員）は異動させ、色々な部署で台東区を学び、広く区政を学んで欲しい。現場、事務方の人事交流を活発化させ、色々な事を学んで欲しい。今後も頑張ってください。
- ・ 住民税を納めに月1回ほど区役所に伺いますが、職員の方々の対応はとても良いと思います。これからも台東区がより住み良い場所になりますよう頑張ってください。

【広報】

- ・ 毎月の区政だよりですが、もっと用紙の良い物にして読みやすくした方が皆様も目を通すと思います。
- ・ こんな取り組みをしていますというものを読んで、へえーと思うだけ。知らなかったなあというものも多い。もっとアピールして下さい。
- ・ 課題としている問題点は、最重要課題だと思います。民間全体の認知度の低さ（区の取り組み等）を改善すべきだと感じます。
- ・ 転居してきた際、家賃補助や色々区のサービスがあると人から聞いて、台東区のホームページや台東区のしおり（冊子）のようなものを見たが、どこに連絡して聞けば良いか分からなかった。入籍して間もないので、保険の事や育児の事が不安に感じるのも、もっと勉強会があれば参加したいし、あるなら分かりやすく教えてほしい。
- ・ 大学病院の小児系病棟に勤務しています。育児ボランティアをしたいと思いますが、仕事の都合上、不規則となってしまいます。区のHPに「〇月〇日に〇〇のお手伝いを下さる方募集」とあると参加しやすいと思います。あとは「ボランティアして下さる方は電話して下さい」とあるよりも、メールでやり取りができるようになると連絡しやすいです。
- ・ 全体的に区の活動方針とさまざまな活動内容を受け取ることが出来るが、係わりを持てる人はどの程度だろう。町会の行事に係わりを持っている人は情報は聞けるが、ほとんどの方々は区が何をやっているか無関心の方が多い感じがする。色々やっていると言っているが、係わりなく過ごしている人の方が多いと思う。
- ・ 台東区の取り組みについて意識したことはない。逆に言えば見えない物が多すぎる。区の取り組みが怠っている訳ではないと思うが、アピールをすべきと思う。めぐりんや生涯教育センターは分かりやすいが、経営状態は分からない。そういう状態を開示して納得をさせて欲しい。具体的に区の財政、施設での経費、利用者数、サービスの経費など。

【区政全般】

- ・ 区の発展は住民の幸福なくしてはあり得ない。その事を認識すべき。また、こういったアンケートはアンケートのためのアンケートではなく、しっかり区政に反映していただきたい。
- ・ この区民満足度調査の中で、問1～43までに○を付けた事に対して、しっかりと行ってもらう事を切望します。

- ・とにかくシンプルに、そしてスピーディに進めて頂きたい。いろいろな手続きが複雑で分かりにくい部分が多く、弱者（特に高齢者）に届いていないのでは意味がない。期待する部分が多いので、全国のどの都市よりも早く「分かりやすい区」になって欲しいです。
- ・文化・産業の振興、教育のあり方、環境・福祉の充実、いずれも重要な施策です。しかしどうでしょう。区民も現状を理解して、政策全てを万全に進めていく事に期待しているでしょうか。否、一つで良いのです。台東区はこの政策が素晴らしい、この点（取り組み）が優れている、今年はこれが充実した、そんな区民の声が聞こえる様、政策をパートナーシップで推進していきましょう。
- ・日々の仕事、家事に追われて周りを見る時間があまりなかったのですが、今回のアンケートで、区が取り組まれている事案などが沢山あることがわかりました。具体的にどの様に関わっていけるのかわかりませんが、私達世代が出来ることは大いに興味を持っていきたい、参加していきたくて思っています。
- ・いろいろやるべき事はあると思うのですが、とにかく弱い立場の人に優しい、住みやすい区であって欲しいと願います。どんどん厳しい世の中になってきているように思うので、もう少しゆとりのある生活を送れたら子供をとと思っている方が、沢山いると思います。
- ・台東区の良さ、悪さを理解し、これからは悪さを補うことに労力をかけず、区の特徴として良さを伸ばしていくべきではないでしょうか。少しの税金UPはOKです。頑張ってください。
- ・台東区にできれば住み続けたいと思っているが、先行き土地は高く、支援の資格も年齢制限があったりと、住み続ける事がだんだん困難になりつつあります。また、特別区民税が高いのには驚いています。23区の中でも財政豊かな区であると思っていましたが、高齢者が多く、財政は厳しいのがよくわかります。若い世代が住み続けたいと思うような定住促進は大切な事だと思います。出ていく人が多すぎます。
- ・老人でも障害者でも子育て中でもない「ふつう」の人の声は拾う気があるのだろうか。一番多く税金を払っているはずの年代にも目を向けて欲しいものだ。
- ・台東区がより良い町づくりになる様、そして生活が安心して居られるように思う。
- ・区として住みたいと思える魅力ある区であって欲しいと思います。子供たちが将来台東区で育った事を誇りにできる行政をして欲しいです。
- ・台東区は都内の他の区と比べても穏やかで、気持ちの良い町だと常々思っている。願わくばこの穏やかさと、そして「明るさ」がずっと続くことを願っている。
- ・以前に色々あり、区役所の方にいろいろお世話になりとても感謝しております。他区への移転も考えましたが、やっぱり台東区に住むことになりました。台東区が住みやすい、良い区になるようお願いします。
- ・以前居住していた場所と比べて台東区は非常に良いと思います。住環境、観光面、区役所の方のご対応等。

Ⅲ 調查票

台東区 区民満足度調査

「台東区 区民満足度調査」へのご協力のお願い

皆さまには、日頃より区政にご協力いただきありがとうございます。

このたび「平成20年度 台東区 区民満足度調査」を実施することといたしました。

この調査は、子育て・教育、文化の充実、健康と福祉、産業振興など、区のさまざまな取り組みについて、皆さまのお考えをお聞きするものです。

調査の実施にあたりましては、区内にお住まいの満20歳以上の方から無作為に1,000名を選ばせていただきました。

調査結果はすべて個人が特定できないよう統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。是非率直なご意見をお聞かせください。

つきましては、区の職員または区が委託する(株)サーベイリサーチセンターの調査員が6月20日から7月22日の間に訪問いたしますので、ご記入された調査票を直接お渡ししてください。

これによって、今後の区の取り組みを、より一層充実してまいりたいと存じますので、お忙しいところまことに恐縮ですが、お答えいただきますようお願い申し上げます。

平成20年6月

台東区長

■ご回答にあたって

1. ご回答は、宛名にある**ご本人様**にお願いいたします。
2. ご回答は **網掛け部分** の説明をお読みの上、所定の欄内の数字に○をつけてください。
3. ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
4. ご記入いただきましたら、訪問させていただく調査員に直接お渡しください。
5. ご不明な点など、調査に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

<調査主体> 台東区 企画財政部企画課 東京都台東区東上野4-5-6
電話：03-5246-1013（直通）担当者 小澤、行木

※調査の具体的問合せは、下記までお願いします。

<委託先> (株)サーベイリサーチセンター 東京都荒川区西日暮里2-40-10
電話：0120-396-740（フリーダイヤル）
担当者 土屋、粕谷

産業を振興するための取り組み

- ◆ 台東区には、上野、浅草など、大きな商業地があり、さまざまな産業が集まっています。しかし、小さな会社や商店が多く、景気などの影響をうけやすい面があります。
- 区では、中小企業への融資や相談などの経営への支援、地場産業や商店街の振興など、産業全体の活性化に取り組んでいます。

問1 産業の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- ◆ 本区の良い取り組みは、
- 中小企業への融資あっせん額は339億円(18年度)で、23区第一です。
 - 小学校跡地に、「台東デザイナーズビレッジ」を開設し、デザイナーの育成や新しいものづくりを進めています。
 - 19年度は、浅草花屋敷通り商店街や伝法院通り東商店街を、江戸街風に景観を整備しました。
 - 若い人の就職支援や、後継者の育成に努めています。

問2 産業の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問3 産業の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

| 産業振興の取り組み | 大切である (○は3つまで) |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 中小企業への融資や相談 | 1 |
| 2. 新しく会社を始めようとする人たちへの支援 | 2 |
| 3. 新しい商品を開発したりPRすることへの支援 | 3 |
| 4. 就労・就職への支援 | 4 |
| 5. 後継者の育成 | 5 |
| 6. 商店街の振興 | 6 |
| 7. 他の商業地域との連携 | 7 |
| 8. その他 () | 8 |

観光を振興するための取り組み

◆ 台東区には、上野、浅草という、全国的な観光地があり、さまざまな行事などで年間3,400万人を超える人たちが訪れています。

また、史跡や博物館、芸能など、豊かな観光資源があります。

これらの豊富な観光資源を活かして、国内外に情報発信するとともに、より魅力のあるまちにするため、観光コースの整備や観光案内の充実、おもてなし運動などに取り組んでいます。

問4 観光の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

| | | | | |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

◆ 本区の主な取り組みは、

○ 観光資源を、史跡や寺社、グルメ、ショッピングなどテーマ別に観光コースとして整え、パンフレットを作り提供しています。

○ 区役所や雷門前の文化観光センターで、観光案内を行っています。

○ 台東区の豊かな文化を広く国内外に知っていただくため、テレビや映画のロケ地の提供や、演劇・芸能を支援する「Tokyo ダウンタウンアートサポート」を運営しています。

問5 観光の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

| | | | | |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問6 観光の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

| 観光の振興の取り組み | 大切である (○は3つまで) |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 観光PRの拡大 | 1 |
| 2. 歴史的、文化的な街並み景観の整備 | 2 |
| 3. 区内の観光スポットを巡るコースの整備 | 3 |
| 4. 外国人のための案内、ガイドなどの整備 | 4 |
| 5. 観光客への、区民全体でのおもてなし運動の推進 | 5 |
| 6. 本区の歴史・伝統や文化を観光資源に活用 | 6 |
| 7. その他 () | 7 |

文化を振興するための取り組み

◆ 台東区には、数多くの史跡や芸術、芸能など、豊かな文化資源があります。

この特徴を活かして、より豊かな生活を創っていくため、伝統的な文化の保存、新たな文化の創造、芸術家と区民の創作活動の振興などに取り組んでいます。

問7 文化の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

| | | | | |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

◆ 本区の良い取り組みは、

- 区民の方に美術品を楽しんでいただけるよう、区役所1階に、台東アートギャラリーを設けました。東京藝術大学学生の卒業作品の中で優れたものなどを展示しています。
- 五千円札の肖像である樋口一葉を文学業績を永く後世に遺すため、一葉記念館を改築しました。

問8 文化の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

| | | | | |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問9 文化の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

| 文化の振興の取り組み | 大切である (○は3つまで) |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存 | 1 |
| 2. 旧町名の活用 | 2 |
| 3. 区民が文化を学べる講座などの充実 | 3 |
| 4. 若手芸術家、芸能家への支援 | 4 |
| 5. 台東区の文化のPR | 5 |
| 6. 伝統的な街並みの保存、景観の向上 | 6 |
| 7. その他 () | 7 |

まちづくりのための取り組み

- ◆ 台東区は、地域ごとにまちの個性があります。

その個性を活かしたまちづくりを推進するため、台東区は、交通、土地利用などの基盤整備、街並み景観の保存、住まいの環境整備やマンション対策、防災・防犯の強化などに取り組んでいます。

問 10 まちづくりについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- ◆ 本区的主要な取り組みは、

- 御徒町駅前広場の整備、上野広小路地下駐車場の建設、循環バスめぐりんの運行などに力を入れています。
- 「景観まちづくり条例」による、調和のとれた潤いのある街並みをつくっていきます。
- ファミリー世帯への家賃支援やマイホーム取得の支援を行っています。
- 新タワーの建設に合わせて、浅草地域の賑わいを高めるまちづくりを進めています。

問 11 まちづくりへの区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 12 まちづくりのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

| まちづくりの取り組み | 大切である (○は3つまで) |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 街並み、景観の整備 | 1 |
| 2. 地域の人を中心になった まちづくり協議会の振興 | 2 |
| 3. マンション対策 | 3 |
| 4. まちの防災性の向上や災害対策の充実 | 4 |
| 5. 防犯活動の支援 | 5 |
| 6. 放置自転車対策 | 6 |
| 7. 駐車場の整備 | 7 |
| 8. 住宅取得の支援 | 8 |
| 9. 公園、緑の整備 | 9 |
| 10. その他 () | 10 |

環境対策のための取り組み

- ◆ 台東区には、上野公園、隅田川など自然的な環境があります。
一方、ごみ減量、リサイクル、地球温暖化対策など、環境問題への取り組みが強く求められています。
そのため、区では、水と緑の保全など、うるおいのある生活環境づくりと、生活様式の見直しなど、環境に配慮した社会づくりに取り組んでいます。

問 13 環境対策についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

| | | | | |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- ◆ 本区の主な取り組みは、
 - ごみ収集や資源回収の方法の改善、事業所へのごみ排出指導などに力を入れています。
 - 環境ふれあい館を拠点として、環境学習の充実に取り組んでいます。
 - 建物の屋上や壁面の緑化を推進しています。
 - 地球温暖化対策のため、省エネルギーの普及などに取り組んでいます。

問 14 環境対策への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

| | | | | |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 15 環境対策のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

| 環境対策の取り組み | 大切である (○は3つまで) |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 騒音、振動などの公害防止の指導 | 1 |
| 2. 公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備 | 2 |
| 3. まちの清掃などの美化活動 | 3 |
| 4. ごみ減量のための取り組み | 4 |
| 5. リサイクルの推進 | 5 |
| 6. 省エネルギー、屋上緑化などの地球温暖化やヒートアイランド対策 | 6 |
| 7. 環境について学べる講座などの充実 | 7 |
| 8. 環境に配慮した日常生活ができるような支援 | 8 |
| 9. その他 () | 9 |

問 16 あなたは、電気の節約などの省エネルギーや集団回収などのリサイクル、緑の保全など、環境に配慮した行動に取り組まれていますか。

(1つだけ○をおつけください)

| 積極的に取り組んでいる | 比較的取り組んでいる | 普通である | あまり取り組んでいない | 取り組んでいない |
|-------------|------------|-------|-------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

生涯学習のための取り組み

◆ 区民の一人ひとりが、心の豊かさや生きがいを、自分にあったかたちで実現していくことや、学習の成果を地域での交流やさまざまな課題解決に活かしていくことが大切です。

また、地域の課題の解決のため、さまざまな活動が行われています。

区では、区民のさまざまな学習ニーズに応えるため、生涯学習センター、図書館などの整備、多様な講座などの学ぶ機会の充実に取り組んでいます。

問 17 生涯学習についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

| | | | | |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

◆ 本区の主な取り組みは、

○ 生涯学習センター(西浅草 3-25)は生涯学習の拠点として、その中にある中央図書館を含めて、年間入館者数は 120 万人を超えています。

○ 近隣の人や子どもたちのための「まちかど図書館」を整備し、気軽に読書できる環境づくりを進めています。

○ 旧柳北小学校を活用して「柳北スポーツプラザ」をつくるなど、スポーツ環境の整備に努めています。

問 18 生涯学習への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

| | | | | |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 19 生涯学習のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

| 生涯学習のための取り組み | 大切である (○は3つまで) |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 生涯学習のための講座等の充実 | 1 |
| 2. 家庭教育のための支援 | 2 |
| 3. 図書館などの充実 | 3 |
| 4. 地域のスポーツ活動への支援 | 4 |
| 5. スポーツ施設の充実 | 5 |
| 6. 学習・スポーツに関する情報提供や相談 | 6 |
| 7. 団塊世代のための支援 | 7 |
| 8. その他 () | 8 |

問 20 あなたは、生涯学習に取り組まれていますか。(1つだけ○をおつけください)

| 積極的に取り組んでいる | 比較的取り組んでいる | 普通である | あまり取り組んでいない | 取り組んでいない |
|-------------|------------|-------|-------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 21 あなたは、スポーツをしていますか。(1つだけ○をおつけください)

| ほぼ毎日スポーツをしている | 週に2～3回スポーツをしている | 週1回程度、スポーツをしている | 月に1～3回スポーツをしている | スポーツはしていない |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

健康づくりのための取り組み

- ◆ すべての区民が、それぞれに、健康を維持し、いきいきとした日常生活を送ることが大切です。そのため、区では、誰もが生涯を通じて心と体の健康づくりに取り組めるように、生活習慣病の予防、親子の健康づくり、介護の予防、地域の健康づくり活動などを支援しています。

問 22 健康づくりについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

◆ 本区の主な取り組みは、

- すべての区民が、生涯にわたって健康づくりに取り組めるよう、新しい健康都市宣言を行い、区民の活動を支援しています。
- 介護が必要な状態にならないよう予防する取り組みを進めています。
- 生活習慣病の予防のため、区民が、健康診査や健康相談を受けたり、かかりつけ医（歯科医、薬局）を持つことに力を入れています。
- （仮称）新台東病院（千束 3-20）を建設しています。平成 21 年 4 月開設予定です。

問 23 健康づくりのための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 24 健康づくりのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

| 健康づくりの取り組み | 大切である (○は3つまで) |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 各種の健康診断 | 1 |
| 2. 生活習慣病の予防のための相談、学習 | 2 |
| 3. 育児相談、指導 | 3 |
| 4. 高齢者の健康づくり教室 | 4 |
| 5. 介護が必要にならないような取り組み | 5 |
| 6. 地域での、区民の健康づくり活動への支援 | 6 |
| 7. かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つ | 7 |
| 8. 病院などを整備する | 8 |
| 9. その他 () | 9 |

福祉のための取り組み

◆ 高齢の方、障害のある方など、すべての区民が、住みなれた地域で、安心して日常生活を送ることが大切です。

そのため、区では、総合的な相談の充実、在宅サービスや施設サービスの質と量の確保、地域の支えあいの活動への支援などを行っています。

問 25 福祉についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

◆ 本区の主な取り組みは、

- 特別養護老人ホーム、老人保健施設の整備に取り組んでいます。
- 障害者の自立のため、就労支援など、さまざまな支援を行っています。
- 地域の協力をいただき、ひとり暮らし高齢者等を見守る「地域見守りネットワーク」の拡充に力を入れています。
- 自分に合った質の高い在宅サービスを選べるよう、相談などの充実にも努めています。

問 26 福祉のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 27 福祉のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

| 福祉のための取り組み | 大切である ○は3つまで) |
|------------------------------|------------------|
| 1. 高齢者のための総合的な相談と支援の充実 | 1 |
| 2. 障害者への総合的な相談と支援の充実 | 2 |
| 3. ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実 | 3 |
| 4. 特別養護老人ホームなど、施設サービスの充実 | 4 |
| 5. 高齢者や障害者の住まいの確保 | 5 |
| 6. 地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり | 6 |
| 7. ボランティア活動への支援 | 7 |
| 8. その他 () | 8 |

子育てのための取り組み

- ◆ 少子化が進行する中、家庭や地域での子育てを積極的に支援していくことが大切です。そのため、区では、若い世代の育児不安の解消、地域での子育て支援、保育園の整備、子どもの医療費の助成などを行っています。

問 28 子育てについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- ◆ 本区の主な取り組みは、
 - 乳幼児から中学三年生まで、医療費を無料にしています。
 - 準夜間や休日の子どもの診療を実施しています（永寿総合病院内）。
 - 一時保育や病後児保育など、保育サービスを充実しています。
 - 子ども家庭支援センターを整備し、区民の方が安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めています。
 - 子育て中の人を、地域で支援する「ファミリー・サポート・センター」に力を入れています。

問 29 子育てのための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 30 子育てのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

| 子育てのための取り組み | 大切である (○は3つまで) |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 若い世代向けの子育て講座の充実 | 1 |
| 2. 一時的に子どもを預かるサービスの拡大 | 2 |
| 3. 保育園の整備 | 3 |
| 4. 子育て中の人を地域で支援する仕組みの充実 | 4 |
| 5. 子どもの医療費の助成 | 5 |
| 6. 夜間や休日の子どもの診療 | 6 |
| 7. 子どもの安全の確保 | 7 |
| 8. その他 () | 8 |

問 31 あなたは、現在、子育てをしていますか。(1つだけ○をおつけください)

| | | |
|---------|-----------------------|-------|
| 現在、子育て中 | 今は行っていないが 過去に経験がある | していない |
| 1 | 2 | 3 |

問 32 子育てに自信を持っていますか。(1つだけ○をおつけください)

| | | | | |
|--------------|-----------------|-----------------|---------------------------|----------------------------|
| 自信を持って いる | 大体、自信を 持っている | 特に意識した ことはない | たまに、自信 を持ってないこ とがある | たびたび、自 信を持ってない ことがある |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

教育のための取り組み

◆ 子どもたちが、こころざしを抱き、夢や希望をもち、これからの時代を自らの力でたくましく生きることのできる教育が大切です。

そのため、区では、基礎学力の向上、心と体の育成、学校施設の整備、学校と家庭・地域との連携などを行っています。

問 33 教育についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

◆ 本区の主な取り組みは、

- 学校教育の充実に力を入れています。また、土曜スクールを実施するなど、児童生徒の基礎学力の向上に努めています。
- 認定こども園の開設など、幼児教育の充実を図っていきます。
- 学校、家庭、地域が一体となって、「下町台東の美しい心づくり運動」を実施し、心の教育を推進しています。
- 学校の教室にエアコンを整備するなど、教育環境整備に努めています。

問 34 教育のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 35 教育のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

| 教育の取り組み | 大切である (○は3つまで) |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 学校教育の充実、教員の資質の向上 | 1 |
| 2. 幼児教育の充実 | 2 |
| 3. あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進 | 3 |
| 4. 学校施設の整備 | 4 |
| 5. 学校と家庭・地域が連携した、開かれた学校づくり | 5 |
| 6. 児童の安全の確保 | 6 |
| 7. 不登校児童対策 | 7 |
| 8. その他 () | 8 |

パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み

◆ 本区は、支えあいの地域性があり、地域での活動が盛んです。また、社会では、ボランティアやNPO(非営利の社会貢献活動団体)の活動が増加しています。

地域の課題の解決のため、区民一人ひとりと、区、企業などが協力関係を深めていくことが大切で、そのため、区では、区政やまちづくり活動への参加の拡大、NPOなどとの協働の促進などに取り組んでいます。

問 36 パートナーシップ(区民と区との協力関係)についてどの程度重要だと思いますか。
(1つだけ○をおつけください)

| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

◆ 本区的主要な取り組みは、

- NPOの活動を支援するための組織づくりを進めています。
- 自治基本条例の制定など、区民が行政に参画できる仕組みを検討しています。

問 37 パートナーシップのための区の取り組みについて満足していますか。
(1つだけ○をおつけください)

| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 38 パートナーシップのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。
(3つまで○をおつけください)

| パートナーシップのための取り組み | 大切である (○は3つまで) |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 区民と区との協働による行政施策の推進 | 1 |
| 2. 男女共同参画の推進 | 2 |
| 3. NPOへの支援 | 3 |
| 4. 国内外の都市との協力や交流の促進 | 4 |
| 5. 国際交流の促進 | 5 |
| 6. その他 () | 6 |

問 39 あなたは、地域の活動（町会やPTAなど）をしていますか、または、
 今後、活動するお考えがありますか。 (1つだけ○をおつけください)

| | | | |
|---------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 現在、活動 している | 現在は活動して いないが、機会が あれば参加する | 現在、活動して おらず、今後活動 するか分からない | 現在、活動して おらず、今後も活 動する考えはない |
| 1 | 2 | 3 | 4 |

問 40 あなたは、ボランティアやNPO活動をしていますか、または、今後、
 活動するお考えがありますか。 (1つだけ○をおつけください)

| | | | |
|---------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 現在、活動 している | 現在は活動して いないが、機会が あれば参加する | 現在、活動して おらず、今後活動 するか分からない | 現在、活動して おらず、今後も活 動する考えはない |
| 1 | 2 | 3 | 4 |

行政経営のための取り組み

- ◆ 国全体で行政改革が進められています。本区も行政改革を進めてきました。今後、区民に満足していただける行政サービスを提供していくためには、限られた財源や人員を、より効果的・効率的に活かしていく行政が必要です。そのため、区では、施策や事業の不断の見直し、健全な財政の推進、職員数の削減、そして行政の外部からのチェックなど、行政経営の取り組みを進めています。

問 41 行政経営についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

| 重要である | 比較的 重要である | 普通 | あまり重要 ではない | 重要ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- ◆ 本区的主要な取り組みは、
- 区のすべての施策・事業について、毎年、評価を行い、必要性の薄れた施策・事業は、より効果的なものへと見直しを行っています。
 - 経費の縮減に努め、健全な財政の維持に努めています。
 - 職員数を削減しています。平成 17 年度から 19 年度までの 3 年間で 69 名を削減しました。
 - 区の施策・事業を外側から評価してもらうための委員会を設けました。

問 42 行政経営のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

| 満足である | 比較的 満足である | 普通 | あまり満足 ではない | 満足ではない |
|-------|--------------|----|---------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 43 行政経営のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

| 行政経営のための取り組み | 大切である (○は3つまで) |
|--|-------------------|
| 1. 施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み | 1 |
| 2. 外部から行政をチェックすること | 2 |
| 3. 区の事業で、可能なものは民間に任せること | 3 |
| 4. 財政の健全性を維持すること | 4 |
| 5. さまざまな手段で収入を確保すること | 5 |
| 6. 職員数を削減し、組織の大きさを適正に保つこと | 6 |
| 7. その他 () | 7 |

あなたご自身についてお伺いします

(お答えを、統計的に分類するためのものです。お名前の記入はありません。また、個人情報管理には細心の注意を払い、決して、区の施策の充実以外の用途には用いません)

F 1 あなたの性別をお伺いします。(1つだけ○をつけてください)

| | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢をお伺いします。(1つだけ○をつけてください)

| | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 20～24 歳 | 5. 40～44 歳 | 9. 60～64 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 6. 45～49 歳 | 10. 65～69 歳 |
| 3. 30～34 歳 | 7. 50～54 歳 | 11. 70～74 歳 |
| 4. 35～39 歳 | 8. 55～59 歳 | 12. 75 歳以上 |

F 3 あなたの現在のご職業をお伺いします。(1つだけ○をつけてください)

| | |
|------------|--------------|
| 1. 会社員・公務員 | 5. 学生 |
| 2. 自営業・自由業 | 6. アルバイト・パート |
| 3. 会社経営者 | 7. 無職 |
| 4. 家事専業 | 8. その他 () |

F 4 あなたは同居者がいますか。(1つだけ○をつけてください)

| | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

(F 4で「1. いる」とお答えの方にお聞きします)

F 5 同居者の中に次ア～エの方はいますか。(それぞれ1つずつ○をつけてください)

| | いる | いない |
|----------------|----|-----|
| ア) 配偶者 | 1 | 2 |
| イ) 小学校入学前のお子さん | 1 | 2 |
| ウ) 小・中学生 | 1 | 2 |
| エ) 65 歳以上の方 | 1 | 2 |

F 6 本区での居住年数をお伺いします。(1つだけ○をつけてください)

| | |
|----------|-----------|
| 1. 1年未満 | 4. 11～15年 |
| 2. 1～5年 | 5. 16～20年 |
| 3. 6～10年 | 6. 21年以上 |

F 7 お住まいについてお伺いします。(1つだけ○をつけてください)

| | |
|-----------------|------------|
| 1. 一戸建て持家 | 5. 公営住宅 |
| 2. 分譲マンション | 6. 社宅等 |
| 3. 一戸建て借家 | 7. 同居、間借り |
| 4. 賃貸アパート・マンション | 8. その他 () |

F 8 本区に住むことについてお伺いします。(1つだけ○をつけてください)

| | |
|----------------|---------------|
| 1. 住み続けるつもりである | 4. 移転するつもりである |
| 2. できれば住み続けたい | 5. 分からない |
| 3. できれば移転したい | |

問 45 最後に、区政全般について、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

ご協力、まことにありがとうございました。

ご記入いただきました用紙は、6月20日から7月22日までのあいだに調査員が回収にまいりますので、お渡しください。

平成 20 年 12 月発行
(平成20年度図書登録第49号)

台東区 区民満足度調査

編集・発行 / 台東区 企画財政部企画課
〒110-8615 東京都台東区東上野 4-5-6
電話 03 (5246) 1013

集計・分析 / 株式会社 サーベイリサーチセンター
東京都荒川区西日暮里 2 丁目 40 番 10 号
電話 03 (3802) 6724